

充実した敬愛生活のために知っておきたいコト

CAMPUS LIFE 2021

学生生活のてびき

学生生活
外国人留学生

履修要項

教育課程
カリキュラム表

建学の精神



Worship Your Heaven, Love Your Neighbours.

敬天愛人 建学の精神

南洲唱えて 我等に迫れり

豪気堂々 天地を貫く

永遠の校風 我等築かむ

創立者 長戸路政司

本学は「敬天愛人」を建学の精神とする。学園の創立者長戸路政司は、尊敬してきた西郷南洲（隆盛）の精神の根底が敬天愛人にあることを思い建学の精神をここに置いた。

建学の精神「敬天愛人」とは、天地宇宙はいわばわれわれ人間の生みの親、したがって、その天地宇宙を支配する道理を謙虚に追求し、それに随順して生き、人を憎まず、われひと共に成り立ち得る愛の道を実践していくことである。

この建学の精神をモットーに創立以来今日まで堅実でしかも積極性を持つ人格円満な人材育成の場として、清新で明朗な学風のある学園であることを絶えず期している。

CAMPUS LIFE

2021

KEIAI UNIVERSITY

I	学生生活のてびき	
	学生生活	10
	外国人留学生	56
II	履修要項	66
III	カリキュラム表	72
IV	副専攻・資格	206
V	資料編	216

目次

創立者のことば	4
学園の構成	6
沿革	7
敬愛大学教育憲章	8

I

学生生活の てびき

学生生活

1. 学生証／証明書の発行	10
2. 快適な学生生活のために	16
3. 奨学金・経済支援	41
4. 課外活動	45
5. 施設の上手な利用方法	48

外国人留学生

1. 快適な学生生活のために	56
----------------	----

II

履修要項

1. 履修方法の概要	66
2. 単位の認定等	68

III

カリキュラム表

経済学部

1. 2021年度以降入学者カリキュラム表	72
2. 2019・2020年度入学者カリキュラム表	90
3. 2018年度入学者カリキュラム表	108
4. 学習支援体制	127
5. 2018-2021年度 科目名変更一覧	128

CAMPUS LIFE2021

Ⅲ

カリキュラム表

国際学部

1. 国際学科2021カリキュラム表 …………… 140
2. 国際学科2020カリキュラム表 …………… 150
3. 国際学科2019カリキュラム表 …………… 160
4. 国際学科2018カリキュラム表 …………… 169
5. こども教育学科2019カリキュラム表 …………… 178
6. こども教育学科2018カリキュラム表 …………… 183
7. 国際学部カリキュラム新旧比較対照表 …………… 188

教育学部

1. こども教育学科 2021カリキュラム表 …………… 200

Ⅳ

副専攻・資格

1. AI・データサイエンス（経済・国際・教育） … 206
2. エアポートNARITA地域産業学（経済・国際） … 208
3. 日本語教員養成課程（国際・教育） …………… 210
4. 小学校英語教育講座（教育） …………… 212

V

資料編

1. 学則等規則 …………… 216
2. キャンパスマップ …………… 236
3. 学園歌 …………… 241
4. 2021年度 学事日程 …………… 242

創立者のことば

今から五十数年前、千葉市の一角に私学を創立し、建学の精神として「敬天愛人」を掲げ、昭和41年にいたり千葉敬愛経済大学を創立した。

「敬天愛人」の愛人は、人間相互のつながりを、敬天は、宇宙の絶対者と人間の生命的なつながりを、それぞれ本来あるべき姿において示すものであり、窮極の意味において、まさに人類の黄金律というべきものである。本大学の教育方針は、力強くこの目標に向かって前進することである。この土台の上に学生諸君の品性を磨き、人格を高揚せしめ、その深い人間性を発揚せしめようということ。これが本大学の第一の念願とするところである。

(創立者 長戸路 政司)



追記 本学は昭和63年4月、建学の精神「敬天愛人」を端的に表わすため大学の名称を「敬愛大学」と改め、その教育目標に向かって、ますますの発展を期している。

創立者の横顔

本学園の創立者長戸路政司は、明治17年、千葉県の上野原町（現・匝瑳市）に生まれ、長じて旧制第二高等学校をへて、明治43年に東京帝国大学法科大学を卒業した。卒業後ただちに和歌山地方裁判所検事局検事に任官したが、感じるころがあって検事の職を辞し、大正2年東京で弁護士を開業した。

開業後しだいに弁護士としての名声を博しつつあったにもかかわらず、その業務にあきたらず、教育こそ人生にとって最も崇高な事業であるという思いを深めていった。そしてついに大正10年、「敬天愛人」を建学精神とする八日市場女学校を開設したのである。

「敬天愛人」は西郷南洲の遺訓である。創立者は大学在学当時から、『天は人も我も同一に愛し給う故、我を愛する心を以て人を愛するなり』という南洲の訓え（『西郷南洲翁遺訓』第24ヶ条）に深い啓示をうけ、南洲の聖なる人格と高邁な見識に傾倒していた。八日市場女学校が敬天愛人を建学の精神として掲げたのも、『講学の道は敬天愛人を目的とす』という南洲の訓えにならったものである。

八日市場女学校について、千葉市に関東中学（旧制）を開設し、以来、大正末期から昭和初期にかけてのきびしい世相の中で、さらには戦前・戦中の苛烈な時代を通じて、ただひたすら子弟の教育と学校経営に渾身の力をふりしぼってきた。

戦後は荒廃した学園の立て直しに務めるとともに、学制改革の施行にともない、学校法人の設立・八日市場高等女学校及び関東中学の新制高校への編成替え（現 千葉敬愛高等学校）などを行って、新時代に応じた教育を展開するための基礎をかためた。

昭和25年には、全国にさきがけて、千葉敬愛短期大学・初等教育科を開設した。これは時代の要請に合致し、以後40余年にわたって、本県はじめ近傍都県の教育需要に大きな貢献を果たした。昭和33年、科学技術時代の到来を予想して工業商業4科を併設する千葉工商高等学校（現 敬愛学園高等学校）を設置。昭和41年には、かねての宿願であった千葉敬愛経済大学を開設した。

今や本学園は、大学・短大・高校2校及び幼稚園を設置し、学生・生徒・園児五千人を擁する学園に発展した。また、姉妹学園の長戸路学園には、敬愛大学八日市場高等学校と横芝敬愛高等学校が設置されている。

創立者長戸路政司は、教育をおのれの天命と信じ、終始一貫至誠をささげて教育に尽瘁した。明敏な先見性と果敢なたゆむことなき前進は、創立者のきわだった特質であった。一方、温愛あふれた人柄は教職員・父母・子弟の敬慕を集め、その感化はひろい範囲に及んだのである。

創立者はまた、請われていろいろな公職にたずさわった。教育をはじめとする偉大な社会的貢献にたいしてかずかずの栄誉が授与され、昭和55年95才をもってその生涯を閉じたのである。

学園の構成

学校法人 千葉敬愛学園

敬愛大学

- 経済学部
 - ・ 経済学科
 - ・ 経営学科
- 国際学部
 - ・ 国際学科
- 教育学部
 - ・ こども教育学科

稲毛キャンパス 千葉市稲毛区穴川1-5-21

千葉敬愛短期大学

現代子ども学科

佐倉キャンパス 佐倉市山王1-9

**千葉敬愛短期大学
附属幼稚園**

千葉市美浜区高洲2-2-16

千葉敬愛高等学校

普通科

四街道キャンパス 四街道市四街道1522

敬愛学園高等学校

普通科

稲毛キャンパス 千葉市稲毛区穴川1-5-21

姉妹組織として、学校法人長戸路学園、社会福祉法人敬愛があります。

学校法人 長戸路学園

敬愛大学八日市場高等学校

普通科 (全日制・通信制)

八日市場キャンパス 匝瑳市八日市場口390

横芝敬愛高等学校

普通科

横芝キャンパス 山武郡横芝光町栗山4508

社会福祉法人 敬愛

さくら敬愛保育園

佐倉キャンパス 佐倉市山王1-9

沿革

長戸路政司先生が大正10（1921）年4月、現在の匝瑳市八日市場に八日市場女学校を創設したのが本学園の源流である。以来90有余年、学園は発展を重ね、現在では本学の他に千葉敬愛短期大学、同附属幼稚園、千葉敬愛高等学校及び敬愛学園高等学校を擁する県下最大級の学園となっている。

1921（大正10）年	八日市場女学校（現・敬愛大学八日市場高等学校）開校
1926（大正15）年	関東中学校（現・千葉敬愛高等学校）開校
1950（昭和25）年	千葉敬愛短期大学 開学
1953（昭和28）年	千葉関東商業高等学校（現・敬愛学園高等学校）開校
1966（昭和41）年	千葉敬愛経済大学 開学、経済学部経済学科を設置
1973（昭和48）年	千葉敬愛短期大学附属幼稚園 開園
1988（昭和63）年	大学名を敬愛大学に変更
1997（平成9）年	千葉敬愛短期大学国際教養科を改組し、敬愛大学に国際学部国際協力学科を設置
2003（平成15）年	公益財団法人大学基準協会正会員加盟
2007（平成19）年	国際協力学科を国際学科に改称し、国際学専攻と地域こども教育専攻（小学校教員養成課程）の2専攻を設置
2008（平成20）年	3号館竣工
2009（平成21）年	国際学部を稲毛キャンパスに移転
2011（平成23）年	国際学部こども学科 開設
2013（平成25）年	経済学部経営学科 開設
2016（平成28）年	敬愛大学創立50周年、記念式典・祝賀会を挙行
2017（平成29）年	こども学科を「こども教育学科」に改称
2020（令和元）年	卒業証書・学位記授与式（経済学部第50回・国際学部第20回） 入学式（経済学部第55回・国際学部第24回）
2021（令和3）年	教育学部こども教育学科 開設

敬愛大学教育憲章

敬愛大学は、西郷南洲の遺訓である「敬天愛人」を建学の精神としている。本学の創立者・長戸路政司は南洲の遺訓に深い啓示をうけて、建学の精神である「敬天愛人」の理念に則った教育の重要性を説き続けた。創立者の訓えは、本学の教育に関わる者及び本学に学ぶ者すべてが、時代を超えて実践していかなければならない普遍性をもつものである。

第1条（趣 旨）

敬愛大学は、建学の精神である「敬天愛人」の理念に則り、敬愛大学教育憲章を定めることとする。

第2条（教育の理念）

敬愛大学の教育は、「敬天愛人」の建学理念に基づき、学生一人ひとりの尊厳を重んじ、その可能性を引き出すとともに、社会の発展に積極的に貢献する人材を育成することを基本理念とする。

第3条（教育の目標）

敬愛大学は、教育の理念を具現化するため、きめ細かく丁寧な働きかけによって、以下の教育目標を達成することに努める。

1. 学生を、心身ともに健康で、社会人として必要不可欠な基礎学力と一般常識、考える力をもった人材に育てる。
2. 学生を、勤労を尊び多様な人々とコミュニケーションをとり協働できる人材に育てる。
3. 学生を、正課の授業に加えて学内行事や各種の体験学習の機会等を通じて、総合的な人間力をもった人材に育てる。
4. 学生を、地域社会とわが国および世界の文化と経済、社会の発展に貢献する人材に育てる。

第4条（教育と学修支援の原則）

敬愛大学は、教員と職員が協同して学生の学修支援を行い、学生の学びと人間的成長を促進することに努める。

第5条（全学一体の原則と責任の遂行）

敬愛大学は、全学が一体となって、本学の掲げた教育の理念を理解し、教育目標の達成に取り組むこととする。敬愛大学の教職員と学生は自己の使命を自覚し、それぞれの責任の遂行に努めなければならない。

（平成26年1月28日大学評議会承認・制定）

I

学生生活のてびき 学生生活

1. 学生証／証明書の発行

① 学生証	10
② 学生への連絡方法	11
③ 証明書・届出	12
④ 学籍の異動	14

2. 快適な学生生活のために

① 健康管理	16
② 相談したいとき	18
③ 自らの安全を守るために	21
④ アルバイト、教習所、アパート等の紹介	23
⑤ 各種保険	25
⑥ 通学定期乗車券と学割	30
⑦ 日常の学生生活を送るにあたって	31
⑧ 大学の事務組織	35
⑨ ハラスメントの防止と相談	37
⑩ 地域連携センターの利用	39

3. 奨学金・経済支援

① 奨学金制度	41
② 教育ローン制度	43
③ その他の制度	44

4. 課外活動

① 学友会・サークル活動	45
② 特別指導組織	46

5. 施設の上手な利用方法

① 食堂・売店	48
② 稲毛キャンパスのスポーツ施設	49
③ キャリアセンターの利用	50
④ メディアセンターの利用	51
⑤ コンピュータの利用	52

1

学生証／証明書の発行

1 学生証

学生証は本学の学生であることを証明するものです。常に携帯し、教職員から請求のあった時にはすぐ呈示できるようにしてなければなりません。

また、学生証内部のICチップは出席管理システムや図書館利用システムで使用します。

- (1) 学生証はICチップ化されています。また学生証は本学卒業まで有効ですので、大切に保管してください。
- (2) 現住所変更時には、学生支援室で新しい裏面に書き替えます。
- (3) 学生証を紛失したり、汚損したりしたときは、再発行の手続きが必要となります。再発行手数料は1,000円です。
- (4) 学生証は、卒業または退学・除籍などにより学生の身分を失ったときは、必ず返却しなければなりません。



学籍番号

学生証の学籍番号は、履修届、各種届、試験答案などに必ず記入しなければならない、個人の重要な番号です。

学籍番号の最初の2ケタは入学年度（西暦の末尾2ケタ）を、次の1は経済学部、3は教育学部、6・8は国際学部を、また最後の3ケタが個人番号をそれぞれ表わしています。

例

2 1 8 3 1 2

2021年度入学

個人番号

- 1 経済学部（経済学科・経営学科）
- 3 教育学部 子ども教育学科
- 6 国際学部 子ども教育学科
- 8 国際学部 国際学科

2 学生への連絡方法

本学では、学生への伝達や連絡は原則として掲示によって行っていますので、登校したらまずはじめに掲示を見るように習慣づけてください。

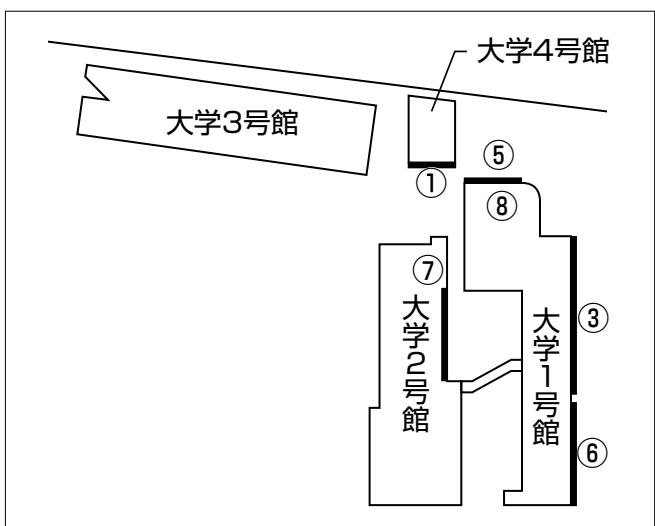
また、掲示内容が変更・追加される場合もありますので、授業の合間や下校時にも見るように心がけてください。

掲示を見なかったこと、また掲示内容を誤って理解したことによる不利益や不都合は、自己責任であることを心に留めておいてください。

掲示内容の詳しい確認は、その都度担当の窓口で尋ねて理解しておくことが大切です。

掲示板の場所

	掲示内容	担当	場 所
①	就職指導に関すること	キャリアセンター	4号館 1階屋外 1号館 3階廊下 (ゼミ教室周辺)
②	図書館、コンピューターに関すること	メディアセンター	3号館 2階 コミュニケーションラボ前 3号館 3階 メディアセンター前
③	授業・試験・成績、教職に関すること	修学支援室	1号館 1階廊下
④	ボランティア活動に関すること	地域連携センター	1号館 1階廊下
⑤	学生生活・奨学金に関すること	学生支援室	1号館 道路側屋外
⑥	健康・学生相談に関すること		クラブハウス棟 1階
⑦	学友会・サークル活動に関すること		2号館 1階 学生ラウンジ内 2号館 2階 2202教室前
⑧	外国人留学生に関すること		1号館 1階 学生支援室内



3 証明書・届出

公的に必要な諸証明の発行は、証明書自動発行機で即時発行することができます。ただし、証明書の種類によっては、日数のかかるものもあります。

1 証明書自動発行機

- ① 稼働時間
平日 8:45~18:00
- ② 操作方法
音声ガイドにしたがって操作してください。

2 証明書・届出の一覧

【証明書】

	種 類	窓 口	証明書 自動発行機	手数料	備 考
修学支援室	1 在 学 証 明 書		○	300円	
	2 在 学 証 明 書【英 文】		○	300円	
	3 成 績 証 明 書		○	300円	★
	4 成 績 証 明 書【英 文】		○	300円	★
	5 卒 業 見 込 証 明 書		○	300円	4年生のみ
	6 単 位 修 得 証 明 書	○		300円	4年生のみ※
	7 教 育 職 員 免 許 状 取 得 見 込 証 明 書	○		300円	4年生のみ※
	8 卒 業 証 明 書	○		300円	卒業生のみ
	9 卒 業 証 明 書【英 文】	○		300円	卒業生のみ
	10 休 学 願	○			
	11 退 学 願	○			
	12 復 学 願	○			
	13 再 入 学 願	○			
	14 追 試 験 受 験 願	○			
	15 公 欠 届	○			

★在学生が成績証明書を申し込む時には、事前にKCN (Keiai Campus Navigator) での予約が必要です。
※所要日数が2日間かかります。(土日祝日・大学の一斉休業を除く)

【届出】

	種 類	窓 口	証明書 自動発行機	手数料	備 考	
学生支援室	1 氏名・本籍変更届	○			証明する書類を提示	
	2 保証人変更届	○				
	3 住所・電話番号変更届	○				
	4 施設使用許可願	○				
	5 紛失・盗難届	○				
	6 事故届	○				
	7 合宿届	○				
	8 試合・学外活動届	○			自賠償保険証提示	
	9 バイク通学届	○				
	10 学生証再交付願		○	1,000円		
	11 仮学生証交付願		○	300円		確認試験時に学生証を携行しなかったときは、仮学生証の交付を受けなければ受験できません。
	12 健康診断書		○	300円		
	13 学生旅客運賃割引証		○			
	14 通学証明書	○				
	15 治癒証明書	○				大学ウェブサイトからもダウンロード可
キャリアセンター	1 進路登録カード	○				
	2 学長推薦書	○				
	3 進路内定届	○				

I

学生生活のてびき

1 学生証／証明書の発行



証明書自動発行機は、1号館1階事務局内にあります。

4 学籍の異動

学生の学籍異動については、所定の手続により次のように取り扱われます。

1 退学

退学しようとする者は、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。

(学則第15条)

2 休学・復学

- 病気及びその他の事由により引き続き3ヶ月以上修学することができないときはその事由を具し、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。
- 休学の期間は、その学年の終わり、又は学期の終わりまでとし、特別な事情がある場合は、引き続き1年に限り休学を許可することができる。
- 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。また在学年数に算入しない。
- 休学期間中にその事由が消滅したときは、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。また復学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

(学則第16条)

(学則第19条)

3 転学・海外留学

- 他の大学へ転学を希望する者は、学長の許可を得なければならない。
- 外国の大学又は短期大学に留学を希望する者は、学長の許可を得て留学することができる。留学した期間は1年に限り卒業要件の期間に算入する。

(学則第17条)

(学則第18条)

4 除籍

次のいずれかに該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- 在学年限を超えた者
- 休学の期間を超えてなお修学できない者
- 授業料その他の学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- 死亡又は長期間にわたり行方不明の者

(学則第20条)

※再入学、転部、転科等、学籍の異動に関する詳細は、巻末の学則を参照してください。

※入学検定料、学費等納入、学費督促、除籍取扱いについての規程・内規については巻末を参照してください。

知 っ 得 情 報

病気やけがで大学を長く休むときは

保健室に電話で連絡してください。病気やけがの状況を聞いた上で、必要な手続や助言を行います。なおインフルエンザなどの伝染病に罹患した場合は、学校保健安全法により出席停止となります。

■出席停止……インフルエンザ等、感染する病気のと看

学校保健安全法により、本人の休養と他人への感染、流行を防ぐために出席停止の措置とします。この場合、治癒後に「治癒証明書」を提出することで本学公欠区分第2号により公欠対象となりますが、必ず保健室に連絡することが必要です。

■欠席……感染症以外の病気や事故等でのけが

感染症以外の病気や、事故等によるけがは公欠にはなりません。長く休むことになり出席状況が心配な時は、授業担当教員に事情を説明し、相談してください。この場合診断書等の証明書が必要になる事があります。

保健室直通電話 043-284-2212

2

快適な学生生活のために

1 健康管理

1 保健室

病気や怪我の応急処置・休養、必要に応じた病院の紹介を行います。また心身の健康に関する相談窓口になっています。栄養や健康に関する資料や書籍もありますから、活用してください。

- 時間調整や待ち合わせに保健室は利用できません。
- 元気な人の休養はできません。

(1) 定期健康診断

学校保健安全法により年1回、4月に行います。**全学生が対象ですので毎年必ず受けてください。**

この健康診断を受けなかった場合には、自費で受診し結果を提出してもらうこととなります。

健康診断を受けないと、教育実習や就職活動に必要な「健康診断書」を発行できません。

健康診断の結果は6月初旬に全員に通知（郵送または手渡し）しますので、必ず内容を確認してください。

(2) 健康診断書

健康診断を受けてから約1カ月程度で自動発行機より健康診断証明書が発行できます（1通300円）。

ただし健康診断で異常所見があった場合は、再検査や精密検査の結果を保健室に報告しないと発行されません。

発行されなかった時は、保健室に相談してください。

(3) 救急バックの貸出

学校行事・課外活動・合宿時において携行できる救急薬品の入った救急バックを貸出していますので利用してください。

(4) 本学は校医を次の通り委託しています。

医師 茂手木直忠 先生（轟クリニック）

〒263-0021 千葉市稲毛区轟町1-13-3 TEL 043 (306) 8503

(5) 遠隔地被扶養者保険証

一人暮らしの学生が病気や怪我をしたときに使用する保険証のことです。保険証が家族で1枚になっている場合は、在学証明書を添えて市町村役場または扶養者の事業所に申し込んでください。（保険証が1人1枚のカード式になっている場合は不要です。）

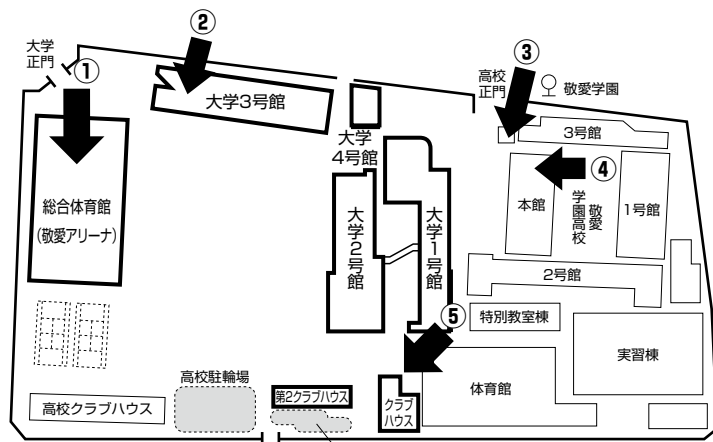
(6) 感染症の連絡

インフルエンザ等の感染症にかかった時は、必ず保健室に電話で連絡してください。公欠手続きをする際には治癒証明書と保健室の書類が必要です。（土日祝日は不在ですので、休み明けに連絡してください）

開室時間	毎週月曜日～金曜日 8：45～17：15) (長期休業中は別途計画によります)
担当者	養護職員
直通電話	043-284-2212
場所	クラブハウス棟1階

2 命をつなぐAED

敬愛大学のある稲毛キャンパスにはAED(自動体外式除細動器)が4ヶ所に設置されています。



No.	設置場所	備考
①	敬愛アリーナ 1階 エレベーター前	
②	大学3号館 1階 正門側出入口付近	
③	高校正門前 警備室内	警備員巡回時以外、休日・夜間でも使用できます。
④	高校本館 1階 事務室前 (職員玄関内)	
⑤	クラブハウス棟 1階 保健室内	土曜日・日曜日など不在時は使用できません。



稲毛キャンパス内に設置されているAEDは、いずれもフィリップス社製の「ハートスタートHS-1」型です。赤いバッグに入っています。なお使用方法は自動的に日本語でアナウンスされます。使用が必要なときは、落ち着いてアナウンスに従って操作してください。

知っ得情報

『感染症』でも出席停止とならない場合がある？！

感染症は学校保健安全法施行規則によって第1種~第3種まで分類されています。しかし、その法律に明記されていない感染症も数多く存在します。例えば、ノロウイルス感染症(感染性胃腸炎)、溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症などもその中に入ります。これらの疾患は、学校では通常見られないほど重大な流行が起こった場合に、学校長が学校医の意見を聞いて、出席停止の指示をするか決めるものです。したがって、出席停止とする必要がないと判断される場合もあります。

I

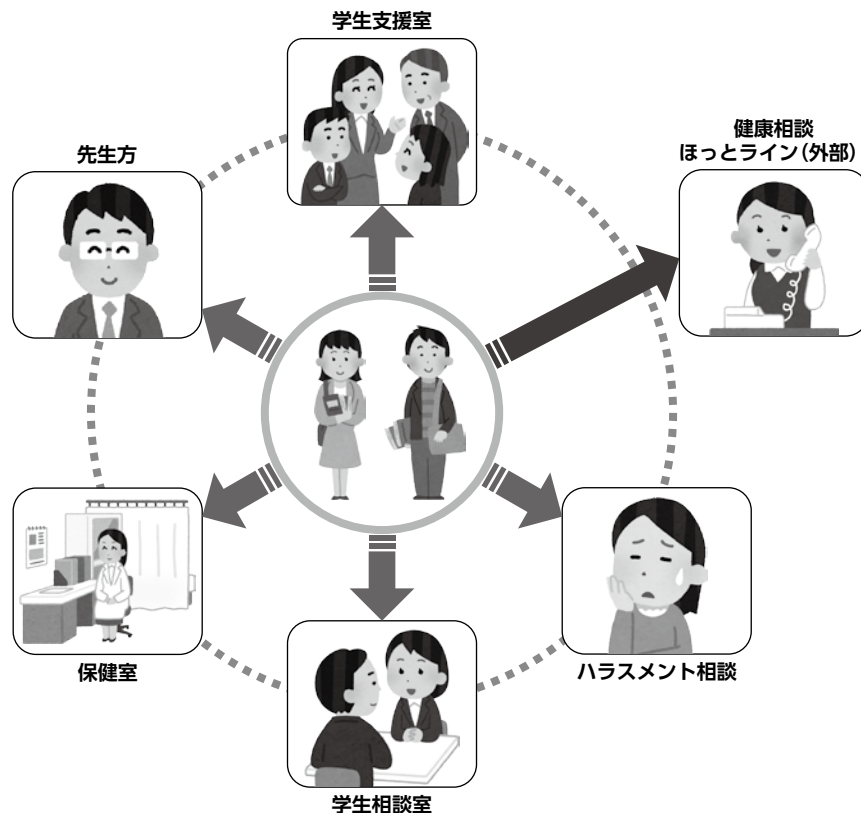
学生生活の
生活の
生活の
生活の
生活の
生活の
生活の
生活の
生活の
生活の

2 快適な学生生活のために

2 相談したいとき

本学では、みなさんの様々な相談に対応するため、「学生支援室」、「学生相談室」、「保健室」のほか、外部委託の電話相談窓口も設置し、相談内容に応じたきめ細かな相談体制を用意しています。

(ハラスメント相談はP.37 9 ハラスメントの防止と相談を参照してください。)



1 学生支援室

学生生活での困りごとは、学生支援室が受けつけています。

困ったときは学生支援室に来て、気軽に窓口の職員に声をかけてください。

より相談の内容に合った他の窓口のご案内もしています。

窓口受付時間 毎週月曜日～金曜日 8:45～17:15
(長期休業中は別途計画によります。)

場 所 大学事務局内 (1号館1階)

2 障がいのある学生へのサポート

本学では、障がいのある学生に対し、充実した学生生活を送れるよう、相談に応じています。相談したい方は窓口にお問い合わせください。

窓 口	学生支援室
支援対象	身体等に障がいがあり、障害者手帳を持っている、またはそれに準ずる障がいがあることを示す診断書を有する学生で、本人が支援を受けることを希望し、かつその必要性が認められる学生
支援の概要	学生の状況に対応した適切な支援を行うため、障がいの内容とともに本人の事情、身体的機能的側面の状況など、当事者と話し合いながら、学内教職員の連携により支援を進めています。

サポートの流れ

1. サポートについて知りたい方、興味関心のある方は、まず学生支援室に来てください。担当者が具体的にサポートの流れや方法などを説明します。
2. サポートを希望する場合は、「支援申請書」をお渡しします。必要な内容を記入して、学生支援室に提出してください。書き方がわからない時は気軽に聞いてください。
3. 申請書が提出されたら、必要な支援について担当者と話し合います。

3 学生相談室

困りごとや、何か話したいことがあったらお気軽に来てください。秘密は守りますので、安心してください。

対 象	本学学生およびその保護者、本学教職員（学生に関すること）
相談時間	毎週月～金曜日 9:00～17:00（最終受付は16:00） （長期休業中は別途計画によります。）
担 当 者	臨床心理士及び公認心理師有資格者と相談員
相談場所	学生相談室（クラブハウス棟1階）
予約方法	①直接来室（開室時間内で相談中でなければ、対応可能） ②電話で予約 043-284-2483（相談中など、つながらないこともあります） ③メールアドレス：gakuseisoudan@u-keiai.ac.jp ①学籍番号と名前、②希望日時第3希望まで、③相談内容の概略、④希望の相談方法を明記してお申し込みください。学生相談室からの返信で合意が取れた段階で予約完了となりますので、よろしくお願いたします。
直通電話	043-284-2483（相談中など、電話がつかないことがあります。）

4 保健室

クラブハウス棟1階の保健室では、看護師が健康相談や近隣の病院紹介などの支援を行います。（詳しくは16ページを参照してください。）

5 健康相談ほっとライン

本学学生および保護者は、「24時間電話健康相談サービス」と「メンタルヘルスのカウンセリングサービス」を組み合わせ、「健康相談ほっとライン」を無料で利用することができます。大学で直接相談ができない日や時間帯も相談することができます。また、学内に知られたくないことも安心して相談できます。夜間や早朝でも、24時間いつでも相談できますので、気軽に活用してください。

(1) 24時間電話健康相談サービス

電話で健康・医療等に関する相談をすることができます。

- 専用電話 0120-304-023 (通話料無料・携帯電話からも利用可)

(2) メンタルヘルスのカウンセリングサービス

電話・web・面談によるカウンセリングを受けることができます。

- 電話カウンセリング **0120-304-023** (通話料無料・携帯電話からも利用可)

受付 9:00~22:00 (年中無休)

- webカウンセリング <https://t-pec.jp/websoudan/>

ユーザー名 keiaiusr パスワード 304023

- 面談カウンセリング予約受付

電話 月~金曜 9:00~21:00・土曜 9:00~16:00 (除:日曜・祝日・12/31~1/3)

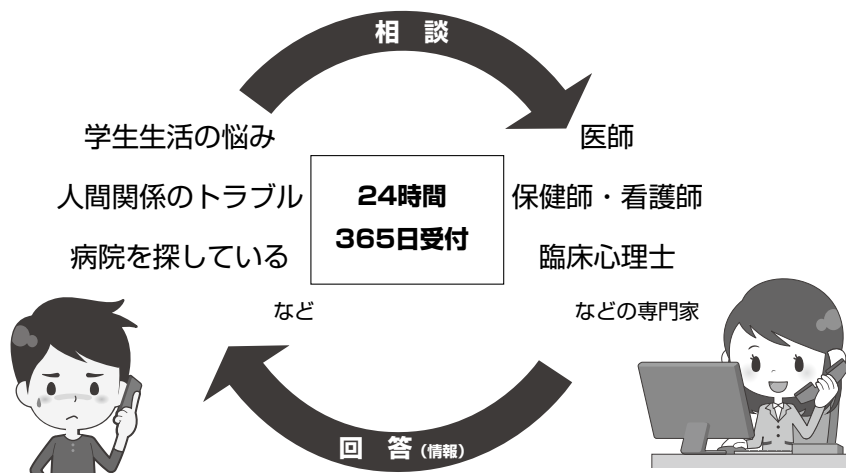
Web 24時間年中無休 (受付後、日程調整の電話があります)

(3) 業務委託先

本サービスは本学が委託先(ティーペック株式会社)に委託し、サービスを提供するものです。経験豊かな医師、保健師、看護師などから、きめ細かいアドバイスを受けることができます。プライバシーは厳守されますので、安心して利用してください。

相談内容はいっさい大学に知らされることはありません。

※専用パンフレットやカードを学生支援室で配布しています。



3 自らの安全を守るために

1 インターネットサービスは賢く使おう

最近ではスマートフォンやタブレット等の普及により、インターネットによる情報のやりとりが便利になりました。この利点をいかし、インターネットサービスは賢く使しましょう。

特にLINEやTwitter、Facebook等のソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を使う際には、以下の点に注意が必要です。

- ◆SNS上の情報は、必ずしも正しいものばかりではない。
- ◆SNS上においても、社会的ルールを守らなければならない
- ◆SNS上の情報は、世界中に広まるものである。
- ◆匿名であったとしても、責任を伴う発言として取り扱われる。
- ◆SNSでの不用意な発言は、家族や友人にまで被害が及ぶことがある。

2 いわゆるブラックバイトについて

学生アルバイトは対価（バイト代）を得るだけでなく、貴重な社会勉強の場でもあり、大いに経験すべき活動の一つです。しかし学生であるが故に、無理難題を押しつける「ブラックバイト」が問題になっています。以下のようなことで困ったら、学生支援室に相談しましょう。

- ◆販売業等でノルマを課せられ、達成できないと罰を科せられる。
- ◆希望した日・時間を無視してシフトを組まれてしまう。
- ◆希望した日・時間に休んだり、退職したりすることを許可してもらえない。
- ◆販売品や売れ残りの商品の購入を強要される。 等

3 違法薬物

最近では脱法ハーブ等による事件事故が話題になっていますが、脱法ハーブのみならず、様々な違法薬物の所持や使用は、学生生活だけでなく人生を破滅に導くものに他なりません。絶対に関わらないよう、強い気持ちを持って行動しましょう。

4 災害時の対応

大規模地震等の災害が発生した場合は、まず自分の生命を守る行動をとりましょう。

本学の緊急避難場所は、人工芝グラウンドです。避難が必要な際には、校内放送に従って迅速に行動してください。また災害に備えて、日頃から救命技能講習の受講、家族や友人とのコミュニケーションに努めましょう。また有事には弱者の救援に積極的に力を貸してください。

5 海外渡航時の安全確保

毎年数多くの学生が留学や研修、旅行のために海外へ渡航していますが、現地事情を把握していないために、盗難などの被害に遭うケースが多く見受けられます。このような被害を未然に防ぐために、外務省が「**海外安全ホームページ** (<http://www.anzen.mofa.go.jp/>)」を通じて随時最新の情報を発信しています。

日本国外へ渡航を考えている学生のみなさんは、本サイトや旅行会社から最新の情報を入手してください。また海外渡航時は「**たびレジ** (3ヶ月未満の渡航者向け)」「**ORRnet** (3ヶ月以上の滞在者向け)」への登録を渡航前に必ず行ってください。また外務省「**海外安全アプリ**」も有効です。



3ヶ月未満の渡航予定者は、「**たびレジ**」で登録を
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>



3ヶ月以上の滞在予定者は、「**ORRnet**」で登録を
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

外務省「**海外安全アプリ**」は、こちらからダウンロードできます。



これらのサービスに登録すると、万一の際に在外公館からの緊急一斉連絡メールや安否確認を受けることができます。

4 アルバイト、教習所、アパート等の紹介

1 アルバイトの紹介

本学では、学生の皆さんが安心・安全に働くことができるアルバイトを厳選して紹介できるよう、(株)ナジック・アイ・サポートの「バイトネット」でアルバイトの紹介を行っています。無料で利用することができますが、会員登録が必要ですので、詳しくは学生支援室に問い合わせてください。

なお窓口や掲示板でのアルバイト情報の提供は、行っていません。



<http://www.aines.net/u-keiai/>

2 教習所（運転免許）の紹介

本学では、以下の教習所と業務提携しています。特別割引特典等が受けられますので、入校手続き時には必ず学生証を持参してください。各教習所の案内は、2号館ラウンジにあります。

通 学 型	稲毛自動車教習所	千葉県稲毛区稲毛町5-31-1 http://ids-go.co.jp/	☎043-243-7111
	勝又自動車学校	千葉県美浜区新港189 http://www.katsumata-ds.co.jp/	☎043-242-6251
	千葉中央自動車学校	千葉県若葉区加曽利町868 http://www.chiba-chuou.co.jp/	☎0120-373-629
	ソフィアドライビングスクール四街道	四街道市もねの里2-38-30 http://www.driving-school.jp/yotsukaido/	☎0120-89-3229
	京葉自動車教習所	千葉県稲毛区長沼町341 http://www.sbs-drivingschool.co.jp	☎0120-59-6371
	鷹の台ドライビングスクール	千葉県花見川区柏井4-2-1 http://www.takanodai-ds.jp	☎0120-393-984
	佐倉自動車学校	佐倉市岩名957-1 http://www.sakurads.co.jp	☎043-485-1558
合 宿 型	東京エース免許センター	(本社：東京都新宿区) http://menkyodeace.jp/	☎0120-999-785
	アイテックトラベル 合宿免許受付センター	(本社：東京都北区) http://www.aitec-travel.co.jp/	☎0120-390-249

3 アパート・学生マンション等の紹介

本学では、学生の皆さんがよりよいお部屋探しができるように、(株)敬愛サービス ひとり暮らし相談センターでアパート・マンションの紹介を行っています。問い合わせ時には「敬愛大学の学生である」旨をお伝えください。

(1) 特典

仲介手数料を最低30%引にて紹介します。

(2) 希望物件の決定

物件には、「学生マンション」「マンションタイプ」「アパートタイプ」の3種類があります。それぞれの特長を参考にして、好みの物件を見つけましょう。

学生マンション	オートロックなどの防犯設備や室内の設備が充実。多くが鉄筋コンクリート造の為、遮音性・耐震性に優れています。入居者のほとんどが学生という安心感あり。
マンションタイプ	鉄筋コンクリートや重量鉄骨構造でアパートタイプに比べて、遮音性・耐熱性・耐震性に優れています。アパートに比べると家賃は高め。食事付きの物件もあります。
アパートタイプ	最もポピュラーな物件タイプで、木造・軽量鉄骨が多数を占めています。遮音性に乏しい反面、家賃は経済的となっています。

(3) 問い合わせ先

当センターでは、以下の各提携先から物件情報をお預かりし、在学生・入学生予定者からの個別相談を承っております。お気軽にご相談ください。

(株)敬愛サービス ひとり暮らし相談センター

専用電話 0120-749-030 (通話料無料)

※専用パンフレットは学生支援室 (1号館1階)、2号館ラウンジにあります。

(提携不動産業者)

(株)学生情報センター 津田沼店

(株)共立メンテナンス

スタートピタットハウス(株) 稲毛店

(株)高品ハウジング

(株)ミニミニ城東 千葉店

【注意】 大学や大学教職員がアパート等賃借時の保証人になることはできません。

知 っ 得 情 報

本学では、上記のほか学生生活を応援する様々なサービスを、(株)敬愛サービスに委託しています。詳しくは直接、(株)敬愛サービスに問い合わせてください。

【提供しているサービスの一例】

- ・教習所の紹介 (23ページ)
- ・卒業式の衣装レンタル幹旋
- ・アパート・学生マンション等の紹介 (24ページ)
- ・就職活動用証明写真撮影サービス 等
- ・学生総合補償制度 (29ページ)
- ・スーツ等の割引購入
- ・自転車・バイク・自動車保険 (29ページ)

【問合せ先】

(株)敬愛サービス 電話043-486-6981

<http://srv.u-keiai.ac.jp>



5 各種保険

1 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

本学は、教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために「学生教育研究災害傷害保険」の賛助会員大学となり、全学生がこの保険のAコース（死亡保険金 最高2,000万円コース）（通学特約あり）に加入しています。事故等の場合には速やかに学生支援室まで連絡し、手続きを進めてください。

詳しくは学生支援室または財団法人国際教育支援協会ホームページ（<http://www.jees.or.jp/>）にて確認してください。

(1) 保険期間

4月入学扱い 入学年次の4月1日午前0時～4年後の3月31日午後12時まで
 （ただし、過年度生、編入生、科目等履修生はその在学期間とします。）

学生教育研究災害傷害保険については、原則として入学時に予定修学年数を一括加入することとしており、その場合の保険終期は、所定の卒業年次の3月31日となります。

(2) 概要

この保険には、全大学の約96%の大学が加入しています。

対象となる活動範囲

国内外における本学の教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故により身体に傷害を被った場合。この保険における傷害は、「身体外部から有毒ガス又は有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収又は摂取した場合に急激に生ずる中毒症状」及び「日射又は熱射による身体の障害」を含みます（※「病気」はこの保険の対象となりません。）。「教育研究活動中」とは次の場合をいいます。

1 正課中

講義、実験、実習、演習又は実技による授業（以上を総称して以下「授業」といいます。）を受けている間をいい、次に掲げる間を含みます。

- ア. 指導教員の指示に基づき、卒業論文研究又は学位論文研究に従事している間。ただし、専ら被保険者の私的生活に係る場所においてこれらに従事している間を除きます。
- イ. 指導教員の指示に基づき、授業の準備もしくは後始末を行っている間又は授業を行う場所、大学の図書館、資料室もしくは語学学習施設において研究活動を行っている間。



2 学校行事中

大学の主催する入学式、オリエンテーション、卒業式など教育活動の一環としての各種学校行事に参加している間。

3 1、2以外で学校施設内にいる間

大学が教育活動のために所有、使用又は管理している学校施設内にいる間。ただし、寄宿舎にいる間、大学が禁じた時間もしくは場所にいる間又は大学

が禁じた行為を行っている間を除きます。

4 学校施設外での課外活動（クラブ活動）中

大学の規則にのっとった所定の手続きにより、大学の認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動又は体育活動を行っている間。ただし、山岳登山やハンググライダーなどの危険なスポーツを行っている間、大学が禁じた時間もしくは場所にいる間又は大学が禁じた行為を行っている間を除きます。



さらに

特約として通学中・学校施設等相互間の移動中での事故も担保します。

1 通学中

大学の授業等、学校行事又は課外活動（クラブ活動）への参加の目的をもって、合理的な経路及び方法（大学が禁じた方法を除きます。）により、住居と学校施設等（敷地に入るまで）との間を往復する間。



2 学校施設等相互間の移動中

大学の授業等、学校行事又は課外活動（クラブ活動）への参加の目的をもって、合理的な経路及び方法（大学が禁じた方法を除きます。）により、学校施設等相互間を移動している間。



■以下の事由により生じたケガは、保険金が支払われません。

保険契約者・被保険者（保険の対象となる方）・保険金受取人の故意又は重大な過失、被保険者の自殺行為・犯罪行為・闘争行為、無免許運転・酒気帯び運転・麻薬等の影響により正常な運転ができないおそれがある状態で自動車等の運転中に生じた事故、脳疾患・疾病・心神喪失、妊娠・出産・早産または流産、外科的手術などの医療処置（保険金が支払われるケガを治療する場合を除きます。）、地震・噴火又はこれらによる津波（被保険者がこれらの自然事象の観測活動に従事している間を除きます。）、戦争・内乱・暴動、核燃料物質の有害な特性などによる事故（被保険者が核燃料物質、核燃料物質によって汚染された物、又はこれらを使用する装置を用いて行う研究・実験活動に従事している間を除きます。）、放射線照射・放射能汚染（被保険者が放射線又は放射能の発生装置を用いて行う研究・実験活動に従事している間を除きます。）、むちうち症、腰痛などで医学的他覚所見のないもの、学校施設外の課外活動として行う山岳登山（ピッケル等の登山用具を使用するもの）・リュージュ・ボブスレー・スカイダイビング・ハンググライダー搭乗等の危険な運動中の事故、学校施設外の課外活動として行う自動車等の乗用具による競技・試運転・競技場でのフリー走行、被保険者に対する刑の執行 等
なお、飲酒による急性アルコール中毒症や時間の経過により重大化した傷害など「急激かつ偶然な外来」の条件を充足しない事故も対象となりません。

毎年4月のガイダンスで、入学者に「加入者のしおり（保険約款）」を配布しています。

2 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）

本学は教育研究活動中に他人の財物を損壊したことによる被る法律上の損害賠償を補償するために、全学生がこの保険（Aコース）に加入しています。事故などの場合には速やかに学生支援室まで連絡し、手続を進めてください。

詳しくは学生支援室または財団法人国際教育支援協会ホームページ（<http://www.jees.or.jp/>）にて確認してください。

(1) 保険期間

4月入学扱い 入学年次の4月1日午前0時～4年後の3月31日午後12時まで
 （ただし、過年度生、編入生、科目等履修生はその在学期間とします。）

学研災付帯賠償責任保険については、原則として入学時に予定修学年数を一括加入することとしており、その場合の保険終期は、所定の卒業年次の3月31日となります。

(2) 概要

日本国内外において学生（被保険者）が正課中、学校行事中、課外活動中又はその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金をお支払いします。

対象となる活動範囲

- 次に掲げるア、イ、の事由により日本国内外において保険期間中に他人の身体に障害（障害に起因する死亡を含みます。以下同様です。）を負わせ、又は他人の財物を損壊（滅失、破損もしくは汚損）させたことに起因して被保険者が法律上の損害賠償責任を負った場合。
 - 「日本国内外での正課中、学校行事中、課外活動中及びその往復」活動（以下「活動」といいます。）の遂行に起因して、活動中に発生した事故（施設賠償責任保険）
 - 活動の結果としてその活動の終了後に発生した事故、及び、被保険者の占有を離れた財物（飲食物及び正課、学校行事又は課外活動の成果物（薬剤を含みます。））に起因する事故（生産物賠償責任保険）
- 「日本国内外での正課中、学校行事中、課外活動中及びその往復」活動中に被保険者が使用又は管理する他人の財物（以下「受託物」といいます。）を滅失、破損、汚損もしくは紛失し、または盗取もしくは詐取されたことにより、受託物に対し正当な権利を有する者に対し被保険者が法律上の損害賠償責任を負った場合（受託者賠償責任保険）。

例えば次のようなケースが対象となります。



正課で化学の実験中、間違っ
て薬品を混ぜ、爆発事故を起
こしてしまい、クラスメイト
に火傷を負わせてしまった。



学園祭で、焼鳥屋の模擬店を
出店したが食中毒事故を出し
てしまい、5人が入院してし
まった。



正課でのインターシップ活動
中、派遣先の機械を誤って壊し
てしまった。（注）コンピュータ
内のデータ、プログラム等は付
帯賠償の対象とはなりません。



授業を受けるために自宅から
大学へ行く途中、駅の階段を
駆け下りたとき、誤って前に
いた老人にぶつかってしま
い、大ケガをさせてしまった。

毎年4月のガイダンスで、入学者に「加入者のしおり（保険約款）」を配布しています。

③ スポーツ団体傷害保険

本学では、スポーツ系団体の課外活動中の不慮の災害事故に対してスポーツ団体傷害保険制度を運用しています。万一のときは速やかに学生支援室まで連絡し、手続を進めてください。

(1) 保険金が支払われる場合

被保険者がスポーツ系の大学公認サークルで行う運動競技（練習中を含む）中に「急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合」に支払いの対象となります。

(2) 保険金の種類および保険金額

- ① **死亡保険金** 事故の日から180日以内にケガのため死亡したとき、契約金額（死亡、後遺傷害保険金額100万円）の金額を支払う。
- ② **後遺傷害保険金** 事故の日から180日以内にケガがもとで後遺傷害が生じたとき、その程度に応じて契約金額（死亡、後遺傷害保険金額最高100万円）の3%~100%を支払う。
- ③ **入院保険金** 180日以内に事故による傷害がもとで入院した場合、180日を限度として1日につき、1,500円を支払う。
- ④ **通院保険金** 180日以内に事故による傷害がもとで、医師の治療を受けた場合、90日を限度として通院日数に対し1日1,000円を支払う。

(3) 保険金が支払われない場合

- ① 故意による傷害
- ② 自殺や犯罪行為による傷害
- ③ 脳疾患、疾病、心身喪失、外科的手術等の医療処置（傷害によるものは除く）
- ④ 地震、噴火、津波による傷害
- ⑤ 体育会の管理下でないときの傷害
- ⑥ 競技、練習中以外の傷害など
- ⑦ 戦争、反乱、暴動

(4) 保険料と保険期間

保険期間 1年間保険料2,450円または1,240円

（令和2年度実績、保険料はスポーツの種類によって異なります。）

(5) 保険契約者等

- ① **保険契約者** 敬愛大学学長
- ② **大学の役割** 保険会社との仲立ちをし、加入者名簿、保険料の送付や保険金請求の際の事故証明書等の作成を行います。

4 学生総合補償制度

本学では、学生本人の学生生活のみならず日常生活を送るうえで直面する様々な危険を総合的に補償する学生総合補償制度の加入をお勧めしております。加入は任意ですが、本学では三井住友海上火災保険の商品を紹介しております。

詳しくは(株)敬愛サービス（電話：043-306-8964）まで問い合わせてください。

例えばこのようなときお役に立ちます。

学生生活のみならず日常生活を送るうえで直面する様々な危険を総合的に保障する制度です。
卒業予定時までの長期契約ですので一度のお手続で卒業まで安心です。

学資費用補償・育英費用補償〈国内外補償〉

入学後、ある日突然、学費を負担してくれた父親が交通事故で亡くなってしまった。

学資費用保険金
実際に負担した費用の実費をお支払い
育英費用保険金
一時金でのお支払い

傷害補償〈国内外補償〉

友人と行った海外旅行で交通事故に遭い20日間入院。
帰国してからも10日間通院した。

入院保険金・通院保険金

賠償責任補償〈国内外補償〉

誤って他人にぶつかり、大ケガを負わせ損害賠償を請求されることになってしまった。

アルバイト・インターンシップ中や
受託品の破損等の事故も補償

賠償責任保険金

借家人賠償責任補償〈国内のみ補償〉（自宅外通学生のみ）

台所の火の不始末で下宿先で火事を起こしてしまった。自分にケガはなかったが、家主より損害賠償を請求されてしまった。

借家人賠償責任保険金

生活用動産補償〈国内のみ補償〉（自宅外通学生のみ）

下宿先で、不注意により家具を壊してしまった。

生活用動産保険金

天災危険補償〈国内外補償〉

地震によってビルの窓ガラスが割れ、ケガを負ってしまった。
(天災危険補償特約がセットされています。)

※プランによって補償内容が相違します。詳細はパンフレットをご覧ください。

5 自転車・バイク・自動車等の保険

本学では学生本人の学生生活のみならず日常生活を送るうえで直面する様々な危険に備えるために、自転車・バイク・自動車等の保険の加入をお勧めしております。特に自転車については、千葉県条例において令和3年4月1日より自転車保険等への加入が義務化されました。千葉市内在住の学生はもとより近隣の市から自転車通学する学生も対象となります。最近、自転車運転中に起こした事故により、高額な医療費や損害賠償が求められるケースが急増しています。本学では三井住友海上火災保険の商品を紹介しております。

詳しくは(株)敬愛サービス（電話：043-306-8964）まで問い合わせてください。

6 通学定期乗車券と学割

1 通学定期乗車券

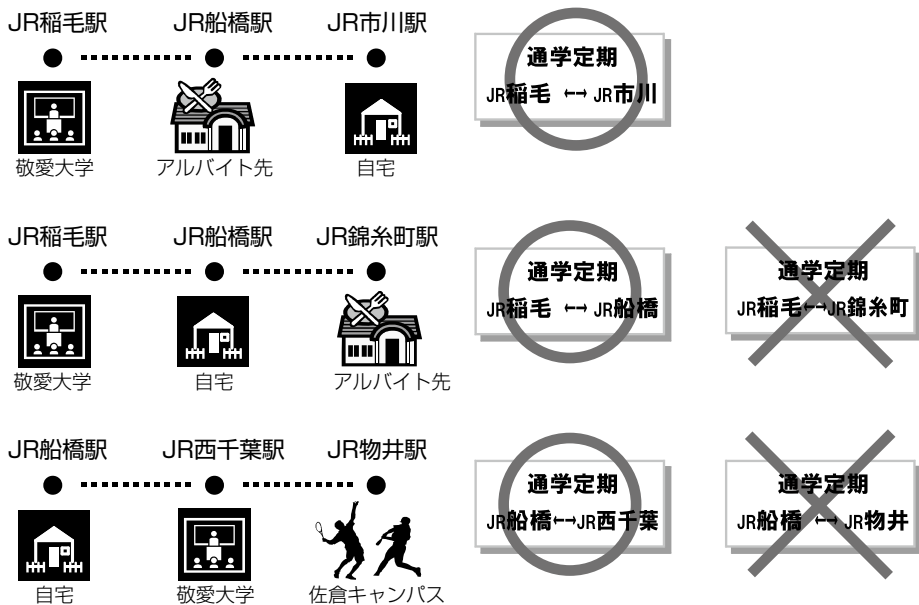
- ① 主な鉄道を利用する場合には、学生証を添えて駅窓口申し込んでください。なおバスなど一部の交通機関では、別途「通学証明書」が必要となる場合があります。事前に交通機関に確認してください。
- ② 通学区間は現住所（住民票または在留カードに記載の住所）最寄駅～大学最寄駅の最短距離でのみ購入することができます。**アルバイトなどの目的でこれ以外の区間の通学定期券を購入するのは違法（犯罪）です。**このような場合、JRその他の通学定期券を利用する全学生の学割が停止されることもあります。

【大学最寄駅】

JR線：稲毛駅または西千葉駅

京成線：みどり台駅

千葉都市モノレール：天台駅または穴川駅



* インターンシップや教育実習等で「実習用通学定期券」を購入する場合は、使用開始の30日前までに学生支援室に申し込んでください。

- ③ 通学以外の目的や通学区間を変更して購入すること、および学生証の現住所が間違っている場合には不正使用となり、相当額の追徴金を徴収され、場合によっては定期券の発行を停止されることがあるので不正に使用してはいけません。**不正使用が発覚した場合、学内の規程により処分されます。**
- ④ 学生証の「裏面シール」の現住所・通学区間が一杯になったり変更となった場合には、速やかに学生支援室で「裏面シール」の再交付を受けてください。
- ⑤ 学長印のない裏面シールでは、通学定期券は購入できません。

2 学生旅客運賃割引証（学割証）

次の場合、学割証を提示すると割引で鉄道の乗車券を購入することができます。

- ① 旅客鉄道株式会社（JR各社）の営業キロで100キロメートルを超える区間を乗車する際に運賃が割引になる制度です。
- ② 割引率は2割です。
学割証は1号館1階の証明書自動発行機（13ページ）から、必要枚数を取り出すことができます。

7 日常の学生生活を送るにあたって

1 現住所、本籍・氏名等の変更

- ① 現住所や電話番号（本人および保証人等）を変更したときは、速やかに学生証および根拠書類を添えて学生支援室に届け出てください。
- ② 本籍地や氏名等を変更したときは、住民票や在留カード等公的機関の発行する資料を添えて学生支援室に届け出てください。

2 保証人、副保証人の変更

保証人および副保証人の変更の場合は、学生支援室に届け出てください。

3 教室借用、その他の施設借用

教室等を借用する場合は1週間前までに学生支援室に願い出てください。

- ① 借用時間は午前9時から午後9時までです。
- ② 教室内の机、椅子等を移動する場合もその許可を要します。

4 学内掲示、印刷物の配布

ポスター等の掲示物は責任者を明記し、学生支援室で許可を受けてから掲示してください。（所定の掲示板を使用）。パンフレットやチラシ等の印刷物は原稿、原物等を提出し許可を受けたうえで配布してください。

5 呼び出し・連絡・照会について

電話等による学生呼び出しの依頼には、緊急の場合を除き、原則として応じません。

なお特別な事由のある場合は、掲示によって学生本人を呼び出すことがありますので、日常的に所定の掲示板をよく見ておくことが大切です。

6 遺失物・拾得物・盗難

所持品（特に現金や貴重品）は、必ず自分が責任をもって所持しておいてください。

また学内での忘れ物・落し物をした場合、拾い物をした場合、盗難にあった場合には学生支援室に届け出てください。

遺失物・拾得物は学生支援室窓口で保管しておりますので、心当たりがある場合は、学生証・印鑑を持参のうえ申し出てください。

なお法定保管期間を過ぎた時は、遺失物法により処分します。

最近の遺失物・拾得物には名前が書かれていない場合が多いので、自分の持ち物に名前を付ける習慣をつけ、物を大切にすることを養ってください。

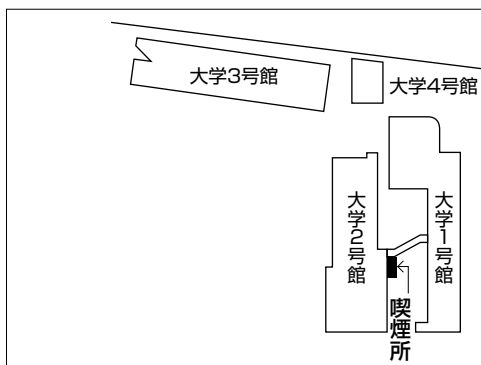
7 禁煙について

敬愛大学では、健康増進法第25条（受動喫煙の防止）および千葉敬愛学園禁煙推進基本理念に基づき、キャンパス内での喫煙を禁止しています。

敬愛大学キャンパス内で喫煙が可能な場所は、以下に記載している喫煙所のみです。

指定された喫煙所以外での喫煙、歩きタバコは健康被害を他者に及ぼし大変迷惑ですので絶対にやらないでください。喫煙所以外での喫煙者に対しては、学則による処分を行う場合があります。

また当然ですが、未成年者喫煙防止法により、喫煙所での未成年者の喫煙、立入りを禁じます。



※喫煙所は建物の中からは入れません。

8 キャンパスへの車両乗り入れ



自転車
登録制



50cc以下のバイク
登録制



51cc以上のバイク
利用禁止



自動車
利用禁止

- ① 自転車……学生証を持参して、学生支援室で登録してください。
- ② バイク……学生証、自賠責保険証を持参して、学生支援室で登録してください。
ただしバイクは50cc以下のものに限ります。
- ③ 自動車……通学時・課外活動時など、いかなる理由でも利用してはいけません。

本学はJR、京成、千葉都市モノレールの各駅から近く、徒歩で通える範囲にあります。通学には、なるべく電車やバス等の公共交通機関を利用してください。

また駐輪場はマナーを守り、整頓して駐車しましょう。

- 大学周辺の違法駐車により、近隣住民に迷惑をかけるだけでなく周辺の通行を妨げる学生が見受けられます。自動車通学は厳に慎んでください。なお本学周辺は「違法駐車重点取り締め地域」に指定されています。
- 盗難に備えて、大学内に駐輪するときは、防犯登録とチェーンロックなどでツーロック（二重施錠）を心がけましょう。
- 最近、自転車運転中に起こした事故により、高額な医療費や損害賠償が求められるケースが急増しています。自転車も自動車やバイクと同じ「車輛」ですから、運転中は高い交通安全意識が求められます。いざという時に備えて、「学生総合補償制度」や「自転車・バイク保険」（29ページ）への加入をお勧めします。特に自転車については、千葉市条例において令和3年4月1日より自転車保険等への加入が義務化されました。千葉市内在住の学生はもとより近隣の市から自転車通学する学生も対象となります。

知 っ 得 情 報

金銭トラブルにまきこまれないようにしよう！

『簡単に儲かる良い話がある』、『あなただけ特別！』、『チャンスは今だけ』などと気を引く言葉で勧誘を受けたことはありませんか。また、『仮想通貨』などによるマルチ商法の被害に遭われたことはありませんか。

このような契約上、金銭上のトラブル等にまきこまれないためにも、みなさんは甘い誘いにのらず安易な契約をしないよう十分に注意してください。また、本学では学則や学生心得で示しているとおり、社会通念上好ましくない行為や大学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者は断じて認められませんので、十分に注意してください。

困ったときは、千葉県消費者センターまたは市区町村消費生活相談窓口、学生支援室（1号館1階）へ。

千葉県消費者センター TEL 047-434-0999

9 交通機関の運休等に伴う授業の取り扱い

暴風雨、交通ストライキ等により交通機関が運休した場合の授業の取り扱いは、次の通りとします。

(1) 判断基準とする交通機関および区間

JR総武線	(秋葉原駅～千葉駅)
JR総武快速線	(東京駅～千葉駅)
JR総武本線	(成東駅～千葉駅)
JR成田線	(成田駅～千葉駅)
JR外房線	(茂原駅～千葉駅)
JR内房線	(君津駅～千葉駅)
京成線	(県内全線)
新京成線	(県内全線)

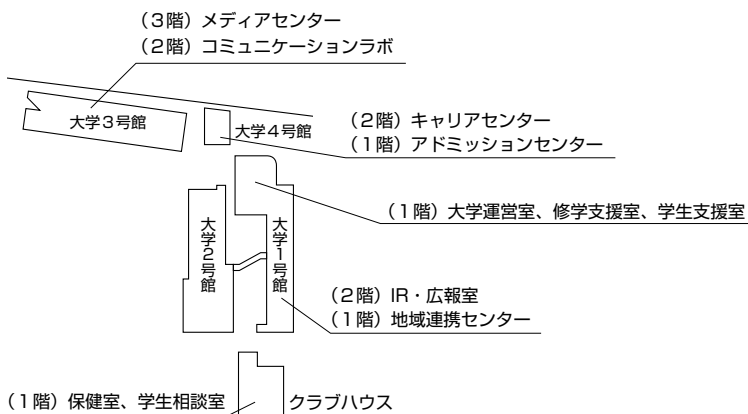
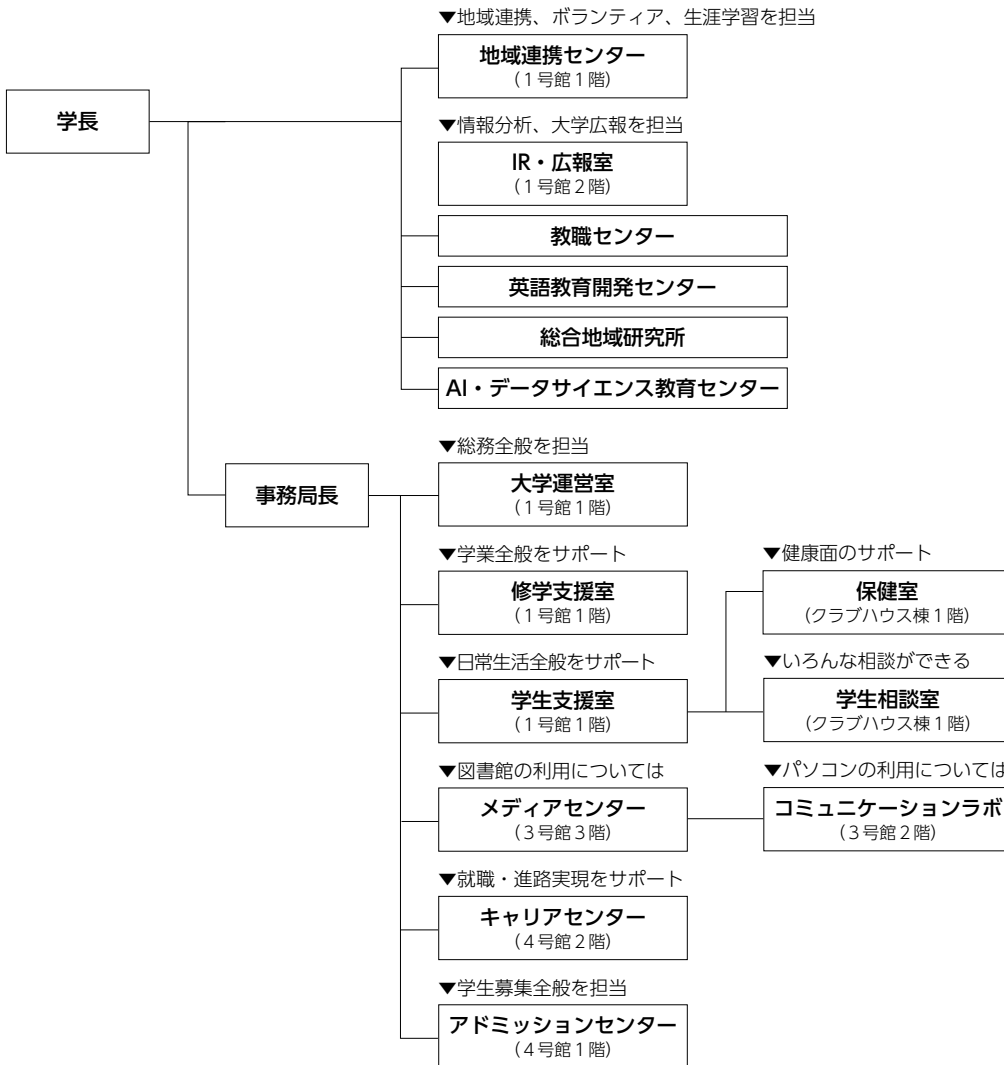
(2) 授業の措置

- ① 午前6時現在、上記の交通機関のうち2路線以上が運休している場合は、午前中の授業を休講とする。
- ② 午前6時すぎから午前10時までの間に運休していた交通機関が運転を再開した場合は、3限目より授業を行う。
- ③ 午前10時をすぎても上記交通機関のうち2路線以上が運休している場合は、終日休講とする。
- ④ 午前6時現在、全ての交通機関が運転をしても、台風の状況等により明らかに荒天する場合は、学長の判断により休講することができる。

10 諸注意

- ① 学生の完全下校時刻は、午後9時です。
- ② 休日・休業中の来校にあたっては、事前に学生支援室に届け出をしてください。
- ③ 学内外で事故・災害等にあった場合は、遅滞なく学生支援室に連絡してください。
- ④ 過失によって本学の施設、設備、備品等を破損した場合は、速やかに学生支援室に届け出てください。なお事情によっては弁償してもらう場合があります。

3 大学の事務組織



I
学生生活のびき

2 快適な学生生活のために

知 っ 得 情 報

資格取得者に対する褒賞制度

敬愛大学

大学在学中に、「教育後援会」が認める下記の資格、検定に合格した場合、3,000円分の金券を受験料の一部として贈呈します。

(ただし学生一人につき、年間2つまで)

- ・ MOS (Word、Excel、PowerPoint、Access)
- ・ 宅地建物取引士
- ・ 秘書技能検定 (2級以上)
- ・ FP技能検定 (3級以上) ※日本FP協会、金融財政事情研究会のいずれも可
- ・ ビジネス実務法務検定 (3級以上)
- ・ 日本語能力試験 N1
- ・ その他、教育後援会長が認める資格、検定
- ・ 行政書士
- ・ 日商簿記検定 (2級以上)
- ・ ITパスポート

知 っ 得 情 報

20歳になったら、国民年金。

国民年金制度では、20歳から60歳までの40年間加入することにより、65歳から満額の老齢基礎年金が受けられる仕組みになっています。

なお、学生については、これまで加入が任意とされていたため、加入していない場合、次のような問題が生じてきます。

- ① 在学中にけがや病気、交通事故などで障害が生じても、障害基礎年金が受けられない。
- ② 満額の老齢基礎年金が受けられない。

そこで、平成3年4月から、学生も20歳になったら、国民年金に必ず加入するように法律が改正されました。

しかし、一般的に学生は収入がありませんので、学生本人の所得が一定の基準以下である場合は、申請により保険料の納が猶予されます。

加入手続きや、保険料の猶予申請は、住民登録をしている市区町村役場の国民年金担当窓口で行っていますのでお問い合わせください。

なお届出はご父母の方が代理ですることもできます。まだ、届出をされていない20歳以上の学生は、すぐ手続きを行ってください。

9 ハラスメントの防止と相談

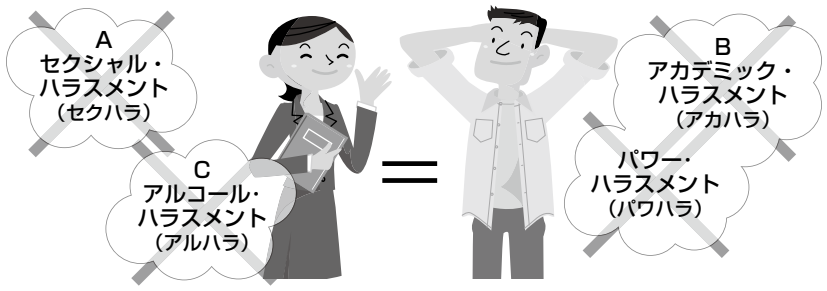
敬愛大学はハラスメントを許しません！

■ハラスメントとは

ハラスメントとは「嫌がらせ」のことです。つまり誰かがあなたに対して、あなたが望まない言葉や態度により精神的苦痛や不快感を与える行為をいいます。学内においては、学生間ではもちろん教職員から学生に対しても含まれます。

その言動を受け手がどう受け取ったかがポイントです。「そんなつもりではなかった」は通用しません。意図的な行為であったかどうかに関係なく、受け手が不快に感じ、それにより適切な修学や就業が妨げられれば、それはハラスメント行為であり、恥ずべき人権侵害行為だと認識しなければなりません。

学生に関する主なハラスメント



A：セクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ）の例

性的言動	<ul style="list-style-type: none"> ●交際や性的関係を強要する ●必要なくむやみに身体に触れる ●異性関係についてしつこく聞く ●つきまとう（電話・メール等を含む） ●個人の性的な噂を流す
環境型セクハラ	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコン画面等に性的な画像を表示する ●講義内容に直接関係のない卑猥な話をしたり、学生に性的な事柄を質問したりする ●周囲に異性がいるにも関わらず性的な冗談を話す
対価型セクハラ	<ul style="list-style-type: none"> ●成績や進路幹旋などをほのめかし、交際や性的要求に従うことを強要する ●性的要求等を拒んだ人に対し、指導や助言しないなど不利益や精神的苦痛を与える
ジェンダーセクハラ	<ul style="list-style-type: none"> ●「掃除・お茶くみ・お酌は女性の役割」だと女性に求める ●「女のくせに気配りがない」「男のくせに根性がない」と言って非難する ●「女は能力が劣るくせに」「女はトラブルを作るから厄介だ」と女性の参加を拒む ●「男だったら裸踊りくらいできなくてどうする」と強要する

B：アカデミック・ハラスメント（アカハラ）、パワー・ハラスメント（パウハラ）とその例

教職員や職場において優越的な地位にある者が、その指導・監督を受ける者に対して立場の優位性を背景に行う嫌がらせ行為。一般的には学内においてはアカハラ、社会全般ではパウハラと呼ばれます。

アカハラの例	<ul style="list-style-type: none">●多数の前で特定の学生を叱責・批判●深夜休日に学生を呼んで指導を強要●合理的な理由なく講義への参加を拒んだり、提出物などを受理しなかったりする●学生のプライバシーを暴露する●退学・留年勧奨、指導拒否
パウハラの例	<ul style="list-style-type: none">●アルバイト先での残業強要、給与不当未払い、不当解雇など●就職活動での不合理な呼び出し、不要不急の呼び出し、内定取消のちらつかせ など

C：アルコール・ハラスメント（アルハラ）とその例

飲み会などの席で、仲間や先輩が無理矢理アルコール飲料を飲ませる嫌がらせ行為。

アルハラの例	<ul style="list-style-type: none">●飲酒の強要●「イッキ飲み」の強要●意図的な酔いつぶし●飲酒できない人への配慮を欠く行為●酔った上での迷惑行為
--------	---

ハラスメント被害に遭ったと感じたら

- いやだと思ったら、相手にはっきりとNOの意思表示をする勇気を持ちましょう。
- 信頼できる先生や友人、相談窓口などに相談し、一人で抱え込まないようにしましょう。
- 被害の記録をとりましょう。（いつ、どこで、誰から、どんなことがあったのかなど）
- 身の危険を感じるときは、警察に連絡しましょう。

相談したいときは

学内にハラスメント相談員を複数置いています。どの相談員にも相談できます。

相談員は相談者のプライバシーを守り、あなたの同意なく知り得た情報を他者にもらすことは決してありません。

ハラスメントに関する相談員は、下記のとおりです。（ ）は研究室。

- 和田 良子先生（2号館4階）
- 村上 翔一先生（2号館4階）
- 廻 洋子先生（3号館6階）
- 伊坂 淳一先生（3号館7階）
- 中村 久美室員（学生支援室）

10 地域連携センターの利用

本学は、ボランティア活動や地域連携・社会貢献活動を奨励するため、「地域連携センター」を設けています。



地域連携センターの
Twitterはコチラ

1 ボランティア活動

ボランティア活動には様々なものがありますが、自分の持つ技能や時間、なにより「自発的に他人や社会に貢献しようとする心」が大切で、代価を求めて行うものではありません。

ボランティア活動をするためには自ら活動先を探すことも大切ですが、地域連携センターでは本学に届く多くの情報の中から特に学生に有益と思われる活動を、掲示板やメール配信等を通じて紹介しています。

(1) 教育支援 ボランティア	「教育の敬愛」の強みを活かし、主に小中学校における授業補助や行事補助、補習支援等の活動があります。市区町村の教育委員会単位のほか、個々の学校等で募集しているものもあります。(修学支援室が担当します。)
(2) 地域活性化 ボランティア	町内自治会の行事(盆踊り大会、餅つき大会等)や地元稲毛を盛り上げるイベント等の様々な行事に学生が積極的に参加し、近隣住民の方々から学ばせていただいています。
(3) 災害復興支援 ボランティア	大地震や台風などの災害により被災した地域を支援するボランティアで、体力を使う者から被災された方の心に寄り添うもの、産業復興を応援するもの等、様々な活動があります。
(4) 大学横断型 ボランティア	大学の垣根を越えて大学生が集まり、千葉市ごみ減量ボランティアグループ「ちばくりん」や市道緑化活動等に取り組んでいます。
(5) 大学内 ボランティア	本学学生を対象としたボランティア活動で、キャリアセンターやメディアセンター等によって行われています。



ボランティア保険

ボランティア活動中の怪我や損害賠償責任を補償するものです。基本タイプと天災タイプがありますが、上記(3)に該当する活動に参加する場合は、天災タイプへの加入が必要です。加入手続は市区町村の社会福祉協議会で行います。詳しくは地域連携センターに問い合わせてください。

2 街づくり支援、地域貢献

地域連携センターは、学生・教職員と稲毛の街や千葉市を繋ぎ、行政や商店街、町内自治会、イベントの実行委員会等と協力して様々な取り組みを行っています。

(1) 稲毛の街を盛りあげ隊	敬愛大学のある稲毛の街を盛り上げるのも、敬愛大学の大きな使命の一つです。7月のせんげん通りまつり、11月のあかり祭「夜灯」は、特に敬愛大学生の腕の見せどころ。また各町内会の夏祭りや盆踊り、餅つき大会等にも学生たちが駆けつけ、様々な学びを得ています。
(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、千葉県、千葉市の担当課等と連携し、東京2020オリンピック・パラリンピックの成功に向けた事業も担当しています。



3 生涯学習センター (KeLL)

「学ぶ」の語源は「真似（まね）ぶ」と言われています。様々な知識や経験、教養や技術を持つ方の真似をしながら、自分自身を高めていくということでしょう。私たちには、学校の成績評価に縛られることなく学び続けることが求められています。地域連携センターでは生涯学習センター（KeLL）をJR稲毛駅前に開設し、『人生100年時代の「学び直しの間」「生きがいの場」「集いの場』』として沢山の講座を開設しています。

なお敬愛大学の学生が受講する場合は、全ての講座を1,500円で受講することができます。授業の空き時間や前後にぜひ活用してください。



敬愛大学生涯学習センター



0120-077420
(携帯電話、スマホからもOK!)

場所 千葉市稲毛区小仲台2-3-12 こみなと稲毛ビル3階 (JR稲毛駅東口徒歩1分)

ホームページ <https://lifelong.u-keiai.ac.jp/>

3

奨学金・経済支援

詳しくは別冊子「奨学ガイド」を参照してください。(学生支援室に用意してあります。)

1 奨学金制度

1 高等教育の修学支援新制度【授業料の減免および給付奨学金の支給】

この制度は、「授業料減免」および「給付奨学金」2つの支援を同時に受けることができます。申請を希望する学生は、マイナンバーによる家計(所得・資産)に係る基準や学業等に係る基準、およびその他の要件を満たしていることが必要です。原則、毎年春および秋に大学を通じて奨学生の募集を行います。

(1) 支援区分(第Ⅰ～Ⅲ区分)による授業料減免額および給付支援額について

世帯の所得金額(マイナンバーによる日本学生支援機構の調査)に基づき支援区分が定められます。また、支援区分は、前年の所得金額等に基づき、毎年10月に見直され、いずれの支援区分にも該当しない場合は、支援対象外となり、10月以降の給付奨学金の支給が止まります。次年度の見直しの際に再度いずれかの支援区分に該当した場合、給付奨学金の振込みが再開されます。なお、国の実施する授業料等減免の支援区分は、給付奨学金と同じものになります。

(2) 貸与奨学金(第一種・第二種)を同時に受けた場合について

「高等教育の修学支援新制度」と併せて「貸与奨学金」を申請することができます。ただし、第一種奨学金の貸与を受けている人は、支援区分によって貸与月額が減額または増額となりますので注意してください。

※第Ⅰ・第Ⅱ区分に採用された場合、第一種貸与月額は休止(0円)となります。なお、支援対象外となっている期間は第一種奨学金貸与月額の休止が解除され、第一種奨学金申込時に希望した貸与月額が振り込まれます。

(3) 採用後の提出(入力)、手続きについて

「高等教育の修学支援新制度」に採用された後も、奨学生は以下の提出(入力)や手続きが求められます。大学(学生支援室)からの指示に従い、説明会の出席やインターネットを通じての提出(入力)を必ず行ってください。

▶ 在籍報告……対象:全学年 毎年3回(4月・7月・10月)

大学に在籍していること及び通学形態を日本学生支援機構へ報告する必要があります。

▶ 支援区分の見直し(適格認定・家計)……対象:全学年 毎年1回(10月)

▶ 継続願(適格認定・学業)……対象:1～3年生 毎年1回(12月～1月)

「高等教育の修学支援制度」について、来年度も継続希望するかどうかを日本学生支援機構に提出(入力)する必要があります。

文部科学省「高等教育の修学支援制度」ホームページ
<https://www.mext.go.jp/kyufu/student/daigaku.html>



日本学生支援機構ホームページ「奨学金の制度（給付型）」
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>



2 日本学生支援機構奨学金【貸与】

日本学生支援機構（JASSO）貸与奨学金は、大学・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）及び大学院で学ぶ人を対象とした国が実施する奨学金です。申請を希望する学生は、家庭の経済状況や人生・生活設計に基づき、奨学金の貸与を受ける必要性、返還時の負担などを十分に考慮し、学資として必要となる適切な金額を選んで申し込んでください。

(1) 貸与奨学金の種類

- ① 第一種奨学金（利息なし）
- ② 第二種奨学金（利息あり・年3%を上限としています）
- ③ 併用貸与（第一種奨学金／第二種奨学金）

※貸与奨学金は、高等教育の修学支援新制度と併せて受けることもできます。

(2) 貸与額

	第一種奨学金		第二種奨学金	
	自宅通学者	自宅外通学者		
最高月額	54,000円	64,000円	20,000円 30,000円	80,000円 90,000円
最高月額以外の月額		50,000円	40,000円	100,000円
	40,000円	40,000円	50,000円	110,000円
	30,000円	30,000円	60,000円	120,000円
	20,000円	20,000円	70,000円	※1万円単位で選択

※最高月額は、併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます。

(3) 採用後の提出（入力）、手続きについて

奨学生として採用された後も以下の提出（入力）や手続きが求められます。大学（学生支援室）からの指示に従い、説明会の出席やインターネットを通じての提出（入力）を必ず行ってください。

➤ 継続願（適格認定） ……対象：1～3年生 毎年1回（12月～1月）

来年度も継続を希望するかどうかを、日本学生支援機構に提出する必要があります。適格認定では「人物」「学業」「経済状況」の要素に基づき審査が行われます。

➤ 返還について【口座振替加入申込書（リレー口座）】

卒業6か月経過後から口座振替により月賦返還を行います。貸与終了時に配られる「返還のてびき」に挟んである「口座振替（リレー口座）加入申込書」を金融機関の窓口へ提出してください。

3 その他、共通事項【高等教育の修学支援新制度・貸与奨学金】

- ▶ スカラネット・パーソナルの登録：奨学生は、必ず登録を行ってください。
- ▶ 異動の手続き：事由ごとに所定の用紙がありますので必ず学生支援室へ申し出てください。

改氏名、住所変更、連帯保証人・保証人・本人以外の連絡先の変更、奨学金の辞退、退学/除籍など

2 教育ローン制度

1 教育ローン利子補給

この制度は、「当該年度の納付金を一括納入する」入学予定者及び在学生の保証人に対して、銀行と証書貸付による教育ローン契約をしていただき、契約額（当該年度の学納金を上限とします）の利息（上限3%相当額）を支援するものです。（利息が自己負担率3%未満の場合は、自己負担率分までの利息とします。）

- (1) 申し込み この制度を利用して教育ローンを締結する場合は、事前に学生支援室までお申し出ください。ご連絡を頂ければ申込用紙など詳しい資料をお渡しします。なお指定銀行等はありませんので、大学から承認を得て事前に申し出た銀行（支店・窓口）で契約事務を進めてください。
- (2) 支給 年1回まとめて支払います。年度分（3月31日）時点の利息をまとめ、翌年度（4月10日）までに申請することにより、5月末頃に利子補給します。

※詳細は学生支援室に相談してください。また教育ローン契約についての問い合わせは、各金融機関にお願いします。

2 国の教育ローン

日本政策金融公庫の教育ローンです。低金利で350万円までの入学時・在学中にかかる費用の融資が受けられます。詳細は直接、教育ローンコールセンター（電話 0570-008656）に問い合わせてください。

※この教育ローンは、利子補給制度の対象とはなっていません。

3 提携教育ローン

㈱オリエン트コーポレーションの学費サポートプランです。この制度は原則保証人無し、審査最短1日で利用できます。来店もする必要がなくWeb上で申込が完結する簡単な手続きです。スピーディーなWeb申込は、下記ホームページから利用することができます。

<http://orico.jp/gakusapo>

学校コード 在学生 経済学部 14413017・国際学部 14413033

（入学予定者用の学校コードは、学生支援室に問い合わせてください。）

申込コード 両学部共通 5128

詳細は直接、サポートデスク（電話 0120-517-325）にお問い合わせください。

※この教育ローンは、利子補給制度の対象とはなっていません。

3 その他の制度

1 経済的に修学困難な学生に対する経済援助

この制度は、「経済的に修学困難な学生に対する経済援助に関する規程」に基づき、奨学金等を申請したにも関わらず修学困難な学生の授業料（半額または25%の金額）及び入学金の一部を、成績等を考慮しながら選考のうえ減額しています。

選考は家庭事情や成績などを主として行っています。

この制度該当者の一例として、学費負担者（原則父母）が

- ① 生活保護法における被保護者及び要保護者
- ② 直近（1年以内）の災害により、学費負担者の住所が減失または棄損
- ③ 在学中または入学直前に学費負担者の死亡または受傷病

等を対象者としています。

在学生の申込みは年1回例年5月下旬に受付をしています。詳細は、学生支援室までお問い合わせください。

4

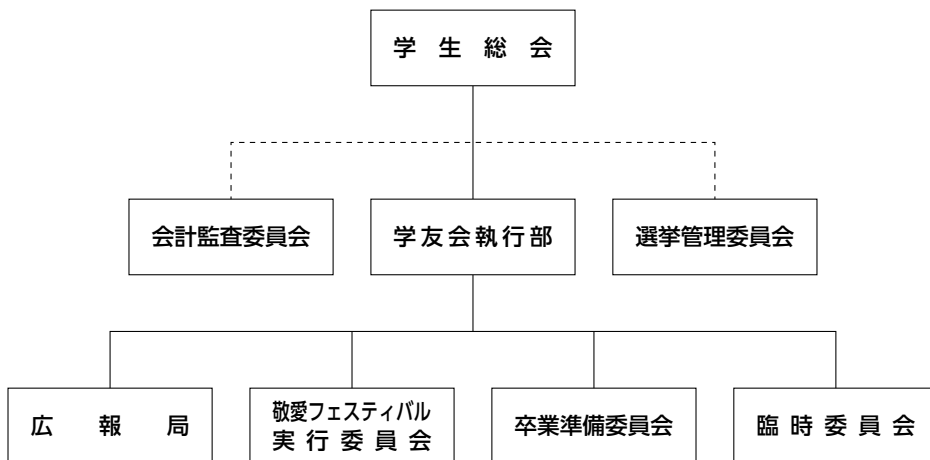
課外活動

1 学友会・サークル活動

大学は、教育・研究という「学問の府」として存在するばかりではありません。学生が主体となって運営する自治的な活動、自主的な研究会活動、正課外活動としてのクラブ活動、社会的なボランティア活動等に積極的に参加しましょう。

1 学友会

学友会は、本学学生全員が会員となって運営されている自治組織です。学友会は、学生の社会性の育成とキャンパス・ライフの活性化のために必要な組織ですが、会員である学生諸君の正しい認識と積極的な協力によってはじめて全員の意思が反映されるので、その自覚をもって活動されることを望みます。



2 クラブハウス

学生諸君の学友会・クラブ活動をはじめとする課外活動全般の活性化を援助するためにクラブハウスが設置されています。

クラブハウス内には、学友会執行部室をはじめ19の部室があります。(P. 46を参照してください。)なおクラブハウスは大学と学友会によって運営されています。

3 大学公認サークル

現在活動している公認団体は次のとおりです。なお部室の場所は46ページを参照してください。



バレーボール部
(関東大学リーグ女子2部)



野球部
(千葉県大学リーグ1部)



少林寺拳法部

【体育系サークル】

硬式テニス部
バスケットボール部
フットサル部
ふれあいスポーツ部
サッカー部
バドミントンサークル
バレーボールサークル
バドミントンサークル
軟式野球サークル
ニュースポーツサークル
テニスサークルTOPPO
ダンスサークル KDC

【文化系サークル】

音楽部
軽音楽部
演劇サークル
カードサークル
教育ボランティアサークル Iris
授業研究サークル HOPE
美術サークル Canvas
卓上ゲームサークル
旅サークル トラベラーズ
ボランティアサークル Love and Action
ボランティアサークル ちばくりん敬愛支部
キャリアゼミ
放課後こども教室
English × Session

サークルの新設の申請・相談は、学生支援室（1号館1階）で受けつけています。
希望する学生は、積極的に担当者に相談してください。

2 特別指導組織

学生会傘下のサークルとは別に、教員が直接指導・支援する団体です。卒業後の希望進路に応じてより専門的な指導を受けることができます。現在活動している団体は以下のとおりです。詳しくは修学支援室（1号館1階）まで問い合わせてください。

特別会計指導室 教職指導室 SPI 指導室
公務員指導室 金融研究会 IT 指導室

大学公認サークルの主な活動場所・部室

* 体育系サークル（主にスポーツ活動を行うサークル）には、課外活動中の不慮の災害事故に対して「スポーツ団体傷害保険」に加入してもらいます。保険の内容は28ページを参照してください。加入手続きは5月頃に各サークルの部長を通じてお知らせします。

※学外で活動を行うサークルは、事前に学生支援室に届け出るとともに、必要な手続（保険、各種予約等）を遅滞なく行ってください。

サークル名	主な活動場所	部室の場所		学友会所属	体育会所属		
美術サークル Canvas	1号館1階 図工室						
カードサークル	1号館3階 教室	クラブ棟 4階	17				
ボランティアサークル ちばくりん敬愛支部							
キャリアゼミ							
音楽部	1号館4階 音楽室	1号館4階 音楽室					
演劇サークル	2号館2階 教室	クラブ棟 4階	17				
旅サークル トラベラーズ	3号館6階 教室						
卓上ゲームサークル	3号館6階 教室						
ボランティアサークル Love and Action							
放課後こども教室							
English × Session							
授業研究サークル HOPE	アリーナ1階						
少林寺拳法部				15	●	●	
ダンスサークル KDC				17			
バレーボール部	アリーナ2階			クラブ棟 3階	6	●	●
ふれあいスポーツ部		5	●				
バドミントンサークル		10	●				
バスケットボール部		11	●		●		
バレーボールサークル		17					
軽音楽部	第2クラブ棟2階 スタジオ	第2クラブ棟2階		●			
フットサル部	人工芝グラウンド	クラブ棟 3階	8	●	●		
サッカー部		クラブ棟 4階	17	●			
軟式野球サークル	佐倉グラウンド	クラブ棟 3階	7	●			
硬式テニス部			9	●	●		
野球部		クラブ棟 4階	16	●	●		
テニスサークルTOPPO			17				
ニューススポーツサークル	アリーナ2階 学内教室	クラブ棟4階	17				
教育ボランティアサークル Iris	学外						

※活動場所や活動日時は、学生支援室（1号館1階）や掲示板で確認してください。

5

施設の上手な利用方法

1 食堂・売店

1 食堂「あながわ亭」 キッチン「コルディアリタ」

2号館1階「あながわ亭」では定食や丼物、麺類などを、3号館1階「コルディアリタ」ではパスタやカレーなどの軽食を提供しています。なお「あながわ亭」の営業時間終了後は、「あながわ亭」で提供している定食等一部メニューは「コルディアリタ」で楽しむことができます。

またゼミやサークルなどの食事を「あながわ亭」で開くこともできます。学生支援室に相談してください。



あながわ亭 営業時間 11:30~13:30 (月~金)



コルディアリタ (cordialità、イタリア語で「敬愛」の意)
営業時間 10:30~14:00 (月~金)



2 ミニショップ「パレット」

3号館1階の売店「ミニショップパレット」では、文房具やソフトドリンク、スナック類のほか、店内で手作りの焼きたてパンを販売しています。



ミニショップパレット 営業時間 10:00~16:20 (月~金)



3 教科書販売

教科書など教材用書籍は、前期・後期とも授業開始からしばらくの間、2号館1階学生ラウンジの特設販売コーナーで一括して販売します。

2 稲毛キャンパスのスポーツ施設

1 体育館・グラウンド

稲毛キャンパスの体育館・グラウンドは、敬愛学園高校との取り決めにより使用できる時間が決まっています。

●敬愛大学生の使用できる施設

敬愛アリーナ（平日16：00～21：00）

- *大体育館は使用できません。人工芝グラウンドは高校が使用していない時間に限り、使用できます。
- *敬愛アリーナは、体育会および使用するサークルの代表により予め使用する時間帯が定められます。個人での使用はできません。ただし大学の授業や各種行事があるときは使用できません。
- *佐倉キャンパスのグラウンド等については、学生支援室に問い合わせてください。

2 トレーニングルーム

大学2号館1階には、様々なトレーニング機器が整備されています。各自の健康管理や体力増進に役立ててください。

（高校生にも開放していますが、大学生の使用を優先しています。）

開室時間 平日8：45～21：00

土日祝日に使用したい場合は、前日までに学生支援室に申し出てください。

- *専属トレーナーはいませんので、過度なトレーニングや事故には十分注意してください。
- *トレーニング用ウェア・シューズを着用のうえ、トレーニングを行ってください。



敬愛アリーナ



トレーニングルーム

3 キャリアセンターの利用

1 就職活動スケジュール

日程	2021年3年次5月～			2022年3年次3月～					
就職活動の流れ	自己分析	業界研究	職種・企業研究	合同企業説明会・企業説明会	書類選考・履歴書提出	筆記試験（SPI試験）	グループディスカッション	面接	内々定
大学内就職講座	就職活動セミナー（3年次）			就職フェア（3年次）		学内懇談会／学内選考会（4年次）			

2 大学内就職活動関連講座

① 就職活動セミナー（3年次）

就職活動セミナーを通して「就職活動の本質とは何か」の理解を深めます。千葉県内外の優良企業、敬愛大学が懇意にしている企業人事担当者に参加頂き、「模擬企業説明会」「履歴書添削」「模擬面接」「模擬グループディスカッション」「筆記試験対策」等を採用視点で直接指導頂きます。

② 就職フェア（学内合同企業説明会）（3年次）

敬愛大学で開催する最大規模の就職活動イベントです。約60社の企業をお招きし、企業人事担当者と学生が直接面談します。将来の就職先企業に巡り合える絶好の機会です。

3 キャリア教育

自分の将来を見据え、大学生活の送り方を考えることから職業や企業の選び方まで、1年次から4年次まで段階的に積み重ねていきます。例えば「キャリア基礎開発Ⅱ」のPBL（課題解決型）授業では、ビジネスシーンでの課題に向き合うことで、働くことに対する「やりがい」「きびしさ」を感じてもらいます。また、「キャリア基礎開発Ⅲ」では、様々な業界の企業の方に講演を頂き、就職活動に役立つ業界・業種・職種研究を行います。

4 その他

キャリアセンターではその他、就職相談、求人紹介、履歴書添削、面接練習、個人面談、SPI対策講座、希望進路ガイダンス等を実施し、学生の就職をサポートしています。

4 メディアセンターの利用

メディアセンターは、図書などの資料提供サービス、および学内の教育情報システム管理をしています。

1 メディアセンター（3号館3階）

■図書館開館時間

月曜日～金曜日 9:00～18:30

土・日・祝祭日・学事日程による休講日等は休館です。

※臨時閉館および開館時間変更等についてはその都度お知らせします。

■貸出冊数・期間

資料の種類	貸出冊数	貸出期間
図書・雑誌	10冊以内	2週間以内（雑誌最新号は貸出できません）
視聴覚資料	館内閲覧のみ・CDは原則として貸出可能	

※試験期間中・長期休業中・教育実習中・卒業論文作成時等の特別貸出については、その都度お知らせします。

紙面の都合で、掲載内容は限られます。実際に利用する場合にはWebサイトで詳細を確認してください。
敬愛大学公式サイト：ホーム>在学生の方>図書や情報システムの利用に関すること>図書の利用案内
URL：<https://www.u-keiai.ac.jp/kulir/library/>

2 コミュニケーションラボ（3号館2階）

■開館時間

月曜日～金曜日 9:00～18:00

休館日は基本的に3号館3階に準じますが、臨時閉館および開館時間変更等についてはその都度お知らせします。

オンライン英会話ブース予約者は19:00まで利用可能

■利用可能な設備・機器

コミュニケーションラボには以下の設備・機器が設置されています。

授業で利用している場合を除き、原則として自学自習に自由に利用できます。大いに活用してください。

【設備】パソコン・ミーティングブース（6人程度の座席とパソコン）

テーブル・可動式テーブル椅子24セット・パーティション10

天板ホワイトボードテーブル6台・オンライン英会話ブース

【機器】大型電子黒板・大型モニタ・貸出用ノートPC

3 資料の利用には学生証が必要です

メディアセンター（3号館3階）、コミュニケーションラボ（3号館2階）で資料やノートPCを利用するには、学生証が必要です。

なお学生証の交付・不具合などの相談は、学生支援室（1号館1階）で行ってください。

5 コンピュータの利用

Webサイトで最新情報を確認

紙面の都合で、掲載内容は限られます。実際に利用する場合にはWebサイトで詳細を確認してください。
敬愛大学公式サイト：ホーム>在学生の方>在学生用情報システム
URL：https://www.u-keiai.ac.jp/for-students/system/

1 キャンパス内のパソコンルーム

キャンパス内には資料調査やレポート作成などに利用できるパソコンが約300台整備されています。
パソコンが使用できる教室は、講義中でなければ自由に使うことができます。利用できる時間は、教室の掲示等で確認してください。学内行事等で利用できない場合も事前に掲示します。

2 パソコンへのログイン方法

学内に設置したパソコンを利用するにはログインが必要です。
ユーザー名は、ki***** ([ki] + 各自の学籍番号)、パスワードは、各自のパスワードを入力してください。

3 パスワードの変更

学内の各種情報システムの多くは、共通のパスワードを用います。このためパスワードを一括で変更するための専用システムを用いてパスワードを変更します。

4 ファイルの保存

学内のパソコンでファイルを保持する場合には、ホームディレクトリ、デスクトップ、ドキュメントフォルダ内に保存してください。それ以外の場所に保存しても、電源OFFで消去されます。
ファイルの最大保存容量は200MBです。それ以上の容量を必要とする場合は各自でUSBメモリ等を用意してください。

5 印刷

学内での印刷は、ポイント消費制となっています。下記の表を確認してください。ポイントがなくなった場合は有償でのポイント購入になります。ポイントを翌年度に繰り越すことはできません。

■印刷ポイント数

期間	1年生～3年生	4年生
4/1～3/31	300ポイント	400ポイント
	モノクロ：1枚1ポイント、カラー：1枚4ポイント	

ポイントの追加
50ポイント毎に200円

6 学内からのインターネット利用

学内からインターネットを利用するためには、メディアセンターが実施する「情報セキュリティ試験」に合格しなければなりません。不合格者は1年生の後期からインターネット接続禁止になり、授業に多大な影響があるため、前期中に確実に合格してください。

7 e-mail (Gmail) の利用

Gmailのシステムを利用しています。PCのWebブラウザや、スマートフォンのアプリを利用してメールの送受信ができます。KCN等学校からのお知らせはこのメールに送信されますので必ず確認できるようにしてください。

メールアドレス：ki*****@u-keiai.ac.jp、各自のパスワードを入力してください。

8 Keiai Campus Navigator(KCN) の利用

Webブラウザ上で利用する、キャンパスライフを送るために必須となるシステムです。シラバス確認、履修登録等の各種手続き、休講等のお知らせ、授業における課題のやりとりや小テスト、在学中の活動を記録するマイステップなど様々な機能があります。

ユーザID：ki*****、各自のパスワードを入力してください。

9 moodleの利用

Webブラウザ上で利用する、e-ラーニングシステムです。一部授業で利用します。

ユーザ名：ki*****、各自のパスワードを入力してください。

10 ノートPCの貸出

必要であると判断した場合にはノートPCを貸出します。受付はコミュニケーションラボです。

授業貸出用、および自宅持ち帰り用があります。

授業貸出用の貸出は授業ごとの貸出返却で、貸出には学生証が必要です。自宅持ち帰り用は誓約書（保証人が必要）の提出が必要です。

11 Office365の利用

在学中利用可能なマイクロソフトのOfficeを提供しています。

12 学内無線 LAN の利用

個人のパソコンやスマートフォンを学内の無線LANアクセスポイント（Wi-Fi）に接続できます。利用には申請が必要です。申請の条件として「情報セキュリティ試験」に合格する必要があります。

I

学生生活のてびき 外国人留学生

1. 快適な学生生活のために

① 外国人留学生の心得	56
② 留学生のルール違反への対応	57
③ 学生支援室	58
④ 外国人留学生を対象とした奨学制度	59
⑤ 在留のための手続	61
⑥ 行政書士によるビザ無料相談	63
⑦ 留学生に関する連絡先等	63

1

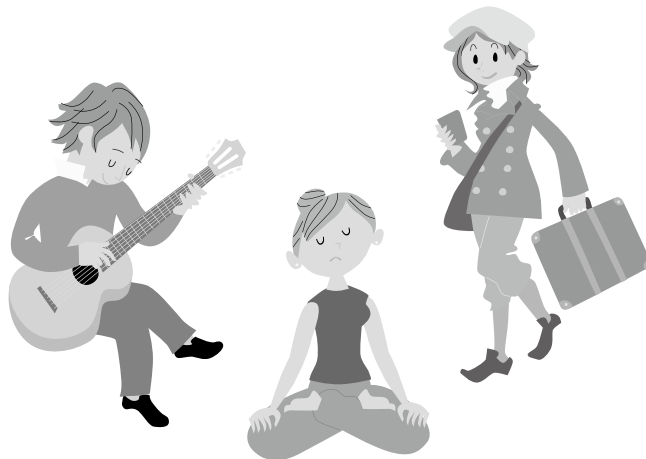
快適な学生生活のために

1 外国人留学生の心得

本学で学ぶ留学生諸君には、次のことに特に留意して有意義な生活を送ってもらうように切望します。

- (1) 敬愛大学は、建学の精神「敬天愛人」に基づいた人間形成に努めることを目標にしています。留学生のみなさんにも、他者を思いやり、自分に厳しくあってほしいと思います。
- (2) 母国語の使用や同じ国の学生だけでグループを作ることは控え、「異なる考え方や生き方」を認め合うことの大切さを学びましょう。
- (3) 次の点を忘れずに、留学生としての研究に努めること。
 - ① 日本に留学した目的を忘れず、自分の夢の実現に努めること。
 - ② 日本で学ぶ機会を得たことに感謝し、わずかな時間でも学習に努めること。
 - ③ 規則正しい生活に努めること。
 - ④ 日本の法律および敬愛大学の学則をしっかりと守ること。
 - ⑤ 日本語能力の向上に努め、早い時期に日本語能力試験N1に合格すること。

外国人留学生に関する事項は、学生支援室が担当しています。
授業がある日は、必ず学生支援室に来室して出校簿にサインをすると同時に、連絡事項などを確認してください。



2 留学生のルール違反への対応

行為	大学の処分	大学以外の処分
日本国の法律等に違反した場合	退学・停学・戒告処分など 次年度授業料減免停止 (4年生は当該年度)	裁判所・入管の処分
資格外活動違反 (無資格でアルバイトをしている、 時間経過、禁止されている業務内容)	退学・停学・戒告処分など 次年度授業料減免停止 (4年生は当該年度)	罰金・懲役もしくは禁錮 ビザ更新・変更が不許可になる 可能性有
通学定期の不正 (通学期間外での購入や、友人の 通学定期不正使用 など)	戒告・口頭指導など 次年度授業料減免停止 (4年生は当該年度)	鉄道・バス会社による処分

行為	大学の処分	
学割等大学の規則に違反した場合	退学・停学・戒告処分など、次年度授業料減免停止 (4年生は当該年度)	
行方不明、理由の無い長期欠席	退学	
学納金の滞納額を納付しない場合	除籍	
試験での不正行為(カンニング等)	停学2週間、当期試験科目は全て0点(不可)、次年度減免停止 (4年生は当該年度)	
出校簿への代理サイン・記入日の 虚偽	} 口頭・文書による指導	} 次年度授業料減免停止の可能性有 (4年生は当該年度)
出校率が74.9%以下		
1年間の修得単位数が29単位以下 (1年生は31単位以下)		
下記の有効期限切れや未提出 ・パスポート ・在留カード ・資格外活動許可 ・健康保険証		
下記の届出忘れ ・住所や電話番号の変更届 ・アルバイト先の変更届 ・出国届		
ガイダンス未出席、提出物の未提出		
その他 学生の本分に反する行為		

※在学中に在留資格が「留学」以外に変更になった場合、留学生扱いではなくなります。

I

留学生生活のてびき
外国人留学生

1 快適な留学生生活のために

その他、学則・法律への違反は、次年度(4年生は当該年度)授業料減免停止となります。

3 学生支援室

学生支援室は本学の全ての学生の生活支援を担当する部署ですが、特に外国人留学生に関する事務は、主に学生支援室が担当しています。

1 留学生に関する主な業務内容

- (1) 出校状況、成績状況の把握
- (2) 奨学金などの情報提供とその手続
- (3) 授業料減免手続
- (4) 提出物の管理（パスポート、在留カード、国民健康保険証など）
- (5) 学生相談（生活に関すること、ビザに関することなど）

2 出校簿について

大学に来たら、必ず学生支援室で出校簿に自筆でサインをしてください。代理サインや記入日虚偽は授業料減免停止となります。

なお個別の伝言メモを貼りつけることがありますので、すぐに対応してください。

3 学生支援室に提出するもの

- ① 授業料減免申請書・減免調査票
- ② パスポート
- ③ 在留カード（資格外活動許可）
- ④ 国民健康保険被保険者証

*②～④は学生支援室窓口で原本を提示すること。確認後コピーして返却します。

【注意】書類不備や期限切れの場合、在留期間更新申請書の発行や授業料減免、奨学金申請に応じられない場合があります。変更や更新の都度、速やかに届け出てください。

4 学生支援室に届出をするもの

- ① 在留資格、在留期限、資格外活動許可の有無
- ② 住所・電話番号、保証人の変更
- ③ 出国（日本国外に出国する時）
- ④ アルバイト先

【注意】変更の都度、速やかに届け出てください。

5 長期欠席について

体調不良や家庭都合等で長期にわたり欠席が必要な場合は、予め学生支援室に相談してください。長期にわたり連絡なく欠席していると、退学処分になる可能性があります。

6 学生支援室以外が担当するもの

- ① 学費納入に関すること……………大学運営室
- ② 履修登録・講義・試験・成績に関すること……………修学支援室
- ③ 就職指導に関すること……………キャリアセンター
- ④ 入試に関すること……………アドミッションセンター
- ⑤ 図書閲覧に関すること……………メディアセンター
- ⑥ ボランティア活動等に関すること……………地域連携センター

4 外国人留学生を対象とした奨学制度

大学の学部正規課程に在学する私費外国人留学生の経済的負担を軽減し、学業の継続を支援する制度です。

1 敬愛大学私費外国人留学生授業料等減免制度

- (1) **減 免 額** 授業料の3割相当額
- (2) **条 件** 本学に在籍する留学生で以下の①および②の条件を満たす者。
 - ① 経済的に恵まれない
 - ・ アパート等の住居費は8万円以下
 - ・ 仕送りは平均月額10万円以下
 - ・ 在日扶養者の年収は500万円未満
 - ② 学業継続の意思がある
 - ・ 出校日数が出校すべき授業実施日の75.0%以上
※ 病気・出産のために休む場合は欠席扱いとなる。
 - ・ 各学年度末における修得単位数が、30単位以上（1年生は32単位以上、認定単位は含めない）あること。
- (3) **学費減免を取り消される例**
 - ① 出席日数不足、単位不足の場合
 - ② 学則等に違反して、処分を受けた場合
 - ③ 休学または退学をした場合
 - ④ 「留学」の在留資格を失った場合
 - ⑤ 本学の学生として相応しくないと認められる場合 など

※ 1年生～3年生は、次年度の減免が取り消されます。
4年生は、その年度が取り消しになります。
※ 原則として、授業料減免期間は4年間とします。

2 その他奨学金制度

- (1) **特待留学生** 本学に在学する留学生のうち、学業成績が優秀な者に対して特待留学生として奨学金を支給する、本学独自の制度です。

●選考時期

毎年10月～11月ごろに決定いたします。

●給付金額

授業料の2割相当額

- (2) **文部科学省外国人留学生学習奨励費**

日本政府が私費外国人留学生の学びを推奨するために設けている、給付奨学金です。学業・人物ともに優れ、経済的事情により修学困難な者であり、なおかつ成績・出校率を考慮の上、推薦者を決定いたします。

●応募期間

毎年4月に募集します。

●給付金額

2020年度は、月額48,000円が支給されています。

- (3) **その他 民間奨学金**

【最近本学にご案内をいただいている留学生向け奨学金の一覧】

- ・一般財団法人 小貫基金
- ・公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
- ・公益財団法人 平和中島財団
- ・公益財団法人 岡本国際奨学交流財団
- ・公益財団法人 日本国際教育支援協会
- ・公益財団法人 ダイオーズ記念財団
- ・公益財団法人 東京YMCA 等

※もし、これらの奨学金を個人で受けている（予定も含む）場合は、学生支援室まで申し出てください。

5 在留のための手続

日本に在留するには「出入国管理及び難民認定法」等の日本の法律に従って手続を行ってください。外国人留学生の皆さんは学生支援室や東京出入国在留管理庁ホームページなどで、常に最新の情報を確認してください。

1 住民登録、在留カード

(1) 住民登録

日本に中長期間滞在する外国人は、住民登録が義務付けられています。

住民登録とは、市区町村ごとに住民に関する情報を管理するもので、氏名・生年月日・住居地・国民健康保険加入者歴などが登録されるものです。

(2) 在留カード

在留カードは常時携帯することが義務付けられており、入国審査官や警察官が提示を求めた場合、提示しなければなりません。拒否すると、1年以下の懲役または20万円以下の罰金が課せられます。

2 在留ビザの更新

(1) 手続 期限が切れる3ヶ月前から申請することができます。

(2) 必要書類 ① 在留期間更新許可申請書（本人作成3枚、大学作成2枚）…学生支援室で受け取る

② パスポート

③ 学生証

④ 在留カード

⑤ 在学証明書

⑥ 成績証明書（1年生は入学する直前の学校のもの）

⑦ 資格外活動許可申請書（希望する者のみ）

⑧ 経費（学費および生活費）支弁に関する資料

預金通帳のコピー、送金証明書、奨学金受給証明書、アルバイト給与明細書 等

3 再入国許可（一時的な帰国や日本国外への旅行など）

- (1) **手続** 日本を出国する前に、手続が必要です。
ただし出国から1年以内に再入国する場合は、空港等での簡易な手続で済ませることができます。(みなし再入国許可)
- (2) **必要書類** ① 再入国許可申請書（入管所定の用紙）
② パスポート
③ 在留カード
④ 学生証
- (3) **学生支援室での手続**
出国前に「出国届」を提出してください。なお履修期間中の出国は特別な場合以外はできません。

4 資格外活動許可

- (1) **手続** ビザ更新・変更時に同時に申し込みます。違反者には、強制退去および300万円以下の罰金または3年以下の懲役もしくは禁錮となります。
- (2) **必要書類** ① 資格外活動許可申請書（入管所定の用紙）
② パスポート
③ 在留カード
④ 学生証
- (3) **注意事項** ① 許可されるアルバイト時間は1週間28時間以内（学則に定める長期休業期間は1日8時間以内）です。
② 風俗営業または風俗関連営業のアルバイトは認められません。
（「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」第2条）
③ アルバイトの場所・業種等は、変更の都度、学生支援室に届け出てください。
④ 時間超過などの違反により、ビザ更新・変更が不許可になる可能性があります。十分に注意してください。

5 国民健康保険

- (1) **義務** 日本国内に1年以上在留する留学生は、国民健康保険（国保）の加入が義務づけられています。国民健康保険に加入していれば、病院等で治療を受けた場合、医療費（保険診療分）が3割の負担になります。
- (2) **手続** 在留カードに記載されている住所の市区役所等で申請してください。

6 行政書士によるビザ無料相談

本学では、下記の行政書士と業務提携しています。予約を優先としますが、当日受付も可能です。無料で相談できるほか、各種申請を依頼する場合は割引となります。

(1) 2021年度の無料相談開催日 (会場：学生支援室 時間：12：10～13：40)

4月		5月		6月		7月		10月		11月		12月		1月	
15日	22日	13日	27日	10日	24日	15日	7日	21日	4日	18日	2日	16日	13日	20日	

(全て木曜日)

(2) 担当 片平法務経営事務所
 行政書士 片平勇介先生



7 留学生に関する連絡先等

■敬愛大学 学生支援室

〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21

TEL：043-284-2381 (直通)

FAX：043-251-6407 (代表)

MAIL：gakusei@u-keiai.ac.jp

*深夜早朝および土日祝日は、大学の代表番号に電話してください。守衛が伝言を受けます。

TEL：043-251-6363

■東京出入国在留管理局

〒108-8255 東京都港区港南5-5-30

TEL：0570-034259

■東京出入国在留管理局 千葉出張所

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港2-1 千葉中央コミュニティーセンター内

TEL：043-242-6597

■外国人在留総合インフォメーションセンター

TEL：0570-013904

03-5796-7112 (IP電話・PHS・海外からの方)

受付時間：平日8：30～17：15

■片平法務経営事務所 (行政書士 片平勇介先生)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-12-7 ニューハイツ高田馬場2階

TEL：03-6908-5129

II

履修要項

敬愛大学 2021年度「履修要項」 利用について

履修要項は、皆さんがこれから学び修得していく知識の全容です。

学生の皆さんにとっては、これからの進路や興味にあわせて授業科目を選択したり、予習・復習をするとき、研究や卒業論文を作成するときの指針になります。いつも携帯し、有効に活用してください。

- | | |
|------------------|----|
| 1. 履修方法の概要 | 66 |
| 2. 単位の認定等 | 68 |

敬愛大学学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

敬愛大学教育憲章で示された「敬天愛人」の建学の精神に基づく総合的人間力を持つ人材として、所定の単位を修得し、以下の到達目標実現のための努力を惜しまない学生に対して卒業を認定し、学士の学位を授与する。

知識と教養

専門性に基づく思考力・判断力

多様性の理解と協働性の向上

1 履修方法の概要

1 授 業

本学では、学生が自ら選んで作った履修計画により、各授業担当教員の許可を得て、予習・復習を含めた学習に努め、試験に合格すれば単位を授与します。その結果、所定の科目及び単位が充足すれば卒業となります。

2 単位の計算方法

単位の算定は、大学設置基準の定めにより、「1単位の授業時間を45時間の学修（各自が行う自習時間を含む）を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、各大学において定めること」とされています。

本学では、原則として、講義の科目については15時間の授業、30時間の予習・復習をもって1単位と定めています。

授業の単位計算

講義及び演習の単位計算	実験・実習及び実技の単位計算
授業15時間＋自習30時間	授業30時間
45時間＝1単位	1単位

2単位の講義等考え方例

- ①2単位の講義科目＝90時間の学修が必要
- ②45分の授業を1時間とみなす。90分の授業＝2時間
- ③授業時間は、週1回2時間×15週＝30時間
- ④2単位あたりの事前・事後学修は、90時間（2単位修得に必要な学修時間）－30時間（授業時間）＝60時間
- ⑤1週あたりの事前・事後学修は、60時間÷15週＝4時間

授業へ出席するだけでなく、予習・復習、調査、資料収集などの教室外の学修が必要です。ただ授業時間だけ出席をし、単位の修得のみを望むということは単位制度の趣旨に反するものです。

3 授業時間

授業時間は原則として次のとおりです。

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
9:00～10:30	10:45～12:15	13:05～14:35	14:50～16:20	16:30～18:00

4 年間履修登録単位

(1) 1年間に履修できる単位数は以下のとおりです。

年間履修登録単位の上限

学年	単位数			
	経済学部	国際学部		教育学部
		国際学科	こども教育学科	
4年生	46 (30)	46 (30)	46 (30)	—
3年生	42 (26)	42 (26)	42 (26)	—
2年生	42 (26)	42 (26)	46 (30)	—
1年生	42 (26)	42 (26)	—	42 (26)

※ () 内は半期での履修登録単位の上限

(2) 「教職及び教科に関する科目」の単位数は年間の履修登録単位数に含まず、履修上限の単位数を超えて履修することができます。(教職課程履修者のみ)

5 履修科目の登録

- (1) 履修科目の登録手続きは前期と後期の学期始めに行います。
- (2) 履修科目の登録は、指定された日時までに学内のコンピューター等を利用して、KCN (Keiai Campus Navigator) から登録します。
- (3) 前期登録期間は、前期・集中科目を登録し、後期登録期間は後期・集中科目を履修登録します。
- (4) 履修科目の登録は必ず本人が行います。特別な理由で登録が遅れる場合は必ず「理由書」(病気の場合は診断書など)を修学支援室に提出してください。
- (5) 履修科目の登録が行われなければ、授業を受けることはできません。
- (6) わからないことは勝手に判断せず、必ず修学支援室に相談してください。

大学で定められた正規の登録期間内に履修登録を行わず、期間外に登録を申し出た場合

履修登録期間後の指定された「履修登録確認期間」内に必ず修学支援室窓口で申請してください。「履修登録確認期間」後の追加登録は認めません。

※注意事項 (全体)

- ① 前期または後期のみを担当されている科目、隔年開講の科目があるので履修計画作成の際に注意してください。
- ② 履修人数制限のある科目、情報処理関連科目(情報処理実習室で授業を行う科目)を履修する者は第1回目の授業に出席し担当教員から履修許可を得なければなりません。
- ③ 次のような履修は認められません。
 - ・ 配当年次が上位学年の科目
 - ・ 単位修得をした科目の再履修
 - ・ 同一時限に担当された2つ以上の科目の履修

2 単位の認定等

1 確認試験について

履修した科目は確認試験（筆記試験、論文レポート、試問、その他の方法）に合格した場合に単位が与えられます。受験基準は次のとおりとします。

- ① 授業日数の3分の2以上出席がない者は確認試験を受けることができず、単位の認定が行われません。
- ② 学生証を携帯していない者は確認試験を受けることができません。
- ③ 授業料を納付しない者は確認試験を受けることができず、評価を受けることができません。

2 確認試験を欠席した場合の取扱いについて

下記に示すやむを得ない事由に該当し、確認試験実施当日に欠席をした者は、その事由を証明する文書（診断書）を添えて授業担当教員に配慮を申し出ることができます。

ただし、出席不足等により確認試験（追試験）を受験できない場合もあるので注意してください。

確認試験欠席事由	確認試験（追試験）申し込みに必要な提出書類
学校保健安全法施行規則第18条に規定する伝染病に罹患した場合、又は感染したおそれがある場合	保健室発行の証明書
試験当日に就職試験（説明会）がある場合	試験当日に就職試験（説明会）に出席したことが確認できる書面（書式自由：日時、場所、企業名が確認できること）
試験当日に病気になり、通院した	医師の診断書 ※自宅で療養していた場合は対象外
試験当日に二親等以内の親族の葬儀に参列した	会葬礼状等 ※二親等以内=父母、祖父母、兄弟姉妹
試験当日に公共交通機関の遅延により、試験を受験できなかった	交通機関が発行する遅延証明書 ※交通渋滞による路線バスの遅延は対象外
大学が定める教育実習・介護等体験・インターンシップ等に参加する場合	実習（体験）等の期間がわかる書類
文化・体育活動において関東大会もしくは全国大会以上の大会、又は体育会に届出のある上部団体の公式戦に出場する場合	実施要項、パンフレット等

3 成績評価

確認試験の成績は100点満点とし、90点以上を秀、89点から80点までを優、79点から70点までを良、69点から60点までを可とし、可以上を合格とします。59点以下を不可として不合格とします。

点数	評価
100～90点	「秀」
89～80点	「優」
79～70点	「良」
69～60点	「可」
59点以下	「不可」とし、単位の取得が認められない。

4 試験不正行為取扱いについて

- (1) 試験は厳正に実施します。
- (2) 学生諸君は「受験心得」を守らなければなりません。
- (3) 試験時にカンニング等の不正行為を行ったときは、「試験不正行為取扱いについての内規」にもとづき厳正に処分します。

5 成績発表

学年成績は前期末及び後期末にWeb (KCN) 上での公開により通知します。

6 GPA制度について

- (1) GPA (Grade Point Average) とは、授業科目の成績評価に対して点数 (Grade Point) を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、履修登録した科目の総単位数で割って算出した平均値のことを指します。そのため、不合格の科目もGPA算出の対象となるため、試験を放棄した場合にはGPAの値は低くなります。

このGPAは、各人の学修への取り組み状況が把握できるため、4年間の学修計画を具体的に策定する際の指針となります。

- (2) 成績評価と計算方法

成績	成績標記	GP(グレードポイント)
90～100点	秀	4.0
80～89点	優	3.0
70～79点	良	2.0
60～69点	可	1.0
59点以下	標記せず (不可)	0

評価対象科目は、教職科目を含めた経済学部内で評価した全ての科目です。

なお、評価対象外科目は、経済学部以外の大学等で修得した単位 (1年次入学・編入学前の認定単位、単位互換科目の単位、海外留学における修得認定単位)、教育実習、インターンシップとします。

〈GPAの計算方法〉

$$\frac{4 \times \text{秀の修得単位数} + 3 \times \text{優の修得単位数} + 2 \times \text{良の修得単位数} + 1 \times \text{可の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数}}$$

- (3) 通知方法

成績表にGPAを記載します。記載されるGPAは、入学時からの通算です。

なお、GPAの詳細については、オリエンテーション時にも説明します。

7 退学勧告について

修得単位数、GPA、授業出席状況等の修学状況が継続して一定の基準を下回る学生、また「修学の意欲が見られない」「修学状況の改善が見込まれない」「教務委員会による修学指導後も改善が見込まれない」学生に対しては、教務部委員会の議を経て学長から退学勧告をする場合があります。

8 単位互換

- (1) 学則第27条第1項に基づき放送大学及び千葉県内の大学及び短期大学（単位互換締結大学のみ）と単位互換を実施します。
- (2) 同条第2項に基づき修得した単位は60単位を超えない範囲で、本学の卒業単位として認定します。
- (3) 放送大学の科目を履修できるのは2年次以上とし、4年次については放送大学の2学期の出願は認めません。その他の大学の科目を履修する場合はこの限りではありません。
- (4) 単位互換の履修単位は年次別履修単位数に関する内規に定める単位に含みます。従って、履修届には互換科目名を記載し単位数を加えなければなりません。
- (5) 放送大学に出願するにあたり履修科目は単位認定試験日程に注意して選定してください。また、出願後の科目変更・取消はできません。
- (6) 所定の出願手続きを経て当該大学の特別聴講学生として受け入れ決定後、各大学の要項を参照して下さい。
- (7) 放送大学の学費は教材及び学生証の受領上、本学が一括納入しますが、当該学生は履修届提出後、指定の期日までに必ず納入してください。
- (8) 放送大学の学費は一旦当該学生が全額納入し、単位修得後本学が1/4を負担します。その他の大学については全て本人負担とします。
- (9) 単位互換で履修できる科目は本学で教育上有益と認めた科目とします。

9 長期留学における単位認定の取り扱いについて

海外提携校（アメリカ・ポーランド州立大学、カナダ・カルガリー大学、オーストラリア・クイーンズランド大学等）への長期留学をする場合は学生諸君の留学を支援するために次のとおり取り扱います。

- (1) 読み替え可能な科目についてはできる限り読み替え、その他の科目については、自由選択科目群に一括認定とします。
- (2) 3年次より留学する学生は、翌年に専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業演習Ⅰ・Ⅱを同一年度に履修することを許可し4年間で卒業できるように配慮します。
- (3) 4年次より留学する学生は卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文のみで卒業要件を充足することを条件とし、卒業論文を指導教員に提出し、単位の認定を受けた場合、当該年度の卒業を許可します。
ただし、上記3)による混乱を避けるため、なるべく2・3年次に留学することをおすすめします。

なお、長期留学の申し込みは、前期開始：前年度7月末、後期開始：前年度2月末となります。国内外の情勢によっては実施できないこともあります。詳しくは、修学支援室へ問い合わせてください。

10 履修者の著しく少ない科目の取り扱いについて

履修登録確定後、一般講義科目（教職科目等を除く）のうち履修者数が5名未満の科目は当該年度、休講となる場合があります。

具体的な休講科目がある場合には掲示により周知します。

Ⅲ

カリキュラム表 経済学部

経済学部

1. 2021年度以降入学者カリキュラム表	72
2. 2019・2020年度入学者カリキュラム表	90
3. 2018年度入学者カリキュラム表	108
4. 学習支援体制	127
5. 2018-2021年度 科目名変更一覧	128

1

2021年度以降入学者カリキュラム表

1 教育課程の編成方針と概要

1. 「敬愛大学学則」及び「経済学部規程」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位以上と定めています。
2. 経済学部では、「敬天愛人」の建学の精神のもとに「人間性と創造性豊かな経済人」の育成を図ることを目的として、「経済学科」と「経営学科」の2つの教育課程を編成しています。
3. 経済学部では2年次学科選択制を導入しています。1年次は全員学科に所属せず「経済学部未所属学科生」として共通カリキュラムの下での科目履修を経て、1年次後期に2年次以降卒業までの3年間所属する学科を選択することになります。なお、学科には定員があります。定員を超える希望者がいた場合は前期終了時の成績や授業出席状況等の修学状況を参考にして、所属学科を決定します。従って、1年次は経済・経営に関する基礎となる科目を履修しながら、各自が経済学・経営学に対する興味・関心・または将来の目指す進路を見据えて、経済・経営いずれの学科に所属するかを検討する期間になります。「経済学科」は3つ、「経営学科」は4つの専門的な学習コースがあり、コースの選択は2年次前期の履修登録時にあわせて行います。2年次以降は自分の学習意欲や将来の進路・目標にもとづき、各自が選択した学科・コースの科目を具体的・体系的に履修していきます。
4. 1年次のゼミはあらかじめ大学側で担当教員を指定しますが、2年次からの所属ゼミは原則、みなさんの希望により決定します。ゼミは2年次からの所属学科が決定した後、所属する学科から選択します。従って、2年次から経済学科に所属する場合、2年ゼミも経済学科のゼミから選択することになります。
5. 経済学部の教育課程には、学部共通科目を基礎として、基礎科目群、言語科目群、教養科目群、情報科目群、キャリア科目群を配しており、「経済学科」・「経営学科」の専門分野にあっては、基本科目群、専門科目群、展開科目群、演習科目で構成しています。また、基礎科目を、必修科目もしくは選択科目として1年次に多く配置し、よりスムーズに高度な専門分野へ移行できる段階的な教育を実践しています。
6. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目及び集中講義によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修にあっては、条件付科目があるので、確認が必要です。
7. 教職課程履修者は卒業必要単位のほかに、教育職員免許法に定める所定の単位を修得することが必要です。
8. 本学では、特色のある教育活動として「敬愛プログラム」科目を配置しています。この「敬愛プログラム」は、学生（個人またはグループ）の自主的・自発的な発想による活動の支援を目的とする制度です。学生は、ボランティア活動、クラブ活性化活動、イベントの企画・実施、商店街や事業所の調査等、学内外における活動のテーマを設定し、事前に達成目標や段取りを明記した企画書を作成したうえで、当該年度に成果の発表を行います。その成果が評価に値するものと認定されれば、活動そのものが卒業単位として認められ、さらに支援金の支給を受けることができます。

2 コースの概要

経済学科（3コース）

公共経済コース

政府や地方自治体から見た経済の仕組みや課題を学び、公共サービスに従事できる人材を育成します。

主な進路

公務員、消防士・警察官、各種団体職員など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）／行政書士など

金融経済コース

銀行や証券の仕組みや金融が経済にもたらす影響を学び、金融業界で活躍できる人材を育成します。

主な進路

銀行、信用金庫、証券会社、保険会社など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）

ファイナンシャル・プランナー／

Microsoft® Office Specialist／TOEIC®など

現代経済コース

経済学を体系的に学び、実社会で活躍するために必要な幅広い知識と教養を身に付け、現代社会の中核となる人材を育成します。

主な進路

一般企業（各業種全般）、教員など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）／など

2 コースの概要

経営学科（4コース）

企業経営コース

経営の基礎から応用に加え、地域産業や業種の特徴とその経営・管理を学び、企業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の人事、経営企画、事業統括など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定／ITパスポート／高等学校教諭一種免許（商業）など

商業・会計コース

品物やお金の流れの視点から地域産業の実態や業種の特徴とビジネス手法を学び、地域経済の活性化に貢献できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の商品企画、営業、経理・財務など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／税理士／ビジネス能力検定／日商簿記検定／高等学校教諭一種免許（商業）など

スポーツビジネスコース

経営知識と健康運動科学・スポーツ実技を学び、地域に密着したスポーツビジネス産業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

健康・スポーツ関連企業など

取得できる免許・資格

各種スポーツライセンス／ビジネス能力検定／日商簿記検定
高等学校教諭一種免許（商業）など

地域産業コース

地元である千葉の産業・企業を学び、千葉での就職や企業をめざす地域活性化人材を育成します。

主な進路

県内企業への就職、起業、地域金融機関、各種団体職員、
経営コンサルタント

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定
旅行業務取扱管理者／高等学校教諭一種免許（商業）など

3 科目区分および卒業要件単位略図 (2021年度以降入学者)

科目区分		履修区分	卒業要件単位数	
学部共通科目	基礎科目	必修科目	18	
	言語科目A (英語)	必修科目	4	
	言語科目B (第二外国語)	選択科目	4	
	教養科目	選択科目	12	
	情報科目	選択科目	4	
	キャリア科目	選択科目	4	
	小計			46
経済学科専門科目	基本科目A	必修科目	10	
	基本科目B	選択科目	22	
	コース科目	公共経済コース	(いずれか1コースを選択) 選択科目	16
		金融経済コース		
		現代経済コース		
	展開科目	選択科目	10	
	演習科目 (ゼミ)	必修科目	8	
	自由選択科目	選択科目	12	
小計			78	
卒業要件単位数			124	
経営学科専門科目	基本科目A	必修科目	10	
	基本科目B	基本科目B	選択科目	24
		インターンシップ科目	選択科目	
	コース科目	企業経営コース	(いずれか1コースを選択) 選択科目	14
		商業・会計コース		
		スポーツビジネスコース		
		地域産業コース		
	展開科目	選択科目	10	
	演習科目 (ゼミ)	必修科目	8	
	自由選択科目	選択科目	12	
小計			78	
卒業要件単位数			124	

4 2021年度以降入学者卒業要件概念図 経済学科

科目区分		1年次	2年次	3年次	
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアプランニング、健康科学、情報基礎Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ		
	言語科目	言語科目A	必修	英語Ⅰ・Ⅱ	英語Ⅲ・Ⅳ
		言語科目B	選択	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、日本語Ⅰ・Ⅱ	フランス語Ⅲ・Ⅳ、ドイツ語Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅲ・Ⅳ、日本語Ⅲ・Ⅳ、時事英語Ⅲ・Ⅳ、ビジネス英語Ⅲ・Ⅳ
	教養科目	選択	敬天愛人講座、敬愛プログラム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、法学、数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、環境科学、地域ボランティア活動、文学、日本語学、言語学		
	情報科目	選択	情報概論、AⅠ・DS（データサイエンス）へのいざない、データサイエンス総論、英語で学ぶpython	アルゴリズム論、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、	
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアデザイン、キャリアディベロップメント	キャリア基礎開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	小 計				
経済学科専門科目	基本科目A	必修	経済理論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ、西洋経済史Ⅰ・Ⅱ		
	基本科目B	選択	フィールドワーク入門		
	公共経済コース	コース科目	選択	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済政策Ⅰ・Ⅱ、経済Ⅱ、財政学Ⅰ・Ⅱ、金融論Ⅰ・Ⅱ、国際経済論Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計企業法、会社法、統計学総論Ⅰ・Ⅱ、知的財産権論、情報マネジ	
		進路支援科目	選択	進路支援講座Ⅱ（コース共通）	進路支援講座Ⅲ（公務員）・Ⅳ（公務員） 進路支援講座Ⅴ（公務員）・Ⅵ（公務員）
	金融経済コース	コース科目	選択	証券経済論Ⅰ・Ⅱ、銀行論Ⅰ・Ⅱ、国際金融論Ⅰ・Ⅱ、企業金融Ⅱ、有価証券法、企業法、会社法、経済統計Ⅰ・Ⅱ	
		進路支援科目	選択	進路支援講座Ⅰ・Ⅱ（コース共通）	進路支援講座Ⅲ（IT）・Ⅳ（IT） 進路支援講座Ⅴ（日経新聞を読む）・Ⅵ（日経新聞を読む）
	現代経済コース	コース科目	選択	日本経済論Ⅰ・Ⅱ、日本経済地理、世界経済地理、アメリカ経済Ⅱ、中東経済論、アジア経済論、国際貿易論、労働経済論Ⅰ・Ⅱ、	
		進路支援科目	選択	進路支援講座Ⅰ・Ⅱ（コース共通）	進路支援講座Ⅲ（経済）・Ⅳ（経済） 進路支援講座Ⅴ（経済）・Ⅵ（経済）
	展開科目	選択	経済学史Ⅰ・Ⅱ、社会思想史Ⅰ・Ⅱ、金融経済の基礎知識、計量Ⅱ、環境問題Ⅰ・Ⅱ、医療と健康の経済学、食料経済論、農業政策、Ⅱ、経営学Ⅰ・Ⅱ、地方自治論演習、TOEIC®向上講座Ⅰ・Ⅱ、経営立地論、交通論、経済学史Ⅰ・Ⅱ、地域経済論、ビジネス（3～）		
	演習科目	必修	専門導入演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ	
自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各援科目から12単位以上修得する必要があります。（言語科目Bからは選択不可） 経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学合も自由選択科目の卒業単位とします。 教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」（※印の科目を除く）の単位を自由選択科目の単位			
小 計					
総 計					
教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)	選択	日本史概論Ⅰ・Ⅱ、世界史概論Ⅰ・Ⅱ、地理学概論Ⅰ・Ⅱ、地誌学Ⅰ・Ⅱ、哲学概論Ⅰ・Ⅱ、比較政Ⅰ・Ⅱ、環境地理学Ⅰ・Ⅱ			
	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法規、歴科指導法Ⅰ・Ⅱ、地理歴史科指導法、社会科・公民科指導法Ⅰ・Ⅱ、公民科指導法、道徳教育指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、教職実践演習（中・高）、教職時事演習、教育実習指導教育実習、教育福祉論			

4年次	単位	備考
	18	全科目18単位を修得する必要があります。
	4	全科目4単位を修得する必要があります。
	4	フランス語、ドイツ語、中国語、日本語の4科目の中から1年次にⅠ・Ⅱ、2年次にⅢ・Ⅳと同一言語を4単位修得する必要があります（留学生は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが必修です）。2年次のⅢ・Ⅳは時事英語Ⅲ・Ⅳ又はビジネス英語Ⅲ・Ⅳに換えて履修することができます。
憲法、政治学、社会学、	12	12単位以上を修得する必要があります。
AⅠ概論、プログラミング	4	4単位以上を修得する必要があります。
	4	4単位以上を修得する必要があります。
	46	
	10	経済理論Ⅰ・Ⅱ2科目4単位、日本経済史Ⅰ・Ⅱまたは西洋経済史Ⅰ・Ⅱいずれか2科目4単位、フィールドワーク入門2単位、合計10単位修得する必要があります（ただし、日本経済史と西洋経済史の組み合わせは不可）。
学特論Ⅰ・Ⅱ、社会政策Ⅰ・概論Ⅰ・Ⅱ、会計学Ⅰ・Ⅱ、メント、民法Ⅰ・Ⅱ（2～）	22	22単位以上を修得する必要があります。
社会保障論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉論、経済統計Ⅰ・Ⅱ	16	各コースに属する者は、コース科目区分の中から16単位以上を修得する必要があります。 修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。
論Ⅰ・Ⅱ、保険論、金融事情Ⅰ・	16	各コースに属する者は、コース科目区分の中から16単位以上を修得する必要があります。 修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。
論Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパ経済論Ⅰ・労働法、経済統計Ⅰ・Ⅱ	16	各コースに属する者は、コース科目区分の中から16単位以上を修得する必要があります。 修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。
経済学Ⅰ・Ⅱ、環境経済学Ⅰ・経済数学Ⅰ・Ⅱ、外国書講読Ⅰ・国際地域論Ⅰ・Ⅱ、地域産業論、データ解析、情報ビジネス論	10	10単位以上を修得する必要があります。経済学科専門科目区分（基本科目A・B、コース科目）で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。
卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文	8	全科目8単位を修得する必要があります。
コース科目、展開科目、進路支 単位互換科目を単位修得した場 として充当することができます。	12	12単位以上を修得する必要があります。
	78	
	124	
治学、社会学概論、自然地理学		修得した単位は教養科目の卒業単位とします。
教育方法・技術論、社会科・地 総合的な学習の時間の指導法、 導、中学校教育実習、高等学校		修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。

5 経済学科 2021カリキュラム表(2021年度以降入学者)

経済学科DP		DP1. 社会科学を機軸とした幅広い教養を深めるとともに、経済学の知識を基に社会の発展に活かす良識を身につける。 DP2. 経済社会の問題に関する情報を主体的に収集、分析し、問題の解決策を論理的に述べられる表現力・コミュニケーション能力を取得する。 DP3. 経済学を体系的に理解し、数値データをもとに経済の現状を捉える手法を修得することで、経済的な思考にもとづく適切な判断力を身につける。 DP4. 社会問題への関心と想像力を涵養し、未知の課題に立ち向かうことができ、様々な人々と協調して経済活動を行うことができる社会人になる。									
到達目標		公共経済コース	金融経済コース	現代経済コース							
科目区分		経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	履修単位	
学部共通科目	基礎科目	文章表現	2	1年～	18単位	○	○			全科目18単位必修	
		口頭表現	2	1年～		○	○				
		基礎数学	2	1年～		○		○			
		入門経済学	2	1年～		○		○			
		入門経営学	2	1年～		○					
		キャリアプランニング	2	1年～		○			○		
		健康科学	2	1年～		○					
		情報基礎Ⅰ	1	1年～		○	○		○		
		情報基礎Ⅱ	1	1年～		○	○		○		
		基礎演習Ⅰ	1	1年～		○	○	○			
	基礎演習Ⅱ	1	1年～	○	○	○					
	言語科目A	英語Ⅰ	1	1年～	4単位	○	○		☆	全科目4単位必修	
		英語Ⅱ	1	1年～		○	○		☆		
		英語Ⅲ	1	2年～		○	○		☆		
		英語Ⅳ	1	2年～		○	○		☆		
		言語科目B	フランス語Ⅰ	1	1年～	4単位	○	○		☆	フランス語、ドイツ語、中国語、日本語の4科目の中から1年次にⅠ・Ⅱ、2年次にⅢ・Ⅳと同一言語を4単位修得する必要があります(留学生は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが必修です)。2年次のⅢ・Ⅳは時事英語Ⅲ・Ⅳ又はビジネス英語Ⅲ・Ⅳに換えて履修することができます。(日本語を履修できるのは留学生のみ)
			フランス語Ⅱ	1	1年～		○	○		☆	
			フランス語Ⅲ	1	2年～		○	○		☆	
			フランス語Ⅳ	1	2年～		○	○		☆	
			ドイツ語Ⅰ	1	1年～		○	○		☆	
			ドイツ語Ⅱ	1	1年～		○	○		☆	
	ドイツ語Ⅲ		1	2年～	○		○		☆		
	ドイツ語Ⅳ		1	2年～	○		○		☆		
	中国語Ⅰ		1	1年～	○		○		☆		
	中国語Ⅱ		1	1年～	○		○		☆		
	中国語Ⅲ		1	2年～	○		○		☆		
	中国語Ⅳ		1	2年～	○		○		☆		
	日本語Ⅰ		1	1年～	○		○		☆		
	日本語Ⅱ		1	1年～	○		○		☆		
	日本語Ⅲ		1	2年～	○		○		☆		
	日本語Ⅳ		1	2年～	○		○		☆		
	教養科目	敬天愛人講座	2	1年～	12単位	○			○	12単位以上選択	
		敬愛プログラム	2	1年～		○	○	☆	☆		
		スポーツ教育Ⅰ	1	1年～		○					
		スポーツ教育Ⅱ	1	1年～		○					
		哲学	2	1年～		○					
心理学		2	1年～	○							
社会心理学		2	1年～	○							
歴史学		2	1年～	○							
文学		2	1年～	○							
日本語学		2	1年～	○							
言語学		2	1年～	○							
法学		2	1年～	○							
憲法		2	1年～	○							
政治学		2	1年～	○							

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位
					DP1	DP2	DP3	DP4	
学部共通科目	教養科目	社会学	2	1年～	○				12単位以上選択
		数学Ⅰ	2	1年～	◎		○		
		数学Ⅱ	2	1年～	○		○		
		統計学Ⅰ	2	1年～	◎		○	○	
		統計学Ⅱ	2	1年～	◎		○	○	
		環境科学	2	1年～	○				
	地域ボランティア活動	2	1年～	○			☆		
	情報科目	情報概論	2	1年～		○			4単位以上選択
		AI・DS(データサイエンス)へのいざない	1	1年～		○			
		データサイエンス総論	2	1年～		○	○		
		英語で学ぶpython	2	1年～		○			
		アルゴリズム論	2	2年～					
		プレゼンテーション論	2	2年～		○			
		情報セキュリティ論	2	2年～		○	○		
	キャリア科目	AI概論	2	2年～		○	○		4単位以上選択
		プログラミング	2	2年～		○	○		
		実践会話Ⅰ	2	2年～		◎			
		実践会話Ⅱ	2	2年～		◎			
		キャリアデザイン	2	2年～		○		○	
		キャリアディベロップメント	2	2年～		○		○	
		キャリア基礎開発Ⅰ	2	3年～				◎	
基本科目A	キャリア基礎開発Ⅱ	2	3年～		○			10単位	
	キャリア基礎開発Ⅲ	2	3年～		○	○	○		
	経済理論Ⅰ	2	1年～		○		◎		
	経済理論Ⅱ	2	1年～		○		◎		
	日本経済史Ⅰ	2	1年～		○	○	◎		
	日本経済史Ⅱ	2	1年～		○	○	◎		
	西洋経済史Ⅰ	2	1年～		○	○	◎		
	西洋経済史Ⅱ	2	1年～		○	○	◎		
フィールドワーク入門	2	2年～		◎		◎			
経済学科専門科目	基本科目B	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～			◎		22単位以上選択
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～			◎	◎	
		マクロ経済学Ⅰ	2	2年～					
		マクロ経済学Ⅱ	2	2年～			◎	◎	
		経済政策Ⅰ	2	2年～			◎	○	
		経済政策Ⅱ	2	2年～			◎	○	
		経済学特論Ⅰ	2	2年～		○	○	◎	
		経済学特論Ⅱ	2	2年～		○	○	◎	
		社会政策Ⅰ	2	2年～			◎	○	
		社会政策Ⅱ	2	2年～			◎	○	
		財政学Ⅰ	2	2年～			◎	○	
		財政学Ⅱ	2	2年～			◎	○	
		金融論Ⅰ	2	2年～			◎	○	
		金融論Ⅱ	2	2年～			◎	○	
	国際経済論Ⅰ	2	2年～			◎	○		
	簿記・会計概論Ⅰ	2	2年～		◎	☆	○		
	簿記・会計概論Ⅱ	2	2年～		◎	☆	○		
	会計学Ⅰ	2	2年～		○	☆	○		
	会計学Ⅱ	2	2年～		○	☆	○		
	民法Ⅰ	2	2年～		○				
	民法Ⅱ	2	2年～		○				
	統計学総論Ⅰ	2	2年～		○	○	◎		
統計学総論Ⅱ	2	2年～		○	○	◎			
知的財産権論	2	2年～		☆		☆			
情報マネジメント	2	2年～		☆		☆			
公共経済コース科目	コース科目	公共経済学	2	2年～			◎	○	16単位以上選択
		公共選択論	2	2年～			◎	○	
		地方財政論Ⅰ	2	2年～			◎	☆	
		地方財政論Ⅱ	2	2年～			◎	☆	
		地方自治論Ⅰ	2	2年～			☆	○	
		地方自治論Ⅱ	2	2年～			☆	○	
		社会保障論Ⅰ	2	2年～			○	☆	
		社会保障論Ⅱ	2	2年～			○	☆	
		社会福祉論	2	2年～			○	☆	
		福祉経済論	2	2年～			○	☆	
		行政法Ⅰ	2	2年～		○		☆	
行政法Ⅱ	2	2年～		○		☆			

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位
					DP1	DP2	DP3	DP4	
公共経済コース科目	企業法	2	2年～	16単位	○				16単位以上選択
	会社法	2	2年～		○				
	経済統計Ⅰ	2	2年～						
	経済統計Ⅱ	2	2年～				○		
	進路支援講座Ⅰ(コース共通)	2	1年～		○				
	進路支援講座Ⅱ(コース共通)	2	1年～		○				
	進路支援講座Ⅲ(公務員)	2	2年～		○				
	進路支援講座Ⅳ(公務員)	2	2年～		○				
	進路支援講座Ⅴ(公務員)	2	3年～		○				
	進路支援講座Ⅵ(公務員)	2	3年～		○				
	証券経済論Ⅰ	2	2年～				◎	○	
	証券経済論Ⅱ	2	2年～				◎	○	
	銀行論Ⅰ	2	2年～				◎	☆	
	銀行論Ⅱ	2	2年～				○	☆	
国際金融論Ⅰ	2	2年～			◎	○			
国際金融論Ⅱ	2	2年～			◎	○			
企業金融論Ⅰ	2	2年～			○	○			
企業金融論Ⅱ	2	2年～			○	○			
保険論	2	2年～			○	☆			
金融事情Ⅰ	2	2年～			☆	○			
金融事情Ⅱ	2	2年～			☆	○			
有価証券法	2	2年～			○				
企業法	2	2年～			○				
会社法	2	2年～			○				
経済統計Ⅰ	2	2年～				○			
経済統計Ⅱ	2	2年～				○			
進路支援講座Ⅰ(コース共通)	2	1年～			○				
進路支援講座Ⅱ(コース共通)	2	1年～			○				
進路支援講座Ⅲ(ⅠT)	2	2年～			○				
進路支援講座Ⅳ(ⅠT)	2	2年～			○				
進路支援講座Ⅴ(日経新聞を読む)	2	2年～			○	◎			
進路支援講座Ⅵ(日経新聞を読む)	2	2年～			○	◎			
日本経済論Ⅰ	2	2年～				◎			
日本経済論Ⅱ	2	2年～				◎			
日本経済地理	2	2年～				○			
世界経済地理	2	2年～				○			
アメリカ経済論Ⅰ	2	2年～				◎			
アメリカ経済論Ⅱ	2	2年～				◎			
ヨーロッパ経済論Ⅰ	2	2年～				◎			
ヨーロッパ経済論Ⅱ	2	2年～				◎			
中東経済論	2	2年～				◎			
アジア経済論	2	2年～				◎			
国際貿易論	2	2年～				◎			
労働経済論Ⅰ	2	2年～				○			
労働経済論Ⅱ	2	2年～				○			
労働法	2	2年～				○			
経済統計Ⅰ	2	2年～				◎			
経済統計Ⅱ	2	2年～				◎			
進路支援講座Ⅰ(コース共通)	2	1年～			○				
進路支援講座Ⅱ(コース共通)	2	1年～			○				
進路支援講座Ⅲ(経済)	2	2年～			○				
進路支援講座Ⅳ(経済)	2	2年～			○				
進路支援講座Ⅴ(経済)	2	2年～			○				
進路支援講座Ⅵ(経済)	2	2年～			○				
経済学Ⅰ	2	2年～				○			
経済学Ⅱ	2	2年～				○			
社会思想Ⅰ	2	2年～			○	◎			
社会思想Ⅱ	2	2年～			○	◎			
金融経済の基礎知識	2	2年～			◎	☆			
計量経済学Ⅰ	2	2年～				◎			
計量経済学Ⅱ	2	2年～				◎			
環境経済学Ⅰ	2	2年～				◎			
環境経済学Ⅱ	2	2年～				◎			
環境問題Ⅰ	2	2年～			☆	○			
環境問題Ⅱ	2	2年～			☆	○			
地域経済論	2	2年～				○			
医療と健康の経済学	2	2年～				○			
食料経済論	2	2年～				○			

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位		
					DP1	DP2	DP3	DP4			
経済学科専門科目	展開科目	農業政策	2	2年～			○	○	10単位以上選択 経済学科の基本科目A・B、各コース科目の必要単位数を超えた場合の単位数を含む		
		経済数学Ⅰ	2	2年～			○	○			
		経済数学Ⅱ	2	2年～			◎	○			
		外国書講読Ⅰ	2	2年～			☆	☆			
		外国書講読Ⅱ	2	2年～			☆	☆			
		経営学Ⅰ	2	2年～		○		☆			
		経営学Ⅱ	2	2年～		○		☆			
		地方自治論演習	2	2年～				○			
		TOEIC®向上講座Ⅰ	2	2年～			○	☆			
		TOEIC®向上講座Ⅱ	2	2年～			○	☆			
	国際地域論Ⅰ	2	2年～		○		○	○			
	国際地域論Ⅱ	2	2年～		○		○	○			
	地域産業論	2	2年～				○	○			
	経営立地論	2	2年～				○	○			
	交通論	2	2年～				○	○			
	ビジネスデータ解析	2	2年～				○	○			
	情報ビジネス論	2	3年～				○	○			
	演習科目	専門導入演習Ⅰ	1	2年～		○	◎	○		☆	全科目8単位必修
		専門導入演習Ⅱ	1	2年～		○	◎	○		☆	
		専門演習Ⅰ	1	3年～		○	◎	◎		◎	
専門演習Ⅱ		1	3年～		○	◎	◎	◎			
卒業演習Ⅰ		1	4年～		○	◎	◎	◎			
卒業演習Ⅱ		1	4年～		○	◎	◎	◎			
卒業論文		2	4年～		○	◎	◎	◎			
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科科目や国際学部国際学科の科目を単位修得した場合も当欄で単位を認定する。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目からの履修も可。								12単位以上選択		
自由選択科目	エアポートNARITA地域産業学	★オンライン英会話Ⅰ	1	1年～		◎		☆	★印の科目は「エアポートNARITA地域産業学」専攻者のみ履修可		
		★オンライン英会話Ⅱ	1	1年～		◎		☆			
		世界を知る	2	1年～		○		○			
		空港ビジネス	2	1年～				◎			
		流通経営論	2	2年～				○			
		マーケティング論	2	2年～		☆		☆			
		Marketing Management	2	2年～		☆		☆			
		ホスピタリティ	2	1年～		☆		◎			
		エアライン論	2	2年～				☆		○	
		航空物流論	2	3年～				☆		○	
		地域企業経営論	2	2年～				○		○	
		中小企業論Ⅰ	2	2年～				○		○	
		中小企業論Ⅱ	2	2年～				○		○	
		ベンチャービジネス論	2	2年～				○		○	
		観光事業論Ⅰ	2	2年～		☆		◎		◎	
	観光事業論Ⅱ	2	2年～		☆		◎	◎			
	海外スクーリング	2	1年～		◎	◎	○	○			
	入門シリーズⅠ	2	1年～				○	○			
	入門シリーズⅡ	2	1年～				○	○			
	旅行ビジネス論	2	2年～				○	○			
	地域観光論	2	2年～				○	○			
	ホテル・ビジネス論	2	2年～				○	○			
	千葉県の産業と行政	2	2年～				○	○			
	データサイエンス科目	マーケティング・リサーチⅠ	2	2年～		○		☆		教職課程履修者のみ履修可	
		マーケティング・リサーチⅡ	2	2年～		○		☆			
観光マーケティング調査		2	2年～		○						
社会調査法Ⅰ		2	2年～		○						
社会調査法Ⅱ		2	2年～		○						
社会調査実習Ⅰ		2	3年～		○			☆			
社会調査実習Ⅱ		2	3年～		○			☆			
シブシブ	インターンシップⅠ	2	3年～			◎	◎	教職課程履修者は※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。 ◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。			
	インターンシップⅡ	2	3年～			◎	◎				
に教職及び教科に関する科目	※日本史概論Ⅰ	2	1年～						教職課程履修者のみ履修可		
	※日本史概論Ⅱ	2	1年～								
	※世界史概論Ⅰ	2	1年～								
	※世界史概論Ⅱ	2	1年～								
	※地理学概論Ⅰ	2	1年～								

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位
					DP1	DP2	DP3	DP4	
教職及び教科に関する科目	※地理学概論Ⅱ	2	1年～						教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。 ◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。
	※地誌学Ⅰ	2	1年～						
	※地誌学Ⅱ	2	1年～						
	※哲学概論Ⅰ	2	1年～						
	※哲学概論Ⅱ	2	1年～						
	※比較政治学	2	1年～						
	※社会学概論	2	1年～						
	※自然地理学Ⅰ	2	1年～						
	※自然地理学Ⅱ	2	1年～						
	※環境地理学Ⅰ	2	1年～						
	※環境地理学Ⅱ	2	1年～						
	○教育原論	2	1年～						
	○教育課程論	2	1年～						
	○発達心理学	2	1年～						
	○教育心理学	2	1年～						
	○特別支援教育概論	2	2年～						
	○教職概論	2	1年～						
	○教育行政	2	2年～						
	○教育法規	2	2年～						
	○教育方法論・技術論	2	2年～						
	○社会科・地歴科指導法Ⅰ	2	2年～						
	○社会科・地歴科指導法Ⅱ	2	2年～						
	○地理歴史科指導法	2	2年～						
	○社会科・公民科指導法Ⅰ	2	2年～						
	○社会科・公民科指導法Ⅱ	2	2年～						
	○公民科指導法	2	2年～						
	○道徳教育指導法	2	2年～						
	○総合的な学習の時間の指導法	2	2年～						
	○特別活動指導法	2	2年～						
	○生徒・進路指導論	2	2年～						
○教育相談	2	2年～							
○教職実践演習(中・高)	2	4年～							
○教職時事演習	2	3年～							
○教育実習指導	1	3年～							
○中学校教育実習	4	4年～							
○高等学校教育実習	2	4年～							
○教育福祉論	2	2年～							
卒業要件単位数 124単位									

MEMO

2021年度以降
カリキュラム表

Ⅲ

カリキュラム表

6 2021年度以降入学者卒業要件概念図 経営学科

科目区分		1年次	2年次	3年次	
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアプランニング、健康科学、情報基礎Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ		
	言語科目	言語科目A	必修	英語Ⅰ・Ⅱ	英語Ⅲ・Ⅳ
		言語科目B	選択必修	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、日本語Ⅰ・Ⅱ	フランス語Ⅲ・Ⅳ、ドイツ語Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅲ・Ⅳ、日本語Ⅲ・Ⅳ、時事英語Ⅲ・Ⅳ、ビジネス英語Ⅲ・Ⅳ
	教養科目	選択	敬天愛人講座、敬愛プログラム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、法学、Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、環境科学、地域ボランティア活動、文学、日本語学、言語学		
	情報科目	選択	情報概論、AⅠ・DS(データサイエンス)へのいざない、データサイエンス総論、英語で学ぶpython	アルゴリズム論、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、A	
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアデザイン、キャリアディベロップメント	キャリア基礎開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	小計				
経営学科専門科目	基本科目A	必修	経営学Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計概論Ⅰ・Ⅱ		
	基本科目B	基本科目B	選択	実地調査入門 経営戦略論Ⅰ・Ⅱ、経営組織論Ⅰ・Ⅱ、経営財務論Ⅰ・Ⅱ、マーケティング経営分析Ⅰ・Ⅱ、人的資源管理Ⅰ・Ⅱ、産業論、マーケティング・計算論Ⅰ・Ⅱ、経営史Ⅰ・Ⅱ、ベンチャービジネス論、ビジネスデー観光マーケティング調査	
		インターンシップ科目	選択		インターンシップⅠ・Ⅱ
	コース科目	企業経営コース	選択	地域企業経営論、経営立地論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、企業と産業組織、企業論、情報マネジメント、知的財産権論、経営シミュレーション、理学、日本経済地理、世界経済地理、アジアビジネス論、中国ビ際貿易論、地域産業論、ホテル・ビジネス論	
		商業・会計コース	選択	地域企業経営論、会計学Ⅰ・Ⅱ、簿記原理Ⅰ・Ⅱ、流通情報論、産業論、サービス産業論、管理会計論、消費者行動論、観光事業地域企業会計論、民法Ⅰ・Ⅱ	
		スポーツビジネスコース	選択	スポーツビジネス論、スポーツ産業論、スポーツマーケティング論、実習Ⅰ・Ⅱ、スポーツ科学概論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、サービス産者行動論、企業法、会社法、観光事業論Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰ・Ⅱ	
		地域産業コース	選択	入門ツーリズムⅠ・Ⅱ、千葉学	干葉県の産業と行政、旅行ビジネス論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、地域企業経営論、医療と健康の経済学、流通経営論、国際貿易論、域産業論、管理会計論、地域企業会計論、交通論、地域事業創造論、航空物流論
	展開科目	選択		有価証券法、統計学総論Ⅰ・Ⅱ、企業金融論Ⅰ・Ⅱ、労働法、国ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済統計Ⅰ・Ⅱ、日本銀行論Ⅰ・Ⅱ、外国書講読Ⅰ・Ⅱ、TOEIC®向上講座Ⅰ・Ⅱ	
	演習科目	必修		専門導入演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ
	自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コース上修得する必要があります。(言語科目Bからは選択不可) 経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学合も自由選択科目の卒業単位とします。 教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」の単位を自由選択科目の単位として充当すること		
	小計				
総計					

教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教科指導法Ⅰ・Ⅱ、総合的な学習の時間の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、リア教育・職業指導Ⅰ・Ⅱ、教職時事演習、教育実習指導、高等学校教育実習
-----------------------------	----	--

4年次	単位	備考
	18	全科目18単位を修得する必要があります。
	4	全科目4単位を修得する必要があります。
	4	フランス語、ドイツ語、中国語、日本語の4科目の中から1年次にⅠ・Ⅱ、2年次にⅢ・Ⅳと同一言語を4単位修得する必要があります（留学生は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが必修です）。2年次のⅢ・Ⅳは時事英語Ⅲ・Ⅳ又はビジネス英語Ⅲ・Ⅳに換えて履修することができます。
憲法、政治学、社会学、数学Ⅰ・Ⅱ	12	12単位以上を修得する必要があります。
Ⅰ概論、プログラミング	4	4単位以上を修得する必要があります。
	4	4単位以上を修得する必要があります。
	46	
	10	全科目10単位を修得する必要があります。
グ論、Marketing Management、リサーチⅠ・Ⅱ、流通論、原価分析、情報ビジネス論（3～）、	24	24単位以上を修得する必要があります。
ビジネスエコンミクス、多国籍企業法、会社法、企業経営と心ジネス論、世界の流通産業、国	14	各コースに属する者は、コース科目区分の中から14単位以上を修得する必要があります。
流通経営論、経営立地論、地域論Ⅰ・Ⅱ、税務会計論Ⅰ・Ⅱ、	14	各コースに属する者は、コース科目区分の中から14単位以上を修得する必要があります。
スポーツ文化論、生涯スポーツ業論、企業経営と心理学、消費	14	各コースに属する者は、コース科目区分の中から14単位以上を修得する必要があります。
観光論、観光事業論Ⅰ・Ⅱ、地多国籍企業論、経営立地論、地ホテル・ビジネス論	14	各コースに属する者は、コース科目区分の中から14単位以上を修得する必要があります。
際法Ⅰ・Ⅱ、経済政策Ⅰ・Ⅱ、経済論Ⅰ・Ⅱ、金融論Ⅰ・Ⅱ、	10	10単位以上を修得する必要があります。経営学科専門科目区分（基本科目B、コース科目）で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。
卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文・卒業研究	8	全科目8単位を修得する必要があります。
ス科目、展開科目から12単位以上単位互換科目を単位修得した場 ができます。	12	12単位以上を修得する必要があります。
	78	
	124	
法規、教育方法・技術論、商業教職実践演習（中・高）、キャ		修得した単位は自由選択科目の卒業要件単位とします。

7 経営学科 2021カリキュラム表 (2021年度以降入学者)

経営学科DP		DP1. 健全な倫理観と一般的教養の修得 DP2. 経営学の基本的知識の修得にもとづく実践力 DP3. コース毎の専門知識の修得にもとづく実践力 DP4. 変化に対応できる思考・判断・実践する力の修得 DP5. 多様性の理解と協働する力の修得					
到達目標		企業経営コース 企業経営全般に関する応用的知識と考え方の修得	商業・会計コース 商業や会計に関する応用的知識と考え方の修得	スポーツビジネスコース スポーツビジネスに関する応用的知識と考え方の修得	地域産業コース 地域（特に千葉県）に密着した産業特性と、個々の経営特性を修得し、起業家的能力を修得		
科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)	履修単位	
					DP1 DP2 DP3 DP4 DP5		
学部共通科目	基礎科目	文章表現	2	1年～	18単位	○	全科目18単位必修
		口頭表現	2	1年～		○	
		基礎数学	2	1年～		○	
		入門経済学	2	1年～		○	
		入門経営学	2	1年～		○	
		キャリアプランニング	2	1年～		○	
		健康科学	2	1年～		○	
		情報基礎Ⅰ	1	1年～		○	
		情報基礎Ⅱ	1	1年～		○	
		基礎演習Ⅰ	1	1年～		○	
	基礎演習Ⅱ	1	1年～	○			
	言語科目A	英語Ⅰ	1	1年～	4単位	○	全科目4単位必修
		英語Ⅱ	1	1年～		○	
		英語Ⅲ	1	2年～		○	
		英語Ⅳ	1	2年～		○	
	言語科目B	フランス語Ⅰ	1	1年～	4単位	○	フランス語、ドイツ語、中国語、日本語の4科目の中から1年次にⅠ・Ⅱ、2年次にⅢ・Ⅳと同一言語を4単位修得する必要があります(留学生は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが必修です)。2年次のⅢ・Ⅳは時事英語Ⅲ・Ⅳ又はビジネス英語Ⅲ・Ⅳに換えて履修することができます。(日本語を履修できるのは留学生のみ)
		フランス語Ⅱ	1	1年～		○	
		フランス語Ⅲ	1	2年～		○	
		フランス語Ⅳ	1	2年～		○	
		ドイツ語Ⅰ	1	1年～		○	
		ドイツ語Ⅱ	1	1年～		○	
		ドイツ語Ⅲ	1	2年～		○	
		ドイツ語Ⅳ	1	2年～		○	
		中国語Ⅰ	1	1年～		○	
		中国語Ⅱ	1	1年～		○	
		中国語Ⅲ	1	2年～		○	
		中国語Ⅳ	1	2年～		○	
	教養科目	日本語Ⅰ	1	1年～	12単位	○	12単位以上選択
		日本語Ⅱ	1	1年～		○	
		日本語Ⅲ	1	2年～		○	
		日本語Ⅳ	1	2年～		○	
		時事英語Ⅲ	1	2年～		○	
		時事英語Ⅳ	1	2年～		○	
		ビジネス英語Ⅲ	1	2年～		○	
		ビジネス英語Ⅳ	1	2年～		○	
		敬天愛人講座	2	1年～		○	
敬愛プログラム		2	1年～	○			
スポーツ教育Ⅰ		1	1年～	☆			
スポーツ教育Ⅱ		1	1年～	☆			
哲学		2	1年～	☆			
心理学		2	1年～	○			
社会心理学	2	1年～	○				
歴史学	2	1年～	○				
文学	2	1年～	○				
日本語学	2	1年～	○				
言語学	2	1年～	○				
法学	2	1年～	○				
憲法	2	1年～	☆				
政治学	2	1年～	○				
社会学	2	1年～	☆				
数学Ⅰ	2	1年～	☆				
数学Ⅱ	2	1年～	☆				
統計学Ⅰ	2	1年～	○				

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					履修単位	
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
学生共通科目	教養科目	統計学Ⅱ	2	1年～	12 単位	○					12単位以上選択
		環境科学	2	1年～		☆					
		地域ボランティア活動	2	1年～		☆					
	情報科目	情報概論	2	1年～	4 単位						4単位以上選択
		AI・DS(データサイエンス)へのいざない	1	1年～							
		データサイエンス総論	2	1年～							
		英語で学ぶPython	2	1年～							
		アルゴリズム論	2	2年～							
		プレゼンテーション論	2	2年～							
		情報セキュリティ論	2	2年～							
	キャリア科目	実践会話Ⅰ	2	2年～	4 単位	☆					4単位以上選択
		実践会話Ⅱ	2	2年～		☆					
		キャリアデザイン	2	2年～		☆					
		キャリアディベロップメント	2	2年～		○				☆	
		キャリア基礎開発Ⅰ	2	3年～		○				☆	
キャリア基礎開発Ⅱ		2	3年～	○					☆		
キャリア基礎開発Ⅲ		2	3年～	○					☆		
基本科目A	経営学Ⅰ	2	1年～	10 単位		◎				全科目必修10単位	
	経営学Ⅱ	2	1年～		◎						
	簿記・会計概論Ⅰ	2	1年～		◎						
	簿記・会計概論Ⅱ	2	1年～		◎						
	実地調査入門	2	2年～		◎			○	○		
	経営戦略論Ⅰ	2	2年～		◎						
	経営戦略論Ⅱ	2	2年～		◎						
	経営組織論Ⅰ	2	2年～		◎						
	経営組織論Ⅱ	2	2年～		◎						
	経営財務論Ⅰ	2	2年～		◎						
基本科目B	経営財務論Ⅱ	2	2年～	24 単位	◎					24単位以上選択	
	マーケティング論	2	2年～		○						
	Marketing Management	2	2年～		○						
	経営分析Ⅰ	2	2年～		○						
	経営分析Ⅱ	2	2年～		○						
	人的資源管理Ⅰ	2	2年～		○						
	人的資源管理Ⅱ	2	2年～		○						
	産業論	2	2年～		○						
	マーケティングリサーチⅠ	2	2年～		○						
	マーケティングリサーチⅡ	2	2年～		○						
	流通論	2	2年～		○						
	原価計算論Ⅰ	2	2年～		☆						
	原価計算論Ⅱ	2	2年～		☆						
	経営史Ⅰ	2	2年～		☆						
	経営史Ⅱ	2	2年～		☆						
	ベンチャービジネス論	2	2年～		☆						
	ビジネスデータ解析	2	2年～		○						
	観光マーケティング調査	2	2年～		☆						
	情報ビジネス論	2	3年～		☆						
	シブシブ	インターンシップⅠ	2		3年～	14 単位		◎	◎		◎
インターンシップⅡ		2	3年～		◎		◎	◎			
企業経営コース科目	地域企業経営論	2	2年～	14 単位		○				14単位以上選択	
	経営立地論	2	2年～			○					
	中小企業論Ⅰ	2	2年～			○					
	中小企業論Ⅱ	2	2年～			○					
	企業と産業組織	2	2年～			○					
	ビジネスエコノミクス	2	2年～			○					
	多国籍企業論	2	2年～			○					
	情報マネジメント	2	2年～			○					
	知的財産権論	2	2年～			○					
	経営シミュレーション	2	2年～			○					
	企業法	2	2年～			○					
	会社法	2	2年～			○					
	企業経営と心理学	2	2年～			○					
	日本経済地理	2	2年～			○					
	世界経済地理	2	2年～			○					
	アジアビジネス論	2	2年～						☆		
	中国ビジネス論	2	2年～						☆		
	世界の流通産業	2	2年～						☆		
国際貿易論	2	2年～					○				

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					履修単位		
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5			
経営学科専門科目	コア科目	地域産業論	2	2年～	14 単位			○			14単位以上選択	
		ホテル・ビジネス論	2	2年～				○				
		地域企業経営論	2	2年～				○				
	商業・会計コース科目	コア科目	会計学Ⅰ	2	2年～	14 単位			○			14単位以上選択
			会計学Ⅱ	2	2年～				○			
			簿記原理Ⅰ	2	2年～				○			
			簿記原理Ⅱ	2	2年～				○			
			流通情報論	2	2年～				○			
			流通経営論	2	2年～				○			
			経営立地論	2	2年～				○			
			地域産業論	2	2年～				○			
			サービス産業論	2	2年～				○			
			管理会計論	2	2年～				○			
			消費者行動論	2	2年～				○			
			観光事業論Ⅰ	2	2年～				○			
			観光事業論Ⅱ	2	2年～				○			
			税務会計論Ⅰ	2	2年～						☆	
			税務会計論Ⅱ	2	2年～						☆	
	地域企業会計論	2	2年～					☆				
	民法Ⅰ	2	2年～					☆				
	民法Ⅱ	2	2年～					☆				
	スポーツビジネスコース科目	コア科目	スポーツビジネス論	2	2年～	14 単位			○			14単位以上選択
			スポーツ産業論	2	2年～				○			
			スポーツマーケティング論	2	2年～				○			
			スポーツ文化論	2	2年～				○			
			生涯スポーツ実習Ⅰ	2	2年～				○			
			生涯スポーツ実習Ⅱ	2	2年～				○			
			スポーツ科学概論	2	2年～				○			
			中小企業論Ⅰ	2	2年～				○			
			中小企業論Ⅱ	2	2年～				○			
			サービス産業論	2	2年～				○			
			企業経営と心理学	2	2年～				○			
			消費者行動論	2	2年～				○			
企業法			2	2年～				○				
会社法			2	2年～				○				
観光事業論Ⅰ			2	2年～						☆		
観光事業論Ⅱ	2	2年～					☆					
民法Ⅰ	2	2年～					☆					
民法Ⅱ	2	2年～					☆					
地域産業コース科目	コア科目	入門ツーリズムⅠ	2	1年～	14 単位			○			14単位以上選択	
		入門ツーリズムⅡ	2	1年～				○				
		千葉学	2	1年～				○				
		千葉県の産業と行政	2	2年～				○				
		旅行ビジネス論	2	2年～				○				
		中小企業論Ⅰ	2	2年～				○				
		中小企業論Ⅱ	2	2年～				○				
		地域観光論	2	2年～				○				
		観光事業論Ⅰ	2	2年～				○				
		観光事業論Ⅱ	2	2年～				○				
		地域企業経営論	2	2年～				○				
		医療と健康の経済学	2	2年～				○				
		流通経営論	2	2年～				○				
		国際貿易論	2	2年～				☆				
		多国籍企業論	2	2年～				☆				
		経営立地論	2	2年～				○				
		地域産業論	2	2年～				○				
		管理会計論	2	2年～						☆		
地域企業会計論	2	2年～					○					
航空物流論	2	3年～					☆					
交通論	2	2年～					○					
地域事業創造論	2	2年～					○					
ホテル・ビジネス論	2	2年～					○					
展開科目	コア科目	有価証券法	2	2年～	10 単位			○			10単位以上選択 経営学科の基本科目B、各コース科目の 必要単位数を超えた場合の単位数を含む	
		統計学総論Ⅰ	2	2年～				○				
		統計学総論Ⅱ	2	2年～				○				
		企業金融論Ⅰ	2	2年～				☆				
		企業金融論Ⅱ	2	2年～				☆				
		労働法	2	2年～				☆				
		国際法Ⅰ	2	2年～				☆				

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					履修単位
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
経営学科専門科目 展開科目	国際法Ⅱ	2	2年～	10 単位			☆			10単位以上選択 経営学科の基本科目B、各コース科目の 必要単位数を超えた場合の単位数を含む
	経済政策Ⅰ	2	2年～				☆			
	経済政策Ⅱ	2	2年～				☆			
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～				☆			
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆			
	マクロ経済学Ⅰ	2	2年～				☆			
	マクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆			
	経済統計Ⅰ	2	2年～				☆			
	経済統計Ⅱ	2	2年～				☆			
	日本経済論Ⅰ	2	2年～				☆			
	日本経済論Ⅱ	2	2年～				☆			
	金融論Ⅰ	2	2年～				☆			
	金融論Ⅱ	2	2年～				☆			
	銀行論Ⅰ	2	2年～				☆			
	銀行論Ⅱ	2	2年～				☆			
	外国書講読Ⅰ	2	2年～				○			
外国書講読Ⅱ	2	2年～			○					
TOEIC®向上講座Ⅰ	2	2年～		☆						
TOEIC®向上講座Ⅱ	2	2年～		☆						
演習科目	専門導入演習Ⅰ	1	2年～	8 単位		○	○	○	◎	全科目必修8単位
	専門導入演習Ⅱ	1	2年～			○	○	○	◎	
	専門演習Ⅰ	1	3年～			○	○	○	◎	
	専門演習Ⅱ	1	3年～			○	○	◎	◎	
	卒業演習Ⅰ	1	4年～			○	○	◎	◎	
	卒業演習Ⅱ	1	4年～			○	○	◎	◎	
	卒業論文・卒業研究	2	4年～			◎	◎	◎	◎	
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科科目や国際学部国際学科の科目を単位修得した場合も当欄で単位認定する。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目からの履修も可。			12 単位						12単位以上選択
自由選択科目 エアポートNARITA地域産業学 デタラエンス	★オンライン英会話Ⅰ	1	1年～							★印の科目は「エアポートNARITA地域産業学」専攻者のみ履修可
	★オンライン英会話Ⅱ	1	1年～							
	世界を知る	2	1年～		☆					
	空港ビジネス	2	1年～				☆			
	ホスピタリティ	2	1年～		☆					
	エアライン論	2	2年～				☆			
	地方財政論Ⅰ	2	2年～				☆			
	地方財政論Ⅱ	2	2年～				☆			
	海外スクーリング	2	1年～		☆					
	社会調査法Ⅰ	2	2年～				☆			
社会調査法Ⅱ	2	2年～			☆					
社会調査実習Ⅰ	2	3年～			☆					
社会調査実習Ⅱ	2	3年～			☆					
教職及び教科に関する科目	◎教育原論	2	1年～							教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は◎印の科目を単位修得した 場合、自由選択科目の卒業単位とする。
	◎教育課程論	2	1年～							
	◎発達心理学	2	1年～							
	◎教育心理学	2	1年～							
	◎特別支援教育概論	2	2年～							
	◎教職概論	2	1年～							
	◎教育行政	2	2年～							
	◎教育法規	2	2年～							
	◎教育方法論・技術論	2	2年～							
	◎商業科指導法Ⅰ	2	2年～							
	◎商業科指導法Ⅱ	2	2年～							
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2年～							
	◎特別活動指導法	2	2年～							
	◎生徒・進路指導論	2	2年～							
	◎教育相談	2	2年～							
	◎教職実践演習(中・高)	2	4年～							
	◎キャリア教育・職業指導Ⅰ	2	2年～							
	◎キャリア教育・職業指導Ⅱ	2	2年～							
	◎教職時事演習	2	3年～							
◎教育実習指導	1	3年～								
◎高等学校教育実習	2	4年～								

卒業要件単位数 124単位

2

2019・2020年度入学者カリキュラム表

1 教育課程の編成方針と概要

1. 「敬愛大学学則」及び「経済学部規程」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位以上と定めています。
2. 経済学部では、「敬天愛人」の建学の精神のもとに「人間性と創造性豊かな経済人」の育成を図ることを目的として、「経済学科」と「経営学科」の2つの教育課程を編成しています。
3. 経済学部では2年次学科選択制を導入しています。1年次は全員学科に所属せず「経済学部未所属学科生」として共通カリキュラムの下での科目履修を経て、1年次後期に2年次以降卒業までの3年間所属する学科を選択することになります。なお、学科には定員があります。定員を超える希望者がいた場合は前期終了時の成績や授業出席状況等の修学状況を参考にして、所属学科を決定します。従って、1年次は経済・経営に関する基礎となる科目を履修しながら、各自が経済学・経営学に対する興味・関心・または将来の目指す進路を見据えて、経済・経営いずれの学科に所属するかを検討する期間になります。「経済学科」は3つ、「経営学科」は4つの専門的な学習コースがあり、コースの選択は2年次前期の履修登録時にあわせて行います。2年次以降は自分の学習意欲や将来の進路・目標にもとづき、各自が選択した学科・コースの科目を具体的・体系的に履修していきます。
4. 1年次のゼミはあらかじめ大学側で担当教員を指定しますが、2年次からの所属ゼミは原則、みなさんの希望により決定します。ゼミは2年次からの所属学科が決定した後、所属する学科から選択します。従って、2年次から経済学科に所属する場合、2年ゼミも経済学科のゼミから選択することになります。
5. 経済学部の教育課程には、学部共通科目を基礎として、基礎科目群、言語科目群、教養科目群、情報科目群、キャリア科目群を配しており、「経済学科」・「経営学科」の専門分野にあっては、基本科目群、専門科目群、展開科目群、演習科目で構成しています。また、基礎科目を、必修科目もしくは選択科目として1年次に多く配置し、よりスムーズに高度な専門分野へ移行できる段階的な教育を実践しています。
6. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目及び集中講義によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修にあっては、条件付科目があるので、確認が必要です。
7. 教職課程履修者は卒業必要単位のほかに、教育職員免許法に定める所定の単位を修得することが必要です。
8. 本学では、特色のある教育活動として「敬愛プログラム」科目を配置しています。この「敬愛プログラム」は、学生（個人またはグループ）の自主的・自発的な発想による活動の支援を目的とする制度です。学生は、ボランティア活動、クラブ活性化活動、イベントの企画・実施、商店街や事業所の調査等、学内外における活動のテーマを設定し、事前に達成目標や段取りを明記した企画書を作成したうえで、当該年度に成果の発表を行います。その成果が評価に値するものと認定されれば、活動そのものが卒業単位として認められ、さらに支援金の支給を受けることができます。

2 コースの概要

経済学科（3コース）

公共経済コース

政府や地方自治体から見た経済の仕組みや課題を学び、公共サービスに従事できる人材を育成します。

主な進路

地方自治体（行政事務）、地方自治体（警察・消防士）、
団体職員など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／
高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）

金融経済コース

銀行や証券の仕組みや金融が経済にもたらす影響を学び、金融業界で活躍できる人材を育成します。

主な進路

銀行、信用金庫、証券会社、保険会社など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／
高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）
ファイナンシャル・プランナー／
Microsoft® Office Specialist／ITパスポートなど

現代経済コース

経済学を体系的に学び、実社会で活躍するために必要な幅広い知識と教養を身に付け、現代社会の中核となる人材を育成します。

主な進路

一般企業（各業種全般）、教員など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／
高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）など

2 コースの概要

経営学科（4コース）

企業経営コース

経営の基礎から応用に加え、地域産業や業種の特徴とその経営・管理を学び、企業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の人事、経営企画、事業統括など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定／ITパスポート／高等学校教諭一種免許（商業）など

商業・会計コース

品物やお金の流れの視点から地域産業の実態や業種の特徴とビジネス手法を学び、地域経済の活性化に貢献できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の商品企画、営業、経理・財務など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／公認会計士／税理士／ビジネス能力検定／日商簿記検定／高等学校教諭一種免許（商業）など

スポーツビジネスコース

経営知識と健康運動科学・スポーツ実技を学び、地域に密着したスポーツビジネス産業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

健康・スポーツ関連企業など

取得できる免許・資格

各種スポーツライセンス／ビジネス能力検定／日商簿記検定
高等学校教諭一種免許（商業）など

地域産業コース

地元である千葉の産業・企業を学び、千葉での就職や企業をめざす地域活性化人材を育成します。

主な進路

県内企業への就職、起業、地域金融機関、各種団体職員、
経営コンサルタント

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定
旅行業務取扱管理者／高等学校教諭一種免許（商業）など

3 科目区分および卒業要件単位略図 (2019・2020年度入学者)

科目区分		履修区分	卒業要件単位数	
学部共通科目	基礎科目	必修科目	18	
	言語科目A (英語)	必修科目	4	
	言語科目B (第二外国語)	選択科目	4	
	教養科目	選択科目	12	
	情報科目	選択科目	4	
	キャリア科目	選択科目	4	
	小計			46
経済学科専門科目	基本科目A	必修科目	10	
	基本科目B	選択科目	22	
	コース科目	公共経済コース	(いずれか1コースを選択) 選択科目	16
		金融経済コース		
		現代経済コース		
	展開科目	選択科目	10	
	演習科目 (ゼミ)	必修科目	8	
	自由選択科目	選択科目	12	
小計			78	
卒業要件単位数			124	
経営学科専門科目	基本科目A	必修科目	10	
	基本科目B	基本科目B	選択科目	24
		インターンシップ科目	選択科目	
	コース科目	企業経営コース	(いずれか1コースを選択) 選択科目	14
		商業・会計コース		
		スポーツビジネスコース		
		地域産業コース		
	展開科目	選択科目	10	
	演習科目 (ゼミ)	必修科目	8	
	自由選択科目	選択科目	12	
小計			78	
卒業要件単位数			124	

4 2019・2020年度入学者卒業要件概念図 経済学科

科目区分		1年次	2年次	3年次	
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアプランニング、健康科学、情報基礎Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ		
	言語科目	言語科目A	必修	英語Ⅰ・Ⅱ	
		言語科目B	選択	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、日本語Ⅰ・Ⅱ	
	教養科目	選択	敬天愛人講座、敬愛プログラム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、法学、数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、環境科学、地域ボランティア活動		
	情報科目	選択	情報概論、データサイエンス総論	アルゴリズム論、ビジネスデータ解析、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、AI概論、プログラミング	
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアデザイン	キャリア基礎開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	小計				
経済学科専門科目	基本科目A	必修	経済理論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ、西洋経済史Ⅰ・Ⅱ		
	基本科目B	選択		フィールドワーク入門	
		選択	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済政策Ⅰ・Ⅱ、資本Ⅱ、財政学Ⅰ・Ⅱ、金融論Ⅰ・Ⅱ、国際経済論Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計企業法、会社法、統計学総論Ⅰ・Ⅱ、知的財産権論、情報マネジ		
	コース科目	公共経済コース	コース科目	選択	公共経済学、公共選択論、地方財政論Ⅰ・Ⅱ、地方自治論Ⅰ・Ⅱ、Ⅰ・Ⅱ、社会福祉論、福祉経済論、経済学史Ⅰ・Ⅱ、行政法Ⅰ・Ⅱ、
		金融経済コース	コース科目	選択	証券経済論Ⅰ・Ⅱ、銀行論Ⅰ・Ⅱ、国際金融論Ⅰ・Ⅱ、企業金融Ⅱ、有価証券法
			進路支援科目	選択	進路支援講座Ⅰ・Ⅱ(コース共通)
		現代経済コース	コース科目	選択	進路支援講座Ⅲ(IT)・Ⅳ(IT)
	進路支援科目		選択	進路支援講座Ⅰ・Ⅱ(コース共通)	進路支援講座Ⅲ(経済)・Ⅳ(経済)・進路支援講座Ⅴ(経済)・Ⅵ(経済)
	展開科目	選択		社会思想史Ⅰ・Ⅱ、金融経済の基礎知識、経済学方法論Ⅰ・Ⅱ、Ⅰ・Ⅱ、環境問題Ⅰ・Ⅱ、医療と健康の経済学、食料経済論、外国書講読Ⅰ・Ⅱ、経営学Ⅰ・Ⅱ、地方自治論演習、TOEIC®向、日本・中東関係、地域産業論、経営立地論、交通論	
	演習科目	必修		専門導入演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各援科目から12単位以上修得する必要があります。(言語科目Bからは選択不可) 経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学合も自由選択科目の卒業単位とします。 教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」(※印の科目を除く)の単位を自由選択科目の単位			
小計					
総計					
教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)	選択	日本史概論Ⅰ・Ⅱ、世界史概論Ⅰ・Ⅱ、地理学概論Ⅰ・Ⅱ、地誌学Ⅰ・Ⅱ、哲学概論Ⅰ・Ⅱ、比較政Ⅰ・Ⅱ、環境地理学Ⅰ・Ⅱ			
	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法規、歴科指導法Ⅰ・Ⅱ、地理歴史科指導法、社会科・公民科指導法Ⅰ・Ⅱ、公民科指導法、道徳教育指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、教職実践演習(中・高)、教職時事演習、教育実習指教育実習、教育福祉論			

4年次	単位	備考
	18	全科目18単位を修得する必要があります。
	4	全科目4単位を修得する必要があります。
	4	フランス語、ドイツ語、中国語、日本語の4科目の中から1年次にⅠ・Ⅱ、2年次にⅢ・Ⅳと同一言語を4単位修得する必要があります（留学生は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが必修です）。2年次のⅢ・Ⅳは時事英語Ⅲ・Ⅳ又はビジネス英語Ⅲ・Ⅳに換えて履修することができます。
憲法、政治学、社会学、	12	12単位以上を修得する必要があります。
情報ビジネス論、	4	4単位以上を修得する必要があります。
	4	4単位以上を修得する必要があります。
	46	
	10	経済理論Ⅰ・Ⅱ2科目4単位、日本経済史Ⅰ・Ⅱまたは西洋経済史Ⅰ・Ⅱいずれか2科目4単位、フィールドワーク入門2単位、合計10単位修得する必要があります（ただし、日本経済史と西洋経済史の組み合わせは不可）。
主義経済論Ⅰ・Ⅱ、社会政策Ⅰ・概論Ⅰ・Ⅱ、会計学Ⅰ・Ⅱ、メント	22	22単位以上を修得する必要があります。
財政赤字の経済学、社会保障論 民法Ⅰ・Ⅱ	16	各コースに属する者は、コース科目区分の中から16単位以上を修得する必要があります。 修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。
論Ⅰ・Ⅱ、保険論、金融事情Ⅰ・	16	各コースに属する者は、コース科目区分の中から16単位以上を修得する必要があります。 修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。
論Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパ経済論Ⅰ・労働法、経済統計Ⅰ・Ⅱ	16	各コースに属する者は、コース科目区分の中から16単位以上を修得する必要があります。 修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。
計量経済学Ⅰ・Ⅱ、環境経済学 農業政策、経済数学Ⅰ・Ⅱ、 上講座Ⅰ・Ⅱ、国際地域論Ⅰ・Ⅱ	10	10単位以上を修得する必要があります。経済学科専門科目区分（基本科目A・B、コース科目）で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。
卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文	8	全科目8単位を修得する必要があります。
コース科目、展開科目、進路支 単位互換科目を単位修得した場 として充当することができます。	12	12単位以上を修得する必要があります。
	78	
	124	
治学、社会学概論、自然地理学		修得した単位は教養科目の卒業単位とします。
教育方法・技術論、社会科・地 総合的な学習の時間の指導法、 導、中学校教育実習、高等学校		修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。

5 経済学科 2019・2020カリキュラム表(2019・2020年度入学者)

経済学科DP		DP1. 社会科学を機軸とした幅広い教養を深めるとともに、経済学の知識を基に社会の発展に活かす良識を身につける。 DP2. 経済社会の問題に関する情報を主体的に収集、分析し、問題の解決策を論理的に述べられる表現力・コミュニケーション能力を取得する。 DP3. 経済学を体系的に理解し、数値データをもとに経済の現状を捉える手法を修得することで、経済的な思考にもとづく適切な判断力を身につける。 DP4. 社会問題への関心と想像力を涵養し、未知の課題に立ち向かうことができ、様々な人々と協調して経済活動を行うことができる社会人になる。									
到達目標		公共経済コース		金融経済コース		現代経済コース					
		公共部門（国、地方自治体）において、経済計画、都市計画など政策策定に必要な経済学的分析力、応用力、展開力を身につける		銀行・証券・保険などの金融業界および、その関連業界において、経済動向や経営状況の判断に必要な知識や分析力を身につける		社会が直面する様々な経済問題を、歴史や理論から探求し、日本や世界の経済について考察する力を身につける					
科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位		
					DP1	DP2	DP3	DP4			
学部共通科目	基礎科目	文章表現	2	1年～	18 単位	◎	◎			全科目18単位必修	
		口頭表現	2	1年～		◎	◎				
		基礎数学	2	1年～		◎		○			
		入門経済学	2	1年～		◎		◎			
		入門経営学	2	1年～		◎					
		キャリアプランニング	2	1年～		◎			○		
		健康科学	2	1年～		◎					
		情報基礎Ⅰ	1	1年～		◎	○		○		
		情報基礎Ⅱ	1	1年～		◎	○		○		
		基礎演習Ⅰ	1	1年～		◎	○	○			
	基礎演習Ⅱ	1	1年～	◎	○	○					
	言語科目A	英語Ⅰ	1	1年～	4 単位	○	◎		☆	全科目4単位必修	
		英語Ⅱ	1	1年～		○	◎		☆		
		英語Ⅲ	1	2年～		○	◎		☆		
		英語Ⅳ	1	2年～		○	◎		☆		
		言語科目B	フランス語Ⅰ	1	1年～	4 単位	○	◎		☆	フランス語、ドイツ語、中国語、日本語の4科目の中から1年次にⅠ・Ⅱ、2年次にⅢ・Ⅳと同一言語を4単位修得する必要があります(留学生は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが必修です)。2年次のⅢ・Ⅳは時事英語Ⅲ・Ⅳ又はビジネス英語Ⅲ・Ⅳに換えて履修することができます。(日本語を履修できるのは留学生のみ)
			フランス語Ⅱ	1	1年～		○	◎		☆	
			フランス語Ⅲ	1	2年～		○	◎		☆	
			フランス語Ⅳ	1	2年～		○	◎		☆	
			ドイツ語Ⅰ	1	1年～		○	◎		☆	
			ドイツ語Ⅱ	1	1年～		○	◎		☆	
	ドイツ語Ⅲ		1	2年～	○		◎		☆		
	ドイツ語Ⅳ		1	2年～	○		◎		☆		
	中国語Ⅰ		1	1年～	○		◎		☆		
	中国語Ⅱ		1	1年～	○		◎		☆		
	中国語Ⅲ		1	2年～	○		◎		☆		
	中国語Ⅳ		1	2年～	○		◎		☆		
	日本語Ⅰ		1	1年～	○		◎		☆		
	日本語Ⅱ		1	1年～	○		◎		☆		
	日本語Ⅲ		1	2年～	○		◎		☆		
	日本語Ⅳ		1	2年～	○		◎		☆		
	時事英語Ⅲ	1	2年～	○	◎		☆				
	時事英語Ⅳ	1	2年～	○	◎		☆				
	ビジネス英語Ⅲ	1	2年～	○	◎		☆				
	ビジネス英語Ⅳ	1	2年～	○	◎		☆				
	教養科目	敬天愛人講座	2	1年～	12 単位	◎			◎	12単位以上選択	
敬愛プログラム		2	1年～	○		◎	☆	☆			
スポーツ教育Ⅰ		1	1年～	○							
スポーツ教育Ⅱ		1	1年～	○							
哲学		2	1年～	○							
心理学		2	1年～	○							
社会心理学		2	1年～	○							
歴史学		2	1年～	○							
法学		2	1年～	○							
憲法		2	1年～	○							
政治学		2	1年～	○							
社会学		2	1年～	○							
数学Ⅰ		2	1年～	◎			○				
数学Ⅱ		2	1年～	◎			○				
統計学Ⅰ	2	1年～	◎		○	○					

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位		
					DP1	DP2	DP3	DP4			
学部共通科目	教養科目	統計学Ⅱ	2	1年～	12 4 4 10 22 16 単位	◎		○	○	12単位以上選択	
		環境科学	2	1年～		○					
		地域ボランティア活動	2	1年～		○			☆		
	情報科目	情報概論	2	1年～			○				4単位以上選択
		アルゴリズム論	2	2年～			○				
		ビジネスデータ解析	2	2年～			○	○			
		プレゼンテーション論	2	2年～			○				
		情報ビジネス論	2	2年～			○				
		情報セキュリティ論	2	2年～			○				
		データサイエンス総論	2	1年～			○	○			
	キャリア科目	AI概論	2	2年～			○	○		4単位以上選択	
		プログラミング	2	2年～			○				
実践会話Ⅰ		2	2年～		◎						
実践会話Ⅱ		2	2年～		◎						
キャリアデザイン		2	2年～		○		○				
基本科目A	キャリアディベロップメント	2	2年～		○		○	4単位以上選択			
	キャリア基礎開発Ⅰ	2	3年～				◎				
	キャリア基礎開発Ⅱ	2	3年～		◎						
	キャリア基礎開発Ⅲ	2	3年～		○	○	○				
	経済理論Ⅰ	2	1年～		○		◎		10単位 ※経済理論Ⅰ・Ⅱ2科目4単位必修 ※フィールドワーク入門2単位必修 ※経済史4単位必修 (日本経済史Ⅰ・Ⅱまたは西洋経済史Ⅰ・Ⅱのいずれか2科目4単位を選択。日本経済史と西洋経済史のⅠ・Ⅱの組み合わせは不可)		
	経済理論Ⅱ	2	1年～		○		◎				
	日本経済史Ⅰ	2	1年～		○	○	◎				
	日本経済史Ⅱ	2	1年～		○	○	◎				
	西洋経済史Ⅰ	2	1年～		○	○	◎				
	西洋経済史Ⅱ	2	1年～		○	○	◎				
フィールドワーク入門	2	2年～		◎		◎					
基本科目B	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～			◎		22単位以上選択			
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～			◎	◎				
	マクロ経済学Ⅰ	2	2年～			◎					
	マクロ経済学Ⅱ	2	2年～			◎	◎				
	経済政策Ⅰ	2	2年～			◎	○				
	経済政策Ⅱ	2	2年～			◎	○				
	資本主義経済論Ⅰ	2	2年～		○	○	◎				
	資本主義経済論Ⅱ	2	2年～		○	○	◎				
	社会政策Ⅰ	2	2年～			◎	○				
	社会政策Ⅱ	2	2年～			◎	○				
	財政学Ⅰ	2	2年～			◎	○				
	財政学Ⅱ	2	2年～			◎	○				
	金融論Ⅰ	2	2年～			◎	○				
	金融論Ⅱ	2	2年～			◎	○				
	国際経済論Ⅰ	2	2年～			◎	○				
	国際経済論Ⅱ	2	2年～			◎	○				
	簿記・会計概論Ⅰ	2	2年～		◎	☆	○				
	簿記・会計概論Ⅱ	2	2年～		◎	☆	○				
	会計学Ⅰ	2	2年～		◎	☆	○				
	会計学Ⅱ	2	2年～		◎	☆	○				
	企業法	2	2年～		○		☆				
	会社法	2	2年～		○		☆				
公共経済コース科目	統計学総論Ⅰ	2	2年～		○	○	◎	16単位以上選択			
	統計学総論Ⅱ	2	2年～		○	○	◎				
	知的財産権論	2	2年～		☆		☆				
	情報マネジメント	2	2年～		☆		☆				
	公共経済学	2	2年～			◎	○				
	公共選択論	2	2年～			◎	○				
	地方財政論Ⅰ	2	2年～			◎	☆				
	地方財政論Ⅱ	2	2年～			◎	☆				
	地方自治論Ⅰ	2	2年～			☆	○				
	地方自治論Ⅱ	2	2年～			☆	○				
	財政赤字の経済学	2	2年～			○	○				
	社会保障論Ⅰ	2	2年～			○	○				
	社会保障論Ⅱ	2	2年～			○	○				
	社会福祉論	2	2年～			○	○				
	福祉経済論	2	2年～			○	○				
	経済学史Ⅰ	2	2年～		○		◎				
経済学史Ⅱ	2	2年～		○		◎					
行政法Ⅰ	2	2年～		○		☆					
行政法Ⅱ	2	2年～		○		☆					
民法Ⅰ	2	2年～		○		☆					

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位	
					DP1	DP2	DP3	DP4		
公共経済コース科目	民法Ⅱ	2	2年～	16単位	○			☆	16単位以上選択	
	進路支援講座Ⅰ(コース共通)	2	1年～		○					
	進路支援講座Ⅱ(コース共通)	2	1年～		○					
	進路支援講座Ⅲ(公務員)	2	2年～		○					
	進路支援講座Ⅳ(公務員)	2	2年～		○					
	進路支援講座Ⅴ(公務員)	2	3年～		○					
	進路支援講座Ⅵ(公務員)	2	3年～		○					
金融経済コース科目	証券経済論Ⅰ	2	2年～	16単位			◎	○	16単位以上選択	
	証券経済論Ⅱ	2	2年～				◎	○		
	銀行論Ⅰ	2	2年～				◎	○		☆
	銀行論Ⅱ	2	2年～				◎	○		☆
	国際金融論Ⅰ	2	2年～				◎	○		
	国際金融論Ⅱ	2	2年～				◎	○		
	企業金融論Ⅰ	2	2年～				◎	○		
	企業金融論Ⅱ	2	2年～				◎	○		
	保険論	2	2年～				◎	○		☆
	金融事情Ⅰ	2	2年～				☆	○		○
	金融事情Ⅱ	2	2年～				☆	○		○
	有価証券法	2	2年～			○				☆
	進路支援講座Ⅰ(コース共通)	2	1年～			○				
	進路支援講座Ⅱ(コース共通)	2	1年～			○				
進路支援講座Ⅲ(ⅠT)	2	2年～		○						
進路支援講座Ⅳ(ⅠT)	2	2年～		○						
進路支援講座Ⅴ(日経新聞を読む)	2	2年～		○		◎				
進路支援講座Ⅵ(日経新聞を読む)	2	2年～		○		◎				
現代経済コース科目	日本経済論Ⅰ	2	2年～	16単位			◎	○	16単位以上選択	
	日本経済論Ⅱ	2	2年～				◎	○		
	日本経済地理	2	2年～				◎	○		
	世界経済地理	2	2年～				◎	○		
	アメリカ経済論Ⅰ	2	2年～				◎	◎		
	アメリカ経済論Ⅱ	2	2年～				◎	◎		
	ヨーロッパ経済論Ⅰ	2	2年～				◎	◎		
	ヨーロッパ経済論Ⅱ	2	2年～				◎	◎		
	中東経済論	2	2年～				◎	◎		
	アジア経済論	2	2年～				◎	◎		
	国際貿易論	2	2年～				◎	○		
	労働経済論Ⅰ	2	2年～				◎	○		
	労働経済論Ⅱ	2	2年～				◎	○		
	労働法	2	2年～				◎	○		
	経済統計Ⅰ	2	2年～				◎	○		
	経済統計Ⅱ	2	2年～				◎	○		
	進路支援講座Ⅰ(コース共通)	2	1年～			○				
進路支援講座Ⅱ(コース共通)	2	1年～		○						
進路支援講座Ⅲ(経済)	2	2年～		○						
進路支援講座Ⅳ(経済)	2	2年～		○						
進路支援講座Ⅴ(経済)	2	2年～		○						
進路支援講座Ⅵ(経済)	2	2年～		○						
展開科目	社会思想史Ⅰ	2	2年～	10単位	○		◎		10単位以上選択 経済学科の基本科目A・B、各コース科目の必要単位数を超えた場合の単位数を含む	
	社会思想史Ⅱ	2	2年～		○		◎			
	金融経済の基礎知識	2	2年～		◎		☆	○		
	経済学方法論Ⅰ	2	2年～		○		○	○		
	経済学方法論Ⅱ	2	2年～		○		○	○		
	計量経済学Ⅰ	2	2年～				◎	○		
	計量経済学Ⅱ	2	2年～				◎	○		
	環境経済学Ⅰ	2	2年～				◎			
	環境経済学Ⅱ	2	2年～				◎	☆		
	環境問題Ⅰ	2	2年～			☆	○	☆		
	環境問題Ⅱ	2	2年～			☆	○	☆		
	医療と健康の経済学	2	2年～				○	☆		
	食料経済論	2	2年～				○	○		
	農業政策	2	2年～				○	○		
	経済数学Ⅰ	2	2年～				◎	○		
	経済数学Ⅱ	2	2年～				◎	○		
	外国書講読Ⅰ	2	2年～				☆	☆		
外国書講読Ⅱ	2	2年～			☆	☆				
経営学Ⅰ	2	2年～		○		☆				
経営学Ⅱ	2	2年～		○		☆				

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位	
					DP1	DP2	DP3	DP4		
経済学科専門科目	展開科目	地方自治論演習	2	2年～				○	10単位以上選択 経済学科の基本科目A・B、各コース科目の必要単位数を超えた場合の単位数を含む	
		TOEIC®向上講座Ⅰ	2	2年～		○		☆		
		TOEIC®向上講座Ⅱ	2	2年～		○		☆		
		国際地域論Ⅰ	2	2年～		○		○		
		国際地域論Ⅱ	2	2年～		○		○		
		日本・中東関係	2	2年～			○	○		
		地域産業論	2	2年～			○	○		
	演習科目	経営立地論	2	2年～			○	○		
		交通論	2	2年～			○	○		
		専門導入演習Ⅰ	1	2年～		○	◎	○		全科目8単位必修
		専門導入演習Ⅱ	1	2年～		○	◎	○		
		専門演習Ⅰ	1	3年～		○	◎	◎		
		専門演習Ⅱ	1	3年～		○	◎	◎		
		卒業演習Ⅰ	1	4年～		○	◎	◎		
卒業演習Ⅱ	1	4年～		○	◎	◎				
卒業論文	2	4年～		○	◎	◎				
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科科目や国際学部国際学科の科目を単位修得した場合も当欄で単位を認定する。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目からの履修も可。			12単位				12単位以上選択		
自由選択科目	エアポートNARITA地域産業学	★スカイプ英会話Ⅰ	1	1年～		◎		☆	★印の科目は「エアポートNARITA地域産業学」専攻者のみ履修可	
		★スカイプ英会話Ⅱ	1	1年～		◎		☆		
		世界を知る	2	1年～		○		○		
		空港ビジネス	2	1年～				◎		
		流通経営論	2	2年～				○		
		マーケティング論	2	2年～		☆		☆		
		Marketing Management	2	2年～		☆		☆		
		ホスピタリティ	2	1年～		☆		◎		
		エアライン論	2	2年～				○		
		航空物流論	2	3年～				☆		
		地域企業経営論	2	2年～				○		
		中小企業論Ⅰ	2	2年～				○		
		中小企業論Ⅱ	2	2年～				○		
		ベンチャービジネス論	2	2年～				○		
	観光事業論Ⅰ	2	2年～		☆		◎			
	観光事業論Ⅱ	2	2年～		☆		◎			
	海外スクーリング	2	1年～		◎	◎	◎			
	入門ツーリズムⅠ	2	1年～				○			
	入門ツーリズムⅡ	2	1年～				○			
	旅行ビジネス論	2	2年～				○			
	地域観光論	2	2年～				○			
	ホテル・ビジネス論	2	2年～				○			
	千葉県の産業と行政	2	2年～			○	○			
	データサイエンス科目	マーケティング・リサーチⅠ	2	2年～		○		☆		
		マーケティング・リサーチⅡ	2	2年～		○		☆		
		観光マーケティング調査	2	2年～		○				
		社会調査法Ⅰ	2	2年～		○				
社会調査法Ⅱ		2	2年～		○					
社会調査実習Ⅰ		2	3年～		○		☆			
社会調査実習Ⅱ		2	3年～		○		☆			
シニア科目	インターンシップⅠ	2	3年～			◎	◎			
	インターンシップⅡ	2	3年～		◎		◎			
教職及び教科に関する科目	※日本史概論Ⅰ	2	1年～					教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は★印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。 ◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。		
	※日本史概論Ⅱ	2	1年～							
	※世界史概論Ⅰ	2	1年～							
	※世界史概論Ⅱ	2	1年～							
	※地理学概論Ⅰ	2	1年～							
	※地理学概論Ⅱ	2	1年～							
	※地誌学Ⅰ	2	1年～							
	※地誌学Ⅱ	2	1年～							
	※哲学概論Ⅰ	2	1年～							
	※哲学概論Ⅱ	2	1年～							
※比較政治学	2	1年～								
※社会学概論	2	1年～								

2019年度
カリキュラム表

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位
					DP1	DP2	DP3	DP4	
					教職及び教科に関する科目	※自然地理学Ⅰ	2	1年～	
※自然地理学Ⅱ	2	1年～							
※環境地理学Ⅰ	2	1年～							
※環境地理学Ⅱ	2	1年～							
○教育原論	2	1年～							
○教育課程論	2	1年～							
○発達心理学	2	1年～							
○教育心理学	2	1年～							
○特別支援教育概論	2	2年～							
○教職概論	2	1年～							
○教育行政	2	2年～							
○教育法規	2	2年～							
○教育方法論・技術論	2	2年～							
○社会科・地歴科指導法Ⅰ	2	2年～							
○社会科・地歴科指導法Ⅱ	2	2年～							
○地理歴史科指導法	2	2年～							
○社会科・公民科指導法Ⅰ	2	2年～							
○社会科・公民科指導法Ⅱ	2	2年～							
○公民科指導法	2	2年～							
○道徳教育指導法	2	2年～							
○総合的な学習の時間の指導法	2	2年～							
○特別活動指導法	2	2年～							
○生徒・進路指導論	2	2年～							
○教育相談	2	2年～							
○教職実践演習(中・高)	2	4年～							
○教職時事演習	2	3年～							
○教育実習指導	1	3年～							
○中学校教育実習	4	4年～							
○高等学校教育実習	2	4年～							
○教育福祉論	2	2年～							
卒業要件単位数					124単位				

6 2019・2020年度入学者卒業要件概念図 経営学科

科目区分		1年次	2年次	3年次	
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアプランニング、健康科学、情報基礎Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ		
	言語科目	言語科目A	必修	英語Ⅰ・Ⅱ	英語Ⅲ・Ⅳ
		言語科目B	選択必修	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、日本語Ⅰ・Ⅱ	フランス語Ⅲ・Ⅳ、ドイツ語Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅲ・Ⅳ、日本語Ⅲ・Ⅳ、時事英語Ⅲ・Ⅳ、ビジネス英語Ⅲ・Ⅳ
	教養科目	選択	敬天愛人講座、敬愛プログラム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、法学、Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、環境科学、地域ボランティア活動		
	情報科目	選択	情報概論、データサイエンス総論	アルゴリズム論、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、A	
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアデザイン、キャリアディベロップメント	キャリア基礎開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	小計				
経営学科専門科目	基本科目A	必修	経営学Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計概論Ⅰ・Ⅱ		
	基本科目B	選択	実地調査入門	経営戦略論Ⅰ・Ⅱ、経営組織論Ⅰ・Ⅱ、経営財務論Ⅰ・Ⅱ、マーケティング分析Ⅰ・Ⅱ、人的資源管理Ⅰ・Ⅱ、産業論、マーケティング・計算論Ⅰ・Ⅱ、経営史Ⅰ・Ⅱ、ベンチャービジネス論、ビジネスデマーケティング調査	
		インターンシップ科目	選択		インターンシップⅠ・Ⅱ
	企業経営コース	選択	地域企業経営論、経営立地論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、企業と産業組織、企業論、情報マネジメント、知的財産権論、経営シミュレーション、理学、日本経済地理、世界経済地理、アジアビジネス論、中国ビ際貿易論、地域産業論、ホテル・ビジネス論		
	商業・会計コース	選択	地域企業経営論、会計学Ⅰ・Ⅱ、簿記原理Ⅰ・Ⅱ、流通情報論、産業論、サービス産業論、管理会計論、消費者行動論、観光事業地域企業会計論、民法Ⅰ・Ⅱ		
	スポーツビジネスコース	選択	スポーツビジネス論、スポーツ産業論、スポーツマーケティング論、実習Ⅰ・Ⅱ、スポーツ科学概論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、サービス産者行動論、企業法、会社法、観光事業論Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰ・Ⅱ		
	地域産業コース	選択	入門ツーリズムⅠ・Ⅱ、千葉学	千葉県の産業と行政、旅行ビジネス論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、地域企業経営論、医療と健康の経済学、流通経営論、国際貿易論、域産業論、管理会計論、地域企業会計論、交通論、地域事業創造論、航空物流論	
	展開科目	選択	有価証券法、統計学総論Ⅰ・Ⅱ、企業金融論Ⅰ・Ⅱ、労働法、国ミクろ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済統計Ⅰ・Ⅱ、日本銀行論Ⅰ・Ⅱ、外国書講読Ⅰ・Ⅱ、TOEIC®向上講座Ⅰ・Ⅱ		
	演習科目	必修	専門導入演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ	
	自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コー上修得する必要があります。(言語科目Bからは選択不可) 経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学合も自由選択科目の卒業単位とします。 教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」の単位を自由選択科目の単位として充当すること		
小計					
総計					

教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教科指導法Ⅰ・Ⅱ、総合的な学習の時間の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、リア教育・職業指導Ⅰ・Ⅱ、教職時事演習、教育実習指導、高等学校教育実習
-----------------------------	----	--

4年次	単位	備考
	18	全科目18単位を修得する必要があります。
	4	全科目4単位を修得する必要があります。
	4	フランス語、ドイツ語、中国語、日本語の4科目の中から1年次にⅠ・Ⅱ、2年次にⅢ・Ⅳと同一言語を4単位修得する必要があります（留学生は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが必修です）。2年次のⅢ・Ⅳは時事英語Ⅲ・Ⅳ又はビジネス英語Ⅲ・Ⅳに換えて履修することができます。
憲法、政治学、社会学、数学Ⅰ・Ⅱ	12	12単位以上を修得する必要があります。
Ⅰ概論、プログラミング	4	4単位以上を修得する必要があります。
	4	4単位以上を修得する必要があります。
	46	
	10	全科目10単位を修得する必要があります。
ブ論、Marketing Management、リサーチⅠ・Ⅱ、流通論、原価分析、情報ビジネス論、観光	24	24単位以上を修得する必要があります。
ビジネスエコンミクス、多国籍企業法、会社法、企業経営と心ジネス論、世界の流通産業、国	14	各コースに属する者は、コース科目区分の中から14単位以上を修得する必要があります。
流通経営論、経営立地論、地域論Ⅰ・Ⅱ、税務会計論Ⅰ・Ⅱ、	14	各コースに属する者は、コース科目区分の中から14単位以上を修得する必要があります。
スポーツ文化論、生涯スポーツ業論、企業経営と心理学、消費	14	各コースに属する者は、コース科目区分の中から14単位以上を修得する必要があります。
観光論、観光事業論Ⅰ・Ⅱ、地多国籍企業論、経営立地論、地ホテル・ビジネス論	14	各コースに属する者は、コース科目区分の中から14単位以上を修得する必要があります。
際法Ⅰ・Ⅱ、経済政策Ⅰ・Ⅱ、経済論Ⅰ・Ⅱ、金融論Ⅰ・Ⅱ、	10	10単位以上を修得する必要があります。経営学科専門科目区分（基本科目B、コース科目）で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。
卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文・卒業研究	8	全科目8単位を修得する必要があります。
ス科目、展開科目から12単位以上単位互換科目を単位修得した場 ができます。	12	12単位以上を修得する必要があります。
	78	
	124	
法規、教育方法・技術論、商業教職実践演習（中・高）、キャ		修得した単位は自由選択科目の卒業要件単位とします。

7 経営学科 2019・2020カリキュラム表 (2019・2020年度入学者)

経営学科DP		DP1. 健全な倫理観と一般的教養の修得 DP2. 経営学の基本的知識の修得にもとづく実践力 DP3. コース毎の専門知識の修得にもとづく実践力 DP4. 変化に対応できる思考・判断・実践する力の修得 DP5. 多様性の理解と協働する力の修得					
到達目標		企業経営コース	商業・会計コース	スポーツビジネスコース	地域産業コース	企業経営全般に関する応用的知識と考え方の修得 商業や会計に関する応用的知識と考え方の修得 スポーツビジネスに関する応用的知識と考え方の修得 地域（特に千葉県）に密着した産業特性と、個々の経営特性を修得し、起業家的能力を修得	
科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)	履修単位	
					DP1 DP2 DP3 DP4 DP5		
基礎科目	文章表現	2	1年～	18単位	◎		全科目18単位必修
	口頭表現	2	1年～		◎		
	基礎数学	2	1年～		◎		
	入門経済学	2	1年～		◎		
	入門経営学	2	1年～		◎		
	キャリアプランニング	2	1年～		◎		
	健康科学	2	1年～		◎		
	情報基礎Ⅰ	1	1年～		◎		
	情報基礎Ⅱ	1	1年～		◎		
	基礎演習Ⅰ	1	1年～		○	○	
基礎演習Ⅱ	1	1年～	○	○			
言語科目A	英語Ⅰ	1	1年～	4単位	◎		全科目4単位必修
	英語Ⅱ	1	1年～		◎		
	英語Ⅲ	1	2年～		◎		
	英語Ⅳ	1	2年～		◎		
言語科目B	フランス語Ⅰ	1	1年～	4単位	○		フランス語、ドイツ語、中国語、日本語の4科目の中から1年次にⅠ・Ⅱ、2年次にⅢ・Ⅳと同一言語を4単位修得する必要があります(留学生は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが必修です)。2年次のⅢ・Ⅳは時事英語Ⅲ・Ⅳ又はビジネス英語Ⅲ・Ⅳに換えて履修することができます。(日本語を履修できるのは留学生のみ)
	フランス語Ⅱ	1	1年～		○		
	フランス語Ⅲ	1	2年～		○		
	フランス語Ⅳ	1	2年～		○		
	ドイツ語Ⅰ	1	1年～		○		
	ドイツ語Ⅱ	1	1年～		○		
	ドイツ語Ⅲ	1	2年～		○		
	ドイツ語Ⅳ	1	2年～		○		
	中国語Ⅰ	1	1年～		○		
	中国語Ⅱ	1	1年～		○		
	中国語Ⅲ	1	2年～		○		
	中国語Ⅳ	1	2年～		○		
	日本語Ⅰ	1	1年～		○		
	日本語Ⅱ	1	1年～		○		
	日本語Ⅲ	1	2年～		○		
	日本語Ⅳ	1	2年～		○		
	時事英語Ⅲ	1	2年～		○		
	時事英語Ⅳ	1	2年～		○		
ビジネス英語Ⅲ	1	2年～	○				
ビジネス英語Ⅳ	1	2年～	○				
教養科目	敬天愛人講座	2	1年～	12単位	○		12単位以上選択
	敬愛プログラム	2	1年～		○	○ ○	
	スポーツ教育Ⅰ	1	1年～		☆		
	スポーツ教育Ⅱ	1	1年～		☆		
	哲学	2	1年～		☆		
	心理学	2	1年～		○		
	社会心理学	2	1年～		○		
	歴史学	2	1年～		○		
	法学	2	1年～		○		
	憲法	2	1年～		☆		
	政治学	2	1年～		○		
	社会学	2	1年～		☆		
	数学Ⅰ	2	1年～		☆		
	数学Ⅱ	2	1年～		☆		
	統計学Ⅰ	2	1年～		○		
統計学Ⅱ	2	1年～	○				
環境科学	2	1年～	☆				
地域ボランティア活動	2	1年～	☆				

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					履修単位			
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5				
学部共通科目	情報科目	情報概論	2	1年～	4単位	○					4単位以上選択		
		アルゴリズム論	2	2年～		○							
		データサイエンス総論	2	1年～		○							
		プレゼンテーション論	2	2年～		☆							
		情報セキュリティ論	2	2年～		○							
		AI概論	2	2年～		○							
		プログラミング	2	2年～		○							
	キャリア科目	実践会話Ⅰ	2	2年～	4単位	☆					4単位以上選択		
		実践会話Ⅱ	2	2年～		☆							
		キャリアデザイン	2	2年～		☆							
		キャリアディベロップメント	2	2年～		○			☆				
		キャリア基礎開発Ⅰ	2	3年～		○			☆				
		キャリア基礎開発Ⅱ	2	3年～		○			☆				
		キャリア基礎開発Ⅲ	2	3年～		○			☆				
基本科目A	経営学Ⅰ	2	1年～	10単位		◎				全科目必修10単位			
	経営学Ⅱ	2	1年～		◎								
	簿記・会計概論Ⅰ	2	1年～		◎								
	簿記・会計概論Ⅱ	2	1年～		◎								
	実地調査入門	2	2年～		◎		○	○					
	経営戦略論Ⅰ	2	2年～		◎								
	経営戦略論Ⅱ	2	2年～		◎								
	経営組織論Ⅰ	2	2年～		◎								
	経営組織論Ⅱ	2	2年～		◎								
	経営財務論Ⅰ	2	2年～		◎								
基本科目B	経営財務論Ⅱ	2	2年～	24単位	◎					24単位以上選択			
	マーケティング論	2	2年～		○								
	Marketing Management	2	2年～		○								
	経営分析Ⅰ	2	2年～		○								
	経営分析Ⅱ	2	2年～		○								
	人的資源管理Ⅰ	2	2年～		○								
	人的資源管理Ⅱ	2	2年～		○								
	産業論	2	2年～		○								
	マーケティングリサーチⅠ	2	2年～		○								
	マーケティングリサーチⅡ	2	2年～		○								
	流通論	2	2年～		○								
	原価計算論Ⅰ	2	2年～		☆								
	原価計算論Ⅱ	2	2年～		☆								
	経営史Ⅰ	2	2年～		☆								
	経営史Ⅱ	2	2年～		☆								
	ベンチャービジネス論	2	2年～		☆								
	ビジネスデータ解析	2	2年～		○								
	情報ビジネス論	2	2年～		☆								
	観光マーケティング調査	2	2年～		☆								
	インターンシップⅠ	2	3年～				◎	◎	◎				
	インターンシップⅡ	2	3年～				◎	◎	◎				
	企業経営コース科目	地域企業経営論	2		2年～	14単位					○		14単位以上選択
		経営立地論	2		2年～						○		
		中小企業論Ⅰ	2		2年～						○		
中小企業論Ⅱ		2	2年～					○					
企業と産業組織		2	2年～					○					
ビジネスエコノミクス		2	2年～					○					
多国籍企業論		2	2年～					○					
情報マネジメント		2	2年～					○					
知的財産権論		2	2年～					○					
経営シミュレーション		2	2年～					○					
企業法		2	2年～					○					
会社法		2	2年～					○					
企業経営と心理学		2	2年～					○					
日本経済地理		2	2年～					○					
世界経済地理		2	2年～					○					
アジアビジネス論		2	2年～					☆					
中国ビジネス論		2	2年～					☆					
世界の流通産業		2	2年～					☆					
国際貿易論		2	2年～					○					
地域産業論		2	2年～					○					
ホテル・ビジネス論	2	2年～				○							
了り科目	地域企業経営論	2	2年～	14単位				○		14単位以上選択			
	会計学Ⅰ	2	2年～					○					

2019・2020年度
カリキュラム表

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					履修単位
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
経営学科専門科目	商業・会計コース科目 コース科目	会計学Ⅱ	2	2年～			○			14単位以上選択
		簿記原理Ⅰ	2	2年～			○			
		簿記原理Ⅱ	2	2年～			○			
		流通情報論	2	2年～			○			
		流通経営論	2	2年～			○			
		経営立地論	2	2年～			○			
		地域産業論	2	2年～			○			
		サービス産業論	2	2年～			○			
		管理会計論	2	2年～			○			
		消費者行動論	2	2年～			○			
		観光事業論Ⅰ	2	2年～			○			
		観光事業論Ⅱ	2	2年～			○			
		税務会計論Ⅰ	2	2年～			☆			
		税務会計論Ⅱ	2	2年～			☆			
		地域企業会計論	2	2年～			☆			
	民法Ⅰ	2	2年～			☆				
	民法Ⅱ	2	2年～			☆				
	スポーツビジネスコース科目 コース科目	スポーツビジネス論	2	2年～			○			14単位以上選択
		スポーツ産業論	2	2年～			○			
		スポーツマーケティング論	2	2年～			○			
		スポーツ文化論	2	2年～			○			
		生涯スポーツ実習Ⅰ	2	2年～			○			
		生涯スポーツ実習Ⅱ	2	2年～			○			
		スポーツ科学概論	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅰ	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅱ	2	2年～			○			
		サービス産業論	2	2年～			○			
		企業経営と心理学	2	2年～			○			
		消費者行動論	2	2年～			○			
		企業法	2	2年～			○			
		会社法	2	2年～			○			
		観光事業論Ⅰ	2	2年～			☆			
	観光事業論Ⅱ	2	2年～			☆				
民法Ⅰ	2	2年～			☆					
民法Ⅱ	2	2年～			☆					
地域産業コース科目 コース科目	入門ツーリズムⅠ	2	1年～			○			14単位以上選択	
	入門ツーリズムⅡ	2	1年～			○				
	千葉学	2	1年～			○				
	千葉県の産業と行政	2	2年～			○				
	旅行ビジネス論	2	2年～			○				
	中小企業論Ⅰ	2	2年～			○				
	中小企業論Ⅱ	2	2年～			○				
	地域観光論	2	2年～			○				
	観光事業論Ⅰ	2	2年～			○				
	観光事業論Ⅱ	2	2年～			○				
	地域企業経営論	2	2年～			○				
	医療と健康の経済学	2	2年～			○				
	流通経営論	2	2年～			○				
	国際貿易論	2	2年～			☆				
	多国籍企業論	2	2年～			☆				
	経営立地論	2	2年～			○				
	地域産業論	2	2年～			○				
	管理会計論	2	2年～			☆				
	地域企業会計論	2	2年～			○				
	航空物流論	2	3年～			☆				
	交通論	2	2年～			○				
地域事業創造論	2	2年～			○					
ホテル・ビジネス論	2	2年～			○					
展開科目	有価証券法	2	2年～			○			10単位以上選択 経営学科の基本科目B、各コース科目の 必要単位数を超えた場合の単位数を含む	
	統計学総論Ⅰ	2	2年～			○				
	統計学総論Ⅱ	2	2年～			○				
	企業金融論Ⅰ	2	2年～			☆				
	企業金融論Ⅱ	2	2年～			☆				
	労働法	2	2年～			☆				
	国際法Ⅰ	2	2年～			☆				
	国際法Ⅱ	2	2年～			☆				
	経済政策Ⅰ	2	2年～			☆				
	経済政策Ⅱ	2	2年～			☆				

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					履修単位
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
経営学科専門科目 展開科目	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～	10 単位			☆			10単位以上選択 経営学科の基本科目B、各コース科目の 必要単位数を超えた場合の単位数を含む
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆			
	マクロ経済学Ⅰ	2	2年～				☆			
	マクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆			
	経済統計Ⅰ	2	2年～				☆			
	経済統計Ⅱ	2	2年～				☆			
	日本経済論Ⅰ	2	2年～				☆			
	日本経済論Ⅱ	2	2年～				☆			
	金融論Ⅰ	2	2年～				☆			
	金融論Ⅱ	2	2年～				☆			
	銀行論Ⅰ	2	2年～				☆			
	銀行論Ⅱ	2	2年～				☆			
	外国書講読Ⅰ	2	2年～					○		
	外国書講読Ⅱ	2	2年～					○		
	TOEIC®向上講座Ⅰ	2	2年～			☆				
TOEIC®向上講座Ⅱ	2	2年～		☆						
経営学科専門科目 演習科目	専門導入演習Ⅰ	1	2年～	8 単位		○	○	○	◎	全科目必修8単位
	専門導入演習Ⅱ	1	2年～			○	○	○	◎	
	専門演習Ⅰ	1	3年～			○	○	◎	◎	
	専門演習Ⅱ	1	3年～			○	○	◎	◎	
	卒業演習Ⅰ	1	4年～			○	○	◎	◎	
	卒業演習Ⅱ	1	4年～			○	○	◎	◎	
	卒業論文・卒業研究	2	4年～			◎	◎	◎	◎	
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科科目や国際学部国際学科の科目を単位修得した場合も当欄で単位認定する。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目からの履修可。			12 単位						12単位以上選択
自由選択科目 エアポートNARITA地域産業学 データサイエンス	★スカイプ英会話Ⅰ	1	1年～							★印の科目は「エアポートNARITA地域産業学」専攻者のみ履修可
	★スカイプ英会話Ⅱ	1	1年～							
	世界を知る	2	1年～		☆					
	空港ビジネス	2	1年～				☆			
	ホスピタリティ	2	1年～		☆					
	エアライン論	2	2年～				☆			
	地方財政論Ⅰ	2	2年～				☆			
	地方財政論Ⅱ	2	2年～				☆			
	海外スクーリング	2	1年～		☆					
	社会調査法Ⅰ	2	2年～			☆				
	社会調査法Ⅱ	2	2年～			☆				
	社会調査実習Ⅰ	2	3年～			☆				
社会調査実習Ⅱ	2	3年～		☆						
教職及び教科に関する科目	◎教育原論	2	1年～							教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。
	◎教育課程論	2	1年～							
	◎発達心理学	2	1年～							
	◎教育心理学	2	1年～							
	◎特別支援教育概論	2	2年～							
	◎教職概論	2	1年～							
	◎教育行政	2	2年～							
	◎教育法規	2	2年～							
	◎教育方法論・技術論	2	2年～							
	◎商業科指導法Ⅰ	2	2年～							
	◎商業科指導法Ⅱ	2	2年～							
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2年～							
	◎特別活動指導法	2	2年～							
	◎生徒・進路指導論	2	2年～							
	◎教育相談	2	2年～							
	◎教職実践演習(中・高)	2	4年～							
	◎キャリア教育・職業指導Ⅰ	2	2年～							
	◎キャリア教育・職業指導Ⅱ	2	2年～							
	◎教職時事演習	2	3年～							
◎教育実習指導	1	3年～								
◎高等学校教育実習	2	4年～								

卒業要件単位数 124単位

3

2018年度入学者カリキュラム表

1 教育課程の編成方針と概要

1. 平成30年度入学生は、「敬愛大学学則」及び「経済学部規程」に基づき、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位以上と定めています。
2. 経済学部では、「敬天愛人」の建学の精神のもとに「人間性と創造性豊かな経済人」の育成を図ることを目的として、「経済学科」と「経営学科」の2つの教育課程を編成しています。
3. 経済学部では2年次学科選択制を導入しています。1年次は全員学科に所属せず共通カリキュラムの下での科目履修を経て、1年次後期に2年次以降卒業までの3年間所属する学科を選択することになります。
従って、1年次は経済・経営に関する基礎となる科目を履修しながら、各自が経済学・経営学に対する興味・関心、または将来の目指す進路を見据えて、経済・経営いずれの学科に所属するかを検討する期間になります。「経済学科」は3つ、「経営学科」は4つの専門的な学習コースがあり、コースの選択は2年次前期の履修登録時にあわせて行います。
2年次以降は自分の学習意欲や将来の進路・目標にもとづき、各自が選択した学科・コースの科目を具体的・体系的に履修していくことになっています。
4. 経済学部の教育課程には、学部共通科目を基礎として、基礎科目群、言語科目群、教養科目群、情報科目群、キャリア科目群を配しており、「経済学科」・「経営学科」の専門分野にあっては、基本科目群、専門科目群、展開科目群、演習科目で構成しています。
また、基礎科目を、必修科目もしくは選択科目として1年次に多く配置し、よりスムーズに高度な専門分野へ移行できる段階的な教育を実践します。
5. 学年を前期と後期に分け、授業は Semester 科目（半期完結科目）及び集中講義によって行います。ただし、「Ⅰ・Ⅱ」科目の「Ⅱ」の履修にあっては、条件付科目があるので、確認が必要です。
6. 教職課程履修者は卒業必要単位のほかに、教育職員免許法に定める所定の単位を修得することが必要です。
7. 本学では、特色のある教育活動として「敬愛プログラム」科目を配置しています。この「敬愛プログラム」は、学生（個人またはグループ）の自主的・自発的な発想による活動の支援を目的とする制度です。学生は、ボランティア活動、クラブ活性化活動、イベントの企画・実施、商店街や事業所の調査等、学内外における活動のテーマを設定し、事前に達成目標や段取りを明記した企画書を作成したうえで、当該年度に成果の発表を行います。その成果が評価に値するものと認定されれば、活動そのものが卒業単位として認められ、さらに支援金の支給を受けることができます。

2 コースの概要と教育目標①

経済学科（3コース）

公共経済コース

政府や地方自治体から見た経済の仕組みや課題を学び、公共サービスに従事できる人材を育成します。

主な進路

公務員、消防士・警察官、教員など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民、商業）／行政書士など

2018年度

金融経済コース

銀行や証券の仕組みや金融が経済にもたらす影響を学び、金融業界で活躍できる人材を育成します。

主な進路

銀行、信用金庫、証券会社、保険会社など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民、商業）

ファイナンシャル・プランナー／

Microsoft® Office Specialist／TOEIC®など

Ⅲ
カリキュラム表

現代経済コース

経済学を体系的に学び、実社会で活躍するために必要な幅広い知識と教養を身に付け、現代社会の中核となる人材を育成します。

主な進路

一般企業（各業種全般）、教員など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民、商業）／秘書検定など

2 コースの概要と教育目標②

経営学科（4コース）

企業経営コース

経営の基礎から応用に加え、地域産業や業種の特徴とその経営・管理を学び、企業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の人事、経営企画、事業統括など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定／ITパスポート／
中学校教諭一種免許（社会）／
高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民、商業）など

商業・会計コース

品物やお金の流れの視点から地域産業の実態や業種の特徴とビジネス手法を学び、地域経済の活性化に貢献できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の商品企画、営業、経理・財務など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／公認会計士／税理士／ビジネス能力検定／
日商簿記検定／中学校教諭一種免許（社会）／
高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民、商業）など

スポーツビジネスコース

経営知識と健康運動科学・スポーツ実技を学び、地域に密着したスポーツビジネス産業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

健康・スポーツ関連企業など

取得できる免許・資格

各種スポーツライセンス／ビジネス能力検定／日商簿記検定
中学校教諭一種免許（社会）／
高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民、商業）など

地域産業コース

地元である千葉の産業・企業を学び、千葉での就職や企業をめざす地域活性化人材を育成します。

主な進路

県内企業への就職、起業、地域金融機関、各種団体職員、
経営コンサルタント

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定
旅行業務取扱管理者／中学校教諭一種免許（社会）／
高等学校教諭一種免許（地理歴史・公民、商業）など

3 科目区分および卒業要件単位略図 (2018年度入学者)

科目区分			履修区分	卒業要件単位
学部共通科目	基礎科目		必修科目	18
	言語科目	言語科目A	必修科目	4
		言語科目B	選択科目	4
	教養科目		選択科目	12
	情報科目		選択科目	4
	キャリア科目		選択科目	4
小計				46
経済学科 経営学科 専門科目	基本科目	基本科目A	必修科目	10
		基本科目B	選択科目	22
	経済学科	(公共経済コース)	選択科目	16
		(金融経済コース)		
		(現代経済コース)		
	経営学科	(企業経営コース)		
		(商業・会計コース)		
		(スポーツビジネスコース)		
	展開科目		選択科目	10
	演習科目		必修科目	8
	自由選択科目		選択科目	12
小計				78
卒業要件単位数				124

2018年度

Ⅲ
カリキュラム表

4 2018年度入学者卒業要件概念図 経済学科

科目区分		1年次	2年次	3年次		
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアプランニング、健康科学、情報基礎Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ			
	言語科目	言語科目A	必修	英語Ⅰ・Ⅱ		
		言語科目B	選択	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、日本語Ⅰ・Ⅱ		
	教養科目	選択	敬天愛人講座、敬愛プログラム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、法学、数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、環境科学、地域ボランティア活動			
	情報科目	選択	情報概論	アルゴリズム論、Excelデータ解析、データベースオペレーション、情報システム論、情報セキュリティ論		
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアデザイン、キャリアディベロップメント	キャリア基礎開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、インターンシップ	
	小計					
経済学科専門科目	基本科目A	必修	経済理論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ、西洋経済史Ⅰ・Ⅱ			
	基本科目B	選択	フィールドワーク入門	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済政策Ⅰ・Ⅱ、資本Ⅱ、財政学Ⅰ・Ⅱ、金融論Ⅰ・Ⅱ、国際経済論Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計企業法、会社法、統計学総論Ⅰ・Ⅱ、知的財産権論、情報マネジ		
	公共経済コース	コース科目	選択	公共経済学、公共選択論、地方財政論Ⅰ・Ⅱ、地方自治論Ⅰ・Ⅱ、Ⅰ・Ⅱ、社会福祉論、福祉経済論、経済学史Ⅰ・Ⅱ、行政法Ⅰ・Ⅱ、		
		進路支援科目	選択	進路支援講座Ⅰ・Ⅱ(コース共通)	進路支援講座Ⅲ(公務員)・Ⅳ(公務員) 進路支援講座Ⅴ(公務員)・Ⅵ(公務員)	
		金融経済コース	コース科目	選択	証券経済論Ⅰ・Ⅱ、銀行論Ⅰ・Ⅱ、国際金融論Ⅰ・Ⅱ、企業金融Ⅱ、有価証券法	
			進路支援科目	選択	進路支援講座Ⅰ・Ⅱ(コース共通)	進路支援講座Ⅲ(IT/パスポート)・Ⅳ(IT/パスポート) 進路支援講座Ⅴ(日経新聞を読む)・Ⅵ(日経新聞を読む)
	現代経済コース	コース科目	選択	日本経済論Ⅰ・Ⅱ、日本経済地理、世界経済地理、アメリカ経済Ⅱ、中東経済論、アジア経済論、国際貿易論、労働経済論Ⅰ・Ⅱ、		
		進路支援科目	選択	進路支援講座Ⅰ・Ⅱ(コース共通)	進路支援講座Ⅲ(経済)・Ⅳ(経済) 進路支援講座Ⅴ(経済)・Ⅵ(経済)	
	展開科目	選択	社会思想史Ⅰ・Ⅱ、金融経済の基礎知識、経済学方法論Ⅰ・Ⅱ、Ⅰ・Ⅱ、環境問題Ⅰ・Ⅱ、医療の経済学、食料経済論、農業政策、Ⅱ、経営学Ⅰ・Ⅱ、地方自治論演習、TOEIC®向上講座Ⅰ・Ⅱ、			
	演習科目	必修	専門導入演習Ⅰ・Ⅱ		専門演習Ⅰ・Ⅱ	
	自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コースから12単位以上選択。(言語科目Bからは選択不可) 経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目や国際学部国際学科開講科目を単位卒業単位とする。 エアポートNARITA地域産業学の科目、他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自			
小計						
総計						

教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ、留学生は履修不可)	選択	日本史概論Ⅰ・Ⅱ、世界史概論Ⅰ・Ⅱ、地理学概論Ⅰ・Ⅱ、地誌学Ⅰ・Ⅱ、哲学概論Ⅰ・Ⅱ、比較政Ⅰ・Ⅱ、環境地理学Ⅰ・Ⅱ
	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法規、歴史指導法Ⅰ・Ⅱ、地理歴史科指導法、社会科・公民科指導法Ⅰ・Ⅱ、公民科指導法、商業科指導法Ⅰ・Ⅱ、学習の時間の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、教職実践演習(中・高)、教職学校教育実習、高等学校教育実習、教育福祉論、職業指導Ⅰ・Ⅱ

4年次	単位	備考
	18	全科目18単位必修
	4	全科目4単位必修
	4	同一言語を4科目（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）4単位選択 留学生は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ必修 2年次のⅢ・Ⅳはビジネス英語Ⅲ・Ⅳ、時事英語Ⅲ、Ⅳに換えて履修可
憲法、政治学、社会学、	12	12単位以上選択
プレゼンテーション論、	4	4単位以上選択
	4	4単位以上選択
	46	
	8	経済理論Ⅰ・Ⅱ必修 日本経済史Ⅰ・Ⅱもしくは西洋経済史Ⅰ・Ⅱ選択必修 ただし、日本と西洋の組み合わせは不可
	2	2単位必修
主義経済論Ⅰ・Ⅱ、社会政策Ⅰ・ 概論Ⅰ・Ⅱ、会計学Ⅰ・Ⅱ、 メント	22	22単位以上選択
財政赤字の経済学、社会保障論 民法Ⅰ・Ⅱ	16	16単位以上選択
		修得した単位は自由選択科目の卒業単位とする。
論Ⅰ・Ⅱ、保険論、金融事情Ⅰ・	16	16単位以上選択
		修得した単位は自由選択科目の卒業単位とする。
論Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパ経済論Ⅰ・ 労働法、経済統計Ⅰ・Ⅱ	16	16単位以上選択
		修得した単位は自由選択科目の卒業単位とする。
計量経済学Ⅰ・Ⅱ、環境経済学 経済数学Ⅰ・Ⅱ、外国書講読Ⅰ・ 国際地域論Ⅰ・Ⅱ	10	10単位以上選択 基本科目A・B、コース科目で定める卒業要件単位を超えて 修得した単位分を展開科目の単位として充当する。
卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文	8	全科目8単位必修
ス科目、展開科目、進路支援科 修得した場合も自由選択科目の 由選択科目の卒業単位とする。	12	
	78	
	124	
治学、社会学概論、自然地理学		修得した単位は教養科目の卒業単位とする。
教育方法・技術論、社会科・地 Ⅱ、道徳教育指導法、総合的な 時事演習、教育実習指導、中学		修得した単位は自由選択科目の卒業単位とする。

5 経済学科 2018カリキュラム表 (2018年度入学者)

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	履修単位	
学 部 共 通 科 目	基 礎 科 目	文章表現	2	1～	必修科目	18単位
		口頭表現	2	1～	必修科目	
		基礎数学	2	1～	必修科目	
		入門経済学	2	1～	必修科目	
		入門経営学	2	1～	必修科目	
		キャリアプランニング	2	1～	必修科目	
		健康科学	2	1～	必修科目	
		情報基礎Ⅰ	1	1～	必修科目	
		情報基礎Ⅱ	1	1～	必修科目	
		基礎演習Ⅰ	1	1～	必修科目	
		基礎演習Ⅱ	1	1～	必修科目	
		言語科目A	英語Ⅰ	1	1～	
	英語Ⅱ		1	1～	必修科目	
	英語Ⅲ		1	2～	必修科目	
	英語Ⅳ		1	2～	必修科目	
	言語科目B	フランス語Ⅰ	1	1～	同一言語のⅠ～Ⅳを4科目4単位選択	4単位以上選択 【留学生】 日本語Ⅰ～Ⅳ4科目4単位必修
		フランス語Ⅱ	1	1～		
		フランス語Ⅲ	1	2～		
		フランス語Ⅳ	1	2～		
		ドイツ語Ⅰ	1	1～		
		ドイツ語Ⅱ	1	1～		
		ドイツ語Ⅲ	1	2～		
		ドイツ語Ⅳ	1	2～		
		中国語Ⅰ	1	1～	なお、2年次のⅢ・Ⅳは時事英語Ⅲ・Ⅳ、ビジネス英語Ⅲ・Ⅳに振り替えることができる。	
		中国語Ⅱ	1	1～		
		中国語Ⅲ	1	2～		
		中国語Ⅳ	1	2～		
		日本語Ⅰ	1	1～	【留学生】 日本語Ⅰ～Ⅳ4科目4単位必修	
		日本語Ⅱ	1	1～		
		日本語Ⅲ	1	2～		
		日本語Ⅳ	1	2～		
	時事英語Ⅲ	1	2～			
	時事英語Ⅳ	1	2～			
ビジネス英語Ⅲ	1	2～				
ビジネス英語Ⅳ	1	2～				
教 養 科 目	敬天愛人講座	2	1～	12単位以上選択		
	敬愛プログラム	2	1～			
	スポーツ教育Ⅰ	1	1～			
	スポーツ教育Ⅱ	1	1～			
	哲学	2	1～			
	心理学	2	1～			
	社会心理学	2	1～			
	歴史学	2	1～			
	法学	2	1～			
	憲法	2	1～			
	政治学	2	1～			
	社会学	2	1～			
	数学Ⅰ	2	1～			
	数学Ⅱ	2	1～			
	統計学Ⅰ	2	1～			
統計学Ⅱ	2	1～				
環境科学	2	1～				
地域ボランティア活動	2	1～				

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	履修単位	
学部 共通 科目	情報科目	情報概論	2	1～	必修科目 ----- 必修科目 ----- 必修科目 ----- 必修科目	4単位以上選択
		アルゴリズム論	2	2～		
		Excelデータ解析	2	2～		
		データベースオペレーション	2	2～		
		プレゼンテーション論	2	2～		
		情報システム論	2	2～		
	キャリア科目	情報セキュリティ論	2	2～		
		実践会話Ⅰ	2	2～		
		実践会話Ⅱ	2	2～		
		キャリアデザイン	2	2～		
		キャリアディベロップメント	2	2～		
		キャリア基礎開発Ⅰ	2	3～		
		キャリア基礎開発Ⅱ	2	3～		
		キャリア基礎開発Ⅲ	2	3～		
インターンシップ	2	3～				
経済 学 科 専 門 科 目	基本科目A	経済理論Ⅰ	2	1～		
		経済理論Ⅱ	2	1～		
		日本経済史Ⅰ	2	1～		
		日本経済史Ⅱ	2	1～		
		西洋経済史Ⅰ	2	1～		
		西洋経済史Ⅱ	2	1～		
	基本 科目 B	フィールドワーク入門	2	2～		
		ミクロ経済学Ⅰ	2	2～		
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2～		
		マクロ経済学Ⅰ	2	2～		
		マクロ経済学Ⅱ	2	2～		
		経済政策Ⅰ	2	2～		
		経済政策Ⅱ	2	2～		
		資本主義経済論Ⅰ	2	2～		
		資本主義経済論Ⅱ	2	2～		
		社会政策Ⅰ	2	2～		
		社会政策Ⅱ	2	2～		
		財政学Ⅰ	2	2～		
		財政学Ⅱ	2	2～		
		金融論Ⅰ	2	2～		
		金融論Ⅱ	2	2～		
		国際経済論Ⅰ	2	2～		
		国際経済論Ⅱ	2	2～		
		簿記・会計概論Ⅰ	2	2～		
		簿記・会計概論Ⅱ	2	2～		
		会計学Ⅰ	2	2～		
		会計学Ⅱ	2	2～		
		企業法	2	2～		
		会社法	2	2～		
		統計学総論Ⅰ	2	2～		
		統計学総論Ⅱ	2	2～		
		知的財産権論	2	2～		
		情報マネジメント	2	2～		
		公共 経済 コース 科目	コース科目	公共経済学	2	2～
公共選択論	2			2～		
地方財政論Ⅰ	2			2～		
地方財政論Ⅱ	2			2～		
地方自治論Ⅰ	2			2～		
地方自治論Ⅱ	2			2～		
財政赤字の経済学	2			2～		
社会保障論Ⅰ	2			2～		
社会保障論Ⅱ	2			2～		
社会福祉論	2			2～		
福祉経済論	2			2～		

2018年度
カリキュラム表

Ⅲ
カリキュラム表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	履修単位				
経済学 専攻 科目	公共経済コース科目 コース科目	経済学史Ⅰ	2	2～		公共経済コース選択者 16単位以上選択			
		経済学史Ⅱ	2	2～					
		行政法Ⅰ	2	2～					
		行政法Ⅱ	2	2～					
		民法Ⅰ	2	2～					
	民法Ⅱ	2	2～	進路支援講座の修得単位は自由選 択科目の卒業単位とする。					
	進路支援科目	進路支援講座Ⅰ(コース共通)	2		1～				
		進路支援講座Ⅱ(コース共通)	2		1～				
		進路支援講座Ⅲ(公務員)	2		2～				
		進路支援講座Ⅳ(公務員)	2		2～				
		進路支援講座Ⅴ(公務員)	2		3～				
		進路支援講座Ⅵ(公務員)	2	3～					
	金融 経済 コース 科目	コース科目	証券経済論Ⅰ	2	2～		金融経済コース選択者 16単位以上選択		
			証券経済論Ⅱ	2	2～				
			銀行論Ⅰ	2	2～				
			銀行論Ⅱ	2	2～				
			国際金融論Ⅰ	2	2～				
			国際金融論Ⅱ	2	2～				
			企業金融論Ⅰ	2	2～				
			企業金融論Ⅱ	2	2～				
			保険論	2	2～				
			金融事情Ⅰ	2	2～				
			金融事情Ⅱ	2	2～				
			有価証券法	2	2～				
			進路支援科目	進路支援講座Ⅰ(コース共通)	2			1～	進路支援講座の修得単位は自由選 択科目の卒業単位とする
				進路支援講座Ⅱ(コース共通)	2			1～	
	進路支援講座Ⅲ(ITパスポート)	2		2～					
	進路支援講座Ⅳ(ITパスポート)	2		2～					
	進路支援講座Ⅴ(日経新聞を読む)	2		2～					
	進路支援講座Ⅵ(日経新聞を読む)	2		2～					
	現代 経済 コース 科目	コース科目	日本経済論Ⅰ	2	2～		現代経済コース選択者 16単位以上選択		
			日本経済論Ⅱ	2	2～				
日本経済地理			2	2～					
世界経済地理			2	2～					
アメリカ経済論Ⅰ			2	2～					
アメリカ経済論Ⅱ			2	2～					
ヨーロッパ経済論Ⅰ			2	2～					
ヨーロッパ経済論Ⅱ			2	2～					
中東経済論			2	2～					
アジア経済論			2	2～					
国際貿易論			2	2～					
労働経済論Ⅰ			2	2～					
労働経済論Ⅱ			2	2～					
労働法			2	2～					
経済統計Ⅰ			2	2～					
経済統計Ⅱ			2	2～					
進路支援科目			進路支援講座Ⅰ(コース共通)	2	1～			進路支援講座の修得単位は自由選 択科目の卒業単位とする	
			進路支援講座Ⅱ(コース共通)	2	1～				
	進路支援講座Ⅲ(経済)	2	2～						
	進路支援講座Ⅳ(経済)	2	2～						
	進路支援講座Ⅴ(経済)	2	2～						
	進路支援講座Ⅵ(経済)	2	2～						
展 開 科 目	社会思想史Ⅰ	2	2～		10単位以上選択				
	社会思想史Ⅱ	2	2～						
	金融経済の基礎知識	2	2～						
	経済学方法論Ⅰ	2	2～						
	経済学方法論Ⅱ	2	2～						
	計量経済学Ⅰ	2	2～						

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	履修単位
経済学科	計量経済学Ⅱ	2	2～		10単位以上選択
	環境経済学Ⅰ	2	2～		
	環境経済学Ⅱ	2	2～		
	環境問題Ⅰ	2	2～		
	環境問題Ⅱ	2	2～		
	医療の経済学	2	2～		
	食料経済論	2	2～		
	農業政策	2	2～		
	経済数学Ⅰ	2	2～		
	経済数学Ⅱ	2	2～		
	外国書講読Ⅰ	2	2～		
	外国書講読Ⅱ	2	2～		
	経営学Ⅰ	2	2～		
	経営学Ⅱ	2	2～		
	地方自治論演習	2	2～		
TOEIC® 向上講座Ⅰ	2	2～			
TOEIC® 向上講座Ⅱ	2	2～			
国際地域論Ⅰ	2	2～			
国際地域論Ⅱ	2	2～			
専門科目	専門導入演習Ⅰ	1	2	必修科目	8単位
	専門導入演習Ⅱ	1	2	必修科目	
	専門演習Ⅰ	1	3	必修科目	
	専門演習Ⅱ	1	3	必修科目	
	卒業演習Ⅰ	1	4	必修科目	
	卒業演習Ⅱ	1	4	必修科目	
	卒業論文	2	4	必修科目	
自由選択科目				各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース科目、展開科目、進路支援科目、経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目から12単以上選択。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目から選択也可。国際学部国際学科開講科目、「エアポートNARITA地域産業学」開講科目、大学単位互換科目を単位修得した場合は自由選択科目の卒業単位とする。	12単位以上選択
エアポートNARITA地域産業学	★スカイブ英会話Ⅰ	1	1～	★印の科目は「エアポートNARITA地域産業学」専攻者のみ履修可	
	★スカイブ英会話Ⅱ	1	1～		
	世界を知る	2	1～		
	空港ビジネス	2	1～		
	流通経営論	2	2～		
	マーケティング論	2	2～		
	Marketing Management	2	2～		
	ホスピタリティ	2	1～		
	エアライン論	2	2～		
	航空物流論	2	3～		
	地域企業経営論	2	2～		
	地域産業論	2	2～		
	中小企業論Ⅰ	2	2～		
	中小企業論Ⅱ	2	2～		
	ベンチャービジネス論	2	2～		
	観光事業論Ⅰ	2	2～		
	観光事業論Ⅱ	2	2～		
	海外スクーリング	2	1～		
	入門ツーリズム	2	1～		
旅行ビジネス論	2	2～			
地域観光論	2	2～			
経営立地論	2	2～			

2018年度
カリキュラム表

Ⅲ
カリキュラム表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	履修単位
教職及び教科に関する科目	※日本史概論Ⅰ	2	1～	教職課程履修者のみ履修可（外国人留学生履修不可）	
	※日本史概論Ⅱ	2	1～		
	※世界史概論Ⅰ	2	1～		
	※世界史概論Ⅱ	2	1～		
	※地理学概論Ⅰ	2	1～		
	※地理学概論Ⅱ	2	1～		
	※地誌学Ⅰ	2	1～		
	※地誌学Ⅱ	2	1～		
	※哲学概論Ⅰ	2	1～		
	※哲学概論Ⅱ	2	1～		
	※比較政治学	2	1～		
	※社会学概論	2	1～		
	※自然地理学Ⅰ	2	1～		
	※自然地理学Ⅱ	2	1～		
	※環境地理学Ⅰ	2	1～		
	※環境地理学Ⅱ	2	1～		
	◎教育原論	2	1～	教職課程履修者は※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。	
	◎教育課程論	2	1～		
	◎発達心理学	2	1～		
	◎教育心理学	2	1～		
	◎特別支援教育概論	2	2～		
	◎教職概論	2	1～		
	◎教育行政	2	2～		
	◎教育法規	2	2～		
	◎教育方法・技術論	2	2～		
	◎社会科・地歴科指導法Ⅰ	2	2～		
	◎社会科・地歴科指導法Ⅱ	2	2～		
	◎地理歴史科指導法	2	2～		
	◎社会科・公民科指導法Ⅰ	2	2～		
	◎社会科・公民科指導法Ⅱ	2	2～		
	◎公民科指導法	2	2～		
	◎商業科指導法Ⅰ	2	2～		
	◎商業科指導法Ⅱ	2	2～		
	◎道徳教育指導法	2	2～		
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2～		
	◎特別活動指導法	2	2～		
	◎生徒・進路指導論	2	2～		
	◎教育相談	2	2～		
	◎教職実践演習（中・高）	2	4～		
	◎教職時事演習	2	3～		
◎教育実習指導	1	3～			
◎中学校教育実習	4	4～			
◎高等学校教育実習	2	4～			
◎教育福祉論	2	2～			
◎職業指導Ⅰ	2	2～			
◎職業指導Ⅱ	2	2～			
卒業要件単位数				124単位	

6 2018年度入学者卒業要件概念図 経営学科

科目区分		1年次	2年次	3年次	
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアプランニング、健康科学、情報基礎Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ		
	言語科目	言語科目A	必修	英語Ⅰ・Ⅱ	
		言語科目B	選択必修	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、日本語Ⅰ・Ⅱ	
	教養科目	選択	敬天愛人講座、敬愛プログラム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、法学、Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、環境科学、地域ボランティア活動		
	情報科目	選択	情報概論	アルゴリズム論、Excelデータ解析、データベースオペレーション、情報システム論、情報セキュリティ論	
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアデザイン	キャリア基礎開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	キャリア科目	選択		キャリアディベロップメント	
小計					
経営学科専門科目	基本科目A	必修	経営学Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計概論Ⅰ・Ⅱ		
	基本科目B	選択	実地調査入門		
	企業経営コース	必修			企業経営実習
		選択		地域企業経営論、経営立地論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、企業と産業組織、企業論、情報マネジメント、知的財産権論、経営シミュレーション、理学、日本経済地理、世界経済地理、アジアビジネス論、中国国際貿易論	
	商業・会計コース	必修			商業・会計実習
		選択		地域企業経営論、会計学Ⅰ・Ⅱ、簿記原理Ⅰ・Ⅱ、流通情報論、産業論、データベース論、サービス産業論、管理会計論、消費者務会計論Ⅰ・Ⅱ、地域企業会計論、民法Ⅰ・Ⅱ	
	スポーツビジネスコース	必修			スポーツビジネス実習
		選択		スポーツビジネス論、スポーツ産業論、スポーツマーケティング論、習Ⅰ・Ⅱ、スポーツ科学概論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、サービス産業論、企業法、会社法、観光事業論Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰ・Ⅱ	
	地域産業コース	必修			地域産業実習
		選択	入門ツーリズム、千葉学Ⅰ	千葉学Ⅱ、旅行ビジネス論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、地域観光論、観光論、医療の経済学、流通経営論、国際貿易論、多国籍企業論、経営論、地域企業会計論、航空物流論	
	展開科目	選択		有価証券法、統計学総論Ⅰ・Ⅱ、企業金融論Ⅰ・Ⅱ、労働法、国ミク口経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済統計Ⅰ・Ⅱ、日本銀行論Ⅰ・Ⅱ、外国書読Ⅰ・Ⅱ、TOEIC®向上講座Ⅰ・Ⅱ	
	演習科目	必修		専門導入演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コース科目、(言語科目Bからは選択不可) 経営学科のカリキュラムの掲載されていない経済学科開講科目や国際学部国際学科開講科目を単位修得しとする。 エアポートNARITA地域産業学の科目、他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選			
小計					
総計					

教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ、留学生は履修不可)	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法指導法Ⅰ・Ⅱ、総合的な学習の時間の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、教職教育・職業指導Ⅰ・Ⅱ、教職時事演習、教育実習指導、高等学校教育実習
--------------------------------------	----	---

4年次	単位	備考
	18	全科目18単位必修
	4	全科目4単位必修
	4	同一言語を4科目（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）4単位選択 留学生は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ必修 2年次のⅢ・Ⅳはビジネス英語Ⅲ・Ⅳ、時事英語Ⅲ、Ⅳに換えて履修可
憲法、政治学、社会学、数学Ⅰ・	12	12単位以上選択
プレゼンテーション論、	4	4単位以上選択
	4	4単位以上選択
	46	
	10	全科目10単位必修
グ論、Marketing Management、 マーケティング・リサーチⅠ・Ⅱ、	22	22単位以上選択
	2	2単位必修
ビジネスエコンミクス、多国籍 企業法、会社法、企業経営と心 ジネス論、世界の流通産業、国	14	14単位以上選択
	2	2単位必修
流通経営論、経営立地論、地域 行動論、観光事業論Ⅰ・Ⅱ、税	14	14単位以上選択
	2	2単位必修
スポーツ文化論、生涯スポーツ実 企業経営と心理学、消費者行動論、	14	14単位以上選択
	2	2単位必修
光事業論Ⅰ・Ⅱ、地域企業経営 営立地論、地域産業論、管理会	14	14単位以上選択
際法Ⅰ・Ⅱ、経済政策Ⅰ・Ⅱ、 経済論Ⅰ・Ⅱ、金融論Ⅰ・Ⅱ、	10	10単位以上選択 基本科目B、コース科目で定める卒業要件単位を超えて修 得した単位分を展開科目の単位として充当する。
卒業演習Ⅰ・Ⅱ、 卒業論文・卒業研究	8	全科目8単位必修
展開科目から12単以上選択。 た場合も自由選択科目の卒業単位 択科目の卒業単位とする。	12	12単位以上選択
	78	
	124	
規、教育方法・技術論、商業科 実践演習（中・高）、キャリア		修得した単位は自由選択科目の卒業要件単位とする。

7 経営学科 2018カリキュラム表 (2018年度入学者)

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	履修単位		
学部 共通 科目	基礎科目	文章表現	2	1～	必修科目	18単位	
		口頭表現	2	1～	必修科目		
		基礎数学	2	1～	必修科目		
		入門経済学	2	1～	必修科目		
		入門経営学	2	1～	必修科目		
		キャリアプランニング	2	1～	必修科目		
		健康科学	2	1～	必修科目		
		情報基礎Ⅰ	1	1～	必修科目		
		情報基礎Ⅱ	1	1～	必修科目		
		基礎演習Ⅰ	1	1～	必修科目		
		基礎演習Ⅱ	1	1～	必修科目		
	言語科目A	英語Ⅰ	1	1～	必修科目	4単位	
		英語Ⅱ	1	1～	必修科目		
		英語Ⅲ	1	2～	必修科目		
		英語Ⅳ	1	2～	必修科目		
	言語科目B	フランス語Ⅰ	1	1～	同一言語のⅠ～Ⅳを4科目4単位選択	4単位以上選択	
		フランス語Ⅱ	1	1～			
		フランス語Ⅲ	1	2～			
		フランス語Ⅳ	1	2～			
		ドイツ語Ⅰ	1	1～	同一言語のⅠ～Ⅳを4科目4単位選択		
		ドイツ語Ⅱ	1	1～			
		ドイツ語Ⅲ	1	2～			
		ドイツ語Ⅳ	1	2～			
		中国語Ⅰ	1	1～	同一言語のⅠ～Ⅳを4科目4単位選択		
		中国語Ⅱ	1	1～			
		中国語Ⅲ	1	2～			
		中国語Ⅳ	1	2～			
		日本語Ⅰ	1	1～	【留学生】 日本語Ⅰ～Ⅳ4科目4単位必修		4単位以上選択
		日本語Ⅱ	1	1～			
		日本語Ⅲ	1	2～			
		日本語Ⅳ	1	2～			
		時事英語Ⅲ	1	2～	【留学生】 日本語Ⅰ～Ⅳ4科目4単位必修		
		時事英語Ⅳ	1	2～			
		ビジネス英語Ⅲ	1	2～			
	ビジネス英語Ⅳ	1	2～				
	教養科目	敬天愛人講座	2	1～	12単位以上選択		
敬愛プログラム		2	1～				
スポーツ教育Ⅰ		1	1～				
スポーツ教育Ⅱ		1	1～				
哲学		2	1～				
心理学		2	1～				
社会心理学		2	1～				
歴史学		2	1～				
法学		2	1～				
憲法		2	1～				
政治学		2	1～				
社会学		2	1～				
数学Ⅰ		2	1～				
数学Ⅱ		2	1～				
統計学Ⅰ		2	1～				
統計学Ⅱ	2	1～					
環境科学	2	1～					
地域ボランティア活動	2	1～					

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	履修単位	
学部共通科目	情報科目	情報概論	2	1～		4単位以上選択
		アルゴリズム論	2	2～		
		Excelデータ解析	2	2～		
		データベースオペレーション	2	2～		
		プレゼンテーション論	2	2～		
		情報システム論	2	2～		
	キャリア科目	実践会話Ⅰ	2	2～		4単位以上選択
		実践会話Ⅱ	2	2～		
		キャリアデザイン	2	2～		
		キャリアディベロップメント	2	2～		
		キャリア基礎開発Ⅰ	2	3～		
		キャリア基礎開発Ⅱ	2	3～		
		キャリア基礎開発Ⅲ	2	3～		
		経営学専攻	基本科目A	経営学Ⅰ		
経営学Ⅱ	2			1～		
簿記・会計概論Ⅰ	2			1～		
簿記・会計概論Ⅱ	2			1～		
基本科目B	実地調査入門		2	2～	22単位以上選択	
	経営戦略論Ⅰ		2	2～		
	経営戦略論Ⅱ		2	2～		
	経営組織論Ⅰ		2	2～		
	経営組織論Ⅱ		2	2～		
	経営財務論Ⅰ		2	2～		
	経営財務論Ⅱ		2	2～		
	マーケティング論		2	2～		
	Marketing Management		2	2～		
	経営分析Ⅰ		2	2～		
	経営分析Ⅱ		2	2～		
	人的資源管理Ⅰ		2	2～		
	人的資源管理Ⅱ		2	2～		
	産業論		2	2～		
	グローバル産業論		2	2～		
	マーケティングリサーチⅠ		2	2～		
	マーケティングリサーチⅡ		2	2～		
	流通論		2	2～		
	原価計算論Ⅰ		2	2～		
	原価計算論Ⅱ		2	2～		
	経営史Ⅰ		2	2～		
	経営史Ⅱ		2	2～		
	ベンチャービジネス論		2	2～		
	企業経営コース科目		コース科目	企業経営実習		2
地域企業経営論		2		2～		
経営立地論		2		2～		
中小企業論Ⅰ		2		2～		
中小企業論Ⅱ		2		2～		
企業と産業組織		2		2～		
ビジネスエコノミクス		2		2～		
多国籍企業論		2		2～		
情報マネジメント		2		2～		
知的財産権論		2		2～		
経営シミュレーション		2		2～		
企業法		2		2～		
会社法		2		2～		
企業経営と心理学		2		2～		
日本経済地理		2		2～		
世界経済地理		2		2～		
アジアビジネス論		2		2～		
中国ビジネス論		2		2～		
世界の流通産業		2		2～		
国際貿易論		2		2～		

2018年度
カリキュラム表

Ⅲ
カリキュラム表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	履修単位	
経営学	商業・会計コース科目 コース科目	商業・会計実習	2	3~	必修科目	16単位以上（商業・会計実習（2単位）含む）選択
		地域企業経営論	2	2~		
		会計学Ⅰ	2	2~		
		会計学Ⅱ	2	2~		
		簿記原理Ⅰ	2	2~		
		簿記原理Ⅱ	2	2~		
		流通情報論	2	2~		
		流通経営論	2	2~		
		経営立地論	2	2~		
		地域産業論	2	2~		
		データベース論	2	2~		
		サービス産業論	2	2~		
		管理会計論	2	2~		
		消費者行動論	2	2~		
		観光事業論Ⅰ	2	2~		
		観光事業論Ⅱ	2	2~		
		税務会計論Ⅰ	2	2~		
		税務会計論Ⅱ	2	2~		
		地域企業会計論	2	2~		
		民法Ⅰ	2	2~		
民法Ⅱ	2	2~				
専門科目	スポーツビジネスコース科目 コース科目	スポーツビジネス実習	2	3~	必修科目	16単位以上（スポーツビジネス実習（2単位）含む）選択
		スポーツビジネス論	2	2~		
		スポーツ産業論	2	2~		
		スポーツマーケティング論	2	2~		
		スポーツ文化論	2	2~		
		生涯スポーツ実習Ⅰ	2	2~		
		生涯スポーツ実習Ⅱ	2	2~		
		スポーツ科学概論	2	2~		
		中小企業論Ⅰ	2	2~		
		中小企業論Ⅱ	2	2~		
		サービス産業論	2	2~		
		企業経営と心理学	2	2~		
		消費者行動論	2	2~		
		企業法	2	2~		
		会社法	2	2~		
		観光事業論Ⅰ	2	2~		
		観光事業論Ⅱ	2	2~		
		民法Ⅰ	2	2~		
		民法Ⅱ	2	2~		
		科目	地域産業コース科目 コース科目	地域産業実習		
入門ツーリズム	2			1~		
千葉学Ⅰ	2			1~		
千葉学Ⅱ	2			2~		
旅行ビジネス論	2			2~		
中小企業論Ⅰ	2			2~		
中小企業論Ⅱ	2			2~		
地域観光論	2			2~		
観光事業論Ⅰ	2			2~		
観光事業論Ⅱ	2			2~		
地域企業経営論	2			2~		
医療の経済学	2			2~		
流通経営論	2			2~		
国際貿易論	2			2~		
多国籍企業論	2			2~		
経営立地論	2			2~		
地域産業論	2			2~		
管理会計論	2			2~		
地域企業会計論	2	2~				
航空物流論	2	3~				

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	履修単位
経営学 専攻 科目	有価証券法	2	2～	10単位以上選択	
	統計学総論Ⅰ	2	2～		
	統計学総論Ⅱ	2	2～		
	企業金融論Ⅰ	2	2～		
	企業金融論Ⅱ	2	2～		
	労働法	2	2～		
	国際法Ⅰ	2	2～		
	国際法Ⅱ	2	2～		
	経済政策Ⅰ	2	2～		
	経済政策Ⅱ	2	2～		
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2～		
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2～		
	マクロ経済学Ⅰ	2	2～		
	マクロ経済学Ⅱ	2	2～		
	経済統計Ⅰ	2	2～		
	経済統計Ⅱ	2	2～		
	日本経済論Ⅰ	2	2～		
	日本経済論Ⅱ	2	2～		
	金融論Ⅰ	2	2～		
	金融論Ⅱ	2	2～		
	銀行論Ⅰ	2	2～		
	銀行論Ⅱ	2	2～		
	外国書講読Ⅰ	2	2～		
	外国書講読Ⅱ	2	2～		
	TOEIC®向上講座Ⅰ	2	2～		
TOEIC®向上講座Ⅱ	2	2～			
演習科目	専門導入演習Ⅰ	1	2	必修科目	8単位
	専門導入演習Ⅱ	1	2		
	専門演習Ⅰ	1	3		
	専門演習Ⅱ	1	3		
	卒業演習Ⅰ	1	4		
	卒業演習Ⅱ	1	4		
	卒業論文・卒業研究	2	4		
自由選択科目				各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コース科目、展開科目、経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科開講科目から12単以上選択。 教職課程履修者は教職及び教科に関する科目から選択も可。国際学部国際学科開講科目、「エアポートNARITA地域産業学」開講科目、大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業単位とする。	12単位以上選択
エアポートNARITA地域産業学	★スカイブ英会話Ⅰ	1	1～	★印の科目は「エアポートNARITA地域産業学」専攻者のみ履修可	
	★スカイブ英会話Ⅱ	1	1～		
	世界を知る	2	1～		
	空港ビジネス	2	1～		
	ホスピタリティ	2	1～		
	エアライン論	2	2～		
	地方財政論Ⅰ	2	2～		
	地方財政論Ⅱ	2	2～		
海外スクーリング	2	1～			
教職及び教科に関する科目	◎教育原論	2	1～	教職課程履修者のみ履修可(外国人留学生履修不可)	
	◎教育課程論	2	1～		
	◎教育心理学	2	1～	教職課程履修者は◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。	
	◎発達心理学	2	1～		
	◎特別支援教育概論	2	2～		
	◎教職概論	2	1～		
	◎教育行政	2	2～		

2018年度
カリキュラム表

Ⅲ
カリキュラム表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	履修単位
教職及び教科に関する科目	◎教育法規	2	2～	教職課程履修者のみ履修可（外国人留学生履修不可） 教職課程履修者は◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。	
	◎教育方法・技術論	2	2～		
	◎商業科指導法Ⅰ	2	2～		
	◎商業科指導法Ⅱ	2	2～		
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2～		
	◎特別活動指導法	2	2～		
	◎生徒・進路指導論	2	2～		
	◎教育相談	2	2～		
	◎教職実践演習（中・高）	2	4～		
	◎キャリア教育・職業指導Ⅰ	2	2～		
	◎キャリア教育・職業指導Ⅱ	2	2～		
	◎教職時事演習	2	3～		
	◎教育実習指導	1	3～		
◎高等学校教育実習	2	4～			
卒業要件単位数				124単位	

4 学習支援体制

1 経済学常識試験

- (1) 経済学部では、経済学科の2・3年生を対象として「経済学常識試験」を実施しています。
- (2) この「経済学常識試験」は、経済学科生として理解しておくことが望ましい経済学の概念や歴史などの基礎的知識から、理論や経済政策の専門知識など経済学全般にわたって出題されます。
- (3) この試験の結果は、各自の経済学理解のポートフォリオとなります。学生間で点数を競ったり、可否の判定を行ったりするものではありません。
- (4) また、経済学科の教員は出題分野ごとの平均点などの情報を共有し、授業改善の材料としています。

2 特別指導室

経済学部では、6つの特別指導室を設けています。学習意欲のある学生諸君が自主的に運営するサークルですが、専任の先生が顧問として対応し、主に資格取得をめざすために、定例的な学習会・勉強会だけでなく、夏季・冬季休業中に合宿勉強会をおこなっています。

各指導室の詳細については掲示板等を確認のうえ、担当教員に問い合わせてください。

5

2018-2021年度 科目名変更一覧

①経済学科開講科目

2021カリ 科目区分	2021年度以降入学者の科目名	2019・2020年度入学者の科目名	2018年度入学者の科目名	
学 部 共 通 科 目	基 礎 科 目	文章表現	文章表現	文章表現
		口頭表現	口頭表現	口頭表現
		基礎数学	基礎数学	基礎数学
		入門経済学	入門経済学	入門経済学
		入門経営学	入門経営学	入門経営学
		キャリアプランニング	キャリアプランニング	キャリアプランニング
		健康科学	健康科学	健康科学
		情報基礎Ⅰ	情報基礎Ⅰ	情報基礎Ⅰ
		情報基礎Ⅱ	情報基礎Ⅱ	情報基礎Ⅱ
		基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ
基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ		
言 語 科 目	言 語 科 目 A	英語Ⅰ	英語Ⅰ	英語Ⅰ
		英語Ⅱ	英語Ⅱ	英語Ⅱ
		英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ
		英語Ⅳ	英語Ⅳ	英語Ⅳ
	言 語 科 目 B	フランス語Ⅰ	フランス語Ⅰ	フランス語Ⅰ
		フランス語Ⅱ	フランス語Ⅱ	フランス語Ⅱ
		フランス語Ⅲ	フランス語Ⅲ	フランス語Ⅲ
		フランス語Ⅳ	フランス語Ⅳ	フランス語Ⅳ
		ドイツ語Ⅰ	ドイツ語Ⅰ	ドイツ語Ⅰ
		ドイツ語Ⅱ	ドイツ語Ⅱ	ドイツ語Ⅱ
教 養 科 目	教 養 科 目	ドイツ語Ⅲ	ドイツ語Ⅲ	ドイツ語Ⅲ
		ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅳ
		中国語Ⅰ	中国語Ⅰ	中国語Ⅰ
		中国語Ⅱ	中国語Ⅱ	中国語Ⅱ
		中国語Ⅲ	中国語Ⅲ	中国語Ⅲ
		中国語Ⅳ	中国語Ⅳ	中国語Ⅳ
		日本語Ⅰ	日本語Ⅰ	日本語Ⅰ
		日本語Ⅱ	日本語Ⅱ	日本語Ⅱ
		日本語Ⅲ	日本語Ⅲ	日本語Ⅲ
		日本語Ⅳ	日本語Ⅳ	日本語Ⅳ
時事英語Ⅲ	時事英語Ⅲ	時事英語Ⅲ		
時事英語Ⅳ	時事英語Ⅳ	時事英語Ⅳ		
ビジネス英語Ⅲ	ビジネス英語Ⅲ	ビジネス英語Ⅲ		
ビジネス英語Ⅳ	ビジネス英語Ⅳ	ビジネス英語Ⅳ		
敬天愛人講座	敬天愛人講座	敬天愛人講座		
敬愛プログラム	敬愛プログラム	敬愛プログラム		
スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ	スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ	スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ		
哲学	哲学	哲学		
心理学	心理学	心理学		
社会心理学	社会心理学	社会心理学		
歴史学	歴史学	歴史学		
文学				
日本語学				
言語学				
法学	法学	法学		
憲法	憲法	憲法		
政治学	政治学	政治学		
社会学	社会学	社会学		
数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ		
数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ		
統計学Ⅰ	統計学Ⅰ	統計学Ⅰ		
統計学Ⅱ	統計学Ⅱ	統計学Ⅰ		
環境科学	環境科学	環境科学		
地域ボランティア活動	地域ボランティア活動	地域ボランティア活動		

2021カリ 科目区分	2021年度以降入学者の科目名	2019・2020年度入学者の科目名	2018年度入学者の科目名
学部 共通 科目	情報概論	情報概論	情報概論
	AI・DS (データサイエンス) へのいざない		
	データサイエンス総論	データサイエンス総論	データベース論
	英語で学ぶpython		
	アルゴリズム論	アルゴリズム論	アルゴリズム論
	プレゼンテーション論	プレゼンテーション論	Excelデータ解析 プレゼンテーション論
		情報ビジネス論	情報システム論
	情報セキュリティ論	情報セキュリティ論	情報セキュリティ論
	AI概論	AI概論	
	プログラミング	プログラミング	
	実践会話Ⅰ	実践会話Ⅰ	実践会話Ⅰ
	実践会話Ⅱ	実践会話Ⅱ	実践会話Ⅱ
	キャリアデザイン	キャリアデザイン	キャリアデザイン
	キャリアディベロップメント	キャリアディベロップメント	キャリアディベロップメント
	経済 学 科 専 門 科 目	経済理論Ⅰ	経済理論Ⅰ
経済理論Ⅱ		経済理論Ⅱ	経済理論Ⅱ
日本経済史Ⅰ		日本経済史Ⅰ	日本経済史Ⅰ
日本経済史Ⅱ		日本経済史Ⅱ	日本経済史Ⅱ
西洋経済史Ⅰ		西洋経済史Ⅰ	西洋経済史Ⅰ
西洋経済史Ⅱ		西洋経済史Ⅱ	西洋経済史Ⅱ
フィールドワーク入門		フィールドワーク入門	フィールドワーク入門
ミクロ経済学Ⅰ		ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ
ミクロ経済学Ⅱ		ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅱ
マクロ経済学Ⅰ		マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅰ
マクロ経済学Ⅱ		マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学Ⅱ
経済政策Ⅰ		経済政策Ⅰ	経済政策Ⅰ
経済政策Ⅱ		経済政策Ⅱ	経済政策Ⅱ
経済学特論Ⅰ		資本主義経済論Ⅰ	資本主義経済論Ⅰ
経済学特論Ⅱ		資本主義経済論Ⅱ	資本主義経済論Ⅱ
社会政策Ⅰ		社会政策Ⅰ	社会政策Ⅰ
社会政策Ⅱ		社会政策Ⅱ	社会政策Ⅱ
財政学Ⅰ		財政学Ⅰ	財政学Ⅰ
財政学Ⅱ		財政学Ⅱ	財政学Ⅱ
金融論Ⅰ		金融論Ⅰ	金融論Ⅰ
金融論Ⅱ		金融論Ⅱ	金融論Ⅱ
国際経済論Ⅰ		国際経済論Ⅰ	国際経済論Ⅰ
国際経済論Ⅱ		国際経済論Ⅱ	国際経済論Ⅱ
簿記・会計概論Ⅰ		簿記・会計概論Ⅰ	簿記・会計概論Ⅰ
簿記・会計概論Ⅱ		簿記・会計概論Ⅱ	簿記・会計概論Ⅱ
会計学Ⅰ		会計学Ⅰ	会計学Ⅰ
会計学Ⅱ		会計学Ⅱ	会計学Ⅱ
企業法		企業法	企業法
会社法		会社法	会社法
統計学総論Ⅰ		統計学総論Ⅰ	統計学総論Ⅰ
統計学総論Ⅱ	統計学総論Ⅱ	統計学総論Ⅱ	
知的財産権論	知的財産権論	知的財産権論	
情報マネジメント	情報マネジメント	情報マネジメント	
民法Ⅰ			
民法Ⅱ			
公共 経済 科 目	公共経済学	公共経済学	公共経済学
	公共選択論	公共選択論	公共選択論
	地方財政論Ⅰ	地方財政論Ⅰ	地方財政論Ⅰ
	地方財政論Ⅱ	地方財政論Ⅱ	地方財政論Ⅱ
	地方自治論Ⅰ	地方自治論Ⅰ	地方自治論Ⅰ
	地方自治論Ⅱ	地方自治論Ⅱ	地方自治論Ⅱ
		財政赤字の経済学	財政赤字の経済学
	社会保障論Ⅰ	社会保障論Ⅰ	社会保障論Ⅰ
	社会保障論Ⅱ	社会保障論Ⅱ	社会保障論Ⅱ

Ⅲ
カリキュラム表

2021カリ 科目区分	2021年度以降入学者の科目名	2019・2020年度入学者の科目名	2018年度入学者の科目名		
2021カリ 科目区分	社会福祉論	社会福祉論	社会福祉論		
	福祉経済論	福祉経済論	福祉経済論		
		経済学史Ⅰ	経済学史Ⅰ		
		経済学史Ⅱ	経済学史Ⅱ		
	公共経済コース	行政法Ⅰ	行政法Ⅰ	行政法Ⅰ	
		行政法Ⅱ	行政法Ⅱ	行政法Ⅱ	
			民法Ⅰ	民法Ⅰ	
			民法Ⅱ	民法Ⅱ	
		企業法			
		会社法			
	経済統計Ⅰ				
	経済統計Ⅱ				
	進路支援科目	進路支援講座Ⅰ（コース共通）	進路支援講座Ⅰ（コース共通）	進路支援講座Ⅰ（コース共通）	
		進路支援講座Ⅱ（コース共通）	進路支援講座Ⅱ（コース共通）	進路支援講座Ⅱ（コース共通）	
		進路支援講座Ⅲ（公務員）	進路支援講座Ⅲ（公務員）	進路支援講座Ⅲ（公務員）	
		進路支援講座Ⅳ（公務員）	進路支援講座Ⅳ（公務員）	進路支援講座Ⅳ（公務員）	
		進路支援講座Ⅴ（公務員）	進路支援講座Ⅴ（公務員）	進路支援講座Ⅴ（公務員）	
		進路支援講座Ⅵ（公務員）	進路支援講座Ⅵ（公務員）	進路支援講座Ⅵ（公務員）	
	経済 学 科 専 門 科 目	証券経済論Ⅰ	証券経済論Ⅰ	証券経済論Ⅰ	
		証券経済論Ⅱ	証券経済論Ⅱ	証券経済論Ⅱ	
		銀行論Ⅰ	銀行論Ⅰ	銀行論Ⅰ	
		銀行論Ⅱ	銀行論Ⅱ	銀行論Ⅱ	
		国際金融論Ⅰ	国際金融論Ⅰ	国際金融論Ⅰ	
		国際金融論Ⅱ	国際金融論Ⅱ	国際金融論Ⅱ	
		企業金融論Ⅰ	企業金融論Ⅰ	企業金融論Ⅰ	
		企業金融論Ⅱ	企業金融論Ⅱ	企業金融論Ⅱ	
		保険論	保険論	保険論	
		金融事情Ⅰ	金融事情Ⅰ	金融事情Ⅰ	
		金融事情Ⅱ	金融事情Ⅱ	金融事情Ⅱ	
		有価証券法	有価証券法	有価証券法	
		企業法			
		会社法			
		経済統計Ⅰ			
		経済統計Ⅱ			
		進路支援科目	進路支援講座Ⅰ（コース共通）	進路支援講座Ⅰ（コース共通）	進路支援講座Ⅰ（コース共通）
			進路支援講座Ⅱ（コース共通）	進路支援講座Ⅱ（コース共通）	進路支援講座Ⅱ（コース共通）
			進路支援講座Ⅲ（IT）	進路支援講座Ⅲ（IT）	進路支援講座Ⅲ（ITパスポート）
			進路支援講座Ⅳ（IT）	進路支援講座Ⅳ（IT）	進路支援講座Ⅳ（ITパスポート）
			進路支援講座Ⅴ（日経新聞を読む）	進路支援講座Ⅴ（日経新聞を読む）	進路支援講座Ⅴ（日経新聞を読む）
	進路支援講座Ⅵ（日経新聞を読む）		進路支援講座Ⅵ（日経新聞を読む）	進路支援講座Ⅵ（日経新聞を読む）	
	現代経済コース科目	日本経済論Ⅰ	日本経済論Ⅰ	日本経済論Ⅰ	
		日本経済論Ⅱ	日本経済論Ⅱ	日本経済論Ⅱ	
日本経済地理		日本経済地理	日本経済地理		
世界経済地理		世界経済地理	世界経済地理		
アメリカ経済論Ⅰ		アメリカ経済論Ⅰ	アメリカ経済論Ⅰ		
アメリカ経済論Ⅱ		アメリカ経済論Ⅱ	アメリカ経済論Ⅱ		
ヨーロッパ経済論Ⅰ		ヨーロッパ経済論Ⅰ	ヨーロッパ経済論Ⅰ		
ヨーロッパ経済論Ⅱ		ヨーロッパ経済論Ⅱ	ヨーロッパ経済論Ⅱ		
中東経済論		中東経済論	中東経済論		
アジア経済論		アジア経済論	アジア経済論		
国際貿易論		国際貿易論	国際貿易論		
労働経済論Ⅰ		労働経済論Ⅰ	労働経済論Ⅰ		
労働経済論Ⅱ		労働経済論Ⅱ	労働経済論Ⅱ		
労働法		労働法	労働法		
経済統計Ⅰ		経済統計Ⅰ	経済統計Ⅰ		
経済統計Ⅱ	経済統計Ⅱ	経済統計Ⅱ			
進路支援科目	進路支援講座Ⅰ（コース共通）	進路支援講座Ⅰ（コース共通）	進路支援講座Ⅰ（コース共通）		
	進路支援講座Ⅱ（コース共通）	進路支援講座Ⅱ（コース共通）	進路支援講座Ⅱ（コース共通）		
	進路支援講座Ⅲ（経済）	進路支援講座Ⅲ（経済）	進路支援講座Ⅲ（経済）		
	進路支援講座Ⅳ（経済）	進路支援講座Ⅳ（経済）	進路支援講座Ⅳ（経済）		
	進路支援講座Ⅴ（経済）	進路支援講座Ⅴ（経済）	進路支援講座Ⅴ（経済）		
	進路支援講座Ⅵ（経済）	進路支援講座Ⅵ（経済）	進路支援講座Ⅵ（経済）		

2021カリ 科目区分	2021年度以降入学者の科目名	2019・2020年度入学者の科目名	2018年度入学者の科目名	
経済学 専 門 科 目	経済学史Ⅰ			
	経済学史Ⅱ			
	社会思想史Ⅰ	社会思想史Ⅰ	社会思想史Ⅰ	
	社会思想史Ⅱ	社会思想史Ⅱ	社会思想史Ⅱ	
	金融経済の基礎知識	金融経済の基礎知識	金融経済の基礎知識	
		経済学方法論Ⅰ	経済学方法論Ⅰ	
		経済学方法論Ⅱ	経済学方法論Ⅱ	
	計量経済学Ⅰ	計量経済学Ⅰ	計量経済学Ⅰ	
	計量経済学Ⅱ	計量経済学Ⅱ	計量経済学Ⅱ	
	環境経済学Ⅰ	環境経済学Ⅰ	環境経済学Ⅰ	
	環境経済学Ⅱ	環境経済学Ⅱ	環境経済学Ⅱ	
	環境問題Ⅰ	環境問題Ⅰ	環境問題Ⅰ	
	環境問題Ⅱ	環境問題Ⅱ	環境問題Ⅱ	
	地域経済論			
	医療と健康の経済学	医療と健康の経済学	医療の経済学	
	食料経済論	食料経済論	食料経済論	
	農業政策	農業政策	農業政策	
	経済数学Ⅰ	経済数学Ⅰ	経済数学Ⅰ	
	経済数学Ⅱ	経済数学Ⅱ	経済数学Ⅱ	
	外国書講読Ⅰ	外国書講読Ⅰ	外国書講読Ⅰ	
	外国書講読Ⅱ	外国書講読Ⅱ	外国書講読Ⅱ	
	経営学Ⅰ	経営学Ⅰ	経営学Ⅰ	
	経営学Ⅱ	経営学Ⅱ	経営学Ⅱ	
	地方自治論実習	地方自治論実習	地方自治論実習	
	TOEIC®向上講座Ⅰ	TOEIC®向上講座Ⅰ	TOEIC®向上講座Ⅰ	
	TOEIC®向上講座Ⅱ	TOEIC®向上講座Ⅱ	TOEIC®向上講座Ⅱ	
	国際地域論Ⅰ	国際地域論Ⅰ	国際地域論Ⅰ	
	国際地域論Ⅱ	国際地域論Ⅱ	国際地域論Ⅱ	
		日本・中東関係		
	地域産業論	地域産業論	地域産業論	
	経営立地論	経営立地論	経営立地論	
	交通論	交通論		
	ビジネスデータ解析			
	情報ビジネス論			
	専門導入演習Ⅰ	専門導入演習Ⅰ	専門導入演習Ⅰ	
	専門導入演習Ⅱ	専門導入演習Ⅱ	専門導入演習Ⅱ	
	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	
	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	
	卒業演習Ⅰ	卒業演習Ⅰ	卒業演習Ⅰ	
	卒業演習Ⅱ	卒業演習Ⅱ	卒業演習Ⅱ	
	卒業論文	卒業論文	卒業論文	
	自由 選 択 科 目	オンライン英会話Ⅰ	スカイプ英会話Ⅰ	スカイプ英会話Ⅰ
		オンライン英会話Ⅱ	スカイプ英会話Ⅱ	スカイプ英会話Ⅱ
世界を知る		世界を知る	世界を知る	
空港ビジネス		空港ビジネス	空港ビジネス	
流通経営論		流通経営論	流通経営論	
マーケティング論		マーケティング論	マーケティング論	
Marketing Management		Marketing Management	Marketing Management	
ホスピタリティ		ホスピタリティ	ホスピタリティ	
エアライン論		エアライン論	エアライン論	
航空物流論		航空物流論	航空物流論	
地域企業経営論		地域企業経営論	地域企業経営論	
中小企業論Ⅰ		中小企業論Ⅰ	中小企業論Ⅰ	
中小企業論Ⅱ		中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ	
ベンチャービジネス論		ベンチャービジネス論	ベンチャービジネス論	
観光事業論Ⅰ		観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ	
観光事業論Ⅱ		観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ	
海外スクーリング		海外スクーリング	海外スクーリング	
入門ツーリズムⅠ	入門ツーリズムⅠ	入門ツーリズム		
入門ツーリズムⅡ	入門ツーリズムⅡ			
旅行ビジネス論	旅行ビジネス論	旅行ビジネス論		
地域観光論	地域観光論	地域観光論		

Ⅲ
カリキュラム表

2021カリ 科目区分		2021年度以降入学者の科目名	2019・2020年度入学者の科目名	2018年度入学者の科目名
自由選択科目	大規模 ゼミ 大講義	ホテル・ビジネス論	ホテル・ビジネス論	
		千葉県の産業と行政	千葉県の産業と行政	
	A・ データサイエンス 科目	マーケティング・リサーチⅠ	マーケティング・リサーチⅠ	マーケティング・リサーチⅠ
		マーケティング・リサーチⅡ	マーケティング・リサーチⅡ	マーケティング・リサーチⅡ
			観光マーケティング調査	
		社会調査法Ⅰ	社会調査法Ⅰ	
		社会調査法Ⅱ	社会調査法Ⅱ	
		社会調査実習Ⅰ	社会調査実習Ⅰ	
		社会調査実習Ⅱ	社会調査実習Ⅱ	
シミュ レーション 科目	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップ	
	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ		
教 職 及 び 教 科 に 関 す る 科 目	* 日本史概論Ⅰ	* 日本史概論Ⅰ	* 日本史概論Ⅰ	
	* 日本史概論Ⅱ	* 日本史概論Ⅱ	* 日本史概論Ⅱ	
	* 世界史概論Ⅰ	* 世界史概論Ⅰ	* 世界史概論Ⅰ	
	* 世界史概論Ⅱ	* 世界史概論Ⅱ	* 世界史概論Ⅱ	
	* 地理学概論Ⅰ	* 地理学概論Ⅰ	* 地理学概論Ⅰ	
	* 地理学概論Ⅱ	* 地理学概論Ⅱ	* 地理学概論Ⅱ	
	* 地誌学Ⅰ	* 地誌学Ⅰ	* 地誌学Ⅰ	
	* 地誌学Ⅱ	* 地誌学Ⅱ	* 地誌学Ⅱ	
	* 哲学概論Ⅰ	* 哲学概論Ⅰ	* 哲学概論Ⅰ	
	* 哲学概論Ⅱ	* 哲学概論Ⅱ	* 哲学概論Ⅱ	
	* 比較政治学	* 比較政治学	* 比較政治学	
	* 社会学概論	* 社会学概論	* 社会学概論	
	* 自然地理学Ⅰ	* 自然地理学Ⅰ	* 自然地理学Ⅰ	
	* 自然地理学Ⅱ	* 自然地理学Ⅱ	* 自然地理学Ⅱ	
	* 環境地理学Ⅰ	* 環境地理学Ⅰ	* 環境地理学Ⅰ	
	* 環境地理学Ⅱ	* 環境地理学Ⅱ	* 環境地理学Ⅱ	
	* 教育原論	* 教育原論	* 教育原論	
	* 教育課程論	* 教育課程論	* 教育課程論	
	* 発達心理学	* 発達心理学	* 発達心理学	
	* 教育心理学	* 教育心理学	* 教育心理学	
	* 特別支援教育概論	* 特別支援教育概論	* 特別支援教育概論	
	* 教職概論	* 教職概論	* 教職概論	
	* 教育行政	* 教育行政	* 教育行政	
	* 教育法規	* 教育法規	* 教育法規	
	* 教育方法・技術論	* 教育方法・技術論	* 教育方法・技術論	
	* 社会科・地歴科指導法Ⅰ	* 社会科・地歴科指導法Ⅰ	* 社会科・地歴科指導法Ⅰ	
	* 社会科・地歴科指導法Ⅱ	* 社会科・地歴科指導法Ⅱ	* 社会科・地歴科指導法Ⅱ	
	* 地理歴史科指導法	* 地理歴史科指導法	* 地理歴史科指導法	
	* 社会科・公民科指導法Ⅰ	* 社会科・公民科指導法Ⅰ	* 社会科・公民科指導法Ⅰ	
	* 社会科・公民科指導法Ⅱ	* 社会科・公民科指導法Ⅱ	* 社会科・公民科指導法Ⅱ	
	* 公民科指導法	* 公民科指導法	* 公民科指導法	
			* 商業科指導法Ⅰ	
			* 商業科指導法Ⅱ	
			* 道徳教育指導法	
			* 総合的な学習の時間の指導法	
			* 特別活動指導法	
			* 生徒・進路指導論	
			* 教育相談	
			* 教職実践演習(中・高)	
			* 教職時事演習	
		* 教育実習指導		
		* 中学校教育実習		
		* 高等学校教育実習		
		* 教育福祉論		
		* 職業指導Ⅰ		
		* 職業指導Ⅱ		
		データベースオペレーション		

②経営学科開講科目

2021カリ 科目区分	2021年度以降入学者の科目名	2019・2020年度入学者の科目名	2018年度入学者の科目名
基礎 科目	文章表現	文章表現	文章表現
	口頭表現	口頭表現	口頭表現
	基礎数学	基礎数学	基礎数学
	入門経済学	入門経済学	入門経済学
	入門経営学	入門経営学	入門経営学
	キャリアプランニング	キャリアプランニング	キャリアプランニング
	健康科学	健康科学	健康科学
	情報基礎Ⅰ	情報基礎Ⅰ	情報基礎Ⅰ
	情報基礎Ⅱ	情報基礎Ⅱ	情報基礎Ⅱ
	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ
基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	
言語 科目 A	英語Ⅰ	英語Ⅰ	英語Ⅰ
	英語Ⅱ	英語Ⅱ	英語Ⅱ
	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ
	英語Ⅳ	英語Ⅳ	英語Ⅳ
言語 科目 B	フランス語Ⅰ	フランス語Ⅰ	フランス語Ⅰ
	フランス語Ⅱ	フランス語Ⅱ	フランス語Ⅱ
	フランス語Ⅲ	フランス語Ⅲ	フランス語Ⅲ
	フランス語Ⅳ	フランス語Ⅳ	フランス語Ⅳ
	ドイツ語Ⅰ	ドイツ語Ⅰ	ドイツ語Ⅰ
	ドイツ語Ⅱ	ドイツ語Ⅱ	ドイツ語Ⅱ
	ドイツ語Ⅲ	ドイツ語Ⅲ	ドイツ語Ⅲ
	ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅳ
	中国語Ⅰ	中国語Ⅰ	中国語Ⅰ
	中国語Ⅱ	中国語Ⅱ	中国語Ⅱ
	中国語Ⅲ	中国語Ⅲ	中国語Ⅲ
	中国語Ⅳ	中国語Ⅳ	中国語Ⅳ
	日本語Ⅰ	日本語Ⅰ	日本語Ⅰ
	日本語Ⅱ	日本語Ⅱ	日本語Ⅱ
	日本語Ⅲ	日本語Ⅲ	日本語Ⅲ
	日本語Ⅳ	日本語Ⅳ	日本語Ⅳ
教 養 科 目	時事英語Ⅲ	時事英語Ⅲ	時事英語Ⅲ
	時事英語Ⅳ	時事英語Ⅳ	時事英語Ⅳ
	ビジネス英語Ⅲ	ビジネス英語Ⅲ	ビジネス英語Ⅲ
	ビジネス英語Ⅳ	ビジネス英語Ⅳ	ビジネス英語Ⅳ
	敬天愛人講座	敬天愛人講座	敬天愛人講座
	敬愛プログラム	敬愛プログラム	敬愛プログラム
	スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ	スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ	スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ
	哲学	哲学	哲学
	心理学	心理学	心理学
	社会心理学	社会心理学	社会心理学
	歴史学	歴史学	歴史学
	文学		
	日本語学		
	言語学		
情 報 科 目	法学	法学	法学
	憲法	憲法	憲法
	政治学	政治学	政治学
	社会学	社会学	社会学
	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ
	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ
	統計学Ⅰ	統計学Ⅰ	統計学Ⅰ
	統計学Ⅱ	統計学Ⅱ	統計学Ⅱ
	環境科学	環境科学	環境科学
	地域ボランティア活動	地域ボランティア活動	地域ボランティア活動
	情報概論	情報概論	情報概論
	AI・DS (データサイエンス) へのいざない		
	データサイエンス総論	データサイエンス総論	データベース論
	英語で学ぶPython		
アルゴリズム論	アルゴリズム論	アルゴリズム論	

Ⅲ

カリキュラム表

2021カリ 科目区分	2021年度以降入学者の科目名	2019・2020年度入学者の科目名	2018年度入学者の科目名		
学部共通科目	情報科目	プレゼンテーション論	プレゼンテーション論	プレゼンテーション論	
		情報セキュリティ論	情報セキュリティ論	情報セキュリティ論	
		AI概論	AI概論		
		プログラミング	プログラミング		
	キャリア科目	実践会話Ⅰ	実践会話Ⅰ	実践会話Ⅰ	
		実践会話Ⅱ	実践会話Ⅱ	実践会話Ⅱ	
		キャリアデザイン	キャリアデザイン	キャリアデザイン	
		キャリアディベロップメント	キャリアディベロップメント	キャリアディベロップメント	
経営学 科目	基本科目A	経営学Ⅰ	経営学Ⅰ	経営学Ⅰ	
		経営学Ⅱ	経営学Ⅱ	経営学Ⅱ	
		簿記・会計概論Ⅰ	簿記・会計概論Ⅰ	簿記・会計概論Ⅰ	
		簿記・会計概論Ⅱ	簿記・会計概論Ⅱ	簿記・会計概論Ⅱ	
		実地調査入門	実地調査入門	実地調査入門	
	基本科目B	経営戦略論Ⅰ	経営戦略論Ⅰ	経営戦略論Ⅰ	
		経営戦略論Ⅱ	経営戦略論Ⅱ	経営戦略論Ⅱ	
		経営組織論Ⅰ	経営組織論Ⅰ	経営組織論Ⅰ	
		経営組織論Ⅱ	経営組織論Ⅱ	経営組織論Ⅱ	
		経営財務論Ⅰ	経営財務論Ⅰ	経営財務論Ⅰ	
		経営財務論Ⅱ	経営財務論Ⅱ	経営財務論Ⅱ	
		マーケティング論	マーケティング論	マーケティング論	
		Marketing Management	Marketing Management	Marketing Management	
		経営分析Ⅰ	経営分析Ⅰ	経営分析Ⅰ	
		経営分析Ⅱ	経営分析Ⅱ	経営分析Ⅱ	
		人的資源管理Ⅰ	人的資源管理Ⅰ	人的資源管理Ⅰ	
		人的資源管理Ⅱ	人的資源管理Ⅱ	人的資源管理Ⅱ	
		産業論	産業論	産業論	
		マーケティングリサーチⅠ	マーケティングリサーチⅠ	マーケティングリサーチⅠ	
		マーケティングリサーチⅡ	マーケティングリサーチⅡ	マーケティングリサーチⅡ	
流通論	流通論	流通論			
専門科目	基本科目B	原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅰ	
		原価計算論Ⅱ	原価計算論Ⅱ	原価計算論Ⅱ	
	経営史Ⅰ	経営史Ⅰ	経営史Ⅰ		
	経営史Ⅱ	経営史Ⅱ	経営史Ⅱ		
	ベンチャービジネス論	ベンチャービジネス論	ベンチャービジネス論		
	ビジネスデータ解析	ビジネスデータ解析	Excelデータ解析		
	観光マーケティング調査	観光マーケティング調査	情報システム論		
	情報ビジネス論	情報ビジネス論			
	企業経営コース科目	インターンシップ科目	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	企業経営実習 商業会計実習 スポーツビジネス実習 地域産業実習
			インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	
地域企業経営論		地域企業経営論	地域企業経営論		
経営立地論		経営立地論	経営立地論		
中小企業論Ⅰ		中小企業論Ⅰ	中小企業論Ⅰ		
中小企業論Ⅱ		中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ		
企業と産業組織		企業と産業組織	企業と産業組織		
ビジネスエコノミクス		ビジネスエコノミクス	ビジネスエコノミクス		
多国籍企業論		多国籍企業論	多国籍企業論		
情報マネジメント		情報マネジメント	情報マネジメント		
知的財産権論		知的財産権論	知的財産権論		
経営シミュレーション		経営シミュレーション	経営シミュレーション		
企業法		企業法	企業法		
会社法		会社法	会社法		
企業経営と心理学		企業経営と心理学	企業経営と心理学		
日本経済地理		日本経済地理	日本経済地理		
世界経済地理		世界経済地理	世界経済地理		
アジアビジネス論		アジアビジネス論	アジアビジネス論		
中国ビジネス論	中国ビジネス論	中国ビジネス論			

2021カリ 科目区分	2021年度以降入学者の科目名	2019・2020年度入学者の科目名	2018年度入学者の科目名	
企業経営 コース科目	世界の流通産業	世界の流通産業	世界の流通産業	
	国際貿易論	国際貿易論	国際貿易論	
	地域産業論	地域産業論	地域産業論	
	ホテル・ビジネス論	ホテル・ビジネス論		
	地域企業経営論	地域企業経営論	地域企業経営論	
	会計学Ⅰ	会計学Ⅰ	会計学Ⅰ	
	会計学Ⅱ	会計学Ⅱ	会計学Ⅱ	
	簿記原理Ⅰ	簿記原理Ⅰ	簿記原理Ⅰ	
	簿記原理Ⅱ	簿記原理Ⅱ	簿記原理Ⅱ	
	流通情報論	流通情報論	流通情報論	
	流通経営論	流通経営論	流通経営論	
	経営立地論	経営立地論	経営立地論	
	地域産業論	地域産業論	地域産業論	
	サービス産業論	サービス産業論	サービス産業論	
	管理会計論	管理会計論	管理会計論	
	消費者行動論	消費者行動論	消費者行動論	
	観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ	
	観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ	
	税務会計論Ⅰ	税務会計論Ⅰ	税務会計論Ⅰ	
	税務会計論Ⅱ	税務会計論Ⅱ	税務会計論Ⅱ	
地域企業会計論	地域企業会計論	地域企業会計論		
民法Ⅰ	民法Ⅰ	民法Ⅰ		
民法Ⅱ	民法Ⅱ	民法Ⅱ		
商業・会計コース科目	スポーツビジネス論	スポーツビジネス論	スポーツビジネス論	
	スポーツ産業論	スポーツ産業論	スポーツ産業論	
	スポーツマーケティング論	スポーツマーケティング論	スポーツマーケティング論	
	スポーツ文化論	スポーツ文化論	スポーツ文化論	
	生涯スポーツ実習Ⅰ	生涯スポーツ実習Ⅰ	生涯スポーツ実習Ⅰ	
	生涯スポーツ実習Ⅱ	生涯スポーツ実習Ⅱ	生涯スポーツ実習Ⅱ	
	スポーツ科学概論	スポーツ科学概論	スポーツ科学概論	
	中小企業論Ⅰ	中小企業論Ⅰ	中小企業論Ⅰ	
	中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ	
	サービス産業論	サービス産業論	サービス産業論	
	企業経営と心理学	企業経営と心理学	企業経営と心理学	
	消費者行動論	消費者行動論	消費者行動論	
	企業法	企業法	企業法	
	会社法	会社法	会社法	
	観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ	
	観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ	
	民法Ⅰ	民法Ⅰ	民法Ⅰ	
	民法Ⅱ	民法Ⅱ	民法Ⅱ	
	スポーツビジネスコース科目	入門ツーリズムⅠ	入門ツーリズムⅠ	入門ツーリズム
		入門ツーリズムⅡ	入門ツーリズムⅡ	
千葉学		千葉学	千葉学Ⅰ	
千葉県の産業と行政		千葉県の産業と行政	千葉学Ⅱ	
旅行ビジネス論		旅行ビジネス論	旅行ビジネス論	
中小企業論Ⅰ		中小企業論Ⅰ	中小企業論Ⅰ	
中小企業論Ⅱ		中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ	
地域観光論		地域観光論	地域観光論	
観光事業論Ⅰ		観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ	
観光事業論Ⅱ		観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ	
地域企業経営論		地域企業経営論	地域企業経営論	
医療と健康の経済学		医療と健康の経済学	医療の経済学	
流通経営論		流通経営論	流通経営論	
国際貿易論		国際貿易論	国際貿易論	
多国籍企業論		多国籍企業論	多国籍企業論	
経営立地論		経営立地論	経営立地論	
地域産業論		地域産業論	地域産業論	
管理会計論		管理会計論	管理会計論	
地域企業会計論		地域企業会計論	地域企業会計論	
航空物流論		航空物流論	航空物流論	
交通論	交通論			
地域産業コース科目				

Ⅲ
カリキュラム表

2021カリ 科目区分	2021年度以降入学者の科目名	2019・2020年度入学者の科目名	2018年度入学者の科目名	
経営学 科専 門科 目	コア科目		グローバル産業論	
	地域産業	地域事業創造論 ホテル・ビジネス論	地域事業創造論 ホテル・ビジネス論	
	展 開 科 目	有価証券法	有価証券法	有価証券法
		統計学総論Ⅰ	統計学総論Ⅰ	統計学総論Ⅰ
		統計学総論Ⅱ	統計学総論Ⅱ	統計学総論Ⅱ
		企業金融論Ⅰ	企業金融論Ⅰ	企業金融論Ⅰ
		企業金融論Ⅱ	企業金融論Ⅱ	企業金融論Ⅱ
		労働法	労働法	労働法
		国際法Ⅰ	国際法Ⅰ	国際法Ⅰ
		国際法Ⅱ	国際法Ⅱ	国際法Ⅱ
		経済政策Ⅰ	経済政策Ⅰ	経済政策Ⅰ
		経済政策Ⅱ	経済政策Ⅱ	経済政策Ⅱ
		ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ
		ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅱ
		マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅰ
		マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学Ⅱ
		経済統計Ⅰ	経済統計Ⅰ	経済統計Ⅰ
		経済統計Ⅱ	経済統計Ⅱ	経済統計Ⅱ
		日本経済論Ⅰ	日本経済論Ⅰ	日本経済論Ⅰ
		日本経済論Ⅱ	日本経済論Ⅱ	日本経済論Ⅱ
		金融論Ⅰ	金融論Ⅰ	金融論Ⅰ
		金融論Ⅱ	金融論Ⅱ	金融論Ⅱ
	銀行論Ⅰ	銀行論Ⅰ	銀行論Ⅰ	
	銀行論Ⅱ	銀行論Ⅱ	銀行論Ⅱ	
	外国書講読Ⅰ	外国書講読Ⅰ	外国書講読Ⅰ	
	外国書講読Ⅱ	外国書講読Ⅱ	外国書講読Ⅱ	
	TOEIC®向上講座Ⅰ	TOEIC®向上講座Ⅰ	TOEIC®向上講座Ⅰ	
	TOEIC®向上講座Ⅱ	TOEIC®向上講座Ⅱ	TOEIC®向上講座Ⅱ	
	演習科目	専門導入演習Ⅰ	専門導入演習Ⅰ	専門導入演習Ⅰ
専門導入演習Ⅱ		専門導入演習Ⅱ	専門導入演習Ⅱ	
専門演習Ⅰ		専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	
専門演習Ⅱ		専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	
卒業演習Ⅰ		卒業演習Ⅰ	卒業演習Ⅰ	
卒業演習Ⅱ		卒業演習Ⅱ	卒業演習Ⅱ	
卒業論文・卒業研究		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	
自由選択科目	エラポートNARAーA地域産業学	オンライン英会話Ⅰ	スカイプ英会話Ⅰ	
		オンライン英会話Ⅱ	スカイプ英会話Ⅱ	
		世界を知る	世界を知る	
		空港ビジネス	空港ビジネス	
		ホスピタリティ	ホスピタリティ	
		エアライン論	エアライン論	
		地方財政論Ⅰ	地方財政論Ⅰ	
		地方財政論Ⅱ	地方財政論Ⅱ	
		海外スクーリング	海外スクーリング	
サイエンス	社会調査法Ⅰ	社会調査法Ⅰ		
	社会調査法Ⅱ	社会調査法Ⅱ		
	社会調査実習Ⅰ	社会調査実習Ⅰ		
	社会調査実習Ⅱ	社会調査実習Ⅱ		
教職及び教科に関する科目	*教育原論	*教育原論	*教育原論	
	*教育課程論	*教育課程論	*教育課程論	
	*発達心理学	*発達心理学	*発達心理学	
	*教育心理学	*教育心理学	*教育心理学	
	*特別支援教育概論	*特別支援教育概論	*特別支援教育概論	
	*教職概論	*教職概論	*教職概論	
	*教育行政	*教育行政	*教育行政	
	*教育法規	*教育法規	*教育法規	
	*教育方法・技術論	*教育方法・技術論	*教育方法・技術論	
	*商業科指導法Ⅰ	*商業科指導法Ⅰ	*商業科指導法Ⅰ	
	*商業科指導法Ⅱ	*商業科指導法Ⅱ	*商業科指導法Ⅱ	
	*総合的な学習の時間の指導法	*総合的な学習の時間の指導法	*総合的な学習の時間の指導法	
	*特別活動指導法	*特別活動指導法	*特別活動指導法	

2021カリ 科目区分	2021年度以降入学者の科目名	2019・2020年度入学者の科目名	2018年度入学者の科目名
教職及び 教科に関する 科目	*生徒・進路指導論	*生徒・進路指導論	*生徒・進路指導論
	*教育相談	*教育相談	*教育相談
	*教職実践演習（中・高）	*教職実践演習（中・高）	*教職実践演習（中・高）
	*キャリア教育・職業指導Ⅰ	*キャリア教育・職業指導Ⅰ	*キャリア教育・職業指導Ⅰ
	*キャリア教育・職業指導Ⅱ	*キャリア教育・職業指導Ⅱ	*キャリア教育・職業指導Ⅱ
	*教職時事演習	*教職時事演習	*教職時事演習
	*教育実習指導	*教育実習指導	*教育実習指導
	*高等学校教育実習	*高等学校教育実習	*高等学校教育実習
			データベースオペレーション

Ⅲ

カリキュラム表

III

カリキュラム表 国際学部

国際学部

1. 国際学科2021カリキュラム表	140
2. 国際学科2020カリキュラム表	150
3. 国際学科2019カリキュラム表	160
4. 国際学科2018カリキュラム表	169
5. こども教育学科2019カリキュラム表	178
6. こども教育学科2018カリキュラム表	183
7. 国際学部カリキュラム新旧比較対照表	188

1

国際学科2021カリキュラム表 (2021年度入学者)

1. 「敬愛大学学則」及び「国際学部規程」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。国際学科では、基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア科目、自由選択科目、教職科目を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。
2. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目、集中講義及び課外研修によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修においては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 「専門研究」では1年次後期に2年次所属ゼミを選択し、翌年前期に「2年次専門研究I」を履修します。2年次前期の終わりに後期所属ゼミを選択し、後期に「2年次専門研究II」を履修します。2年次は専門研究に必要な技能を身につけます。3年次から本格的に専門研究が始まりますが、2年次後期に所属ゼミを選択します。「3年次専門研究I・II」及び「4年次専門研究I・II」は同一教員に指導を受けます。但し、2年次から4年次まで同じ教員の指導が受けられるゼミもあります。
4. 2年次までに、将来の進路や関心に応じて4つの専攻（英米語、地域デザイン、国際ビジネス、観光マネジメント）の中から1つを選択します。卒業までに、選択した専攻の専門科目の中から40単位以上修得することが必要です。英米語専攻は、英語科目の必修が多く設定されています。そのため、1年次からできるだけ多くの英語科目を履修することを推奨します。

特色ある教育

敬天愛人講座

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、他者には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、自律した品格のある人間に成るように努力します。

AI・DS(データサイエンス)へのいざない

インターネット上に蓄積される大量の情報データをAIを活用して分析し、その客観的証拠による判断が求められる時代となりました。文系理系を問わず、あらゆる場面でAIやデータサイエンスに関する知識は不可欠といえます。本科目は、そのような「AI・データサイエンス」の知識を身につけるための導入科目となります。

実習科目(自由選択科目)

海外語学研修I・II、海外スクーリングI・II、国内スクーリングI・II、オンライン英会話I・IIが設置されています。海外語学研修では英語、中国語、韓国語が海外の協定校において、夏休みと春休みの長期休暇を利用して学ぶことができます。海外スクーリングは、訪問する国事情に詳しい教員が担当する体験型授業です。国内スクーリングはその国内版で、同じく専門知識及び教養を深めるための体験型授業となっています。また、オンライン英会話では海外の英語教師から一対一で英語の授業を受けることができます。

留学

短期留学(半年)と長期留学(1年)があります。大学が協定を結んでいる大学に留学する場合、留学先の大学で取得した単位を本学の単位として読み替えますので、4年で卒業が可能となります。また、本学の学費は奨学金の代わりとして、免除されます。交換留学制度がある台湾の中国文化大学、韓国の木浦大学に留学する場合は、留学先の学費も免除されます。※国内外の情勢によっては実施できない場合もあります。

専攻の概要

英米語専攻

英語及びコミュニケーション力を高めながら、世界及び自分自身を探究する知性と教養を磨きます。1、2年次では少人数クラスで「読む」「書く」「聞く」「話す」の英語運用能力を強化します。また中高英語教師を目指す学生は2年次から特別講座が受けられます。2年次でTOEIC500点以上を、3年次でTOEIC600点以上の取得を目指します。3年次から始まる専門課程では「英語教育」「英語学」「アメリカ文学」「英米文化」「第二言語習得」「異文化コミュニケーション」の専門研究で学びを深め、他者を理解する能力及び自己を表現する能力を身につけます。

地域デザイン専攻

本専攻でいう地域とは、日本や外国の市町村からなる地域ばかりでなく、国際的・国家規模の地域、複数の国家からなる領域をも指します。グローバルな視野で地域の社会的事象への理解を深め、問題・課題を発見し、誰もが暮らしやすい地域社会づくりに参画する能力を身に付けます。

学びの範囲は、地域研究、国際教養、国際関係論、多文化共生、情報処理、外国語など幅広い分野となります。本専攻の地域政策の学びは、地域の安定と発展に貢献できる人材、特に地方公務員を目指す人に役立ちます。一方地域理解の学びは、メディア産業や地域とのつながりを大切にしている企業人となることを目指します。この2つの学びと合せ、本専攻では、日本語教員、日本語学習支援者の資格指定科目を履修することで、資格取得ができます。

国際ビジネス専攻

現代ビジネスに必要な国際経済・経営と情報の基礎知識を学び、さらに進路に応じた専門知識、特に「空港関連」「AI・データサイエンス」について深く学べます。空港関連では、キャビンアテンダント（CA）やグランドスタッフ（GS）など空港業務を目指すために必要な英語力のレベルアップをはかりながら、空港に関する実践的な知識を学べます。AI・データサイエンスでは、企業に限らず様々な分野で必要性が高まったAIに関する知識とデータ分析方法について学べます。指定科目を履修することで社会調査士資格も取得できます。

どのような状況にあっても、自ら課題を見つけて解決し、国際社会・地域社会で活躍できる人材を育成します。

観光マネジメント専攻

21世紀の成長産業である「観光」をマネジメントの視点から学び、観光経営のスペシャリストを目指します。旅行業、宿泊産業、運輸産業、観光地計画・経営などの幅広い観光経営を体系的に学ぶとともに、具体的な事例にも触れ、その実態と経営手法を理解します。また、観光を世界や日本の文化や歴史、異文化交流の視点からも学び、グローバルな視点により、地域社会の発展に貢献する力を身に付けます。

海外からの利用客の多いホテルや旅行会社、航空、鉄道、テーマパークなど、観光産業分野で活躍したい人、観光を通して地域に貢献したい人に最適です。また、ブライダル、エンターテインメントやイベントなどホスピタリティ・マインドを必要とするサービス産業で働くことを目指す人にも適しています。

区分・専攻		卒業必要単位	必修科目
基礎科目		18単位以上	□頭表現、文章表現、 1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ
外国語科目	英米語専攻	16単位以上 (留学生20単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、 SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、 ListeningⅠ・Ⅱ、DebateⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	地域デザイン専攻	8単位以上 (留学生12単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	国際ビジネス専攻	8単位以上 (留学生12単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	観光マネジメント専攻	8単位以上 (留学生12単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
情報基礎科目		2単位以上	情報処理Ⅰ・Ⅱ
専門科目	共通	6単位以上	
	英米語専攻	専門科目専攻群より54単位以上(内40単位は選択した専攻内から修得、14単位は他専攻の専門科目でも可)	英文講読Ⅰ・Ⅱ Advanced ReadingⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Advanced ListeningⅠ・Ⅱ English for Global IssuesⅠ・Ⅱ English PresentationⅠ・Ⅱ Academic WritingⅠ・Ⅱ
	地域デザイン専攻	専門科目専攻群より62単位以上(内40単位は選択した専攻内から修得、22単位は他専攻の専門科目でも可)	
	国際ビジネス専攻	専門科目専攻群より62単位以上(内40単位は選択した専攻内から修得、22単位は他専攻の専門科目でも可)	
	観光マネジメント専攻	専門科目専攻群より62単位以上(内40単位は選択した専攻内から修得、22単位は他専攻の専門科目でも可)	
専門研究	12単位以上	2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ	
キャリア科目		4単位以上	
自由選択科目		12単位以上 (英米語専攻を選択した留学生は8単位以上、他専攻を選択した留学生は10単位以上)	※指定単位以上修得した他区分科目。 (基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア科目) ※自由選択科目
卒業要件単位数 124単位以上			

国際学科 2021 カリキュラム表 (2021 年度入学者)

2021年度

国際学科DP	DP1. コミュニケーション能力、および高度な英語の運用能力の修得 DP2. 国際的な視野で多様性のある共生社会の課題に取り組む能力の修得 DP3. 卒業後の進路目標に応じた専門知識の体系的修得 DP4. 共生社会で協働し、その発展に貢献できる力の修得													
	到達目標	英米語専攻	地域デザイン専攻	国際ビジネス専攻	観光マネジメント専攻									
科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数		
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4			
基礎科目	教養科目	口頭表現	2	1年~	*	*	*	*	○		○		18単位以上選択	
		文章表現	2	1年~	*	*	*	*	○		○			
		基礎数学	2	1年~							○			
		敬天愛人講座	2	1年~						◎		○		
		敬愛プログラム	2	1年~					○			◎		
		健康科学	2	1年~										
		スポーツ教育 I	1	1年~						◎		○		
		スポーツ教育 II	1	1年~						◎		○		
		哲学	2	1年~						◎				
		心理学	2	1年~						◎				
		社会心理学	2	1年~						◎				
		歴史学	2	1年~						◎				
		文学	2	1年~						◎				
		日本語学	2	1年~						◎		○		
		言語学	2	1年~						◎		○		
		法学	2	1年~						◎				
		憲法	2	1年~						◎				
		政治学	2	1年~						◎				
		社会学	2	1年~						◎				
		外国語科目	英語	数学 I	2	1年~								◎
数学 II	2			1年~							◎			
統計学 I	2			1年~							◎			
統計学 II	2			1年~							◎			
環境科学	2			1年~							◎			
地域ボランティア活動	2			1年~							○	◎		
世界を知る	2			1年~						◎				
AI・DS(データサイエンス)へのいざない	1			1年~					○		◎			
演習	1年基礎演習 I			1	1年~	*	*	*	*	○	◎			
	1年基礎演習 II			1	1年~	*	*	*	*	○	◎			
英語	College English I	2	1年~	*	*	*	*	◎						
	College English II	2	1年~	*	*	*	*	◎						
	Speaking I	1	1年~	*	*	*	*	◎						
	Speaking II	1	1年~	*	*	*	*	◎						
	Writing I	1	1年~	*				◎						
	Writing II	1	1年~	*				◎						
	Listening I	1	1年~	*				◎						
	Listening II	1	1年~	*				◎						
	College English III	2	2年~	*				◎						
	College English IV	2	2年~	*				◎						
Debate I	1	2年~	*				◎							

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数			
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4				
外国語科目	英語	Debate II	1	2年~	*					◎				英米語専攻選択者 16単位以上選択 (留学生は20単位以上選択) 他専攻は8単位以上選択 (留学生は10単位以上選択)	
		Basic Grammar I	1	1年~						◎					
		Basic Grammar II	1	1年~						◎					
		ビジネス英語	1	2年~						◎					
	英語以外の外国語	中国語 I	1	1年~						◎					
		中国語 II	1	1年~						◎					
		日中翻訳	1	2年~						◎					
		フランス語 I	1	1年~						◎					
		フランス語 II	1	1年~						◎					
		ドイツ語 I	1	1年~						◎					
		ドイツ語 II	1	1年~						◎					
		外国語特殊 I	1	1年~						◎					
	日本語	総合日本語 I	2	1年~						◎					留学生のみ必修
		総合日本語 II	2	1年~						◎					
情報基礎科目	情報処理 I (情報基礎)	1	1年~	*	*	*	*			◎			2単位必修		
	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	1年~	*	*	*	*			◎					
専門科目	共通	国際関係入門	2	1年~						◎		○	6単位以上選択		
		World Today	2	1年~						○	◎				
		Japan Today	2	1年~						○	◎				
		情報概論	2	1年~							◎	○			
		国際社会とSDG s	2	2年~						◎	◎	○		○	
		日本の近現代と世界	2	2年~							○				
		異文化理解	2	2年~						◎	○				
	導入	英語コミュニケーション	英文講読 I	2	1年~	*					◎			英米語専攻選択者 54単位以上選択 (但し14単位は他専攻の専門科目でも可)	
			英文講読 II	2	1年~	*					◎				
			TOEIC®向上講座 I	2	1年~						◎		○		
		英米文化・文学	英語学概論	2	1年~						◎				
			英米文学概論	2	1年~						◎				
			英米文化概論	2	1年~						◎	○			
			Advanced Reading I	2	2年~	*					◎	○			
		基本	英語コミュニケーション	Advanced Reading II	2	2年~	*					○	◎		
				Advanced Listening I	2	2年~	*					◎			
				Advanced Listening II	2	2年~	*					◎			
				English for Global Issues I	2	2年~	*					○	◎		
				マルチメディア (Multimedia)	2	2年~						◎	○		
				TOEIC®向上講座 II	2	2年~						◎			○
				英語学	2	2年~						◎			
			英米文化・文学	アメリカの文化と社会	2	1年~						○	◎		
				イギリスの文化と社会	2	1年~						○	◎		
				英米文学特講 I (イギリス小説)	2	2年~						◎	◎		
英米文学特講 II (アメリカ小説)	2	2年~							◎	○					
発展	英語コミュニケーション	English for Global Issues II	2	2年~	*					○	◎				
		English Presentation I	2	3年~	*					◎		○			
		English Presentation II	2	3年~	*					◎		○			
		Advanced Reading III	2	3年~	*					○	◎				
		Advanced Reading IV	2	3年~	*					○	◎				
		Academic Writing I	2	3年~	*					◎					
		Academic Writing II	2	3年~	*					◎					

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4	
専門科目(英米語専攻)	発展 英語学 ビジネス英語上級	2	3年~					○			○	英米語専攻選択者 54単位以上選択 (但し14単位は他専攻の専門 科目でも可)
	英語学 英語史	2	2年~					○				
英語学 英語音声学 I	2	2年~						○		○		
英語学 英語音声学 II	2	2年~						○		○		
英文文化 アメリカ文学史	2	2年~						○	○			
英文文化 イギリス文学史	2	2年~						○	○			
専門科目(英米語専攻)	英文文化 英米文化特講	2	3年~					○				英米語専攻選択者 54単位以上選択 (但し14単位は他専攻の専門 科目でも可)
	導入 地域デザイン概論	2	1年~							○		
基本	国際政治史	2	1年~					○	○			
	千葉学	2	1年~						○		○	
	比較文化論	2	2年~					○	○			
	地域学 I (東アジア)	2	2年~					○	○			
	地域学 I (東南アジア)	2	2年~					○	○			
	地域学 I (ヨーロッパ)	2	2年~					○	○			
	地域学 I (中東)	2	2年~					○	○			
	地域学 I (アフリカ)	2	2年~					○	○			
	地域学 I (アメリカ)	2	2年~					○	○	○		
	現代市民社会	2	2年~						○	○		
	経済政策 I	2	2年~							○		
	経済政策 II	2	2年~							○		
発展	地方自治論 I	2	2年~							○	○	
	地方自治論 II	2	2年~							○	○	
	フィールド調査	2	3年~						○	○		
	多文化共生社会	2	3年~						○			
	移民政策論	2	2年~					○	○			
	社会開発論	2	2年~						○	○		
	千葉学実習	2	2年~						○		○	
	行政法 I	2	2年~							○	○	
	行政法 II	2	2年~							○	○	
	民法 I	2	2年~							○	○	
	民法 II	2	2年~							○	○	
	労働法	2	2年~							○	○	
日本語教員養成	世界の人権問題	2	3年~						○			
	地域学 II (日本・東アジア)	2	3年~						○			
	地域学 II (日本・東南アジア)	2	3年~					○	○			
	地域学 II (日本・ヨーロッパ)	2	3年~						○			
	地域学 II (日本・中東)	2	3年~						○			
	地域学 II (日本・アフリカ)	2	3年~						○			
	地域学 II (日本・アメリカ)	2	3年~					○	○			
	日本語教育入門	2	1年~							○		
	現代日本語文法 I	2	2年~							○		
	現代日本語文法 II	2	2年~							○		
	心理言語学	2	2年~							○		
	日本語教育方法論	2	2年~							○		
日本文化論	2	2年~						○	○			
日本語教育研究 I	2	2年~							○			
日本語教育研究 II	2	3年~							○			
教育実習指導 (日本語)	2	3年~							○			
導入 経済学	入門経済学	2	1年~							○		国際ビジネス専攻選択者 62単位以上選択 (但し22単 位は他専攻科目でも可)
	入門経営学	2	1年~							○		

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数		
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4			
専門科目 国際ビジネス専攻	導入 国際経営 AI・データサイエンス 空港ビジネス	国際法 I	2	2年~						○			国際ビジネス専攻選択者 62単位以上選択 (但し22単位は他専攻科目でも可)	
		データサイエンス総論	2	1年~							◎			
		空港ビジネス	2	1年~							◎	○		
		入門ツーリズム I	2	1年~						◎		○		
		入門ツーリズム II	2	1年~						◎		○		
		ホスピタリティ	2	1年~						◎		○		
	基本 AI・データサイエンス	国際経済・経営	国際経済学	2	2年~						○	◎		
			金融論	2	2年~							◎		○
			国際法 II	2	2年~						◎			
			国際経営	2	2年~						○	◎		
			簿記会計基礎 I	2	2年~							◎		○
			簿記会計基礎 II	2	2年~							◎		○
		マーケティング	2	2年~							◎	○		
		英語で学ぶPython	2	1年~							◎			
		アルゴリズム論	2	2年~							◎			
		マーケティングリサーチ I	2	2年~							◎	○		
		マーケティングリサーチ II	2	2年~							◎	○		
		観光マーケティング調査	2	2年~							◎	○		
	空港ビジネス	社会調査法 I	2	2年~							◎	○		
		社会調査法 II	2	2年~							◎	○		
		AI概論	2	2年~							◎	○		
		プログラミング	2	2年~							◎			
		エアライン論	2	2年~							◎	○		
		観光事業論 I	2	2年~							◎	○		
	発展 AI・データサイエンス 空港ビジネス	観光事業論 II	2	2年~							◎	○		
		旅行ビジネス論	2	2年~							◎	○		
		地域観光論	2	2年~							◎	○		
		ホテル・ビジネス論	2	2年~							◎	○		
		国際金融論	2	3年~							◎			
		国際貿易論	2	3年~						○	◎			
	基本 経営	国際経済とビジネスの法	2	3年~							◎			
		国際会計	2	3年~						○	◎			
		企業ファイナンス	2	3年~							◎			
		情報ビジネス論	2	3年~							◎	○		
		社会調査実習 I	2	3年~							◎	○		
		社会調査実習 II	2	3年~							◎	○		
導入 観光 異文化理解	航空物流論	2	3年~							◎	○			
	入門経営学	2	1年~							◎				
	経営学	2	1年~							◎				
	入門ツーリズム I	2	1年~							○	◎			
	入門ツーリズム II	2	1年~							○	◎			
	空港ビジネス	2	1年~							○	◎			
	ホスピタリティ	2	1年~						◎		○			
	アメリカの文化と社会	2	1年~							◎	○			
	イギリスの文化と社会	2	1年~							◎	○			
	国際経営	2	2年~							○	◎			
	簿記会計基礎 I	2	2年~							◎	○			
	簿記会計基礎 II	2	2年~							◎	○			
基本 経営	千葉県の産業と行政	2	2年~							◎	◎			
	マーケティング	2	2年~							◎	○			

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数		
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4			
専門科目 (観光マネジメント専攻)	経営	サービス産業論	2	2年～							◎		観光マネジメント専攻選択者 62単位以上選択 (但し22単位は他専攻科目でも可)	
		管理会計論	2	2年～							◎	○		
		流通経営論	2	2年～							○			
	観光	観光事業論Ⅰ	2	2年～							◎	○		
		観光事業論Ⅱ	2	2年～							◎	○		
		交通論	2	2年～							◎	○		
		旅行ビジネス論	2	2年～							◎	○		
		ホテル・ビジネス論	2	2年～							◎	○		
		エアライン論	2	2年～							◎	○		
		地域観光論	2	2年～							◎	○		
		観光英語Ⅰ	2	2年～					◎	○	○			
		観光英語Ⅱ	2	2年～					◎	○	○			
		観光政策論	2	2年～						○	◎			
	観光統計	2	2年～							◎				
	観光マーケティング調査	2	2年～							◎	○			
	異文化理解	日本文化論	2	2年～							○			
		比較文化論	2	2年～							○			
		現代市民社会	2	2年～							◎	○		
		グローバル政治	2	2年～							○			
		地域学Ⅰ(東アジア)	2	2年～							◎	○		
		地域学Ⅰ(東南アジア)	2	2年～							◎	○		
		地域学Ⅰ(ヨーロッパ)	2	2年～							◎	○		
		地域学Ⅰ(中東)	2	2年～							◎	○		
		地域学Ⅰ(アフリカ)	2	2年～							◎	○		
	地域学Ⅰ(アメリカ)	2	2年～						○	◎				
	経営	情報ビジネス論	2	3年～							◎	○		
		世界遺産研究	2	3年～							○	☆		
		千葉の観光研究	2	3年～							☆	◎		
	異文化理解	多文化共生社会	2	3年～							◎			
	専門研究	2年次専門研究Ⅰ	2	2年～	*	*	*	*	○	◎	○			12単位以上
		2年次専門研究Ⅱ	2	2年～	*	*	*	*	○	◎	○			
		3年次専門研究Ⅰ	2	3年～	*	*	*	*	○	◎	○			
		3年次専門研究Ⅱ	2	3年～	*	*	*	*	○	◎	○			
4年次専門研究Ⅰ		2	4年～	*	*	*	*	○	◎	○				
4年次専門研究Ⅱ		2	4年～	*	*	*	*	○	◎	○				
キャリア科目	卒業論文	2	4年～					○	◎	○		4単位以上選択 (ただし、インターシップⅠ・Ⅱ以外のキャリア科目4単位以上を選択)		
	キャリアプランニング	2	1年～							○				
	キャリアデザイン	2	2年～							○				
	キャリアディベロップメント	2	2年～							○				
	キャリア基礎開発Ⅰ	2	3年～							○				
	キャリア基礎開発Ⅱ	2	3年～							○				
	キャリア基礎開発Ⅲ	2	3年～							○				
	インターシップⅠ	2	3年～							○				
インターシップⅡ	2	3年～							○					
実習科目	海外語学研修Ⅰ	2	1年～							◎		12単位以上選択 (英米語専攻を選択した留学生は8単位以上選択、他専攻を選択した留学生は10単位以上選択)		
	海外語学研修Ⅱ	2	1年～							◎				
	海外スクーリングⅠ	2	1年～							◎	○			
	海外スクーリングⅡ	2	1年～							◎	○			
	国内スクーリングⅠ	1	1年～							○	○			

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数		
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4			
国際学科 田中	実習科目	国内スクーリングⅡ	1	1年～						○			12単位以上選択 (英米語専攻を選択した留学生は8単位以上選択、他専攻を選択した留学生は10単位以上選択)	
		オンライン英会話Ⅰ	1	1年～					◎					
		オンライン英会話Ⅱ	1	1年～					◎					
	その他	進路支援講座Ⅰ	2	1年～								○		
		進路支援講座Ⅱ	2	1年～								○		
		進路支援講座 (公務員)Ⅲ	2	2年～								○		
		進路支援講座 (ITパスポート)Ⅲ	2	2年～								○		
		進路支援講座 (公務員)Ⅳ	2	2年～								○		
		進路支援講座 (ITパスポート)Ⅳ	2	2年～								○		
		進路支援講座 (公務員)Ⅴ	2	3年～								○		
		進路支援講座 (日経新聞を読む)Ⅴ	2	2年～								○		
		進路支援講座 (公務員)Ⅵ	2	3年～								○		
	進路支援講座 (日経新聞を読む)Ⅵ	2	2年～								○			
	他大学・他学部・他学科 単位互換科目													
	エアポート NARITA地域 産業学科目	地方財政論Ⅰ	2	2年～								○		
		地方財政論Ⅱ	2	2年～								○		
		地域産業論	2	2年～								○		
		中小企業論Ⅰ	2	2年～								○		
		中小企業論Ⅱ	2	2年～								○		
	経営立地論	2	2年～								○			
	教職及び教科に関する科目	教育原論	2	1年～										
		教育課程論	2	1年～										
		教育心理学	2	1年～										
発達心理学		2	1年～											
特別教育支援概論		2	2年～											
教職概論		2	1年～											
教育行政		2	2年～											
教育法規		2	2年～											
英語科指導法Ⅰ		2	2年～											
英語科指導法Ⅱ		2	2年～											
英語科指導法Ⅲ		2	2年～											
英語科指導法Ⅳ		2	2年～											
道徳教育指導法		2	2年～											
総合的な学習の時間の指導法		2	2年～											
特別活動指導法		2	2年～											
教育方法・技術論		2	2年～											
生徒・進路指導論		2	2年～											
教育相談		2	2年～											
教育実習指導		1	3年～											
中学校教育実習	4	4年～												
高等学校教育実習	2	4年～												
教職実践演習 (中・高)	2	4年～												

※教職及び教科に関する科目は、教職課程希望の学生で別途「教職課程履修費」を納入している学生のみ履修可能です。

MEMO

2

国際学科2020カリキュラム表(2020年度入学者)

1. 「敬愛大学学則」及び「国際学部規程」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。国際学科では、基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア科目、自由選択科目、教職科目を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。
2. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目、集中講義及び課外研修によって行います。ただし、「Ⅰ・Ⅱ」科目の「Ⅱ」の履修においては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 「専門研究」では2年次に所属ゼミを選択し、「2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」を履修。研究に必要な技能及び専門知識を身につけます。さらに3年次に再び所属ゼミを選択し、同一教員の指導のもと「3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」、「4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」で、より専門的に学んでいきます。(2年次から4年次まで継続されるゼミもあります。)
4. 2年次までに、将来の進路や関心に応じて4つの専攻(英米語専攻、地域デザイン専攻、国際ビジネス専攻、観光マネジメント専攻)の中から1つの専攻を選択します。卒業までに選択した専攻の専門科目の中から40単位以上修得することが必要です。英米語専攻は、英語科目の必修が多く設定されています。そのため、1年次からできるだけ多くの英語科目を履修することを推奨します。

特色ある教育

敬天愛人講座

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、他者には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、自律した品格のある人間に成るように努力します。

敬愛プログラム

学生の自主的・自発的な発想による活動の支援を目的とする制度です。学生は、ボランティア活動、クラブ活性化活動、イベントの企画・実施、商店街や事業所の調査等、学内外における活動のテーマを設定し、事前に達成目標や段取りを明記した企画書を作成したうえで、当該年度に成果の発表を行います。その成果が評価に値するものと認定されれば、活動そのものが卒業単位として認められ、さらに支援金の支給を受けることができます。

実習科目(自由選択科目)

海外語学研修Ⅰ・Ⅱ、海外スクーリングⅠ・Ⅱ、国内スクーリングⅠ・Ⅱ、オンライン英会話Ⅰ・Ⅱが設置されています。海外語学研修では英語、中国語、韓国語が海外の協定校において、夏休みと春休みの長期休暇を利用して学ぶことができます。海外スクーリングは、訪問する国事情に詳しい教員が担当する体験型授業です。国内スクーリングはその国内版で、同じく専門知識、教養を深めるための体験型授業で、様々な分野の学修ができます。また、オンライン英会話では海外の英語教師から一対一で英語の授業を受けることができます。

留学

短期留学(半年)と長期留学(1年)があります。大学が協定を結んでいる大学に留学する場合、留学先の大学で取得した単位を本学の単位として読み替える他、留学先で学修した期間も4年間の在籍必須期間に含まれるため、4年での卒業が可能となります。また、本学の学費は奨学金の代わりとして、免除されます。

交換留学制度がある台湾の中国文化大学に留学する場合は、留学先の学費も免除されます。

※国内外の情勢によっては実施できない場合もあります。

専攻の概要

英米語専攻

英語及びコミュニケーション力を高めながら、世界及び自分自身を探究する知性と教養を磨きます。1、2年次では少人数クラスで「読む」「書く」「聞く」「話す」の英語運用能力を強化します。また中高英語教師を目指す学生は2年次から特別講座が受けられます。2年次でTOEIC500点以上を、3年次でTOEIC600点以上の取得を目指します。3年次から始まる専門課程では「英語教育」「英語学」「アメリカ文学」「英米文化」「哲学」「第二言語習得」「異文化コミュニケーション」の専門研究で学びを深め、他者を理解する能力及び自己を表現する能力を身につけます。

地域デザイン専攻

本専攻でいう地域とは、日本や外国の市町村からなる地域ばかりでなく、国際的國家規模の地域、複数の國家からなる領域をも指します。グローバルな視野で地域の社会的事象に関心を持ち、理解を深め、問題・課題解決能力および誰もが暮らしやすい地域社会をデザインする能力を身につけます。この2つの能力を身につけるために、情報収集・分析力、地域の仕組み（制度）の理解力、コミュニケーション力、主体的行動力を高めます。

学びの範囲は、地域研究、国際教養、国際関係論、多文化共生、情報処理、外国語など幅広い分野となります。本専攻でのこれらの学びを通し、地域の安定と発展に貢献できる人材、特に地方公務員、教員（日本語教員など）、メディア産業や地域とのつながりを大切にしている企業人となることを目指します。

国際ビジネス専攻

現代ビジネスで必要な国際経済・経営と情報の基礎知識を学び、さらに進路に応じた専門知識、特に「空港関連」「AI・データサイエンス」について深く学べます。空港関連では、キャビンアテンダント（CA）やブランドスタッフ（GS）など空港業務を目指すために必要な英語力のレベルアップをはかりながら、空港に関する実践的な知識を学べます。AI・データサイエンスでは、企業に限らず様々な分野で必要性が高まったAIに関する知識とデータ分析方法について学べます。指定科目を履修することで社会調査士資格も取得できます。

どのような状況にあっても、自ら課題を見つけて解決し、国際社会・地域社会で活躍できる人材を育成します。

観光マネジメント専攻

21世紀の成長産業である「観光」をマネジメントの視点から学び、観光経営のスペシャリストを目指します。旅行業、宿泊産業、運輸産業、観光地計画・経営などの幅広い観光経営を体系的に学ぶとともに、具体的な事例にも触れ、その実態と経営手法を理解します。また、観光を世界や日本の文化や歴史、異文化交流の視点からも学び、グローバルな視点により、地域社会の発展に貢献する力を身につけます。

海外からの利用客の多いホテルや旅行会社、航空、鉄道、テーマパークなど、観光産業分野で活躍したい人、観光を通して地域に貢献したい人に最適です。また、ブライダル、エンターテインメントやイベントなどホスピタリティ・マインドを必要とするサービス産業で働くことを目指す人にも適しています。

区分・専攻		卒業必要単位	必修科目
基礎科目		18単位以上	□頭表現、文章表現、 1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ
外国語科目	英米語専攻	16単位以上 (留学生18単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、 SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、 ListeningⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	地域デザイン専攻	8単位以上 (留学生10単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	国際ビジネス専攻	8単位以上 (留学生10単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	観光マネジメント専攻	8単位以上 (留学生10単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
情報基礎科目		2単位以上	
専門科目	共通	6単位以上	国際関係入門
	英米語専攻	専門科目専攻群より54単位以上 (内40単位は英米語専攻内から修得、14単位は他専攻の専門科目でも可)	英文講読Ⅰ・Ⅱ、観光英語Ⅰ・Ⅱ Advanced ReadingⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Advanced ListeningⅠ・Ⅱ English for Global IssuesⅠ・Ⅱ English PresentationⅠ・Ⅱ Academic WritingⅠ・Ⅱ
	地域デザイン専攻	専門科目専攻群より62単位以上 (内40単位は地域デザイン専攻内から修得、22単位は他専攻の専門科目でも可)	
	国際ビジネス専攻	専門科目専攻群より62単位以上 (内40単位は国際ビジネス専攻内から修得、22単位は他専攻の専門科目でも可)	
	観光マネジメント専攻	専門科目専攻群より62単位以上 (内40単位は観光マネジメント専攻内から修得、22単位は他専攻の専門科目でも可)	
	専門研究	12単位以上	2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ
キャリア科目		4単位以上	
自由選択科目		12単位以上 (留学生10単位以上)	※指定単位以上修得した他区分科目。 (基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア科目) ※自由選択科目
卒業要件単位数 124単位以上			

※教職及び教科に関する科目は、教職課程希望の学生で別途教職課程履修費を納入している学生のみ履修可能です。

※教職及び教科に関する科目の*印科目の修得した単位は、教養科目の単位として充当することができます。

国際学科 2020 カリキュラム表 (2020 年度入学者)

国際学科DP		DP1. コミュニケーション能力、および高度な英語運用能力の修得 DP2. 国際的な視野で多様性のある共生社会の課題に取り組む能力の修得 DP3. 卒業後の進路目標に応じた専門知識の体系的修得 DP4. 社会で協働し、その発展に貢献できる力の修得												
到達目標		英米語専攻	地域デザイン専攻				国際ビジネス専攻				観光マネジメント専攻			
科目区分		国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数	
					英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4		
基礎科目	教養科目	口頭表現	2	1年~	*	*	*	*	○		○		18 単位以上 (内 6 単位必修)	
		文章表現	2	1年~	*	*	*	*	○		○			
		基礎数学	2	1年~								○		
		敬天愛人講座	2	1年~						○				○
		敬愛プログラム	2	1年~					○					○
		健康運動科学	2	1年~										
		哲学	2	1年~						○				
		心理学	2	1年~						○				
		歴史学	2	1年~						○				
		文学	2	1年~						○				
		日本語学	2	1年~						○		○		
		言語学	2	1年~						○		○		
		法学	2	1年~						○				
		憲法	2	1年~						○				
		政治学	2	1年~						○				
		社会学	2	1年~						○				
	統計学 I	2	1年~								○			
	統計学 II	2	1年~								○			
	環境科学	2	1年~								○			
	アグリフードリテラシー	2	1年~						○			○		
地域ボランティア活動	2	1年~								○	○			
演習	1 年基礎演習 I	1	1年~	*	*	*	*	○	○					
	1 年基礎演習 II	1	1年~	*	*	*	*	○	○					
外国語科目	英語	College English I	2	1年~	*	*	*	*	○				英米語専攻選択者 16 単位以上 (留学生は 18 単位以上) 他専攻は 8 単位以上 (留学生は 10 単位以上)	
		College English II	2	1年~	*	*	*	*	○					
		Speaking I	1	1年~	*	*	*	*	○					
		Speaking II	1	1年~	*	*	*	*	○					
		Writing I	1	1年~	*				○					
		Writing II	1	1年~	*				○					
		Listening I	1	1年~	*				○					
		Listening II	1	1年~	*				○					
		College English III	2	2年~	*				○					
		College English IV	2	2年~	*				○					
		Debate I	1	1年~					○					
		Debate II	1	1年~					○					
		Basic Grammar I	1	1年~					○					
		Basic Grammar II	1	1年~					○					
		ビジネス英語	1	2年~					○		○			
		Mother Goose	1	1年~					○					
英語以外	中国語 I	1	1年~					○						

2020年度

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数		
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4			
外国語科目	英語以外の外国語	中国語Ⅱ	1	1年～					◎				英米語専攻選択者 16単位以上 (留学生は18単位以上) 他専攻は8単位以上 (留学生は10単位以上)	
		日中翻訳	1	2年～					◎					
		フランス語Ⅰ	1	1年～					◎					
		フランス語Ⅱ	1	1年～					◎					
		ドイツ語Ⅰ	1	1年～					◎					
		ドイツ語Ⅱ	1	1年～					◎					
		外国語特殊Ⅰ	1	1年～					◎					
	外国語特殊Ⅱ	1	1年～					◎						
	日本語	総合日本語Ⅰ	2	1年～					◎				留学生のみ必修	
		総合日本語Ⅱ	2	1年～					◎					
情報基礎科目	情報処理Ⅰ(情報基礎)	1	1年～							◎		2単位以上		
	情報処理Ⅱ(プレゼンテーション演習)	1	1年～							◎				
	情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	1	1年～							◎				
専門科目	共通	国際関係入門	2	1年～	*	*	*	*		◎		○	6単位以上 (内2単位必修)	
		世界を知る	2	1年～						◎				
		World History	2	1年～						○	◎			
		World Today	2	1年～						○	◎			
	導入	英語コミュニケーション	英文講読Ⅰ	2	1年～	*					◎			英米語専攻 54単位以上選択 (内40単位は英米語専攻内 から修得、14単位は他専攻 の専門科目でも可)
			英文講読Ⅱ	2	1年～	*					◎			
		TOEIC®向上講座Ⅰ	2	1年～						◎		○		
		英米学	英語学概論	2	1年～						◎			
			英米文学概論	2	1年～						◎			
		英語コミュニケーション	Advanced ReadingⅠ	2	2年～	*					◎	○		
			Advanced ListeningⅠ	2	2年～	*					◎			
			English for Global IssuesⅠ	2	2年～	*					○	◎		
			観光英語Ⅰ	2	2年～	*					◎		○	
			マルチメディア(Multimedia)	2	2年～						◎	○		
			TOEIC®向上講座Ⅱ	2	2年～						◎		○	
		英語学	英文法	2	2年～						◎			
			英語史	2	2年～						◎			
			英語の音声	2	2年～						◎			
			アメリカ文学史	2	2年～						◎	○		
		英米文化・文学	イギリス文学史	2	2年～						◎	○		
	異文化コミュニケーション		2	2年～						◎	○			
	英米文学特講Ⅰ(イギリス小説)		2	2年～						◎	○			
	英米文学特講Ⅱ(アメリカ小説)		2	2年～						◎	○			
	発展	英語コミュニケーション	Advanced ReadingⅡ	2	2年～	*					○	◎		
			Advanced ListeningⅡ	2	2年～	*					◎			
			観光英語Ⅱ	2	2年～	*					◎		○	
			English for Global IssuesⅡ	2	2年～	*					○	◎		
			English PresentationⅠ	2	3年～	*					◎		○	
			English PresentationⅡ	2	3年～	*					◎		○	
		英語学	Advanced ReadingⅢ	2	3年～	*					○	◎		
Advanced ReadingⅣ			2	3年～	*					○	◎			
Academic WritingⅠ			2	3年～	*					◎				
Academic WritingⅡ			2	3年～	*					◎				
英語学	ビジネス英語上級	2	3年～						◎		○			
	英語音声学Ⅰ	2	2年～						○		◎			
英語音声学Ⅱ	2	2年～						○		◎				
英米文化特講	2	3年～						◎						

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数		
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4			
地域デザイン専攻 専門科目	導入	現代世界	アメリカの文化と社会	2	1年~					○	◎			
			イギリスの文化と社会	2	1年~					○	◎			
			アジアの文化と社会	2	1年~						◎		○	
	の日本の中	Japan Today	2	1年~						○	◎			
		地域デザイン概論	2	1年~							◎			
		世界の食と農	2	2年~							◎		○	
	基本	現代世界	比較文化論	2	2年~					○	◎			
			The United Nations in the World	2	2年~					○	◎			
			国際法	2	2年~						◎			
			刑法	2	2年~						◎			
			ヒトの国際移動	2	2年~					○	◎			
			フィールド調査	2	3年~						◎	○		
			グローバル社会	2	2年~						◎			
			グローバル政治	2	2年~						◎			
			東南アジア	2	2年~						◎	○		
			中国	2	2年~						◎	○		
	世界の 中の日本	ヨーロッパ (EU)	2	2年~						◎	○			
		朝鮮	2	2年~						◎	○			
		中東・イスラム圏	2	2年~						◎	○			
		アフリカ	2	2年~						◎	○			
		アメリカ	2	2年~					○	◎	○			
		現代日本政治・社会	2	2年~						◎	○			
		現代日本経済	2	2年~						◎	○			
		日本の近現代史	2	2年~					○	◎	○			
		日本文化論	2	2年~						◎	○			
		発展	現代世界	平和・安全保障	2	3年~						◎		
	世界の環境問題			2	3年~						◎			
	多文化共生			2	3年~						◎			
	世界の人権問題			2	3年~						◎			
	国際協力法			2	3年~						◎			
	世界の 中の日本		途上国社会経済	2	3年~						◎			
			犯罪学	2	3年~					○	◎			
			日米関係	2	3年~					○	◎			
日韓関係			2	3年~						◎				
日中関係			2	3年~						◎				
AP	千葉学	2	1年~						○		◎			
	千葉県の産業と行政	2	2年~						○		◎			
	千葉学実践 I	2	1年~						○		◎			
	千葉学実践 II	2	1年~						○		◎			
	日本語 教員養成	現代日本語文法 I	2	2年~							◎			
現代日本語文法 II		2	2年~							◎				
心理言語学		2	2年~							◎				
日本語教育入門		2	2年~							◎				
日本語教育方法論		2	2年~							◎				
日本語教育研究 I		2	3年~							◎				
日本語教育研究 II		2	3年~							◎				
日本語教育実習	2	3年~							◎					

地域デザイン専攻選択者
62単位以上選択
(内40単位は地域デザイン
専攻内から修得、22単位は
他専攻の専門科目でも可)

2020年度

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	記当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数					
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4						
専門科目	国際ビジネス専攻	導入	経済 入門経済学	2	1年~							◎		国際ビジネス専攻選択者 62単位以上選択 (内40単位は国際ビジネス 専攻内から修得、22単位は 他専攻の専門科目でも可)			
			経営 入門経営学	2	1年~								◎				
			情報 情報概論	2	1年~										◎		
			空港・観光	データサイエンス総論	2	1年~										◎	
				空港ビジネス	2	1年~										◎	○
				入門ツーリズムⅠ	2	1年~									◎		○
		入門ツーリズムⅡ		2	1年~										◎		
		ホスピタリティ		2	1年~								◎			○	
		経済 国際経済学		2	2年~								○		◎		
		経営	金融論	2	2年~										◎	○	
			国際経営	2	2年~								○		◎	○	
			簿記会計基礎Ⅰ	2	2年~										◎	○	
	簿記会計基礎Ⅱ		2	2年~									◎		○		
	マーケティング		2	2年~									◎		○		
	アルゴリズム論		2	2年~									◎				
	情報	マーケティングリサーチⅠ	2	2年~									◎		○		
		マーケティングリサーチⅡ	2	2年~									◎		○		
		社会調査法Ⅰ	2	2年~									◎		○		
		社会調査法Ⅱ	2	2年~									◎		○		
		AI概論	2	2年~									◎				
		プログラミング	2	2年~									◎				
	空港・観光	エアライン論	2	2年~									◎		○		
		観光事業論Ⅰ	2	2年~									◎		○		
		観光事業論Ⅱ	2	2年~									◎		○		
		旅行ビジネス論	2	2年~									◎		○		
		地域観光論	2	2年~									◎		○		
		ホテル・ビジネス論	2	2年~									◎		○		
	発展	経済 国際金融論	2	3年~									◎				
		国際貿易論	2	3年~								○	◎				
		国際会計	2	3年~								○	◎				
		経営 企業ファイナンス	2	3年~									◎				
		情報ビジネス論	2	3年~									◎		○		
情報 社会調査実習Ⅰ		2	3年~									◎	○				
観光	社会調査実習Ⅱ	2	3年~									◎	○				
	航空物流論	2	3年~									◎	○				
	導入	経営 入門経営学	2	1年~									◎				
		経営学	2	1年~									◎				
		情報概論	2	1年~									◎				
		観光	入門ツーリズムⅠ	2	1年~								○	◎	○		
入門ツーリズムⅡ			2	1年~								○	◎	○			
空港ビジネス			2	1年~								○	◎	○			
ホスピタリティ	2		1年~								◎		○				
基本	異文化理解	2	1年~									◎	○				
	アメリカの文化と社会	2	1年~									◎	○				
	イギリスの文化と社会	2	1年~									◎	○				
	アジアの文化と社会	2	1年~									◎	○				
	経営	国際経営	2	2年~								○	◎				
		簿記会計基礎Ⅰ	2	2年~									◎	○			
簿記会計基礎Ⅱ		2	2年~									◎	○				
千葉県の産業と行政		2	2年~									◎	◎				
マーケティング	2	2年~									◎	○					

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数			
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4				
専門科目	基本 観光マネジメント専攻	経営	サービス産業論	2	2年～							○			
			流通経営論	2	2年～								○		
		観光	観光事業論Ⅰ	2	2年～								○	○	
			観光事業論Ⅱ	2	2年～								○	○	
			交通論	2	2年～										
			旅行ビジネス論	2	2年～								○	○	
			ホテル・ビジネス論	2	2年～								○	○	
			エアライン論	2	2年～								○	○	
			地域観光論	2	2年～								○	○	
			観光英語Ⅰ	2	2年～	*					○	○	○		
			観光英語Ⅱ	2	2年～	*					○	○	○		
			観光政策論	2	2年～							○	○		
	観光統計	2	2年～								○				
	観光マーケティング調査	2	2年～								○	○			
	異文化理解	日本文化論	2	2年～								○			
		比較文化論	2	2年～								○			
		日本の近現代史	2	2年～								○			
		グローバル社会	2	2年～								○			
		グローバル政治	2	2年～								○			
		中国	2	2年～								○			
		東南アジア	2	2年～								○			
		ヨーロッパ (EU)	2	2年～								○			
		朝鮮	2	2年～								○			
		アフリカ	2	2年～								○			
	中東・イスラム圏	2	2年～								○				
	発展	経営	情報ビジネス論	2	3年～										
			世界遺産研究	2	3年～							○	☆		
		観光	千葉の観光研究	2	3年～								☆	○	
			観光マーケティング	2	3年～								☆	○	
	異文化理解	多文化共生	2	3年～								☆			
専門研究	2年次専門研究Ⅰ	2	2年～	*	*	*	*			○	○	○			
	2年次専門研究Ⅱ	2	2年～	*	*	*	*			○	○	○			
	3年次専門研究Ⅰ	2	3年～	*	*	*	*			○	○	○			
	3年次専門研究Ⅱ	2	3年～	*	*	*	*			○	○	○			
	4年次専門研究Ⅰ	2	4年～	*	*	*	*			○	○	○			
	4年次専門研究Ⅱ	2	4年～	*	*	*	*			○	○	○			
	卒業論文	2	4年～								○	○	○		
キャリア科目	キャリアプランニング	2	1年～								○				
	キャリアデザイン	2	2年～								○				
	キャリアディベロップメント	2	2年～								○				
	キャリア基礎開発Ⅰ	2	3年～								○				
	キャリア基礎開発Ⅱ	2	3年～								○				
	キャリア基礎開発Ⅲ	2	3年～								○				
	インターンシップⅠ	2	3年～								○				
	インターンシップⅡ	2	3年～								○				
成田で職をゲットプログラム	2	4年～								○					
自由選択科目	実習科目	海外語学研修Ⅰ	2	1年～							○				
		海外語学研修Ⅱ	2	1年～							○				
		海外スクーリングⅠ	2	1年～							○	○			
		海外スクーリングⅡ	2	1年～							○	○			

4単位以上
(ただし、インターンシップⅠ・Ⅱ以外のキャリア科目4単位以上を選択)

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数	
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4		
自由選科目	実習科目	国内スクーリングⅠ	1	1年～						○			各科目区分で定める卒業要件単位数以外に基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア科目、自由選択科目から12単位以上(留学生は10単位以上) ◎印の科目はエアポートNARITA 専攻者のみ履修可
		国内スクーリングⅡ	1	1年～						○			
		スカイプ英会話Ⅰ	1	1年～					◎				
		スカイプ英会話Ⅱ	1	1年～					◎				
	その他	進路支援講座Ⅰ	2	1年～								○	
		進路支援講座Ⅱ	2	1年～								○	
		進路支援講座(公務員)Ⅲ	2	2年～								○	
		進路支援講座(IT)Ⅲ	2	2年～								○	
		進路支援講座(公務員)Ⅳ	2	2年～								○	
		進路支援講座(IT)Ⅳ	2	2年～								○	
		進路支援講座(公務員)Ⅴ	2	3年～								○	
		進路支援講座(日経新聞を読む)Ⅴ	2	2年～								○	
		進路支援講座(公務員)Ⅵ	2	3年～								○	
		進路支援講座(日経新聞を読む)Ⅵ	2	2年～								○	
	他大学・他学部・他学科・単位互換科目		適宜										
	指定単位以上履修した他区分科目		適宜										
	エアポートNARITA地域産業学科目	◎地方財政論Ⅰ	2	2年～								○	
		◎地方財政論Ⅱ	2	2年～								○	
		◎地域産業論	2	2年～								○	
		◎中小企業論Ⅰ	2	2年～								○	
◎中小企業論Ⅱ		2	2年～								○		
◎経営立地論		2	2年～								○		
教職及び教科に関する科目	※政治学概論Ⅰ	2	1年～									※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。	
	※政治学概論Ⅱ	2	1年～										
	※日本史概論Ⅰ	2	1年～										
	※日本史概論Ⅱ	2	1年～										
	※世界史概論Ⅰ	2	1年～										
	※世界史概論Ⅱ	2	1年～										
	※地理学概論Ⅰ	2	1年～										
	※地理学概論Ⅱ	2	1年～										
	※哲学概論Ⅰ	2	1年～										
	※哲学概論Ⅱ	2	1年～										
	※地誌学Ⅰ	2	2年～										
	※地誌学Ⅱ	2	2年～										
	※自然地理学	2	2年～										
	※人文地理学	2	2年～										
※社会学概論	2	1年～											
※経済学概論Ⅰ	2	1年～											
※経済学概論Ⅱ	2	1年～											
卒業要件単位数 124 単位													
教職及び教科に関する科目	教育福祉論	2	2年～										
	教育原論	2	1年～										
	教育課程論	2	1年～										
	教育心理学	2	1年～										
	発達心理学	2	1年～										
	特別支援教育概論	2	2年～										
	教職概論	2	1年～										
	教育行政	2	2年～										
	教育法規	2	2年～										
社会科・地歴科指導法Ⅰ	2	2年～											

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数		
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4			
教職及び教科に関する科目	社会科・地歴科指導法Ⅱ	2	2年～											
	社会科・公民科指導法Ⅰ	2	2年～											
	社会科・公民科指導法Ⅱ	2	2年～											
	地理歴史科指導法	2	2年～											
	公民科指導法	2	2年～											
	英語科指導法Ⅰ	2	2年～											
	英語科指導法Ⅱ	2	2年～											
	英語科指導法Ⅲ	2	2年～											
	英語科指導法Ⅳ	2	2年～											
	道徳教育指導法	2	2年～											
	総合的な学習の時間の指導法	2	2年～											
	特別活動指導法	2	2年～											
	教育方法・技術論	2	2年～											
	生徒・進路指導論	2	2年～											
	教育相談	2	2年～											
	教育実習指導	1	3年～											
	中学校教育実習	4	4年～											
	高等学校教育実習	2	4年～											
教職実践演習 (中・高)	2	4年～												

2020年度

Ⅲ
カリキュラム表

3

国際学科2019カリキュラム表(2019年度入学者)

1. 国際学科の学生は、「敬愛大学学則」及び「国際学部規程」に基づき、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。国際学科では、基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア科目、自由選択科目、教職科目を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。
2. 学年を前期と後期に分け、授業はセメスター科目（半期完結科目）及び集中講義によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修にあっては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 「専門研究」では2年次に原則、希望により所属ゼミを決定し、「2年次専門研究I・II」を履修します。さらに、原則、同一教員の指導のもと「3年次専門研究I・II」、「4年次専門研究I・II」と、より専門的に学んでいきます。
4. 2年次までに、将来の進路や関心に応じて4つの専攻（英米語専攻、日本・国際理解専攻、国際ビジネス専攻、観光マネジメント専攻）の中から1つの専攻を選択します。卒業までに選択した専攻の専門科目の中から40単位以上修得することが必要です。
5. 英米語専攻は、英語科目の必修が多く設定されています。日本国際理解専攻でも、専門科目の学修に英語の基礎的な力が必要となります。そのため、特に1年次にはできるだけ多くの英語科目を履修することができるよう推奨科目を置いています。

特色ある教育

敬天愛人講座

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、人には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、品格のある人間を育てたいという思いから設置されました。

敬愛プログラム

学生の自主的・自発的な発想による活動の支援を目的とする制度です。学生は、ボランティア活動、クラブ活性化活動、イベントの企画・実施、商店街や事業所の調査等、学内外における活動のテーマを設定し、事前に達成目標や段取りを明記した企画書を作成したうえで、当該年度に成果の発表を行います。その成果が評価に値するものと認定されれば、活動そのものが卒業単位として認められ、さらに支援金の支給を受けることができます。

オンライン英会話（スカイプ英会話）I・II

留学をしなくてもオンラインシステムを利用して英会話を一対一で練習できます。半期60回のレッスンを規定の期日までに修了したうえで、現地からの修了レポートをもとに担当教員の口頭試問に合格した場合に限り単位認定となります。レッスンは各自の都合に合わせた時間帯で受講できます。

TOEIC®IPテストの実施

College English I・IIの上位クラス、College English III・IV、英語科指導法II・IVの履修者は、前期及び後期にTOEIC®IPテストを受験します。詳細は、ガイダンスにてお知らせします。

専攻の概要

英米語専攻

英語によるコミュニケーション能力を強化することに主眼を置き、「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」及び「書くこと」の英語4技能(5領域)をバランスよく身に付けるとともに、英語学や英米文学・文化などを学びながら、英語の総合的理解を深めます。グローバル社会において英語を使って仕事をすることが求められる多くの企業や、中学校・高等学校の英語教員として学校で活躍できる人材を育成します。

英語力の指標としては、TOEIC® Listening & Reading TESTのスコアで、3年次700点以上、4年次785点以上を目指します。したがって、英米語専攻を選択する学生は1年次後期終了時点で同テストのスコアが500点以上であることが望ましいと考えています。

日本・国際理解専攻

本専攻の目標は、グローバル時代に求められている豊かな国際教養を身に付けることです。そのために日本と世界について幅広く学びます。そこで得た多様な知識と理解力を活用し、社会の問題を発見する力を養います。また、発見した問題について主体的に調べ、企画し、発表を行うことにより問題解決スキルを身につけます。そのプロセスを通し、多文化共生社会に向けての新しい価値を生み出す創造性や協調性を育てていきます。国際教養力を社会で発揮するためには、情報収集と分析の能力が必要となります。そのために、実践的な英語力とICTスキルも高めます。

公務員や日本語教員、一般企業の第一線で活躍することを目指す人に最適な専攻です。

国際ビジネス専攻

現代ビジネスに必要な国際経済・経営の実践的な知識を身につけます。キャビンアテンダントやグランドスタッフをはじめ、空港・ホテル・貿易・金融・ICTなど、国際ビジネスの各分野で活躍できる人材を育成します。

国際ビジネス各分野の即戦力となる人材を育成するため、経済・経営の基本科目、空港・観光・情報ビジネスに関する科目を段階的に配置しています。外国為替・貿易・金融等の学習も併せて、実践的能力の開発に重点をおいた教育が特徴です。英語力は英検2級/TOEIC600点以上の修得が目標です。

観光マネジメント専攻

21世紀の成長産業である「観光」をマネジメントの視点から学び、観光経営のスペシャリストを目指します。旅行業、宿泊産業、運輸産業、観光地計画・経営などの幅広い観光経営を体系的に学ぶとともに、具体的な事例にも触れ、その実態と経営手法を理解します。また、観光を世界や日本の文化や歴史、異文化交流の視点からも学び、グローバルな視点により、地域社会の発展に貢献する力を身に付けます。

海外からの利用客の多いホテルや旅行会社、航空、鉄道、テーマパークなど、観光産業分野で活躍したい人、観光を通して地域に貢献したい人に最適です。また、ブライダル、エンターテインメントやイベントなどホスピタリティ・マインドを必要とするサービス産業で働くことを目指す人にも適しています。

区分・専攻		卒業必要単位	必修科目
基礎科目		18単位以上	□頭表現、文章表現、 1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ
外国語科目	英米語専攻	16単位以上 (留学生18単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、 SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、 ListeningⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	日本・国際理解専攻	8単位以上 (留学生10単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	国際ビジネス専攻	8単位以上 (留学生10単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	観光マネジメント専攻	8単位以上 (留学生10単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
情報基礎科目		2単位以上	
専門科目	共通	6単位以上	国際関係入門
	英米語専攻	専門科目専攻群より54単位以上(内40単位は自専攻内から修得、14単位は他専攻科目でも可)	英文講読Ⅰ・Ⅱ、観光英語Ⅰ・Ⅱ Advanced ReadingⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Advanced ListeningⅠ・Ⅱ English for Global IssuesⅠ・Ⅱ English PresentationⅠ・Ⅱ Academic WritingⅠ・Ⅱ
	日本・国際理解専攻	専門科目専攻群より62単位以上(内40単位は自専攻内から修得、22単位は他専攻科目でも可)	
	国際ビジネス専攻	専門科目専攻群より62単位以上(内40単位は自専攻内から修得、22単位は他専攻科目でも可)	
	観光マネジメント専攻	専門科目専攻群より62単位以上(内40単位は自専攻内から修得、22単位は他専攻科目でも可)	
	専門研究	12単位以上	2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ
キャリア科目		4単位以上	
自由選択科目		12単位以上 (留学生10単位以上)	※指定単位以上修得した他区分科目。 (基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア科目) ※自由選択科目
卒業要件単位数 124単位以上			

※教職及び教科に関する科目は、教職課程希望の学生で別途教職課程履修費を納入している学生のみ履修可能です。
 ※教職及び教科に関する科目の*印科目の修得した単位は、教養科目の単位として充当することができます。

国際学科 2019 カリキュラム表 (2019 年度入学者)

国際学科DP		DP1. コミュニケーション能力、および高度な英語の運用能力 DP2. 多文化理解を基礎とする国際的な教養 DP3. 卒業後の進路目標に応じた専門知識の体系的修得 DP4. 社会で協働し、その発展に貢献できる力										
到達目標		英米語専攻	日本・国際理解専攻	国際ビジネス専攻	観光マネジメント専攻							
到達目標		体系的な英語教育プログラムと、毎日英語に触れる充実した学習環境で、英語能力の確実な習得を目指します。	「日本を知る」「世界を知る」「地域を知る」ことで、一般企業人や公務員として活躍できる豊かな国際教養を身につけます。	空港、旅行、ホテル、金融、ICTなど、幅広いフィールドで高いレベルの能力を発揮できる職業人を育成します。	21世紀の成長産業である「観光」をマネジメントの視点から学び、旅行業、ホテル、観光地振興等の観光経営のスペシャリストを目指します。							
科目区分	国際学科設置科目名	単位数	必修	配当年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位		
						DP1	DP2	DP3	DP4			
基礎科目	教養科目	口頭表現	2	必修	1年~	18単位	○		○		18単位以上選択 (内6単位必修)	
		文章表現	2	必修	1年~		○		○			
		基礎数学	2		1年~				○			
		敬天愛人講座	2		1年~				○			○
		敬愛プログラム	2		1年~		○					○
		健康運動科学	2		1年~							
		哲学	2		1年~				○			
		心理学	2		1年~				○			
		歴史学	2		1年~				○			
		文学	2		1年~				○			
		日本語学	2		1年~				○	○		
		言語学	2		1年~				○	○		
		法学	2		1年~				○			
		憲法	2		1年~				○			
		政治学	2		1年~				○			
社会学	2		1年~			○						
統計学 I	2		1年~					○				
統計学 II	2		1年~					○				
環境科学	2		1年~					○				
アグリフードリテラシー	2		1年~				○	○				
地域ボランティア活動	2		1年~					○	○			
演習	1年基礎演習 I	1	必修	1年~		○	○					
	1年基礎演習 II	1	必修	1年~		○	○					
外国語科目	英語	College English I	2	必修	1年~	英専攻 16単位 (留18 単位) 他専攻 8単位 (留10 単位)	○				英米語専攻選択者 16単位以上選択 (留学生は18単位以上選択) 他専攻は8単位以上選択 (留学生は10単位以上選択)	
		College English II	2	必修	1年~		○					
		Speaking I	1	必修	1年~		○					
		Speaking II	1	必修	1年~		○					
		Writing I	1		1年~		○					
		Writing II	1		1年~		○					
		Listening I	1	英米語 専攻必 修	1年~		○					
		Listening II	1		1年~		○					
		College English III	2		2年~		○					
		College English IV	2		2年~		○					
	Debate I	1		1年~	○							
	Debate II	1		1年~	○							
	Basic Grammar I	1		1年~	○							
	Basic Grammar II	1		1年~	○							
	ビジネス英語	1		2年~	○			○				
Mother Goose	1		1年~	○								
英語以外の外国語	中国語 I	1		1年~	○							
	中国語 II	1		1年~	○							
	日中翻訳	1		2年~	○							
	フランス語 I	1		1年~	○							
	フランス語 II	1		1年~	○							
	ドイツ語 I	1		1年~	○							
	ドイツ語 II	1		1年~	○							
外国語特殊 I	1		1年~	○								
外国語特殊 II	1		1年~	○								

2019年度

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	必修	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位	
						DP1	DP2	DP3	DP4		
外国語目	日本語	総合日本語 I	留学生必修	1年～		◎				英米語専攻選択者 16単位以上選択 (留学生は18単位以上選択) 他専攻は8単位以上選択 (留学生は10単位以上選択)	
		総合日本語 II	留学生必修	1年～		◎					
情報基礎科目		情報処理 I (情報基礎)		1年～	2単位			◎		2単位以上選択	
		情報処理 II (プレゼンテーション演習)		1年～				◎			
		情報処理 III (EXCEL 上級)		1年～				◎			
共通		国際関係入門	必修	1年～	6単位		◎		○	6単位以上選択 (内2単位必修)	
		世界を知る		1年～			◎				
		World History		1年～			○	◎			
		World Today		1年～			○	◎			
		英文講読 I	英米語専攻必修	1年～			◎				
		英文講読 II	英米語専攻必修	1年～			◎				
英米語専攻	導入	TOEIC® 向上講座 I		1年～		◎		○		英米語専攻選択者 54単位以上選択 (但し14単位は他専攻の 専門科目でも可)	
		英語学概論		1年～		◎					
		英米文学概論		1年～		◎					
		Advanced Reading I		2年～		◎	○				
	基本	Advanced Listening I	英米語専攻必修	2年～		◎					
		English for Global Issues I		2年～		◎	◎				
		観光英語 I		2年～		◎		○			
		マルチメディア (Multimedia)		2年～		◎	○				
		TOEIC® 向上講座 II		2年～		◎		○			
		英文法		2年～		◎					
	発展	英語学		2年～		◎					
		英語の音声		2年～		◎					
		アメリカ文学史		2年～		◎	○				
		イギリス文学史		2年～		◎	○				
異文化コミュニケーション			2年～		◎	○					
英米文学特講 I (イギリス小説)			2年～		◎	○					
英米文学特講 II (アメリカ小説)			2年～		◎	○					
英語コミュニケーション		英米語専攻必修	2年～		◎	◎					
現代世界	Advanced Reading II		2年～		◎	◎					
	Advanced Listening II		2年～		◎						
	観光英語 II		2年～		◎		○				
	English for Global Issues II		2年～		◎	◎					
	English Presentation I		3年～		◎		○				
	English Presentation II		3年～		◎		○				
基本	Advanced Reading III		3年～		◎	◎					
	Advanced Reading IV		3年～		◎	◎					
	Academic Writing I		3年～		◎						
	Academic Writing II		3年～		◎						
導入	英語学		2年～		◎		◎				
	英語音声学 II		2年～		◎		◎				
日本・国際理解専攻	導入	現代世界の文化と社会		1年～	日・国専攻 62単位	○	◎			日本・国際理解専攻選択者 62単位以上選択 (但し、22単位は他専攻 科目でも可)	
		イギリスの文化と社会		1年～			◎				
		アジアの文化と社会		1年～			◎		○		
	基本	現代世界の文化と社会		1年～			○	◎			
		世界の食と農		2年～				◎			○
		比較文化論		2年～			○	◎			
		The United Nations in the World		2年～			○	◎			
		国際法		2年～				◎			
		刑法		2年～				◎			
		ヒトの国際移動		2年～			○	◎			
		フィールド調査		3年～				◎	○		
		グローバル社会		2年～				◎			
		グローバル政治		2年～				◎			
		世界のなかの日本		2年～				◎	○		
	東南アジア		2年～			◎	○				
	中国		2年～			◎	○				
	ヨーロッパ (EU)		2年～			◎	○				
	朝鮮		2年～			◎	○				

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	必修	担当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位	
						DP1	DP2	DP3	DP4		
専門科目	日本・国際理解専攻	基本	中東・イスラム圏	2	2年～		○	○		日本・国際理解専攻選択者 62単位以上選択 (但し、22単位は他専攻 科目でも可)	
			アフリカ	2	2年～		○	○			
			アメリカ	2	2年～	○	○	○			
			現代日本政治・社会	2	2年～		○	○			
			現代日本経済	2	2年～		○	○			
			日本の近現代史	2	2年～	○	○	○			
		日本文化論	2	2年～		○	○				
		現代世界	平和・安全保障	2	3年～		○				
			世界の環境問題	2	3年～		○				
			多文化共生	2	3年～		○				
			世界の人権問題	2	3年～		○				
			国際協手法	2	3年～		○				
			途上国社会経済	2	3年～		○				
		世界の中の日本	犯罪学	2	3年～	○	○				
			日米関係	2	3年～	○	○				
			日韓関係	2	3年～		○				
			日中関係	2	3年～		○				
			日本・東南アジア関係	2	3年～	○	○				
	日本・中東関係		2	3年～		○					
	日本・アフリカ関係	2	3年～		○						
	国際ビジネス専攻	AP	千葉学	2	1年～		○		○		国際ビジネス専攻選択者 62単位以上選択 (但し、22単位は他専攻 科目でも可)
			千葉県の産業と行政	2	2年～		○		○		
			千葉学実践 I	2	1年～		○		○		
			千葉学実践 II	2	1年～		○		○		
			現代日本語文法 I	2	2年～			○			
		日本語教員養成	現代日本語文法 II	2	2年～			○			
			心理言語学	2	2年～			○			
			日本語教育入門	2	2年～			○			
			日本語教育方法論	2	2年～			○			
			日本語教育研究 I	2	3年～			○			
			日本語教育研究 II	2	3年～			○			
			日本語教育実習	2	3年～			○			
			導入	経済	入門経済学	2	1年～				
経営				入門経営学	2	1年～			○		
情報				情報概論	2	1年～			○		
	データサイエンス総論	2		1年～			○				
	空港ビジネス	2		1年～			○	○			
	入門ツーリズム I	2		1年～		○		○			
空港・観光	入門ツーリズム II	2		1年～		○		○			
	ホスピタリティ	2		1年～	○			○			
経済	国際経済学	2		2年～		○	○				
	金融論	2		2年～			○	○			
	国際経営	2	2年～		○	○					
	経営	簿記会計基礎 I	2	2年～			○	○			
		簿記会計基礎 II	2	2年～			○	○			
	マーケティング	2	2年～			○	○				
	アルゴリズム論	2	2年～			○					
	マーケティングリサーチ I	2	2年～			○	○				
	マーケティングリサーチ II	2	2年～			○	○				
	情報	社会調査法 I	2	2年～			○	○			
社会調査法 II		2	2年～			○	○				
AI 概論		2	2年～			○					
プログラミング		2	2年～			○					
空港・観光	エアライン論	2	2年～			○	○				
	観光事業論 I	2	2年～			○	○				
	観光事業論 II	2	2年～			○	○				
	旅行ビジネス論	2	2年～			○	○				
	地域観光論	2	2年～			○	○				
ホテル・ビジネス論	2	2年～			○	○					
発展	経済	国際金融論	2	3年～			○				
	国際貿易論	2	3年～	○		○					

2019年度

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分		国際学科設置科目名	単位数	必修	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位			
							DP1	DP2	DP3	DP4				
国際ビジネス専攻	発展	経営	国際会計	2		3年～		○				国際ビジネス専攻選択者 62単位以上選択 (但し、22単位は他専攻 科目でも可)		
		企業ファイナンス	2		3年～				○					
		情報ビジネス論	2		3年～					○				
		情報	社会調査実習Ⅰ	2		3年～				○				
		社会調査実習Ⅱ	2		3年～					○				
	空間	航空物流論	2		3年～				○					
	観光マネジメント専攻	導入	経営	入門経営学	2		1年～				○		観光マネジメント専攻選択者 62単位以上選択 (但し、22単位は他専攻 科目でも可)	
			経営学	2		1年～					○			
			情報概論	2		1年～						○		
			観光	入門ツーリズムⅠ	2		1年～				○			○
入門ツーリズムⅡ				2		1年～				○	○	○		
空港ビジネス				2		1年～				○	○	○		
異文化理解			ホスピタリティ	2		1年～		○				○		
			アメリカの文化と社会	2		1年～			○			○		
			イギリスの文化と社会	2		1年～			○			○		
アジアの文化と社会			2		1年～				○		○			
基本		経営	国際経営	2		2年～			○	○				
			簿記会計基礎Ⅰ	2		2年～					○	○		
			簿記会計基礎Ⅱ	2		2年～					○	○		
			千葉県の産業と行政	2		2年～					○	○		
			マーケティング	2		2年～					○	○		
			サービス産業論	2		2年～					○			
		観光	流通経営論	2		2年～					○			
			観光事業論Ⅰ	2		2年～					○	○		
			観光事業論Ⅱ	2		2年～					○	○		
			交通論	2		2年～					○	○		
			旅行ビジネス論	2		2年～					○	○		
			ホテル・ビジネス論	2		2年～					○	○		
			エアライン論	2		2年～					○	○		
			地域観光論	2		2年～					○	○		
			観光英語Ⅰ	2		2年～		○	○	○				
			観光英語Ⅱ	2		2年～		○	○	○				
			観光政策論	2		2年～			○	○				
			観光統計	2		2年～				○				
観光マーケティング調査	2		2年～				○	○	○					
異文化理解	日本文化論	2		2年～				○						
	比較文化論	2		2年～				○						
	日本の近現代史	2		2年～				○						
	グローバル社会	2		2年～				○						
	グローバル政治	2		2年～				○						
	中国	2		2年～				○						
	東南アジア	2		2年～				○						
	ヨーロッパ(EU)	2		2年～				○						
	朝鮮	2		2年～				○						
	アフリカ	2		2年～				○						
中東・イスラム圏	2		2年～				○							
発展	観光	情報ビジネス論	2		3年～			○						
		世界遺産研究	2		3年～			○	☆					
	異文化理解	千葉の観光研究	2		3年～				☆	○				
		観光マーケティング	2		3年～				☆	○				
専門研究		多文化共生	2		3年～			☆						
		2年次専門研究Ⅰ	2	必修	2年～			○	○	○				
		2年次専門研究Ⅱ	2	必修	2年～			○	○	○				
		3年次専門研究Ⅰ	2	必修	3年～			○	○	○				
		3年次専門研究Ⅱ	2	必修	3年～			○	○	○				
		4年次専門研究Ⅰ	2	必修	4年～			○	○	○				
		4年次専門研究Ⅱ	2	必修	4年～			○	○	○				
		卒業論文	2		4年～			○	○	○				
キャリア科目		キャリアプランニング	2		1年～				○		4単位以上選択 (ただし、インターンシッ プⅠ・Ⅱ以外のキャリア 科目4単位以上を選択)			
		キャリアデザイン	2		2年～				○					
		キャリアディベロップメント	2		2年～					○				

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	必修	担当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位	
						DP1	DP2	DP3	DP4		
キャリア科目	キャリア基礎開発Ⅰ	2		3年～	4単位			○		4単位以上選択 (ただし、インターンシップⅠ・Ⅱ以外のキャリア科目4単位以上を選択)	
	キャリア基礎開発Ⅱ	2		3年～				○			
	キャリア基礎開発Ⅲ	2		3年～				○			
	インターンシップⅠ	2		3年～				○			
	インターンシップⅡ	2		3年～				○			
	成田で職をゲットプログラム	2		4年～				○			
自由選択科目	実習科目	海外語学研修Ⅰ	2		1年～	◎				各科目区分で定める卒業要件単位数以外に基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア科目、自由選択科目から12単位(留学生は10単位)以上選択 ◎印の科目はエアポートNARITA専攻者のみ履修可	
		海外語学研修Ⅱ	2		1年～	◎					
		海外スクーリングⅠ	2		1年～	◎	○				
		海外スクーリングⅡ	2		1年～	◎	○				
		国内スクーリングⅠ	1		1年～		○		○		
		国内スクーリングⅡ	1		1年～		○		○		
	その他	スカイプ英会話Ⅰ	1		1年～	◎					
		スカイプ英会話Ⅱ	1		1年～	◎					
		進路支援講座Ⅰ	2		1年～				○		
		進路支援講座Ⅱ	2		1年～				○		
		進路支援講座(公務員)Ⅲ	2		2年～				○		
		進路支援講座(公務員)Ⅳ	2		2年～				○		
		進路支援講座(ITパスポート)Ⅴ	2		2年～				○		
		進路支援講座(公務員)Ⅵ	2		3年～				○		
		進路支援講座(日経新聞を読む)Ⅶ	2		2年～				○		
		進路支援講座(公務員)Ⅷ	2		3年～				○		
		進路支援講座(日経新聞を読む)Ⅷ	2		2年～				○		
		他大学・他学部・他学科・単位互換科目	適宜								
指定単位以上履修した他区分科目	適宜										
エアポートNARITA地域産業学科	◎地方財政論Ⅰ	2		2年～				○			
	◎地方財政論Ⅱ	2		2年～				○			
	◎地域産業論	2		2年～				○			
	◎中小企業論Ⅰ	2		2年～				○			
	◎中小企業論Ⅱ	2		2年～				○			
	◎経営立地論	2		2年～				○			
教職及び教科に関する科目	※政治学概論Ⅰ	2		1年～						※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。	
	※政治学概論Ⅱ	2		1年～							
	※日本史概論Ⅰ	2		1年～							
	※日本史概論Ⅱ	2		1年～							
	※世界史概論Ⅰ	2		1年～							
	※世界史概論Ⅱ	2		1年～							
	※地理学概論Ⅰ	2		1年～							
	※地理学概論Ⅱ	2		1年～							
	※哲学概論Ⅰ	2		1年～							
	※哲学概論Ⅱ	2		1年～							
	※地誌学Ⅰ	2		2年～							
	※地誌学Ⅱ	2		2年～							
	※自然地理学	2		2年～							
	※人文地理学	2		2年～							
	※社会学概論	2		1年～							
	※経済学概論Ⅰ	2		1年～							
※経済学概論Ⅱ	2		1年～								
卒業要件単位数 124単位											
教職及び教科に関する科目	教育福祉論	2		2年～							
	教育原論	2		1年～							
	教育課程論	2		1年～							
	教育心理学	2		1年～							
	発達心理学	2		1年～							
	特別支援教育概論	2		2年～							
	教職概論	2		1年～							
	教育行政	2		2年～							
	教育法規	2		2年～							
	社会科・地歴科指導法Ⅰ	2		2年～							
	社会科・地歴科指導法Ⅱ	2		2年～							
	社会科・公民科指導法Ⅰ	2		2年～							

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	必修	配当 学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				履修単位
						DP1	DP2	DP3	DP4	
教職及び 教科に 関する科目	社会科・公民科指導法Ⅱ	2		2年～						
	地理歴史科指導法	2		2年～						
	公民科指導法	2		2年～						
	英語科指導法Ⅰ	2		2年～						
	英語科指導法Ⅱ	2		2年～						
	英語科指導法Ⅲ	2		2年～						
	英語科指導法Ⅳ	2		2年～						
	道徳教育指導法	2		2年～						
	総合的な学習の時間の指導法	2		2年～						
	特別活動指導法	2		2年～						
	教育方法・技術論	2		2年～						
	生徒・進路指導論	2		2年～						
	教育相談	2		2年～						
	教育実習指導	1		3年～						
	中学校教育実習	4		4年～						
	高等学校教育実習	2		4年～						
教職実践演習(中・高)	2		4年～							

4

国際学科2018カリキュラム表(2018年度入学者)

1. 国際学科の学生は、「敬愛大学学則」及び「国際学部規程」に基づき、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。国際学科では、基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア科目、自由選択科目、教職科目を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。
2. 学年を前期と後期に分け、授業はセメスター科目（半期完結科目）及び集中講義によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修にあつては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 「専門研究」では2年次に原則、希望により所属ゼミを決定し、「2年次専門研究I・II」を履修します。さらに、同一教員の指導のもと「3年次専門研究I・II」、「4年次専門研究I・II」と、より専門的に学んでいきます。
4. 2年次までに、将来の進路や関心に応じて3つの専攻（英米語専攻、日本・国際理解専攻、国際ビジネス専攻）の中から1つの専攻を選択します。卒業までに選択した専攻の専門科目の中から40単位以上修得することが必要です。
5. 英米語専攻は、英語科目の必修が多く設定されています。日本国際理解専攻でも、専門科目の学修に英語の基礎的な能力が必要となります。そのため、特に1年次にはできるだけ多くの英語科目を履修することができるよう推奨科目を置いています。

特色ある教育

敬天愛人講座

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、人には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、品格のある人間を育てたいという思いから設置されました。

敬愛プログラム

学生の自主的・自発的な発想による活動の支援を目的とする制度です。学生は、ボランティア活動、クラブ活性化活動、イベントの企画・実施、商店街や事業所の調査等、学内外における活動のテーマを設定し、事前に達成目標や段取りを明記した企画書を作成したうえで、当該年度に成果の発表を行います。その成果が評価に値するものと認定されれば、活動そのものが卒業単位として認められ、さらに支援金の支給を受けることができます。

オンライン英会話（スカイプ英会話）I・II

留学をしなくてもオンラインシステムを利用して英会話を一対一で練習できます。半期60回のレッスンを規定の期日までに修了したうえで、現地からの修了レポートをもとに担当教員の口頭試問に合格した場合に限り単位認定となります。レッスンは各自の都合に合わせた時間帯で受講できます。

TOEIC®IPテストの実施

College English I・IIの上位クラス、College English III・IV、英語科指導法II・IVの履修者は、前期及び後期にTOEIC®IPテストを受験します。詳細は、ガイダンスにてお知らせします。

区分・専攻		卒業必要単位	必修科目
基礎科目		18単位以上	□頭表現、文章表現、 1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ
外国語科目	英米語専攻	16単位以上 (留学生18単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ ListeningⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	日本・国際理解専攻	8単位以上 (留学生10単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ SpeakingⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	国際ビジネス専攻	8単位以上 (留学生10単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ SpeakingⅠ・Ⅱ 総合日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
情報基礎科目		2単位以上	
専門科目	共通	6単位以上	国際関係入門
	英米語専攻	専門科目専攻群より54単位以上 (内40単位は自専攻内から修得、14単位以上は自専攻および他専攻から修得)	英文講読Ⅰ・Ⅱ、観光通訳英語Ⅰ・Ⅱ Advanced ReadingⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Advanced ListeningⅠ・Ⅱ English for Global IssuesⅠ・Ⅱ English PresentationⅠ・Ⅱ Academic WritingⅠ・Ⅱ
	日本・国際理解専攻	専門科目専攻群より62単位以上 (内40単位は自専攻内から修得、22単位以上は自専攻および他専攻から修得)	
	国際ビジネス専攻	専門科目専攻群より62単位以上 (内40単位は自専攻内から修得、22単位以上は自専攻および他専攻から修得)	
	専門研究	12単位以上	2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ
キャリア科目		4単位以上	
自由選択科目		12単位以上 (留学生10単位以上)	※自由選択科目 ※指定単位以上修得した他区分科目 (基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア科目)
卒業要件単位数 124単位以上			

※教職科目は、教職課程希望の学生で別途教職課程履修費を納入している学生のみ履修可能です。

※教職科目の*印科目の修得した単位は教養科目の単位として充当することができます。

国際学科 2018 カリキュラム表 (2018 年度入学者)

(必修…◎)

区分	科目名	単位数	開講年次	英米	日・国	国ビ	履修方法	履修単位	
基礎科目	教養科目	口頭表現	2	1~	◎	◎	◎	必修科目	18単位以上 (内6単位必修)
		文章表現	2	1~	◎	◎	◎	必修科目	
		基礎数学	2	1~					
		敬天愛人講座	2	1~					
		敬愛プログラム	2	1~					
		健康運動科学	2	1~					
		哲学	2	1~					
		心理学	2	1~					
		歴史学	2	1~					
		文学	2	1~					
		日本語学	2	1~					
		言語学	2	1~					
		法学	2	1~					
		憲法	2	1~					
		政治学	2	1~					
		社会学	2	1~					
		統計学Ⅰ	2	1~					
		統計学Ⅱ	2	1~					
		環境科学	2	1~					
		ユニバーサルコミュニケーション	2	1~					
アグリフードリテラシー	2	1~							
地域ボランティア活動	2	1~							
演習	1年基礎演習Ⅰ	1	1~	◎	◎	◎	必修科目		
	1年基礎演習Ⅱ	1	1~	◎	◎	◎	必修科目		
外国語科目	英語	College EnglishⅠ	2	1~	◎	◎	◎	必修科目	日本・国際理解専攻 8単位以上 (留学生10単位以上) 国際ビジネス専攻 8単位以上 (留学生10単位以上) 英米語専攻 16単位以上 (留学生18単位以上)
		College EnglishⅡ	2	1~	◎	◎	◎	必修科目	
		SpeakingⅠ	1	1~	◎	◎	◎	必修科目	
		SpeakingⅡ	1	1~	◎	◎	◎	必修科目	
		WritingⅠ	1	1~	◎			英米語専攻必修科目	
		WritingⅡ	1	1~	◎			英米語専攻必修科目	
		ListeningⅠ	1	1~	◎			英米語専攻必修科目	
		ListeningⅡ	1	1~	◎			英米語専攻必修科目	
		College EnglishⅢ	2	2~	◎			英米語専攻必修科目	
		College EnglishⅣ	2	2~	◎			英米語専攻必修科目	
		DebateⅠ	1	1~					
		DebateⅡ	1	1~					
		World EnglishⅠ	1	1~					
		World EnglishⅡ	1	1~					
		ビジネス英語	1	2~					
		English for ChildrenⅠ	1	1~					
		English for ChildrenⅡ	1	1~					
Mother Goose	1	1~							

2018年度
Ⅲ
カリキュラム表

区分	科目名	単位数	開講 年次	英米	日・国	国ビ	履修方法	履修単位
外国語科目	英語以外の外国語	中国語Ⅰ	1	1～				日本・国際理解専攻 8単位以上 (留学生10単位以上) 国際ビジネス専攻 8単位以上 (留学生10単位以上) 英米語専攻 16単位以上 (留学生18単位以上)
		中国語Ⅱ	1	1～				
		中国語Ⅲ	1	2～				
		中国語Ⅳ	1	2～				
		日中翻訳	1	2～				
		フランス語Ⅰ	1	1～				
		フランス語Ⅱ	1	1～				
		フランス語Ⅲ	1	2～				
		フランス語Ⅳ	1	2～				
		ドイツ語Ⅰ	1	1～				
		ドイツ語Ⅱ	1	1～				
		ドイツ語Ⅲ	1	2～				
		ドイツ語Ⅳ	1	2～				
	外国語特殊Ⅰ	1	1～					
	外国語特殊Ⅱ	1	1～					
日本語	総合日本語Ⅰ	2	1～				留学生必修科目	
	総合日本語Ⅱ	2	1～				留学生必修科目	
情報基礎科目	情報処理Ⅰ(情報基礎)	1	1～					2単位以上
	情報処理Ⅱ(プレゼンテーション演習)	1	1～					
	情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	1	1～					
専門科目	共通						※別表	
	英米語専攻						※別表	
	日本・国際理解専攻						※別表	
	国際ビジネス専攻						※別表	
	専門研究						※別表	
キャリア科目	キャリアプランニング	2	1～					4単位以上
	キャリアデザイン	2	2～					
	キャリアディベロップメント	2	2～					
	キャリア基礎開発Ⅰ	2	3～					
	キャリア基礎開発Ⅱ	2	3～					
	キャリア基礎開発Ⅲ	2	3～					
	インターンシップ	2	3～					
	成田で職をゲットプログラム	2	4～					
自由選択科目	実習科目	海外語学研修Ⅰ	2	1～				12単位以上 (留学生10単位以上)
		海外語学研修Ⅱ	2	1～				
		海外スクーリングⅠ	2	1～				
		海外スクーリングⅡ	2	1～				
		国内スクーリングⅠ	1	1～				
		国内スクーリングⅡ	1	1～				
		スカイプ英会話Ⅰ	1	1～				
		スカイプ英会話Ⅱ	1	1～				
	その他	進路支援講座Ⅰ	2	1～				
		進路支援講座Ⅱ	2	1～				
		進路支援講座(公務員)Ⅲ	2	2～				
		進路支援講座(IT/パスポート)Ⅲ	2	2～				
		進路支援講座(公務員)Ⅳ	2	2～				
		進路支援講座(IT/パスポート)Ⅳ	2	2～				
進路支援講座(公務員)Ⅴ	2	3～						

区分	科目名	単位数	開講年次	英米	日・国	国ビ	履修方法	履修単位	
自由選択科目	その他	進路支援講座（日経新聞を読む）Ⅴ	2	2～				12単位以上 (留学生10単位以上)	
		進路支援講座（公務員）Ⅵ	2	3～					
		進路支援講座（日経新聞を読む）Ⅵ	2	2～					
		他大学・他学部・他学科・単位互換科目							
		指定単位以上履修した他区分科目							
	エアポートNARITA 地域産業学科目	ビジネス英語Ⅳ	1	2～					エアポートNARITA 専攻者のみ履修可
		流通経営論	2	2～					
		地方財政論Ⅰ	2	2～					
		地方財政論Ⅱ	2	2～					
		地域産業論	2	2～					
		中小企業論Ⅰ	2	2～					
		中小企業論Ⅱ	2	2～					
		経営立地論	2	2～					
教職科目	*政治学概論Ⅰ	2	1～				教職課程履修者のみ履修可	*修得した単位を教養科目の単位に充当することができます。	
	*政治学概論Ⅱ	2	1～						
	*日本史概論Ⅰ	2	1～						
	*日本史概論Ⅱ	2	1～						
	*世界史概論Ⅰ	2	1～						
	*世界史概論Ⅱ	2	1～						
	*地理学概論Ⅰ	2	1～						
	*地理学概論Ⅱ	2	1～						
	*哲学概論Ⅰ	2	1～						
	*哲学概論Ⅱ	2	1～						
	*地誌学Ⅰ	2	2～						
	*地誌学Ⅱ	2	2～						
	*自然地理学	2	2～						
	*人文地理学	2	2～						
*社会学概論	2	1～							
*経済学概論Ⅰ	2	1～							
*経済学概論Ⅱ	2	1～							
卒業要件単位数				124単位					
教職科目	教育福祉論	2	2～				教職課程履修者のみ履修可		
	教育原論	2	1～						
	教育課程論	2	1～						
	教育心理学	2	1～						
	発達心理学	2	1～						
	特別支援教育概論	2	2～						
	教職概論	2	1～						
	教育行政	2	2～						
	教育法規	2	2～						
	社会科・地歴科指導法Ⅰ	2	2～						
	社会科・地歴科指導法Ⅱ	2	2～						
	社会科・公民科指導法Ⅰ	2	2～						
	社会科・公民科指導法Ⅱ	2	2～						
	地理歴史科指導法	2	2～						
公民科指導法	2	2～							
英語科指導法Ⅰ	2	2～							

2018年度

Ⅲ
カリキュラム表

区分	科目名	単位数	開講年次	英米	日・国	国ビ	履修方法	履修単位
教職科目	英語科指導法Ⅱ	2	2～				教職課程履修者のみ履修可	
	英語科指導法Ⅲ	2	2～					
	英語科指導法Ⅳ	2	2～					
	道徳教育指導法	2	2～					
	総合的な学習の時間の指導法	2	2～					
	特別活動指導法	2	2～					
	教育方法・技術論	2	2～					
	生徒・進路指導論	2	2～					
	教育相談	2	2～					
	教育実習指導	1	3～					
	中学校教育実習	4	4～					
	高等学校教育実習	2	4～					
	教職実践演習（中・高）	2	4～					

国際学科 2018 カリキュラム専門科目 (英米語専攻) (2018 年度入学者)

(必修…○)

区分		科目名	単位数	開講年次	英米	日・国	国ビ	履修方法	履修単位
専門科目	共通	国際関係入門	2	1~	○	○	○	必修科目	6単位以上 (内2単位必修)
		世界を知る	2	1~					
		World History	2	1~					
		World Today	2	1~					
専門科目(英米語専攻)	英語コミュニケーション	導入	英文講読 I	2	1~	○		英米語専攻必修科目	英米語専攻選択者 54単位以上 (内40単位は自専攻 内から修得、14単位 以上は自専攻および 他専攻から修得)
			英文講読 II	2	1~	○		英米語専攻必修科目	
	英語学	英米文化・文学	TOEIC®向上講座 I	2	1~				
			英語学概論	2	1~				
	英語コミュニケーション	基本	英米文学概論	2	1~				
			Advanced Reading I	2	2~	○		英米語専攻必修科目	
			Advanced Listening I	2	2~	○		英米語専攻必修科目	
			English for Global Issues I	2	2~	○		英米語専攻必修科目	
			観光通訳英語 I	2	2~	○		英米語専攻必修科目	
	英語学	基本	マルチメディア (Multimedia)	2	2~				
			TOEIC®向上講座 II	2	2~				
			英文法	2	2~				
	英米文化・文学	基本	英語史	2	2~				
			英語の音声	2	2~				
			アメリカ文学史	2	2~				
			イギリス文学史	2	2~				
			異文化コミュニケーション	2	2~				
	英語コミュニケーション	発展	英米文学特講 I (イギリス小説)	2	2~				
			英米文学特講 II (アメリカ小説)	2	2~				
			Advanced Reading II	2	2~	○		英米語専攻必修科目	
			Advanced Listening II	2	2~	○		英米語専攻必修科目	
			観光通訳英語 II	2	2~	○		英米語専攻必修科目	
			English for Global Issues II	2	2~	○		英米語専攻必修科目	
			English Presentation I	2	3~	○		英米語専攻必修科目	
			English Presentation II	2	3~	○		英米語専攻必修科目	
			Advanced Reading III	2	3~	○		英米語専攻必修科目	
Advanced Reading IV			2	3~	○		英米語専攻必修科目		
英語学	英米文化・文学	Academic Writing I	2	3~	○		英米語専攻必修科目		
		Academic Writing II	2	3~	○		英米語専攻必修科目		
英語学	英米文化・文学	ビジネス英語上級	2	3~					
		英語音声学 I	2	2~					
英語学	英米文化・文学	英語音声学 II	2	3~					
		英米文化特講	2	3~					
専門科目	専門研究	2 年次専門研究 I	2	2~	○	○	○	必修科目	12単位以上
		2 年次専門研究 II	2	2~	○	○	○	必修科目	
		3 年次専門研究 I	2	3~	○	○	○	必修科目	
		3 年次専門研究 II	2	3~	○	○	○	必修科目	
		4 年次専門研究 I	2	4~	○	○	○	必修科目	
		4 年次専門研究 II	2	4~	○	○	○	必修科目	
		卒業論文	2	4~					

2018年度

Ⅲ
カリキュラム表

国際学科 2018 カリキュラム 専門科目 (日本・国際理解専攻) (2018 年度入学者)

(必修…○)

区分		科目名	単位数	開講年次	英米	日・国	国ビ	履修方法	履修単位
専門科目	共通	国際関係入門	2	1～	○	○	○	必修科目	6単位以上 (内2単位必修)
		世界を知る	2	1～					
		World History	2	1～					
		World Today	2	1～					
専門科目 (日本・国際理解専攻)	現代世界	導入	アメリカの文化と社会	2	1～			日本・国際理解専攻 選択者 62単位以上 (内40単位は自専攻 内から修得、22単位 以上は自専攻および 他専攻から修得)	
			イギリスの文化と社会	2	1～				
	世界の中の 日本	Japan Today	2	1～					
		Modern Japanese History	2	1～					
	現代世界	基本	世界の食と農	2	2～				
			比較文化論	2	2～				
			The United Nations in the World	2	2～				
			国際法	2	2～				
			刑法	2	2～				
			ヒトの国際移動	2	2～				
			フィールド調査	2	2～				
			グローバル社会	2	2～				
			グローバル政治	2	2～				
			東南アジア	2	2～				
	世界の中の 日本	基本	中国	2	2～				
			ヨーロッパ (EU)	2	2～				
			朝鮮	2	2～				
			中東・イスラム圏	2	2～				
			アフリカ	2	2～				
			American Mosaic	2	2～				
			現代日本政治・社会	2	2～				
			現代日本経済	2	2～				
			日本文化論	2	2～				
			現代世界	発展	平和・安全保障	2	3～		
	世界の環境問題	2			3～				
	多文化共生	2			3～				
	世界の人権問題	2			3～				
	国際協立法	2			3～				
	世界の中の 日本	発展	途上国社会経済	2	3～				
			Criminal Justice System in the Society	2	3～				
			日米関係	2	3～				
			日韓関係	2	3～				
			日中関係	2	3～				
			日本・東南アジア関係	2	3～				
			日本・中東関係	2	3～				
	日本・アフリカ関係	2	3～						
AP	基本	千葉学Ⅰ	2	1～					
		千葉学Ⅱ	2	2～					
		千葉学実践Ⅰ	2	1～					
		千葉学実践Ⅱ	2	1～					
日本語教員養成	基本	現代日本語文法Ⅰ	2	2～					
		現代日本語文法Ⅱ	2	2～					
		心理言語学	2	2～					
		日本語教育入門	2	2～					
		日本語教育方法論	2	2～					
		日本語教育研究Ⅰ	2	3～					
		日本語教育研究Ⅱ	2	3～					
		日本語教育実習	2	3～					
専門科目	専門研究	2年次専門研究Ⅰ	2	2～	○	○	○	必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目	12単位以上
		2年次専門研究Ⅱ	2	2～	○	○	○		
		3年次専門研究Ⅰ	2	3～	○	○	○		
		3年次専門研究Ⅱ	2	3～	○	○	○		
		4年次専門研究Ⅰ	2	4～	○	○	○		
		4年次専門研究Ⅱ	2	4～	○	○	○		
		卒業論文	2	4～					

国際学科 2018 カリキュラム専門科目 (国際ビジネス専攻) (2018 年度入学者)

(必修…○)

区分		科目名	単位数	開講年次	英米	日・国	国ビ	履修方法	履修単位
専門科目	共通	国際関係入門	2	1~	○	○	○	必修科目	6単位以上 (内2単位必修)
		世界を知る	2	1~					
		World History	2	1~					
		World Today	2	1~					
専門科目 (国際ビジネス専攻)	経済	導入	入門経済学	2	1~			国際ビジネス専攻選択者 62単位以上 (内40単位は自専攻内から修得、22単位以上は自専攻および他専攻から修得)	
			経営	入門経営学	2	1~			
	空港・観光	導入	情報概論	2	1~				
			空港ビジネス	2	1~				
			入門ツーリズム	2	1~				
			ホスピタリティ	2	1~				
	経済	基本	国際経済学	2	2~				
			金融論	2	2~				
	経営	基本	国際経営	2	2~				
			簿記会計基礎 I	2	2~				
			簿記会計基礎 II	2	2~				
			マーケティング	2	2~				
	情報	基本	アルゴリズム論	2	2~				
			マーケティングリサーチ I	2	2~				
			社会調査法 I	2	2~				
			社会調査法 II	2	2~				
	空港・観光	基本	社会調査実習 I	2	3~				
			社会調査実習 II	2	3~				
			エアライン論	2	2~				
			観光事業論 I	2	2~				
	空港・観光	基本	観光事業論 II	2	2~				
			旅行ビジネス論	2	2~				
			地域観光論	2	2~				
			国際金融論	2	3~				
	経済	発展	国際貿易論	2	3~				
			国際会計	2	3~				
経営	発展	企業ファイナンス	2	3~					
		情報ビジネス論	2	3~					
情報	発展	マーケティングリサーチ II	2	3~					
空港・観光	発展	航空物流論	2	3~					
専門科目	専門研究	2 年次専門研究 I	2	2~	○	○	○	必修科目	12単位以上
		2 年次専門研究 II	2	2~	○	○	○	必修科目	
		3 年次専門研究 I	2	3~	○	○	○	必修科目	
		3 年次専門研究 II	2	3~	○	○	○	必修科目	
		4 年次専門研究 I	2	4~	○	○	○	必修科目	
		4 年次専門研究 II	2	4~	○	○	○	必修科目	
		卒業論文	2	4~					

2018年度

Ⅲ
カリキュラム表

5

こども教育学科2019カリキュラム表(2019・2020年度入学者)

こども教育学科の学生は、各区分で定める卒業必要単位数を充足した上で、卒業要件単位（124単位以上）を充足していなければなりません。卒業要件単位数を超えていても、各分野における最低修得単位数を満たしていない場合は卒業できません。また、小学校教諭一種免許状を取得するためには教職課程に定める科目を修得しなければなりません。

「専門研究」では2年次、3年次に原則、希望制により所属ゼミを決定し、「2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」、「3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」を履修します。「3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」、「4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」は原則として同一教員の指導を受けます。

College EnglishⅠ・Ⅱの上位クラス、College EnglishⅢ・Ⅳ、英語科指導法Ⅱ・Ⅳの履修者は、TOEIC®IPテストを受験します。詳細は、ガイダンスにてお知らせします。

区 分		卒業必要単位	必修科目
学部共通基礎科目	教養科目 情報基礎科目 演習	16単位以上	□頭表現 文章表現 国際関係入門 憲法 情報処理Ⅰ（情報基礎） 1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ
	英語 英語以外の外国語	8単位以上	College EnglishⅠ・Ⅱ
学科基礎科目		36単位以上	小学校英語Ⅰ・Ⅱ
専門科目	学部専門 学科専門 専門研究	46単位以上	こどもと家庭の関係論 こどもの心と体 2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目		18単位以上	・「学科基礎科目」、「専門科目」の必要単位数以外 ・「教職科目」 ・「キャリア科目」
卒業要件単位数 124単位以上			

※教職科目は、教職課程希望の学生で別途教職課程履修費を納入している学生のみ履修可能です。

※他学部・他学科並びに他大学の大学単位互換科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とします。

こども教育学科 2019 カリキュラム表 (2019・2020 年度入学者)

2019年度
2020年度

学科区分	こども教育学科 設置科目名	単位数	必修	配当 学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				履修単位	
						DP1	DP2	DP3	DP4		
学 部 共 通 基 礎 科 目	DP1. 子供を総合的に理解し、教育する力 DP2. 国際理解を深め、多様な価値観を認める力 DP3. 豊かなコミュニケーション能力 DP4. 実践的活動を通して地域に貢献する力										
	口頭表現	2	必修	1年～	16単位	○		◎		16単位以上 (必修11単位含む)	
	文章表現	2	必修	1年～		○		◎			
	基礎数学	2		1年～		○					
	国際関係入門	2	必修	1年～		○	◎				
	敬天愛人講座	2		1年～		○	◎	☆	☆		
	歴史学	2		1年～		○	☆				
	哲学	2		1年～		○	☆				
	法学	2		1年～		○	☆				
	憲法	2	必修	1年～		◎					
	文学	2		1年～		○	☆	○			
	健康運動科学	2		1年～	○			○			
	ボランティア活動	2		1年～	○	☆		○			
	情報基礎科目	情報処理 I (情報基礎)	1	必修	1年～	8単位	○		◎		8単位以上 (必修4単位含む)
		情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1		1年～		○		◎		
	演習	1年基礎演習 I	1	必修	1年～		☆	○	◎	☆	
		1年基礎演習 II	1	必修	1年～		☆	○	◎	☆	
	英語	College English I	2	必修	1年～			○	◎		
		College English II	2	必修	1年～			○	◎		
		College English III	2		2年～			○	○		
College English IV		2		2年～			○	○			
Writing I		1		1年～			○	○			
Writing II		1		1年～			○	○			
Listening I		1		1年～		○	○				
Listening II		1		1年～		○	○				
Speaking I		1		1年～		○	○				
Speaking II		1		1年～		○	○				
Debate I		1		1年～		○	○				
Debate II		1		1年～		○	○				
Basic Grammar I		1		1年～							
Basic Grammar II		1		1年～							
英語以外の外国語	Mother Goose	1		1年～		○	○				
	ビジネス英語	1		2年～		○	○				
	中国語 I	1		1年～		○	○				
	中国語 II	1		1年～		○	○				
	フランス語 I	1		1年～		○	○				
	フランス語 II	1		1年～		○	○				
	ドイツ語 I	1		1年～		○	○				
	ドイツ語 II	1		1年～		○	○				
	外国語特殊 I	1		1年～		○	○				
	外国語特殊 II	1		1年～		○	○				
学 科 基 礎 科 目	小学校英語 I	2	必修	1年～	36単位	◎	☆	○	36単位以上 (必修4単位含む)		
	小学校英語 II	2	必修	1年～		◎	☆	○			
	教職概論	2		1年～		◎					
	教育原論	2		1年～		◎					

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	こども教育学科 設置科目名	単位数	必修	配当 学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目（最重要科目） ○履修を推奨する科目（重要科目） ☆能力向上に役立つ科目（発展科目）				履修単位
						DP1	DP2	DP3	DP4	
						学 科 基 礎 科 目	発達心理学	2		
教育心理学	2		1年～	◎	○					
教育課程論（小学校）	2		1年～	◎						
国語（書写を含）	2		1年～	◎		○				
文学入門	2		1年～	○		○				
社会	2		1年～	◎	○					
算数	2		1年～	◎						
数の不思議	2		2年～	○						
かたちの数学	2		2年～	○						
理科	2		1年～	◎						
理科の観察実験Ⅰ	1		2年～	○						
理科の観察実験Ⅱ	1		2年～	○						
生活	2		1年～	◎						
いのちと環境	2		2年～	○						
音楽	2		1年～	◎						
音楽と表現Ⅰ（合唱）	1		1年～	○						
音楽と表現Ⅱ（リコーダ）	1		2年～	○						
音楽と表現Ⅲ（ピアノ）	1		2年～	○						
図画工作	2		1年～	◎						
造形と表現Ⅰ	1		1年～	○						
造形と表現Ⅱ	1		2年～	○						
家庭	2		1年～	◎						
体育	2		1年～	◎						
スポーツ教育（実技）	1		2年～	○						
専 門 科 目	アメリカの文化と社会	2		2年～	46単位	○	◎	☆		46単位以上 (必修16単位含む)
イギリスの文化と社会	2		2年～	○		◎	☆			
アジアの文化と社会	2		1年～							
グローバル政治	2		2年～	☆		○				
国際政治史	2		2年～			○				
The United Nations in the World	2		2年～	☆		○				
刑法	2		2年～			○				
国際法	2		2年～			○				
日韓関係	2		3年～			○	☆			
日中関係	2		3年～			○	☆			
日本・東南アジア関係	2		3年～			○	☆			
平和・安全保障	2		3年～			○	☆			
国際協力法	2		3年～			○		○		
国内スクーリングⅠ	1		1年～	☆			☆	○		
国内スクーリングⅡ	1		1年～	☆			☆	○		
海外スクーリングⅠ	2		1年～	☆		○	○	○		
海外スクーリングⅡ	2		1年～	☆		○	○	○		
海外語学研修Ⅰ	2		1年～	☆		○	○	☆		
海外語学研修Ⅱ	2		1年～	☆		○	○	☆		
社会調査法Ⅰ	2		2年～				☆	○		
社会調査法Ⅱ	2		2年～			☆	○			
社会調査実習Ⅰ	2		3年～				☆			
社会調査実習Ⅱ	2		3年～				☆			

科目区分	こども教育学科 設置科目名	単位数	必修	配当 学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目（最重要科目） ○履修を推奨する科目（重要科目） ☆能力向上に役立つ科目（発展科目）				履修単位
						DP1	DP2	DP3	DP4	
学 部 専 門 科 目	マーケティングリサーチⅠ	2		2年～	46単位			☆	○	46単位以上 (必修16単位含む)
	マーケティングリサーチⅡ	2		3年～				☆	○	
	フィールド調査	2		3年～				☆	○	
	日本語学	2		1年～		○	☆	○		
	現代日本語文法Ⅰ	2		2年～		☆		☆		
	現代日本語文法Ⅱ	2		2年～		☆		☆		
	言語学	2		1年～		○	☆	○		
	心理言語学	2		2年～		○		○		
	日本語教育入門	2		2年～		○	☆	○		
	日本語教育方法論	2		2年～		☆		○		
	日本語教育研究Ⅰ	2		3年～		☆		○		
	日本語教育研究Ⅱ	2		3年～		☆		○		
	日本語教育実習	2		3年～		☆	☆	○		
	比較文化論	2		2年～		○	◎	☆		
	異文化コミュニケーション	2		2年～		○	◎	◎		
	日本文化論	2		2年～		○	◎			
	こどもと国際社会	2		2年～		○	◎	☆		
	世界のこども教育	2		3年～		○	◎	☆		
	世界の人権問題	2		3年～		○	◎			
	教育行政	2		2年～		◎				
	教育法規	2		2年～		◎				
	こどもと家庭の関係論	2	必修	2年～		◎			◎	
	こどもの心と体	2	必修	2年～		◎	○		☆	
	教育方法・技術論（小学校）	2		2年～		◎				
	生徒・進路指導論（小学校）	2		2年～		◎				
	教育相談（小学校）	2		2年～		◎		○		
	道徳教育指導法（小学校）	2		2年～		◎				
	総合的な学習の時間の指導法（小学校）	2		2年～		◎			☆	
	特別活動指導法（小学校）	2		2年～		◎				
	特別支援教育概論（小学校）	2		2年～		○	◎	☆	☆	
	社会福祉概論	2		2年～		○	○		◎	
	教育福祉論	2		2年～		○	○		◎	
	社会教育概論	2		2年～		○	○		◎	
	多文化教育論	2		2年～		○	○		◎	
	教育とジェンダー	2		2年～		○	◎		☆	
	こどもとものづくり教育	2		2年～		○			☆	
	こどもと科学教育	2		2年～		○				
	こどもと法律	2		2年～		○				
	こどもとメディア	2		2年～		○		○		
	こどもと地域の教育論	2		2年～		○			☆	
	こどもと遊び	2		2年～		○			☆	
	こどものキャリア教育と企業	2		2年～		○			○	
	学校の安全教育	2		2年～		○			○	
	学級担任と読書	2		2年～		○	○			
	児童文学論	2		2年～		○	○			
	英米児童文学	2		2年～		○	○			

学科DP		こども教育				DP1. 子供を総合的に理解し、教育する力 DP2. 国際理解を深め、多様な価値観を認める力 DP3. 豊かなコミュニケーション能力 DP4. 実践的活動を通して地域に貢献する力						
科目区分		こども教育学科 設置科目名	単位数	必修	配当 学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目（最重要科目） ○履修を推奨する科目（重要科目） ☆能力向上に役立つ科目（発展科目）				履修単位	
							DP1	DP2	DP3	DP4		
専門 科目	学科 専門	比較文学	2		2年～	46単位	○	○			46単位以上 (必修16単位含む)	
		こども教育演習Ⅰ	1		3年～		◎		○			
		こども教育演習Ⅱ	1		3年～		◎		○			
		こども教育演習Ⅲ	1		4年～		◎		○			
	専門 研究	こども教育演習Ⅳ	1		4年～		◎		○			
		2年次専門研究Ⅰ	2	必修	2年～		◎	○	○	☆		
		2年次専門研究Ⅱ	2	必修	2年～		◎	○	○	☆		
		3年次専門研究Ⅰ	2	必修	3年～		◎	○	○	☆		
		3年次専門研究Ⅱ	2	必修	3年～		◎	○	○	☆		
		4年次専門研究Ⅰ	2	必修	4年～		◎	○	○	☆		
自由 選択 科目	キャリア 科目	卒業論文	2		4年～	◎	○	○	☆	18単位以上 ※自由選択科目は「学 科基礎科目」「専門 科目」の必要単位数 以外と「教職科目」 「キャリア科目」及 び他学部・他学科並 びに他大学の大学単 位互換科目。		
		キャリアプランニング	2		1年～							
		キャリアデザイン	2		2年～			☆	○			
		キャリアディベロップメント	2		2年～			☆	○			
		キャリア基礎開発Ⅰ	2		3年～			☆	○			
		キャリア基礎開発Ⅱ	2		3年～							
		キャリア基礎開発Ⅲ	2		3年～							
		インターンシップⅠ	2		3年～							
		インターンシップⅡ	2		3年～							
成田で職をゲットプログラム	2		4年～									
卒業要件単位数						124単位						
教 職 科 目		初等国語科指導法	2		2年～	◎						
		初等社会科指導法	2		2年～	◎						
		算数科指導法	2		2年～	◎						
		初等理科指導法	2		2年～	◎						
		生活科指導法	2		2年～	◎						
		初等音楽科指導法	2		2年～	◎						
		図画工作科指導法	2		2年～	◎						
		初等体育科指導法	2		2年～	◎						
		初等家庭科指導法	2		2年～	◎						
		小学校英語指導法Ⅰ	2		2年～	◎	○	◎	☆			
		小学校英語指導法Ⅱ	2		2年～	◎	○	◎	☆			
		教育実習指導	1		3年～	◎			◎			
		教育実習	4		3年～	◎		○	◎			
		教職実践演習（小学校）	2		4年～	◎		○	◎			

6

こども教育学科2018カリキュラム表(2018年度入学者)

こども教育学科の学生は、各区分で定める卒業必要単位数を充足した上で、卒業要件単位（124単位以上）を充足していなければなりません。卒業要件単位数を超えていても、各分野における最低修得単位数を満たしていない場合は卒業できません。また、小学校教諭一種免許状を取得するためには教職課程に定める教職に関する科目、教科に関する科目を修得しなければなりません。

「専門研究」では2年次、3年次に原則、希望制により所属ゼミを決定し、「2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」、「3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」を履修します。「3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」、「4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」は原則として同一教員の指導を受けます。

College EnglishⅠ・Ⅱの上位クラス、College EnglishⅢ・Ⅳ英語科指導法Ⅱ、Ⅳの履修者は、TOEIC®IPテストを受験します。詳細は、ガイダンスにてお知らせします。

区 分		卒業必要単位	必修科目
学部共通基礎科目	教養科目 情報基礎科目 演習	16単位以上	□頭表現 文章表現 国際関係入門 憲法 情報処理Ⅰ（情報基礎） 1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ
	英語 英語以外の外国語	8単位以上	College EnglishⅠ・Ⅱ
学科基礎科目		36単位以上	小学校英語Ⅰ・Ⅱ
専門科目	学部専門 学科専門 専門研究	46単位以上	こどもと家庭の関係論 こどもの心と体 2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目		18単位以上	・「学科基礎科目」、「専門科目」の必要単位数以外 ・「教職科目」
卒業要件単位数			124単位以上

※教職科目は、教職課程希望の学生で別途教職課程履修費を納入している学生のみ履修可能です。

※他学部・他学科並びに他大学の大学単位互換科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とします。

こども教育学科 2018 カリキュラム表 (2018 年度入学者)

(必修…○選択必修…○)

区分	科目名	単位数	開講年次	必修	小	備考	履修単位
学部 共通 基礎 科目	教養科目	口頭表現	2	1～	○		16単位以上 (必修11単位含む)
		文章表現	2	1～	○		
		基礎数学	2	1～			
		国際関係入門	2	1～	○		
		敬天愛人講座	2	1～			
		歴史学	2	1～			
		哲学	2	1～			
		法学	2	1～			
		憲法	2	1～	○	○	
		ユニバーサルコミュニケーション	2	1～			
		文学	2	1～			
		健康運動科学	2	1～		○	
	ボランティア活動	2	1～				
	情報基礎科目	情報処理 I (情報基礎)	1	1～	○	○	
		情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	1～		○	
	演習	1年基礎演習 I	1	1～	○		
		1年基礎演習 II	1	1～	○		
	英語	College English I	2	1～	○	○	8単位以上 (必修4単位含む)
		College English II	2	1～	○		
College English III		2	2～				
College English IV		2	2～				
Writing I		1	1～				
Writing II		1	1～				
Listening I		1	1～				
Listening II		1	1～				
Speaking I		1	1～				
Speaking II		1	1～				
World English I		1	1～				
World English II		1	1～				
Debate I		1	1～				
Debate II		1	1～				
English for Children I		1	1～				
English for Children II		1	1～				
Mother Goose		1	1～				
ビジネス英語	1	2～					
英語以外の外国語	中国語 I	1	1～				
	中国語 II	1	1～				
	中国語 III	1	2～				
	中国語 IV	1	2～				
	日中翻訳	1	2～				
	フランス語 I	1	1～				
フランス語 II	1	1～					

区分	科目名	単位数	開講年次	必修	小	備考	履修単位
学部共通基礎科目	英語以外の外国語						8単位以上 (必修4単位含む)
	ドイツ語Ⅰ	1	1～				
	ドイツ語Ⅱ	1	1～				
	外国語特殊Ⅰ	1	1～				
学 科 基 礎 科 目	外国語特殊Ⅱ	1	1～				36単位以上 (必修4単位含む)
	小学校英語Ⅰ	2	1～	◎			
	小学校英語Ⅱ	2	1～	◎			
	教職概論	2	1～		◎		
	教育原論	2	1～		◎		
	発達心理学	2	1～		◎		
	教育心理学	2	1～		◎		
	教育課程論(小学校)	2	1～		◎		
	国語(書写を含)	2	1～		◎		
	文学入門	2	1～				
	社会	2	1～		◎		
	算数	2	1～		◎		
	数の不思議	2	2～				
	かたちの数学	2	2～				
	理科	2	1～		◎		
	理科の観察実験Ⅰ	1	2～				
	理科の観察実験Ⅱ	1	2～				
	生活	2	1～		◎		
	いのちと環境	2	2～				
	音楽	2	1～		◎		
音楽と表現Ⅰ(合唱)	1	1～					
音楽と表現Ⅱ(リコーダ)	1	2～					
音楽と表現Ⅲ(ピアノ)	1	2～					
図画工作	2	1～		◎			
造形と表現Ⅰ	1	1～					
造形と表現Ⅱ	1	2～					
家庭	2	1～		◎			
体育	2	1～		◎			
スポーツ教育(実技)	1	2～					
専 門 科 目	学						46単位以上 (必修16単位含む)
	アメリカの文化と社会	2	2～				
	イギリスの文化と社会	2	2～				
	グローバル政治	2	2～				
	国際政治史	2	2～				
	The United Nations in the World	2	2～				
	刑法	2	2～				
	国際法	2	2～				
	日韓関係	2	3～				
	日中関係	2	3～				
	日本・東南アジア関係	2	3～				
平和・安全保障	2	3～					
国際協力法	2	3～					
国内スクーリングⅠ	1	1～					

区分	科目名	単位数	開講年次	必修	小	備考	履修単位
専門科目	国内スクーリングⅡ	1	1～				46単位以上 (必修16単位含む)
	海外スクーリングⅠ	2	1～				
	海外スクーリングⅡ	2	1～				
	海外語学研修Ⅰ	2	1～				
	海外語学研修Ⅱ	2	1～				
	社会調査法Ⅰ	2	2～				
	社会調査法Ⅱ	2	2～				
	社会調査実習Ⅰ	2	3～				
	社会調査実習Ⅱ	2	3～				
	マーケティングリサーチⅠ	2	2～				
	マーケティングリサーチⅡ	2	3～				
	フィールド調査	2	3～				
	キャリアデザイン	2	2～				
	キャリアディベロップメント	2	2～				
	キャリア基礎開発Ⅰ～ビジネスシュミレーション～	2	3～				
	日本語学	2	1～				
	現代日本語文法Ⅰ	2	2～				
	現代日本語文法Ⅱ	2	2～				
	言語学	2	1～				
	心理言語学	2	2～				
	日本語教育入門	2	2～				
	日本語教育方法論	2	2～				
	日本語教育研究Ⅰ	2	3～				
	日本語教育研究Ⅱ	2	3～				
	日本語教育実習	2	3～				
	比較文化論	2	2～				
	異文化コミュニケーション	2	2～				
	日本文化論	2	2～				
	こどもと国際社会	2	2～				
	世界のこども教育	2	3～				
	世界の人権問題	2	3～				
	教育行政	2	2～			○ 小免2単位選択必修	
	教育法規	2	2～			○	
	こどもと家庭の関係論	2	2～		◎		
	こどもの心と体	2	2～		◎		
	小学校英語指導法Ⅰ	2	2～			◎	
小学校英語指導法Ⅱ	2	2～			◎		
教育方法・技術論(小学校)	2	2～			◎		
生徒・進路指導論(小学校)	2	2～			◎		
教育相談(小学校)	2	2～			◎		
道徳教育指導法(小学校)	2	2～			◎		
総合的な学習の時間の指導法(小学校)	2	2～					
特別活動指導法(小学校)	2	2～			◎		
特別支援教育概論	2	2～					
社会福祉概論	2	2～					

区分	科目名	単位数	開講年次	必修	小	備考	履修単位
専 門 科 目	教育福祉論	2	2～				46単位以上 (必修16単位含む)
	児童福祉論	2	2～				
	社会教育概論	2	2～				
	多文化教育論	2	2～				
	教育とジェンダー	2	2～				
	こどもとものづくり教育	2	2～				
	こどもと科学教育	2	2～				
	こどもと法律	2	2～				
	こどもとメディア	2	2～				
	こどもと地域の教育論	2	2～				
	こどもと遊び	2	2～				
	こどものキャリア教育と企業	2	2～				
	学校の安全教育	2	2～				
	学級担任と読書	2	2～				
	児童文学論	2	2～				
	英米児童文学	2	2～				
	比較文学	2	2～				
	こども教育演習Ⅰ	1	3～				
	こども教育演習Ⅱ	1	3～				
	こども教育演習Ⅲ	1	4～				
	こども教育演習Ⅳ	1	4～				
専 門 研 究	2年次専門研究Ⅰ	2	2	◎			
	2年次専門研究Ⅱ	2	2	◎			
	3年次専門研究Ⅰ	2	3	◎			
	3年次専門研究Ⅱ	2	3	◎			
	4年次専門研究Ⅰ	2	4	◎			
	4年次専門研究Ⅱ	2	4	◎			
卒業論文	2	4					
自由選択科目		・「学科基礎科目」、「専門科目」の必要単位数以外 ・「教職科目」					18単位以上
卒業要件単位数							124単位

※他学部・他学科並びに他大学の大学単位互換科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とします。

教 職 科 目	初等国語科指導法	2	2～		◎	教職科目
	初等社会科指導法	2	2～		◎	
	算数科指導法	2	2～		◎	
	初等理科指導法	2	2～		◎	
	生活科指導法	2	2～		◎	
	初等音楽科指導法	2	2～		◎	
	図画工作科指導法	2	2～		◎	
	初等体育科指導法	2	2～		◎	
	初等家庭科指導法	2	2～		◎	
	教育実習指導	1	3～		◎	
	教育実習	4	4～		◎	
	教職実践演習(小学校)	2	4～		◎	

7

国際学部カリキュラム新旧比較対照表

21カリキュラム		20カリキュラム			
		20国際学科			
21カリ区分	科目名	学年	科目名	学年	
基礎科目	口頭表現	1	口頭表現	1	
	文章表現	1	文章表現	1	
	基礎数学	1	基礎数学	1	
	敬天愛人講座	1	敬天愛人講座	1	
	敬愛プログラム	1	敬愛プログラム	1	
	健康科学	1	健康運動科学	1	
	スポーツ教育 I	1			
	スポーツ教育 II	1			
	哲学	1	哲学	1	
	心理学	1	心理学	1	
	社会心理学	1			
	歴史学	1	歴史学	1	
	文学	1	文学	1	
	日本語学	1	日本語学	1	
	言語学	1	言語学	1	
	法学	1	法学	1	
	憲法	1	憲法	1	
	政治学	1	政治学	1	
	社会学	1	社会学	1	
	数学 I	1			
	数学 II	1			
	統計学 I	1	統計学 I	1	
	統計学 II	1	統計学 II	1	
	環境科学	1	環境科学	1	
	世界を知る	1	世界を知る	1	
	AI・DS (データサイエンス) へのいざない	1			
	地域ボランティア活動	1	地域ボランティア活動	1	
演習	1年基礎演習 I	1	1年基礎演習 I	1	
	1年基礎演習 II	1	1年基礎演習 II	1	
外国語科目	College English I	1	College English I	1	
	College English II	1	College English II	1	
	Speaking I	1	Speaking I	1	
	Speaking II	1	Speaking II	1	
	Writing I	1	Writing I	1	
	Writing II	1	Writing II	1	
	Listening I	1	Listening I	1	
	Listening II	1	Listening II	1	
	College English III	2	College English III	2	
	College English IV	2	College English IV	2	
	Debate I	2	Debate I	1	
	Debate II	2	Debate II	1	
	Basic Grammar I	1	Basic Grammar I	1	
	Basic Grammar II	1	Basic Grammar II	1	
	ビジネス英語	2	ビジネス英語	2	
	英語以外の外国語	中国語 I	1	中国語 I	1
		中国語 II	1	中国語 II	1
		日中翻訳	2	日中翻訳	2
		フランス語 I	1	フランス語 I	1
		フランス語 II	1	フランス語 II	1
ドイツ語 I		1	ドイツ語 I	1	
ドイツ語 II		1	ドイツ語 II	1	
外国語特殊 I		1	外国語特殊 I	1	
外国語特殊 II	1	外国語特殊 II	1		
日本語	総合日本語 I	1	総合日本語 I	1	
	総合日本語 II	1	総合日本語 II	1	
情報基礎科目	情報処理 I (情報基礎)	1	情報処理 I (情報基礎)	1	
	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	

19カリキュラム				18カリキュラム			
19国際学科		19・20こども教育学科		18国際学科		18こども教育学科	
科目名	学年	科目名	学年	科目名	学年	科目名	学年
□頭表現	1	□頭表現	1	□頭表現	1	□頭表現	1
文章表現	1	文章表現	1	文章表現	1	文章表現	1
基礎数学	1	基礎数学	1	基礎数学	1	基礎数学	1
敬天愛人講座	1	敬天愛人講座	1	敬天愛人講座	1	敬天愛人講座	1
敬愛プログラム	1			敬愛プログラム	1		
健康運動科学	1	健康運動科学	1	健康運動科学	1	健康運動科学	1
哲学	1	哲学	1	哲学	1	哲学	1
心理学	1			心理学	1		
歴史学	1	歴史学	1	歴史学	1	歴史学	1
文学	1	文学	1	文学	1	文学	1
日本語学	1	日本語学	1	日本語学	1	日本語学	1
言語学	1	言語学	1	言語学	1	言語学	1
法学	1	法学	1	法学	1	法学	1
憲法	1	憲法	1	憲法	1	憲法	1
政治学	1			政治学	1		
社会学	1			社会学	1		
統計学 I	1			統計学 I	1		
統計学 II	1			統計学 II	1		
環境科学	1			環境科学	1		
世界を知る	1			世界を知る	1		
地域ボランティア活動	1	ボランティア活動	1	地域ボランティア活動	1	ボランティア活動	1
1年基礎演習 I	1	1年基礎演習 I	1	1年基礎演習 I	1	1年基礎演習 I	1
1年基礎演習 II	1	1年基礎演習 II	1	1年基礎演習 II	1	1年基礎演習 II	1
College English I	1	College English I	1	College English I	1	College English I	1
College English II	1	College English II	1	College English II	1	College English II	1
Speaking I	1	Speaking I	1	Speaking I	1	Speaking I	1
Speaking II	1	Speaking II	1	Speaking II	1	Speaking II	1
Writing I	1	Writing I	1	Writing I	1	Writing I	1
Writing II	1	Writing II	1	Writing II	1	Writing II	1
Listening I	1	Listening I	1	Listening I	1	Listening I	1
Listening II	1	Listening II	1	Listening II	1	Listening II	1
College English III	2	College English III	2	College English III	2	College English III	2
College English IV	2	College English IV	2	College English IV	2	College English IV	2
Debate I	1	Debate I	1	Debate I	1	Debate I	1
Debate II	1	Debate II	1	Debate II	1	Debate II	1
Basic Grammar I	1	Basic Grammar I	1				
Basic Grammar II	1	Basic Grammar II	1				
ビジネス英語	2	ビジネス英語	2	ビジネス英語	2	ビジネス英語	2
中国語 I	1	中国語 I	1	中国語 I	1	中国語 I	1
中国語 II	1	中国語 II	1	中国語 II	1	中国語 II	1
日中翻訳	2			日中翻訳	2		
フランス語 I	1	フランス語 I	1	フランス語 I	1	フランス語 I	1
フランス語 II	1	フランス語 II	1	フランス語 II	1	フランス語 II	1
ドイツ語 I	1	ドイツ語 I	1	ドイツ語 I	1	ドイツ語 I	1
ドイツ語 II	1	ドイツ語 II	1	ドイツ語 II	1	ドイツ語 II	1
外国語特殊 I	1	外国語特殊 I	1	外国語特殊 I	1	外国語特殊 I	1
外国語特殊 II	1	外国語特殊 II	1	外国語特殊 II	1	外国語特殊 II	1
総合日本語 I	1			総合日本語 I	1		
総合日本語 II	1			総合日本語 II	1		
情報処理 I (情報基礎)	1	情報処理 I (情報基礎)	1	情報処理 I (情報基礎)	1	情報処理 I (情報基礎)	1
情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1

Ⅲ
カリキュラム表

		21カリキュラム		20カリキュラム		
		21国際学科		20国際学科		
21カリ区分		科目名	学年	科目名	学年	
専門科目	共通	国際関係入門	1	国際関係入門	1	
		World Today	1	World Today	1	
		Japan Today	1	Japan Today	1	
		情報概論	1	情報概論	1	
		国際社会とSDGS	2	The United Nations in the world	2	
		日本の近現代と世界	2	日本の近現代史	2	
		異文化理解	2	異文化コミュニケーション	2	
専門科目 (英米語専攻)	導入	英文講読 I	1	英文講読 I	1	
		英文講読 II	1	英文講読 II	1	
		TOEIC®向上講座 I	1	TOEIC®向上講座 I	1	
	英語学	英語学概論	1	英語学概論	1	
		英米文学概論	1	英米文学概論	1	
		英米文化概論	1			
	基本	英語コミュニケーション	Advanced Reading I	2	Advanced Reading I	2
			Advanced Reading II	2	Advanced Reading II	2
			Advanced Listening I	2	Advanced Listening I	2
			Advanced Listening II	2	Advanced Listening II	2
			English for Global Issues I	2	English for Global Issues I	2
		マルチメディア (Multimedia)	2	マルチメディア (Multimedia)	2	
		TOEIC®向上講座 II	2	TOEIC®向上講座 II	2	
		英語学	英文法	2	英文法	2
			英語の音声	2	英語の音声	2
		英米文化・文学	アメリカの文化と社会	1	アメリカの文化と社会	1
	イギリスの文化と社会		1	イギリスの文化と社会	1	
	英米文学特講 I (イギリス小説)		2	英米文学特講 I (イギリス小説)	2	
	英米文学特講 II (アメリカ小説)		2	英米文学特講 II (アメリカ小説)	2	
	発展	英語コミュニケーション	English for Global Issues II	2	English for Global Issues II	2
			English Presentation I	3	English Presentation I	3
			English Presentation II	3	English Presentation II	3
			Advanced Reading III	3	Advanced Reading III	3
			Advanced Reading IV	3	Advanced Reading IV	3
		Academic Writing I	3	Academic Writing I	3	
		Academic Writing II	3	Academic Writing II	3	
		ビジネス英語上級	3	ビジネス英語上級	3	
英語学		英語史	2	英語史	2	
		英語音声学 I	2	英語音声学 I	2	
英米文化学	英語音声学 II	2	英語音声学 II	2		
	アメリカ文学史	2	アメリカ文学史	2		
	イギリス文学史	2	イギリス文学史	2		
		英米文化特講	3	英米文化特講	3	
専門科目 (地域デザイン専攻)	導入	地域デザイン概論	1	地域デザイン概論	1	
		国際政治史	1	World History	1	
	基本	千葉学	1	千葉学	1	
		地域学 I (東南アジア)	2	東南アジア	2	
		地域学 I (東アジア)	2	中国	2	
		地域学 I (ヨーロッパ)	2	ヨーロッパ (EU)	2	
		地域学 I (中東)	2	中東・イスラム圏	2	
		地域学 I (アフリカ)	2	アフリカ	2	
		地域学 I (アメリカ)	2	アメリカ	2	
		比較文化論	2	比較文化論	2	
		現代市民社会	2	現代日本政治・社会	2	
		経済政策 I	2			
		経済政策 II	2			
		地方自治論 I	2			
	地方自治論 II	2				
	多文化共生社会	3	多文化共生	3		
	フィールド調査	3	フィールド調査	3		
	発展	移民政策論	2	ヒトの国際移動	2	
		社会開発論	2			
		千葉学実習	2	千葉学実践 I	2	
行政法 I		2				
行政法 II		2				
民法 I	2					

19カリキュラム				18カリキュラム			
19国際学科		19・20こども教育学科		18国際学科		18こども教育学科	
科目名	学年	科目名	学年	科目名	学年	科目名	学年
国際関係入門	1	国際関係入門	1	国際関係入門	1	国際関係入門	1
World Today	1			World Today	1		
Japan Today	1			Japan Today	1		
情報概論	1			情報概論	1		
The United Nations in the world	2	The United Nations in the world	2	The United Nations in the world	2	The United Nations in the world	2
日本の近現代史	2			Modern Japanese History	1		
異文化コミュニケーション	2	異文化コミュニケーション	2	異文化コミュニケーション	2	異文化コミュニケーション	2
英文講読Ⅰ	1			英文講読Ⅰ	1		
英文講読Ⅱ	1			英文講読Ⅱ	1		
TOEIC®向上講座Ⅰ	1			TOEIC®向上講座Ⅰ	1		
英語学概論	1			英語学概論	1		
英米文学概論	1			英米文学概論	1		
Advanced ReadingⅠ	2			Advanced ReadingⅠ	2		
Advanced ReadingⅡ	2			Advanced ReadingⅡ	2		
Advanced ListeningⅠ	2			Advanced ListeningⅠ	2		
Advanced ListeningⅡ	2			Advanced ListeningⅡ	2		
English for Global IssuesⅠ	2			English for Global IssuesⅠ	2		
マルチメディア (Multimedia)	2			マルチメディア (Multimedia)	2		
TOEIC®向上講座Ⅱ	2			TOEIC®向上講座Ⅱ	2		
英文法	2			英文法	2		
英語の音声	2			英語の音声	2		
アメリカの文化と社会	1	アメリカの文化と社会	2	アメリカの文化と社会	1	アメリカの文化と社会	2
イギリスの文化と社会	1	イギリスの文化と社会	2	イギリスの文化と社会	1	イギリスの文化と社会	2
英米文学特講Ⅰ (イギリス小説)	2			英米文学特講Ⅰ (イギリス小説)	2		
英米文学特講Ⅱ (アメリカ小説)	2			英米文学特講Ⅱ (アメリカ小説)	2		
English for Global IssuesⅡ	2			English for Global IssuesⅡ	2		
English PresentationⅠ	3			English PresentationⅠ	3		
English PresentationⅡ	3			English PresentationⅡ	3		
Advanced ReadingⅢ	3			Advanced ReadingⅢ	3		
Advanced ReadingⅣ	3			Advanced ReadingⅣ	3		
Academic WritingⅠ	3			Academic WritingⅠ	3		
Academic WritingⅡ	3			Academic WritingⅡ	3		
ビジネス英語上級	3			ビジネス英語上級	3		
英語史	2			英語史	2		
英語音声学Ⅰ	2			英語音声学Ⅰ	2		
英語音声学Ⅱ	2			英語音声学Ⅱ	3		
アメリカ文学史	2			アメリカ文学史	2		
イギリス文学史	2			イギリス文学史	2		
英米文化特講	3			英米文化特講	3		
World History	1	国際政治史	2	World History	1	国際政治史	2
千葉学	1			千葉学Ⅰ	1		
東南アジア	2			東南アジア	2		
中国	2			中国	2		
ヨーロッパ (EU)	2			ヨーロッパ (EU)	2		
中東・イスラム圏	2			中東・イスラム圏	2		
アフリカ	2			アフリカ	2		
アメリカ	2			American Mosaic	2		
比較文化論	2	比較文化論	2	比較文化論	2	比較文化論	2
現代日本政治・社会	2			現代日本政治・社会	2		
多文化共生	3			多文化共生	3		
フィールド調査	3	フィールド調査	3	フィールド調査	2	フィールド調査	3
ヒトの国際移動	2			ヒトの国際移動	2		
千葉学実践Ⅰ	2			千葉学実践Ⅰ	2		

Ⅲ
カリキュラム表

		21カリキュラム		20カリキュラム		
		21国際学科		20国際学科		
21カリ区分		科目名	学年	科目名	学年	
専 門 科 目 （ 地 域 デ ザ イ ン 専 攻）	発 展	民法Ⅱ	2			
		労働法	2			
		地域学Ⅱ（日本・アメリカ）	3	日米関係	3	
		地域学Ⅱ（日本・ヨーロッパ）	3			
		地域学Ⅱ（日本・東アジア）	3	日中関係	3	
		地域学Ⅱ（日本・東南アジア）	3	日本・東南アジア関係	3	
		地域学Ⅱ（日本・中東）	3	日本・中東関係	3	
		地域学Ⅱ（日本・アフリカ）	3	日本・アフリカ関係	3	
		世界の人権問題	3	世界の人権問題	3	
	日 本 語 教 師 養 成	日本語教育入門	1	日本語教育入門	2	
		現代日本語文法Ⅰ	2	現代日本語文法Ⅰ	2	
		現代日本語文法Ⅱ	2	現代日本語文法Ⅱ	2	
		心理言語学	2	心理言語学	2	
		日本語教育方法論	2	日本語教育方法論	2	
		日本文化論	2	日本文化論	2	
		日本語教育研究Ⅰ	2	日本語教育研究Ⅰ	3	
		日本語教育研究Ⅱ	3	日本語教育研究Ⅱ	3	
		教育実習指導（日本語）	3	日本語教育実習	3	
		専 門 科 目 （ 国 際 ビ ジ ネ ス 専 攻）	導 入	入門経済学	1	入門経済学
入門経営学	1			入門経営学	1	
国際法Ⅰ	2			国際法	2	
データサイエンス総論	1			データサイエンス総論	1	
空港ビジネス	1			空港ビジネス	1	
入門ツーリズムⅠ	1			入門ツーリズムⅠ	1	
基 本	空 港 ビ ジ ネ ス		入門ツーリズムⅡ	1	入門ツーリズムⅡ	1
			ホスピタリティ	1	ホスピタリティ	1
			国際経済学	2	国際経済学	2
	国 際 経 済 ・ 経 営		金融論	2	金融論	2
			国際法Ⅱ	2	国際協力法	3
			国際経営	2	国際経営	2
			簿記会計基礎Ⅰ	2	簿記会計基礎Ⅰ	2
			簿記会計基礎Ⅱ	2	簿記会計基礎Ⅱ	2
	マーケティング		2	マーケティング	2	
	A I ・ デ ー タ サ イ エ ン ス		英語で学ぶPython	1		
			アルゴリズム論	2	アルゴリズム論	2
			マーケティングリサーチⅠ	2	マーケティングリサーチⅠ	2
			マーケティングリサーチⅡ	2	マーケティングリサーチⅡ	2
観光マーケティング調査		2	観光マーケティング調査	2		
社会調査法Ⅰ		2	社会調査法Ⅰ	2		
社会調査法Ⅱ		2	社会調査法Ⅱ	2		
AI概論	2	AI概論	2			
空 港 ビ ジ ネ ス	プログラミング	2	プログラミング	2		
	エアライン論	2	エアライン論	2		
	観光事業論Ⅰ	2	観光事業論Ⅰ	2		
	観光事業論Ⅱ	2	観光事業論Ⅱ	2		
	旅行ビジネス論	2	旅行ビジネス論	2		
	地域観光論	2	地域観光論	2		
発 展	ホテル・ビジネス論	2	ホテル・ビジネス論	2		
	国際金融論	3	国際金融論	3		
	国際貿易論	3	国際貿易論	3		
	国際経済とビジネスの法	3				
	国際会計	3	国際会計	3		
	企業ファイナンス	3	企業ファイナンス	3		
	情報ビジネス論	3	情報ビジネス論	3		
	社会調査実習Ⅰ	3	社会調査実習Ⅰ	3		
	社会調査実習Ⅱ	3	社会調査実習Ⅱ	3		
	航空物流論	3	航空物流論	3		
導 入	入門経営学	1	入門経営学	1		
	経営学	1	経営学	1		
	入門ツーリズムⅠ	1	入門ツーリズムⅠ	1		
	入門ツーリズムⅡ	1	入門ツーリズムⅡ	1		

19カリキュラム				18カリキュラム			
19国際学科		19・20こども教育学科		18国際学科		18こども教育学科	
科目名	学年	科目名	学年	科目名	学年	科目名	学年
日米関係	3			日米関係	3		
日中関係	3	日中関係	3	日中関係	3	日中関係	3
日本・東南アジア関係	3	日本・東南アジア関係	3	日本・東南アジア関係	3	日本・東南アジア関係	3
日本・中東関係	3			日本・中東関係	3		
日本・アフリカ関係	3			日本・アフリカ関係	3		
世界の人権問題	3	世界の人権問題	3	世界の人権問題	3	世界の人権問題	3
日本語教育入門	2	日本語教育入門	2	日本語教育入門	2	日本語教育入門	2
現代日本語文法Ⅰ	2	現代日本語文法Ⅰ	2	現代日本語文法Ⅰ	2	現代日本語文法Ⅰ	2
現代日本語文法Ⅱ	2	現代日本語文法Ⅱ	2	現代日本語文法Ⅱ	2	現代日本語文法Ⅱ	2
心理言語学	2	心理言語学	2	心理言語学	2	心理言語学	2
日本語教育方法論	2	日本語教育方法論	2	日本語教育方法論	2	日本語教育方法論	2
日本文化論	2	日本文化論	2	日本文化論	2	日本文化論	2
日本語教育研究Ⅰ	3	日本語教育研究Ⅰ	3	日本語教育研究Ⅰ	3	日本語教育研究Ⅰ	3
日本語教育研究Ⅱ	3	日本語教育研究Ⅱ	3	日本語教育研究Ⅱ	3	日本語教育研究Ⅱ	3
日本語教育実習	3	日本語教育実習	3	日本語教育実習	3	日本語教育実習	3
入門経済学	1			入門経済学	1		
入門経営学	1			入門経営学	1		
国際法	2	国際法	2	国際法	2	国際法	2
データサイエンス総論	1						
空港ビジネス	1			空港ビジネス	1		
入門ツーリズムⅠ	1			入門ツーリズム	1		
入門ツーリズムⅡ	1						
ホスピタリティ	1			ホスピタリティ	1		
国際経済学	2			国際経済学	2		
金融論	2			金融論	2		
国際協力法	3	国際協力法	3	国際協力法	3	国際協力法	3
国際経営	2			国際経営	2		
簿記会計基礎Ⅰ	2			簿記会計基礎Ⅰ	2		
簿記会計基礎Ⅱ	2			簿記会計基礎Ⅱ	2		
マーケティング	2			マーケティング	2		
アルゴリズム論	2			アルゴリズム論	2		
マーケティングリサーチⅠ	2	マーケティングリサーチⅠ	2	マーケティングリサーチⅠ	2	マーケティングリサーチⅠ	2
マーケティングリサーチⅡ	2	マーケティングリサーチⅡ	3	マーケティングリサーチⅡ	3	マーケティングリサーチⅡ	3
観光マーケティング調査	2						
社会調査法Ⅰ	2	社会調査法Ⅰ	2	社会調査法Ⅰ	2	社会調査法Ⅰ	2
社会調査法Ⅱ	2	社会調査法Ⅱ	2	社会調査法Ⅱ	2	社会調査法Ⅱ	2
AI概論	2						
プログラミング	2						
エアライン論	2			エアライン論	2		
観光事業論Ⅰ	2			観光事業論Ⅰ	2		
観光事業論Ⅱ	2			観光事業論Ⅱ	2		
旅行ビジネス論	2			旅行ビジネス論	2		
地域観光論	2			地域観光論	2		
ホテル・ビジネス論	2						
国際金融論	3			国際金融論	3		
国際貿易論	3			国際貿易論	3		
国際会計	3			国際会計	3		
企業ファイナンス	3			企業ファイナンス	3		
情報ビジネス論	3			情報ビジネス論	3		
社会調査実習Ⅰ	3	社会調査実習Ⅰ	3	社会調査実習Ⅰ	3	社会調査実習Ⅰ	3
社会調査実習Ⅱ	3	社会調査実習Ⅱ	3	社会調査実習Ⅱ	3	社会調査実習Ⅱ	3
航空物流論	3			航空物流論	3		
入門経営学	1			入門経営学	1		
経営学	1						
入門ツーリズムⅠ	1			入門ツーリズム	1		
入門ツーリズムⅡ	1						

Ⅲ
カリキュラム表

		21カリキュラム		20カリキュラム			
		21国際学科		20国際学科			
21カリ区分		科目名	学年	科目名	学年		
専門科目 (観光マネジメント専攻)	導入	観光	空港ビジネス	1	空港ビジネス	1	
		観光	ホスピタリティ	1	ホスピタリティ	1	
		観光	アメリカの文化と社会	1	アメリカの文化と社会	1	
		観光	イギリスの文化と社会	1	イギリスの文化と社会	1	
	経営	経営	国際経営	2	国際経営	2	
		経営	簿記会計基礎Ⅰ	2	簿記会計基礎Ⅰ	2	
		経営	簿記会計基礎Ⅱ	2	簿記会計基礎Ⅱ	2	
		経営	千葉県の産業と行政	2	千葉県の産業と行政	2	
		経営	マーケティング	2	マーケティング	2	
		経営	サービス産業論	2	サービス産業論	2	
		経営	管理会計論	2			
		経営	流通経営論	2	流通経営論	2	
		経営	観光事業論Ⅰ	2	観光事業論Ⅰ	2	
		経営	観光事業論Ⅱ	2	観光事業論Ⅱ	2	
		経営	交通論	2	交通論	2	
		経営	旅行ビジネス論	2	旅行ビジネス論	2	
	観光	観光	ホテル・ビジネス論	2	ホテル・ビジネス論	2	
		観光	エアライン論	2	エアライン論	2	
		観光	地域観光論	2	地域観光論	2	
		観光	観光英語Ⅰ	2	観光英語Ⅰ	2	
		観光	観光英語Ⅱ	2	観光英語Ⅱ	2	
		観光	観光政策論	2	観光政策論	2	
		観光	観光統計	2	観光統計	2	
		観光	観光マーケティング調査	2	観光マーケティング調査	2	
		異文化理解	異文化理解	日本文化論	2	日本文化論	2
			異文化理解	比較文化論	2	比較文化論	2
			異文化理解	現代市民社会	2	現代日本政治・社会	2
			異文化理解	グローバル政治	2	グローバル政治	2
	異文化理解		地域学Ⅰ(東アジア)	2	中国	2	
	異文化理解		地域学Ⅰ(東南アジア)	2	東南アジア	2	
	異文化理解		地域学Ⅰ(ヨーロッパ)	2	ヨーロッパ(EU)	2	
	発展	発展	地域学Ⅰ(アフリカ)	2	アフリカ	2	
		発展	地域学Ⅰ(アメリカ)	2	アメリカ	2	
		発展	地域学Ⅰ(中東)	2	中東・イスラム圏	2	
		発展	情報ビジネス論	3	情報ビジネス論	3	
	観光	観光	世界遺産研究	3	世界遺産研究	3	
		観光	千葉の観光研究	3	千葉の観光研究	3	
		観光	観光マーケティング	3	観光マーケティング	3	
		観光	多文化共生社会	3	多文化共生	3	
	専門研究	専門研究	2年次専門研究Ⅰ	2	2年次専門研究Ⅰ	2	
専門研究		2年次専門研究Ⅱ	2	2年次専門研究Ⅱ	2		
専門研究		3年次専門研究Ⅰ	3	3年次専門研究Ⅰ	3		
専門研究		3年次専門研究Ⅱ	3	3年次専門研究Ⅱ	3		
専門研究		4年次専門研究Ⅰ	4	4年次専門研究Ⅰ	4		
専門研究		4年次専門研究Ⅱ	4	4年次専門研究Ⅱ	4		
専門研究		卒業論文	4	卒業論文	4		
キャリア科目	キャリア科目	キャリアプランニング	1	キャリアプランニング	1		
	キャリア科目	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2		
	キャリア科目	キャリアディベロップメント	2	キャリアディベロップメント	2		
	キャリア科目	キャリア基礎開発Ⅰ	3	キャリア基礎開発Ⅰ	3		
	キャリア科目	キャリア基礎開発Ⅱ	3	キャリア基礎開発Ⅱ	3		
	キャリア科目	キャリア基礎開発Ⅲ	3	キャリア基礎開発Ⅲ	3		
	キャリア科目	インターンシップⅠ	3	インターンシップⅠ	3		
	キャリア科目	インターンシップⅡ	3	インターンシップⅡ	3		
自由選択科目	実習科目	海外語学研修Ⅰ	1	海外語学研修Ⅰ	1		
	実習科目	海外語学研修Ⅱ	1	海外語学研修Ⅱ	1		
	実習科目	海外スクーリングⅠ	1	海外スクーリングⅠ	1		
	実習科目	海外スクーリングⅡ	1	海外スクーリングⅡ	1		
	実習科目	国内スクーリングⅠ	1	国内スクーリングⅠ	1		
	実習科目	国内スクーリングⅡ	1	国内スクーリングⅡ	1		
	実習科目	オンライン英会話Ⅰ	1	スカイプ英会話Ⅰ	1		
実習科目	オンライン英会話Ⅱ	1	スカイプ英会話Ⅱ	1			

19カリキュラム				18カリキュラム			
19国際学科		19・20こども教育学科		18国際学科		18こども教育学科	
科目名	学年	科目名	学年	科目名	学年	科目名	学年
空港ビジネス	1			空港ビジネス	1		
ホスピタリティ	1			ホスピタリティ	1		
アメリカの文化と社会	1	アメリカの文化と社会	2	アメリカの文化と社会	1	アメリカの文化と社会	2
イギリスの文化と社会	1	イギリスの文化と社会	2	イギリスの文化と社会	1	イギリスの文化と社会	2
国際経営	2			国際経営	2		
簿記会計基礎Ⅰ	2			簿記会計基礎Ⅰ	2		
簿記会計基礎Ⅱ	2			簿記会計基礎Ⅱ	2		
千葉県の産業と行政	2			千葉学Ⅱ	2		
マーケティング	2			マーケティング	2		
サービス産業論	2						
流通経営論	2			流通経営論	2		
観光事業論Ⅰ	2			観光事業論Ⅰ	2		
観光事業論Ⅱ	2			観光事業論Ⅱ	2		
交通論	2						
旅行ビジネス論	2			旅行ビジネス論	2		
ホテル・ビジネス論	2						
エアライン論	2			エアライン論	2		
地域観光論	2			地域観光論	2		
観光英語Ⅰ	2			観光通訳英語Ⅰ	2		
観光英語Ⅱ	2			観光通訳英語Ⅱ	2		
観光政策論	2						
観光統計	2						
観光マーケティング調査	2						
日本文化論	2	日本文化論	2	日本文化論	2	日本文化論	2
比較文化論	2	比較文化論	2	比較文化論	2	比較文化論	2
現代日本政治・社会	2			現代日本政治・社会	2		
グローバル政治	2	グローバル政治	2	グローバル政治	2	グローバル政治	2
中国	2			中国	2		
東南アジア	2			東南アジア	2		
ヨーロッパ (EU)	2			ヨーロッパ (EU)	2		
アフリカ	2			アフリカ	2		
アメリカ	2			American Mosaic	2		
中東・イスラム圏	2			中東・イスラム圏	2		
情報ビジネス論	3			情報ビジネス論	3		
世界遺産研究	3						
千葉の観光研究	3						
観光マーケティング	3						
多文化共生	3			多文化共生	3		
2年次専門研究Ⅰ	2	2年次専門研究Ⅰ	2	2年次専門研究Ⅰ	2	2年次専門研究Ⅰ	2
2年次専門研究Ⅱ	2	2年次専門研究Ⅱ	2	2年次専門研究Ⅱ	2	2年次専門研究Ⅱ	2
3年次専門研究Ⅰ	3	3年次専門研究Ⅰ	3	3年次専門研究Ⅰ	3	3年次専門研究Ⅰ	3
3年次専門研究Ⅱ	3	3年次専門研究Ⅱ	3	3年次専門研究Ⅱ	3	3年次専門研究Ⅱ	3
4年次専門研究Ⅰ	4	4年次専門研究Ⅰ	4	4年次専門研究Ⅰ	4	4年次専門研究Ⅰ	4
4年次専門研究Ⅱ	4	4年次専門研究Ⅱ	4	4年次専門研究Ⅱ	4	4年次専門研究Ⅱ	4
卒業論文	4	卒業論文	4	卒業論文	4	卒業論文	4
キャリアプランニング	1	キャリアプランニング	1	キャリアプランニング	1		
キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2
キャリアディベロップメント	2	キャリアディベロップメント	2	キャリアディベロップメント	2	キャリアディベロップメント	2
キャリア基礎開発Ⅰ	3	キャリア基礎開発Ⅰ	3	キャリア基礎開発Ⅰ	3	キャリア基礎開発Ⅰ～ビジネスシミュレーション～	3
キャリア基礎開発Ⅱ	3	キャリア基礎開発Ⅱ	3	キャリア基礎開発Ⅱ	3		
キャリア基礎開発Ⅲ	3	キャリア基礎開発Ⅲ	3	キャリア基礎開発Ⅲ	3		
インターンシップⅠ	3	インターンシップⅠ	3	インターンシップ	3		
インターンシップⅡ	3	インターンシップⅡ	3				
海外語学研修Ⅰ	1	海外語学研修Ⅰ	1	海外語学研修Ⅰ	1	海外語学研修Ⅰ	1
海外語学研修Ⅱ	1	海外語学研修Ⅱ	1	海外語学研修Ⅱ	1	海外語学研修Ⅱ	1
海外スクーリングⅠ	1	海外スクーリングⅠ	1	海外スクーリングⅠ	1	海外スクーリングⅠ	1
海外スクーリングⅡ	1	海外スクーリングⅡ	1	海外スクーリングⅡ	1	海外スクーリングⅡ	1
国内スクーリングⅠ	1	国内スクーリングⅠ	1	国内スクーリングⅠ	1	国内スクーリングⅠ	1
国内スクーリングⅡ	1	国内スクーリングⅡ	1	国内スクーリングⅡ	1	国内スクーリングⅡ	1
スカイプ英会話Ⅰ	1			スカイプ英会話Ⅰ	1		
スカイプ英会話Ⅱ	1			スカイプ英会話Ⅱ	1		

Ⅲ
カリキュラム表

		21カリキュラム		20カリキュラム	
		21国際学科		20国際学科	
21カリ区分		科目名	学年	科目名	学年
自由選択科目	その他	進路支援講座Ⅰ	1	進路支援講座Ⅰ	1
		進路支援講座Ⅱ	1	進路支援講座Ⅱ	1
		進路支援講座(公務員)Ⅲ	2	進路支援講座(公務員)Ⅲ	2
		進路支援講座(ITパスポート)Ⅲ	2	進路支援講座(ITパスポート)Ⅲ	2
		進路支援講座(公務員)Ⅳ	2	進路支援講座(公務員)Ⅳ	2
		進路支援講座(ITパスポート)Ⅳ	2	進路支援講座(ITパスポート)Ⅳ	2
		進路支援講座(公務員)Ⅴ	3	進路支援講座(公務員)Ⅴ	3
		進路支援講座(日経新聞を読む)Ⅴ	2	進路支援講座(日経新聞を読む)Ⅴ	2
		進路支援講座(公務員)Ⅵ	3	進路支援講座(公務員)Ⅵ	3
		進路支援講座(日経新聞を読む)Ⅵ	2	進路支援講座(日経新聞を読む)Ⅵ	2
自由選択科目	ITパスポート・NARA 地域産業科目	他大学・他学部・他学科・単位互換科目		他大学・他学部・他学科・単位互換科目	
		地方財政論Ⅰ	2	地方財政論Ⅰ	2
		地方財政論Ⅱ	2	地方財政論Ⅱ	2
		地域産業論	2	地域産業論	2
		中小企業論Ⅰ	2	中小企業論Ⅰ	2
		中小企業論Ⅱ	2	中小企業論Ⅱ	2
		経営立地論	2	経営立地論	2
		教育原論	1	教育原論	1
		教育課程論	1	教育課程論	1
		教育心理学	1	教育心理学	1
教職及び教科に関する科目		発達心理学	1	発達心理学	1
		特別支援教育概論	2	特別支援教育概論	2
		教職概論	1	教職概論	1
		教育行政	2	教育行政	2
		教育法規	2	教育法規	2
		英語科指導法Ⅰ	2	英語科指導法Ⅰ	2
		英語科指導法Ⅱ	2	英語科指導法Ⅱ	2
		英語科指導法Ⅲ	2	英語科指導法Ⅲ	2
		英語科指導法Ⅳ	2	英語科指導法Ⅳ	2
		道德教育指導法	2	道德教育指導法	2
		総合的な学習の時間の指導法	2	総合的な学習の時間の指導法	2
		特別活動指導法	2	特別活動指導法	2
		教育方法・技術論	2	教育方法・技術論	2
		生徒・進路指導論	2	生徒・進路指導論	2
		教育相談	2	教育相談	2
		教育実習指導	3	教育実習指導	3
		中学校教育実習	4	中学校教育実習	4
		高等学校教育実習	4	高等学校教育実習	4
		教職実践演習(中・高)	4	教職実践演習(中・高)	4

※科目区分は入学年度によって異なります。各入学年度のカリキュラム表を確認してください。

19カリキュラム				18カリキュラム			
19国際学科		19・20こども教育学科		18国際学科		18こども教育学科	
科目名	学年	科目名	学年	科目名	学年	科目名	学年
進路支援講座 I	1			進路支援講座 I	1		
進路支援講座 II	1			進路支援講座 II	1		
進路支援講座 (公務員) III	2			進路支援講座 (公務員) III	2		
進路支援講座 (ITパスポート) III	2			進路支援講座 (ITパスポート) III	2		
進路支援講座 (公務員) IV	2			進路支援講座 (公務員) IV	2		
進路支援講座 (ITパスポート) IV	2			進路支援講座 (ITパスポート) IV	2		
進路支援講座 (公務員) V	3			進路支援講座 (公務員) V	3		
進路支援講座 (日経新聞を読む) V	2			進路支援講座 (日経新聞を読む) V	2		
進路支援講座 (公務員) VI	3			進路支援講座 (公務員) VI	3		
進路支援講座 (日経新聞を読む) VI	2			進路支援講座 (日経新聞を読む) VI	2		
他大学・他学部・他学科・単位互換科目				他大学・他学部・他学科・単位互換科目			
地方財政論 I	2			地方財政論 I	2		
地方財政論 II	2			地方財政論 II	2		
地域産業論	2			地域産業論	2		
中小企業論 I	2			中小企業論 I	2		
中小企業論 II	2			中小企業論 II	2		
経営立地論	2			経営立地論	2		
教育原論	1	教育原論	1	教育原論	1	教育原論	1
教育課程論	1			教育課程論	1		
教育心理学	1	教育心理学	1	教育心理学	1	教育心理学	1
発達心理学	1	発達心理学	1	発達心理学	1	発達心理学	1
特別支援教育概論	2			特別支援教育概論	2		
教職概論	1	教職概論	1	教職概論	1	教職概論	1
教育行政	2	教育行政	2	教育行政	2	教育行政	2
教育法規	2	教育法規	2	教育法規	2	教育法規	2
英語科指導法 I	2			英語科指導法 I	2		
英語科指導法 II	2			英語科指導法 II	2		
英語科指導法 III	2			英語科指導法 III	2		
英語科指導法 IV	2			英語科指導法 IV	2		
道徳教育指導法	2			道徳教育指導法	2		
総合的な学習の時間の指導法	2			総合的な学習の時間の指導法	2		
特別活動指導法	2			特別活動指導法	2		
教育方法・技術論	2			教育方法・技術論	2		
生徒・進路指導論	2			生徒・進路指導論	2		
教育相談	2			教育相談	2		
教育実習指導	3			教育実習指導	3		
中学校教育実習	4			中学校教育実習	4		
高等学校教育実習	4			高等学校教育実習	4		
教職実践演習 (中・高)	4			教職実践演習 (中・高)	4		

Ⅲ
カリキュラム表

Ⅲ

カリキュラム表 教育学部

教育学部

1. こども教育学科 2021カリキュラム表.....	200
-----------------------------	-----

1

こども教育学科2021カリキュラム表(2021年度入学者)

1. 「敬愛大学学則」及び「教育学部規程」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。こども教育学科では、教養科目、外国語科目、キャリア科目、専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目、専門研究を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。
2. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目、集中講義及び課外研修によって行います。ただし、「Ⅰ・Ⅱ」科目の「Ⅱ」の履修にあっては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 1年次は「1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を、2年次は「2年応用研究Ⅰ・Ⅱ」を履修し、研究に必要な技能及び専門知識を身につけます。3年次には所属ゼミを選択し、2年間同一教員の指導のもと「3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」、「4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」で、より専門的に学んでいきます。
4. こども教育学科では小学校教諭一種免許状を取得するために、1・2年次はほぼ履修する科目が決定しています。これは3年次後期に控える教育実習に必要な技能及び専門知識を身につけ、教育実習に臨むように期待しているためです。

特色ある教育

建学の精神を学ぶ「敬天愛人講座」

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、他者には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、自律した品格のある人間に成るよう努力します。

子供を総合的に理解

子供の教育の根幹を支える各教科等指導力育成を目的として、概説科目と各教科等指導法科目を段階的に配置し、学生達が履修出来るようにしています。また、教育学の基礎や現代の学校教育が抱える諸問題などについて、幅広く探求的に学ぶ本学科の特色となる「こども学Ⅰ・Ⅱ」は、様々な視点から子供や教育に関わる内容を学生が主体的に学ぶことができます。

国際社会の理解、多様な価値観の習得

学生に広い視野で物事をとらえる能力を身に付ける。教育学部こども教育学科は、国際学部こども教育学科から改組転換をしたことから、国際社会を理解する上で、一部国際学部の主要科目を配置しています。「国際関係入門」、「異文化コミュニケーション」、「比較文化論」などの科目を履修することで多様な価値観を学ぶことができます。

実践的活動

学んだことを実践する、実践することで学ぶという両面から、1年次より「ボランティア活動」、「海外スクーリングⅠ・Ⅱ」、「海外語学研修Ⅰ・Ⅱ」を配置し、学生の視野を広げ実践的な活動をすることができます。海外語学研修では英語、中国語、韓国語が海外の協定校において、夏休みと春休みの長期休暇を利用して学ぶことができます。

※国内外の情勢によっては実施できない場合もあります。

各学年における到達目標

履修年次		到達目標		
年次	時期			
1年次	前期	1	大学での学び方を知る。	
		2	国際的な視野を持つ基礎力を養う。	
		3	基礎学力（文章能力・情報処理能力・英語力等）を身に付ける。	
		4	教育の基礎的理解に関する科目を学ぶ。	
		5	小学校半日参観・教育ボランティア活動等を通して、子ども理解・学校という教育現場を実践的に学ぶ。	
	後期	1	基礎学力（口頭表現力・コミュニケーション能力・情報処理能力・英語力等）をより身に付ける。	
		2	教育の基礎的理解に関する科目・小学校の教科について知る。	
		3	問題解決のための多面的思考力を身に付ける。	
4		教育ボランティア活動等を通して、子ども理解・学校という教育現場を実践的に学ぶ。		
2年次	前後期	1	教育に対する諸問題を知り、その原因や解決策について考える。	
		2	介護等体験で、特別支援学校や施設で実習する。	
		3	教職科目、小学校の教科について知り、教科の指導法を学ぶ。	
		4	教育ボランティア活動等を通して、子ども理解を図り、学校という教育現場を知る。	
		5	小学校の教科の指導法・道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目について学ぶ。	
3年次	前期	1	特別の教科道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目について学ぶ。	
		2	学校現場でのボランティア活動（ちば！教職たまごプロジェクト等）に参加し、子ども理解・学校という教育現場の理解を深める。	
		3	教育の基礎的理解に関する科目について学ぶ。	
		4	国際的な視野で物事をとらえ、知識・理解を深める。	
	後期	1	教育実習を通して、子ども理解・教職という仕事について理解を深めるとともに、自己の教職への適性を考える。	
		前期	1	教育実習で得た学び・経験をふまえ、自身の今後の研究や実践の課題として整理する。
			2	卒業研究に向けて自身のテーマを見定め、理論と実践の両面で教育への理解を深めていく。
4年次	後期	1	卒業研究を通して、問題解決能力・論理的思考力・文章表現力を高める。	
		2	教師になるにあたり自己の強みと課題を自覚し、教職課程4年間を総括し、学校現場で必要となる実践的な力を養う。	
		3	職業人として実社会に出る自覚を持てるようにする。	

こども教育学科 2021 カリキュラム表 (2021 年度入学者)

科目区分		こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎ 必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○ 履修を推奨する科目 (重要科目) ☆ 能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数	
					DP1	DP2	DP3	DP4		
					こども教育					
教 養 教 育 科 目	教 養 科 目	敬天愛人講座	2	1年～		○			必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目	12単位必修 必修科目以外の科目を8単位以上選択
		□頭表現	2	1年～			◎			
		文章表現	2	1年～			◎			
		哲学	2	1年～	○					
		文学	2	1年～	○					
		国際関係入門	2	1年～			◎			
		法学	2	1年～	○					
		憲法	2	1年～	○					
		歴史学	2	1年～	○					
		心理学	2	1年～	○					
		基礎数学	2	1年～	○					
		基礎統計	2	1年～	○					
		健康運動科学	2	1年～			○			
		ボランティア活動	2	1年～			○	○		
		情報概論	2	1年～			○			
	情報処理 I (情報基礎)	1	1年～			◎				
	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	1年～			◎				
	海外スクーリング I	2	1年～		○	○	○			
	海外スクーリング II	2	1年～		○	○	○			
	外 国 語 科 目	College English I	2	1年～			◎			
		College English II	2	1年～			◎			
		College English III	2	2年～		○				
		College English IV	2	2年～		○				
		Writing I	1	1年～		○				
		Writing II	1	1年～		○				
		Listening I	1	1年～		○				
		Listening II	1	1年～		○				
		Speaking I	1	1年～		○				
		Speaking II	1	1年～		○				
		Debate I	1	1年～		○				
Debate II		1	1年～		○					
Mother Goose		1	1年～		○					
海外語学研修 I		2	1年～		○	○	○			
海外語学研修 II		2	1年～		○	○	○			
キ ャ リ ア 科 目	キャリアプランニング	2	1年～			○	○			
	キャリアデザイン	2	2年～			○	○			
	キャリアディベロップメント	2	2年～			○	○			

科目区分		こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎ 必ず履修すべき科目(最重要科目) ○ 履修を推奨する科目(重要科目) ☆ 能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数	
					DP1	DP2	DP3	DP4		
こども教育 学	DP1：子供を総合的に理解し、教育の専門性を身に付ける。 DP2：国際社会を理解し、多様な価値観を認める。 DP3：豊かなコミュニケーション能力を身に付ける。 DP4：実践的活動を通して地域に貢献する力を身に付ける。									
	専門基礎科目	教育原論(小学校)	2	1年～	◎					必修科目
		発達心理学(小学校)	2	1年～	◎					必修科目
		教育行政	2	2年～	○					
		教育課程論(小学校)	2	1年～	◎					必修科目
		教職概論(小学校)	2	1年～	◎					必修科目
		教育方法・技術論(小学校)	2	2年～	○					必修科目
		国語(書写を含)	2	2年～	○					
		社会	2	2年～	○					
		算数	2	2年～	○					
		理科	2	1年～	○					
		生活	2	2年～	○					
		音楽	2	1年～	○					
		図画工作	2	1年～	○					
		家庭	2	1年～	○					
		体育	2	1年～	○					
	小学校英語 I	2	1年～	◎		○			必修科目	
	小学校英語 II	2	2年～	○		○				
	専門教育科目	1年基礎演習 I	1	1年～	○	○	◎	○		必修科目
		1年基礎演習 II	1	1年～	○	○	◎	○		必修科目
		2年応用演習 I	1	2年～	○	○	◎	○		必修科目
		2年応用演習 II	1	2年～	○	○	◎	○		必修科目
		こども学 I	2	2年～	◎	○	○	○		必修科目
		こども学 II	2	3年～	◎	○	○	○		必修科目
		教育心理学(小学校)	2	2年～	◎					必修科目
		教育法規	2	2年～	○					
		生徒・進路指導論(小学校)	2	3年～	○					必修科目
		特別支援教育概論(小学校)	2	3年～	○					必修科目
		教育相談(小学校)	2	3年～	○					
		初等国語科指導法	2	2年～	○					必修科目
		初等社会科指導法	2	2年～	○					必修科目
		算数科指導法	2	2年～	○					必修科目
		初等理科指導法	2	2年～	○					必修科目
生活科指導法		2	3年～	○					必修科目	
初等音楽科指導法		2	2年～	○					必修科目	
図画工作科指導法		2	1年～	○					必修科目	
初等家庭科指導法	2	1年～	○					必修科目		
初等体育科指導法	2	1年～	○					必修科目		
小学校英語指導法 I	2	2年～	○					必修科目		
小学校英語指導法 II	2	3年～	○							
道徳教育指導法(小学校)	2	3年～	○					必修科目		
総合的な学習の時間の指導法(小学校)	2	2年～	○					必修科目		
特別活動指導法(小学校)	2	3年～	○							

60単位必修
必修科目以外の科目を36単位以上選択

Ⅲ
カリキュラム表

学科DP こども教育		DP1：子供を総合的に理解し、教育の専門性を身に付ける。 DP2：国際社会を理解し、多様な価値観を認める。 DP3：豊かなコミュニケーション能力を身に付ける。 DP4：実践的活動を通して地域に貢献する力を身に付ける。						
科目区分	こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎ 必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○ 履修を推奨する科目 (重要科目) ☆ 能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数
				DP1	DP2	DP3	DP4	
専門 展開 科目	文学教材研究	2	2年～	○				必修科目 60単位必修 必修科目以外の科目を36単位以上選択
	数と形の不思議	2	2年～	○				
	プログラミング教育	2	2年～	○				
	理科の観察実験	1	2年～	○				
	科学教育論	2	2年～	○				
	音楽と表現	1	2年～	○				
	造形と表現	1	2年～	○				
	教育社会学	2	2年～	○				
	メディアリテラシー教育	2	2年～	○	○			
	学校の安全教育	2	2年～	○				
	学級担任と読書	2	2年～	○				
	社会教育概論	2	2年～	○	○			
	多文化教育論	2	2年～	○	○			
	世界のこども教育	2	2年～	○	○			
	教育哲学	2	2年～	○	○			
	こども教育演習Ⅰ	1	3年～	○			○	
	こども教育演習Ⅱ	1	3年～	○			○	
	こども教育演習Ⅲ	1	4年～	○			○	
	教育実習指導 (小学校)	1	3年～	○			○	
	教育実習 (小学校)	4	3年～	○		○	○	
	教職実践演習 (小学校)	2	4年～	○		○	○	
日本語学	2	2年～			○			
異文化コミュニケーション	2	2年～			○			
比較文化論	2	2年～			○			
日本文化論	2	2年～			○			
児童文学論	2	2年～			○			
英米児童文学	2	2年～			○			
専門 研究	3年次専門研究Ⅰ	2	3年～	◎	○	○	○	必修科目
	3年次専門研究Ⅱ	2	3年～	◎	○	○	○	必修科目
	4年次専門研究Ⅰ	2	4年～	◎	○	○	○	必修科目
	4年次専門研究Ⅱ	2	4年～	◎	○	○	○	必修科目
	卒業研究	2	4年～	○	○	○	○	
卒業要件単位数124単位								

※ (重要) 注意事項：卒業要件単位数は124単位となります。
 教養教育科目 (必修12単位、必修以外8単位以上) + 専門教育科目 (必修60単位、必修以外36単位以上) = 必修72単位 + 必修以外44単位以上 = 116単位以上となります。
 卒業要件単位数124単位 - 116単位以上 = 8単位以上となります。8単位以上を抜け漏れなくしっかりと履修しましょう。

IV

副専攻・資格

1. AI・データサイエンス（経済・国際・教育）…………… 206
2. エアポートNARITA地域産業学（経済・国際・教育）…… 208
3. 日本語教員養成課程（国際・教育）…………… 210
4. 小学校英語教育講座（教育）…………… 212

IV

副専攻・資格

1 副専攻「AI・データサイエンス」

現代の社会はICT（情報通信技術）の急速な発達により、新しいライフ・スタイルやビジネス・モデルが次々に生まれ、私たちの生活や仕事を変えています。AI（Artificial Intelligence）の技術進歩も目覚ましく、今後ますます生活が便利になっていくでしょう。そして、人は本来の強みである「想像力・創造力」を発揮して仕事に注力できるようになります。このような時代に活躍するためには、データから様々な気づきを生み、新しい価値を創造する力が欠かせません。また、AIの適切な利用方法や活用の倫理を身につけておくことも大切です。

I 目的

本副専攻の目的は、AIやデータサイエンスの知識と技能、創造的思考力を身につけ、卒業後の社会におけるAIやデータサイエンスの活用の基礎力を育成することです。また、AIやデータサイエンスの進歩による社会の変化、技術の革新に対応する柔軟な力を養うことです。

求める学生像

AIやデータサイエンスの知識と技能の修得とその活用には、探究心や好奇心、自ら学び創意工夫する意欲が大切です。そのため本副専攻では、以下のような意欲を持つ学生を文系・理系の素養を問わず広く求めます。

1. AIやデータサイエンスの知識と技能を活用して、社会の様々な問題を深く探求したいと望む学生。
2. AIやデータサイエンスの知識と技能を活用して、卒業後の社会で新たな発見やアイデアを生み出すことに挑戦したいと望む学生。
3. AIやデータサイエンスの知識と技能を卒業後も自ら学び続け、学んだことを実践したいと望む学生。

II 履修及び修了要件

修了要件を満たした履修者に「AI・データサイエンス」分野を学んだことを敬愛大学が認証する「修了証」を授与します。以下の項目をすべて満たすことが必要です。この内容は2021年度入学者から適用されます。

- ① 本副専攻の履修を申し込み受理されていること。
- ② 本副専攻が定める必修科目の単位を修得した上、「情報」「統計」「専門領域」の各分野で指定された単位数以上を修得していること。
- ③ 本副専攻が指定する資格から1つ以上を取得していること。

【修了に必要な資格】（この中から1つ以上を取得）

- ・社会調査士
- ・Microsoft Office Specialist (MOS) (Excel)
- ・ITパスポート
- ・統計検定2級以上
- ・ビジネス数学検定3級以上
- ・G検定

・申し込み方法等の詳しい内容については、別途配布する『敬愛大学 副専攻「AI・データサイエンス」履修の手引き』を確認してください。

・2020年度以前の入学者は過去配布等行ったキャンパスライフを確認してください。

副専攻「AI・データサイエンス」履修要項（全学部）

分野	段階	科目名	開講年次	単位	履修区分			修了要件
					経済	国際	教育	
情報	導入	AI・DS（データサイエンス）へのいざない	1～	1	必修	必修	必修	11単位以上 必修
		英語で学ぶPython	1～	2				
	基礎	データサイエンス総論	1～	2	必修	必修	必修	
		情報概論	1～	2	必修	必修	必修	
		情報セキュリティ論	2～	2	必修	必修	必修	
		アルゴリズム論(*1)	2～	2	必修	必修	必修	
応用	AI概論	2～	2	必修	必修	必修		
	プログラミング	2～	2	推奨		推奨		
統計	導入	統計学Ⅰ（教育学部_科目名_基礎統計）	1～	2	必修	必修	必修	6単位以上 必修
		統計学Ⅱ	1～	2	必修	必修	必修	
	基礎	統計学総論Ⅰ	2～	2	推奨		推奨	
		統計学総論Ⅱ	2～	2	推奨			
		マーケティング・リサーチⅠ(*2)	2～	2		推奨	推奨	
		マーケティング・リサーチⅡ(*2)	2～	2		推奨	推奨	
	応用	観光マーケティング調査(*2)	2～	2		推奨		
		ビジネスデータ解析	2～	2	推奨			
専門領域	基礎	経済統計Ⅰ	2～	2	推奨			6単位以上 必修
		経済統計Ⅱ	2～	2	推奨			
		管理会計論	2～	2				
		社会調査法Ⅰ(*2)	2～	2		推奨		
	応用	社会調査法Ⅱ(*2)	2～	2		推奨		
		計量経済学Ⅰ	2～	2	推奨			
		計量経済学Ⅱ	2～	2	推奨			
		情報ビジネス論	3～	2	推奨			
		社会調査実習Ⅰ(*2)	3～	2		推奨		
		社会調査実習Ⅱ(*2)	3～	2		推奨		
修了要件単位数							23単位以上（うち必修15単位）	

(*1) クラス分け科目となります。各担当者のシラバスを確認の上、どちらか1科目を選択してください。

(*2) 社会調査士資格取得必要科目

Ⅲ 本副専攻を学ぶメリット

1 主専攻の学びがますます楽しくなる

学部学科の授業で学んだことをデータを使って探究すると、これまでに誰も気づけなかった新たな問題意識や仮説が生まれるかもしれません。データを使って自分の考えを深めていくと、主専攻への関心もますます深まり学ぶことの楽しさが一層実感できます。

2 就職活動で自分の強みとしてアピールできる

企業や自治体などで、今もっとも必要とされているのは、AIの長所・短所を理解しその活用方法を知る人材、データを駆使して新たな価値を創造できる人材です。この副専攻で学んだことは、就職活動で自分の強みとしてアピールできます。

3 すぐに使えるスキルが身につく

この副専攻では、情報科目で学ぶ集計表やグラフの作成などのスキルをさらに高めることができます。データの概要を捉えるのに力を発揮するこれらのスキルは、卒業後の社会でもすぐに使え、企業などでも必須とされています。

Ⅳ

副専攻・資格

2 副専攻「エアポートNARITA地域産業学」

日本の空の玄関口である成田国際空港には、エアラインや航空物流をはじめ観光・ホテル・流通・サービスなど多くの空港関連企業が集まっており、そこでは様々な職種の人がやりがいのある仕事に取り組んでいます。こうした成田国際空港を支えるスペシャリストを育成するのが、副専攻「エアポートNARITA地域産業学」です。各学科の学びに加えて、副専攻「エアポートNARITA地域産業学」の科目を体系的に学ぶことで、空港関連企業への就職が近づきます。

I 目的

成田国際空港やそれに関連する企業へ就業し、そこで活躍するために必要な実務能力と知性を磨くことを目標としています。そのために副専攻「エアポートNARITA地域産業学」の科目を体系的に学ぶことで主の専攻での専門性に加え、観光・物流・サービス分野の教養・知識や汎用性の高いスキル等の実践力を養うことです。

II 履修と修了要件

修了要件を満たした履修者に「エアポートNARITA地域産業学」分野を学んだことを敬愛大学が認証する「修了証」を授与します。以下の項目をすべて満たすことが必要です。この内容は2021年度入学者から適用されます。

- ① 本副専攻の履修を申し込み受理されていること。
 - ② 本副専攻が定める必修科目の単位を修得した上、「基本」「空港ビジネス」「地域産業」「実践」の各区分で指定された単位数以上を修得していること。
 - ③ 本副専攻が指定する以下資格を取得していること。
 - ・ Microsoft Office Specialist (MOS) (Word, Excel)
 - ※留学生は、日本語能力試験1級 (N1) を取得していること (すること)
- ・ 申し込み方法等の詳しい内容については、別途配布する『敬愛大学 副専攻「エアポートNARITA地域産業学」履修の手引き』を確認してください。
- ・ 2020年度以前の入学者は過去配布等行ったキャンパスライフを確認してください。

副専攻「エアポートNARITA 地域産業学」履修要項（全学部）

区分	科目名	開講年次			単位	履修区分			修了要件
		経済	国際	教育		経済	国際	教育	
基本	TOEIC®向上講座Ⅰ	2～	1～	2				4単位以上 必修	
	TOEIC®向上講座Ⅱ		2～	2					
	ビジネス英語		2～	1	いずれか 1科目必修	いずれか 1科目必修	いずれか 1科目必修		
	ビジネス英語上級		3～	2					
	ビジネス英語Ⅲ	2～		1					
	ビジネス英語Ⅳ	2～		1					
	オンライン英会話Ⅰ		1～	1					
	オンライン英会話Ⅱ		1～	1					
	入門ツーリズムⅠ		1～	2					
	入門ツーリズムⅡ		1～	2					
	世界を知る		1～	2					
空港 ビジネス	空港ビジネス		1～	2	必修	必修	必修	8単位以上 必修	
	流通経営論		2～	2					
	マーケティング論	2～		2					
	Marketing Management	2～		2					
	マーケティング		2～	2					
	ホスピタリティ		1～	2	必修	必修	必修		
	国際金融論		3～	2					
	国際金融論Ⅰ	2～		2					
	国際貿易論	2～	3～	2					
	簿記・会計概論Ⅰ	1～		2					
	簿記・会計基礎Ⅰ		2～	2					
	エアライン論		2～	2					
	航空物流論		3～	2					
地域産業	地方財政論Ⅰ		2～	2				8単位以上 必修	
	地方財政論Ⅱ		2～	2					
	地域企業経営論	2～		2					
	千葉県の産業と行政		2～	2					
	地域産業論		2～	2					
	中小企業論Ⅰ		2～	2					
	中小企業論Ⅱ		2～	2					
	ベンチャービジネス論	2～		2					
	観光事業論Ⅰ		2～	2	必修	必修	必修		
	観光事業論Ⅱ		2～	2	必修	必修	必修		
	旅行ビジネス論		2～	2					
	地域観光論		2～	2					
	経営立地論		2～	2					
	ホテル・ビジネス論		2～	2					
	実践	キャリア基礎開発Ⅰ		3～	2				
キャリア基礎開発Ⅱ			3～	2					
インターンシップⅠ			3～	2	必修	必修	必修		
インターンシップⅡ			3～	2					
敬愛プログラム			1～	2					
海外スクーリングⅠ			1～	2					
海外スクーリングⅡ			1～	2					
修了要件単位数								26単位以上（うち 必修11（12）単位）	

IV

副専攻・資格

3 副専攻「日本語教員養成課程」

日本の在留外国人数は約273万人（※1）となり、国内で日本語を学習する人の増加と多様化が進んでいます。海外で日本語を学習する人の数は、1979年の約13万人から2015年には約366万人と約28倍に、日本語を教える人の数は、約4千人から約6万4千人と約16倍となっています。（※2）学習者の増加に伴い、日本語教員の国内外の活躍の場が広がっています。

※1 2019年3月22日 法務省入国管理局発表 ※2 2015年独立行政法人国際交流基金調査

I 目的

本副専攻の目的は、日本語という言語を1つの外国語として深く理解し、様々な教授法や技能に応じた指導法を身に付けて、日本語教師になるための養成段階（※1）の修了を目指します。また日本や世界の国々の社会について学び、文化や習慣など背景の異なる人と互いに理解を共有するための国際感覚の養成を目指します。

※1 日本語教師には段階があり、養成<初任<中堅となります。

II 履修と修了要件

修了要件を満たした履修者に「日本語教員養成課程」を学んだことを敬愛大学が認証する「修了証」を授与します。以下の項目をすべて満たすことが必要です。この内容は2021年度入学者から適用されます。

- ① 本副専攻の履修を申し込み受理されていること。
- ② 本副専攻の履修費（30,000円）を納入していること。
 - I. 納入時期は別途指示をします。
 - II. 一度納入された履修費は、原則、返金することが出来ません。
- ③ 本副専攻が定める必修科目の単位を修得した上、「社会・文化・地域」「言語と社会」「言語と心理」「言語と教育」「言語」の各区分で指定された単位数以上を修得していること。
- ④ 日本語学校での教育実習を修了していること。

日本語学校での教育実習は原則3年次後期以降に、各自実習校で行います。参加をするためには、以下の条件を全て満たす必要があります。

 - I. 「参観実習」を2年次終了までに、終了していること。
 - II. ③が2年次終了まで計画的に単位修得されていること。
 - III. 「個人面談」を実施（2年次後期成績発表以降実施予定）し、承認を得ていること。
 - IV. 「教育実習指導（日本語）」を3年次前期に履修し、単位修得していること。

- ・申し込み方法等の詳しい内容については、別途配布する『敬愛大学 副専攻「日本語教員養成課程」履修の手引き』を確認してください。
- ・2020年度以前の入学者は過去配布等行ったキャンパスライフを確認してください。

副専攻「日本語教員養成課程」履修要項（国際学部・教育学部）

領域	区分	分野	科目名	開講年次	単位	履修区分	修了要件	
社会・文化に関わる領域	社会・文化・地域	世界と日本	国際関係入門	1～	2	推奨	4単位以上必修	
			World Today	1～	2			
			Japan Today	1～	2			
			地域デザイン概論 (*2)	1～	2	推奨		
			国際社会とSDGs	2～	2			
			日本の近現代と世界	2～	2			
		異文化接触	比較文化論	2～	2			
			移民政策論	2～	2			
			多文化共生社会 (*2)	3～	2	推奨		
			日本語教育の歴史と現状	(*1)				
教育に関わる領域	言語と社会	言語と社会の関係	現代市民社会	2～	2		4単位以上必修	
			日本文化論	2～	2			
		言語使用と社会	日本語学 (*2)	1～	2	必修		
	言語と心理	異文化コミュニケーションと社会	異文化理解 (*2)	2～	2	推奨		
		言語理解の過程	(*1)					
		言語習得・発達	心理言語学	2～	2	必修		
言語に関わる領域	言語と教育	言語教育法・実習	日本語教育入門 (*2)	1～	2	必修	10単位必修	
			日本語教育方法論 (*2)	2～	2	必修		
			日本語教育研究 I	2～	2	必修		
			教育実習指導 (日本語)	3～	2	必修		
		異文化間教育とコミュニケーション教育	日本語教育研究 II	3～	2	必修		
			言語教育と情報	(*1)				
	言語	言語の構造一般	言語学	1～	2	必修		6単位必修
		日本語の構造	現代日本語文法 I (*2)	2～	2	必修		
			現代日本語文法 II (*2)	2～	2	必修		
		言語研究	(*1)					
コミュニケーション能力	(*1)							
修了要件単位数							26単位以上 (うち必修20単位)	

(*1) 他の区分・分野の授業内容に含まれています。

(*2) 「日本語学習支援者プログラム」修了の取得に必要な科目です。(8科目16単位)

「日本語教員養成課程」と「日本語学習支援者プログラム」の違いについて

- ・「日本語教員養成課程」は、日本語教師になるための養成段階を修了し、日本語学習者に直接日本語を指導することが出来るようになります。
- ・「日本語学習支援者」は、日本語教師や日本語教育コーディネーターと共に、学習者の日本語学習を支援することが出来るようになります。
- ・「日本語教員養成課程」を修了した学生には、「日本語学習支援者プログラム」の「修了証」は授与しません。

4 資格「小学校英語教育講座」

グローバル化が今後ますます進展されることを想定し、国際社会で活躍できる人材の育成が急務となっています。「2020年の教育改革」の一つに、小学校の英語教育必修化があげられます。小学校では3、4年生は「外国語活動」を年間35単位時間（週1時間程度）、5、6年生は教科書を使い「外国語」の授業が年間70単位時間（週2時間程度）行われています。（1単位時間は45分）

I 目的

本講座では、小学校英語の指導に必要な基本的な知識や理論、指導技術、英語運用能力を身に付けることができます。また授業を行う上で必要な「教材研究」、小学校の中学年、高学年で養いたい「聞くこと」「話すこと」の指導、「読むこと」「書くこと」の文字指導、異文化理解を学ぶことができます。

II 履修と修了要件

修了要件を満たした履修者に「小学校英語教育」に必要な資質と能力を身に付けたとして、敬愛大学が認証する「修了証」を授与します。以下の項目をすべて満たすことが必要です。

この内容は2021年度入学者から適用されます。

- ① 本講座の履修を申し込み受理されていること。
- ② 本講座が定める必修科目の単位を修得した上、「基本(小学校英語)」「英語学」「英語文学」「英語コミュニケーション」「異文化理解」の各分野で指定された単位数以上を修得していること。
- ③ 本講座のカリキュラム上における授業科目の条件をクリアしていること。

【修了に必要な授業科目の条件】

- 基本（小学校英語）に配置されている「小学校英語Ⅰ」「小学校英語Ⅱ」「小学校英語指導法Ⅰ」「小学校英語指導法Ⅱ」の4科目のうち、2科目以上優または秀を修得すること。
- 英語学に配置されている「College EnglishⅠ」「College EnglishⅡ」の2科目のうち、1科目以上優または秀を修得すること。

2020年度以前の入学者は、過去配布等行ったキャンパスライフを確認してください。

区分	科目名	開講年次	単位	履修区分	修了要件
基本 (小学校英語)	小学校英語 I	1～	2	必修	8単位必修
	小学校英語 II	2～	2	必修	
	小学校英語指導法 I	2～	2	必修	
	小学校英語指導法 II	3～	2	必修	
英語学	College English I	1～	2	必修	4単位必修
	College English II	1～	2	必修	
英語文学	Mother Goose	1～	1	必修	3単位必修
	英米児童文学	2～	2	必修	
英語 コミュニケーション	writing I	1～	1		2単位以上 必修
	writing II	1～	1		
	Listening I	1～	1		
	Listening II	1～	1		
	Speaking I	1～	1		
	Speaking II	1～	1		
	Debate I	1～	1		
	Debate II	1～	1		
異文化理解	異文化コミュニケーション	2～	2	必修	4単位必修
	比較文化論	2～	2	必修	
修了要件単位数					21単位以上

V

資料編

1. 学則等規則

① 学則	216
② 学生心得	231
③ 試験に関する注意	233
④ 授業の公欠に関する取扱い	234
⑤ プライバシーポリシー	235

2. キャンパスマップ	236
-------------------	-----

3. 学園歌	241
--------------	-----

4. 2021年度 学事日程	242
----------------------	-----

1

学則等規則

1 敬愛大学 学則

第1章

総 則

目 的

第1条 敬愛大学(以下「本学」という。)は建学の精神「敬天愛人」に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り広く知識を授け、深く専門の学芸を教授・研究し、知的・道徳的及び応用的能力を展開する大学教育を施し、もって文化の進展に寄与する有為の社会人を養成することを目的とする。

自己点検・評価等

第2条 本学は教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行いその結果を公表するものとする。

2 自己点検・評価の実施体制及び方法については別に定める。

第2章

学部学科・学生定員及び修業年限等

学部学科

第3条 本学に次の学部学科を置く。

- (1) 経済学部 経済学科 経営学科
- (2) 国際学部 国際学科
- (3) 教育学部 こども教育学科

育成する人材

第3条の2 学部学科ごとの人材育成に関する目的は、次のとおりとする。

- (1) 経済学部経済学科は、経済学に関する幅広い知識を修得し、実社会で応用できる表現力、コミュニケーション能力、情報収集能力及び経済学的思考力をもって、広く社会に貢献できる人材を育成する。
- (2) 経済学部経営学科は、経営学に関する幅広い知識を修得し、実践的なマネジメント能力及びグローバルな視野を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成する。
- (3) 国際学部国際学科は、国際社会を多角的に理解し、変化する現代を生き抜く力を身につけ、高いコミュニケーション能力を培い、グローバル化する地域社会に貢献できる人材を育成する。
- (4) 教育学部こども教育学科は、幅広く深い教養と豊かな人間性及び子供の教育に関する知識と技能の修得を基盤として、それを活用することができる実践能力に加えて、教育事象を科学的・実証的に考察し、その成果を子供の健全な育成に活かすことのできる人材を育成する。

学生定員

第4条 本学の学部学科の定員は次のとおりとする。

- (1) 経済学部 経済学科

入学定員

115名

編入学定員	(2年次)	1名
	(3年次)	1名
経営学科		
入学定員		110名
編入学定員	(2年次)	1名
	(3年次)	1名
収容定員		910名
(2) 国際学部 国際学科		
入学定員		98名
編入学定員	(2年次)	1名
	(3年次)	1名
収容定員		397名
(3) 教育学部 こども教育学科		
入学定員		72名
編入学定員	(2年次)	1名
編入学定員	(3年次)	1名
収容定員		293名

修業年限及び在学年限

第5条 本学の修業年限は4年とする。

- 8年を超えて在学することはできない。
又、編入学、再入学及び転入学の場合は、第13条に定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えることはできない。
- 大学の学生以外の者(科目等履修生として大学入学資格を有する者)が、本学において一定の単位を修得した後に、本学に入学する場合で、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、その単位数に応じて、相当期間を本学の修業年限の2分の1を超えない範囲で修業年限に通算することができる。

長期履修制度

第5条の2 前条第1項の規定にかかわらず、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し学位の取得を希望する者(以下「長期履修学生」という。)が、本制度の申請を申し出たとき、学長は、審査のうえ長期履修学生として履修を認めることができる。

ただし、前条第2項に定める在学年限を超えることはできない。

- 長期履修制度に関する必要な事項は別に定める。

第3章

学年・学期及び休業日

学年及び学期

- 第6条** 学年は4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。
- 学年を分けて次の2期とする。
前期 4月1日より9月25日まで
後期 9月26日より翌年3月31日まで
 - 学長が教育上必要と認める場合は、前項の期日を変更することができる。

休業日

- 第7条** 学年中の休業日は次のとおりとする。
- 土曜日及び日曜日
 - 国民の祝日に関する法律に規定する休日
 - 本学創立記念日 5月4日
 - 敬愛の日 6月3日
 - 春季休業 3月24日より3月31日まで
 - 夏季休業 8月1日より9月25日まで
 - 冬季休業 12月21日より翌年1月10日まで
- 学長が教育上必要と認める場合は、休業日を変更し、若しくは臨時に休業し、又は休業日に授業を行うことができる。

第4章

入学・退学・休学・復学及び除籍

入学の時期

- 第8条** 入学の時期は学年又は後期の始めとする。

入学資格

第9条 第1学年に入学できる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定試験に合格した者を含む。）
- (6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (7) その他本学において、相当年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者

入学の出願及び検定料

第10条 入学志願者は所定の入学願書を提出しなければならない。

- 2 提出の時期、提出する書類、方法については別に定める。
- 3 入学検定料については第32条第1項の定めるところによる。

入学者の選考

第11条 前条の入学志願者に対しては選考試験を行う。

入学の手續及び入学許可

第12条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに本学所定の書類を提出するとともに、第32条第1項に定める入学金を納入しなければならない。

- 2 学長は前項の入学手續を完了した者に入学を許可する。

編入学・再入学・転入学

第13条 本学に編入学、再入学又は転入学を志願する者があるときは、選考のうえ、相当年次に学長が入学を許可することができる。

- 2 前項の規定により編入学できる者は、次の各号の一に該当する者とし、入学許可人数については学則第4条の規定に定めるところによる。
 - (1) 他の大学を卒業又は退学した者
 - (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
 - (3) 専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- 3 第1項の規定により再入学又は転入学できる者は、本学を中途退学した者又は、他の大学に在学中の者で転入学により当該大学を退学する者とする。
- 4 第1項の規定により入学を許可された者についての履修方法は、教授会の議を経て学長が決定する。

転部及び転科

第14条 本学学生で他の学部に転部又は他の学科に転科を志願する者は、当該学部教授会の議を経て学長の許可を得なければならない。

- 2 転部及び転科の規程は別に定める。

退学

第15条 退学しようとする者は、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならぬ。

休学

第16条 病気及びその他の事由により引き続き3ヶ月以上修学することができないときはその事由を具し、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならぬ。

- 2 休学の期間は、その学年の終わり、又は学期の終わりまでとし、特別の事情のある場合は、引き続き1年に限り休学を許可することができる。
- 3 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。
- 4 休学の期間は、在学年数に算入しない。

転学

第17条 他の大学へ転学を希望する者は、学長の許可を得なければならぬ。

海外留学

第18条 外国の大学又は短期大学に留学を希望する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、1年に限り第30条第1項に定める期間に算入する。

復学

第19条 休学期間中にその事由が消滅したときは、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならぬ。

- 2 復学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

除籍

第20条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 第5条第2項に定める在学年限を超えた者

- (2) 第16条第3項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- (3) 授業料その他の学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (4) 死亡又は長期間にわたり行方不明の者

第5章

教育課程・授業科目・単位・授業の方法・期間及び履修登録等

教育課程

第21条 本学の授業科目は学科目制とし、教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開講し、体系的な教育課程を編成する。

- 2 経済学部経済学科の教育課程は、学部共通科目(基礎科目、言語科目A、言語科目B、教養科目、情報科目、キャリア科目)、経済学科専門科目(基本科目A、基本科目B、公共経済コース科目、金融経済コース科目、現代経済コース科目、展開科目、演習科目)、自由選択科目(エアポートNARITA地域産業学科目、AI・データサイエンス科目、インターンシップ科目)、教職及び教科に関する科目を置く。
- 3 経済学部経営学科の教育課程は、学部共通科目(基礎科目、言語科目A、言語科目B、教養科目、情報科目、キャリア科目)、経営学科専門科目(基本科目A、基本科目B、インターンシップ科目、企業経営コース科目、商業・会計コース科目、スポーツビジネスコース科目、地域産業コース科目、展開科目、演習科目)、自由選択科目(エアポートNARITA地域産業学科目、AI・データサイエンス科目)、教職及び教科に関する科目を置く。
- 4 国際学部国際学科の教育課程は、基礎科目(教養科目、演習)、外国語科目(英語、英語以外の外国語、日本語)、情報基礎科目、専門科目(共通、英米語専攻、地域デザイン専攻、国際ビジネス専攻、観

光マネジメント専攻、専門研究)、キャリア科目、自由選択科目(実習科目、その他、エアポートNARITA地域産業学科目)、教職及び教科に関する科目を置く。

- 5 教育学部こども教育学科の教育課程は、教養教育科目(教養科目、外国語科目、キャリア科目)、専門教育科目(専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目、専門研究)を置く。

授業科目・単位数及び卒業に必要な単位数

第21条の2 本学の授業科目、卒業に必要な単位数は、別表1～4のとおりとする。

授業の方法

第21条の3 授業科目は、講義、演習、実験、実習、実技のいずれかにより又はこれらのうち二以上の併用により行うものとする。

- 2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項に規定する授業を多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 前項の規定により履修することのできる単位数は、第27条第1項、第28条第1項及び第29条第1項に定める認定単位と併せて60単位を超えないものとする。

単位の計算方法

第22条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の各号の基準により計算するものとする。

- (1) 講義については15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験、実習、実技等についての学修は、30時間から45時間までの範囲で大学が定める授業をもって1単位とする。
- (4) 一の授業科目について、講義、演

習、実験、実習又は実技のうち二以上の併用により行う場合については、前3号の組合せに応じ、別に定める時間の授業をもって1単位とする。

- 2 前項の規定にかかわらず卒業論文、卒業研究及び校外学修等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して適切な単位を授与することができる。

授業期間

第23条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週にわたることを原則とする。

- 2 各授業科目の授業は10週又は15週にわたる期間を単位として行う。ただし教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

履修登録及び履修制限

第24条 授業科目の履修方法については、前期開講科目は前期の指定された期日までに履修登録をして許可を得なければならない。また、後期開講科目も同様に後期の指定された期日までに履修登録をして許可を得なければならない。

- 2 履修登録の取扱いについては別に定める。
- 3 各学部の年次別の履修登録上限単位数は、次のとおりとする。

(1) 経済学部

1年次 42単位

2年次 42単位

3年次 42単位

4年次 46単位

ただし、第21条第2項及び同条第3項に規定する教職及び教科に関する科目の履修単位は上記の単位数に含めない。

(2) 国際学部

1年次 42単位

2年次 42単位

3年次 42単位

4年次 46単位

ただし、第21条第4項に規定する教職及び教科に関する科目の履修単位は上記の単位数に含めない。

(3) 教育学部

1年次 42単位

2年次 42単位

3年次 42単位

4年次 42単位

- 4 他学部等の授業科目を履修する場合は、学長の許可を得て履修し、単位を修得したときは、相当する科目群の科目として、学長が単位を認定することができる。

第6章

単位の認定等

試験の評定

第25条 試験の評定は100点を満点とし、60点以上を合格とする。

- 2 試験は、筆記試験、論文レポート、試問、その他の方法により行う。

単位の授与

第26条 授業科目を履修した者に対しては、試験に合格した場合に単位を与える。

単位の互換

第27条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学及び学部間の協議に基づき、当該大学又は短期大学及び学部間の授業科目の履修を認めることができる。

- 2 前項の規定により学生が修得した単位は、60単位を超えない範囲で第30条第1項に定める単位として認定することができる。
- 3 前2項の規定は、第18条に定める留学の場合に準用する。

既修得単位の認定

第28条 大学・短期大学又は専修学校の専門課程を卒業し又は中途退学した後、本学第

1年次に入学した者の既修得単位については、教育上有益と認めるときは、第30条第1項に定める単位として認定することができる。

- 2 前項により認定することができる単位は、前条第1項により認定する単位と併せて60単位を超えないものとする。

大学以外の教育施設等における学修

第29条 教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を本学における授業科目の履修とみなし第30条第1項に定める単位として認定することができる。

- 2 前項により認定できる単位は、第27条第1項及び第28条第1項により認定する単位と併せて60単位を超えないものとする。

第7章

卒業等

卒業の要件及び学士の学位

第30条 本学に4年以上在学し、第21条の2に定める授業科目及び単位数を修得した者については教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

- 2 前項による卒業認定は学年末、又は前期末にこれを行うことができる。
- 3 卒業を認定された者には学士の学位を授与する。
- 4 学位の授与に関する規定は別に定める。

免許状の種類

第31条 本学において次の教育職員免許状を取得することができる。

- (1) 経済学部 経済学科
中学校教諭一種免許状(社会)
高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
高等学校教諭一種免許状(公民)
- (2) 経済学部 経営学科

- 高等学校教諭一種免許状(商業)
- (3) 国際学部 国際学科
 - 中学校教諭一種免許状 (英語)
 - 高等学校教諭一種免許状 (英語)
- (4) 教育学部 こども教育学科
 - 小学校教諭一種免許状
- 2 教育職員の免許状取得の要件については別に定める。

第8章 入学検定料・入学金及び 授業料等

学費等

- 第32条** 本学の入学検定料、学費及び教職課程履修費の金額は別表5～7のとおりとする。
- 2 入学検定料、学費及び教職課程履修費等に関する必要な事項は、別に定める。

第9章 教職員組織

教職員

- 第33条** 本学に学長、副学長、教授、准教授、講師、助教並びに事務職員その他の教職員を置くことができる。

学長・副学長の職務

- 第34条** 学長は校務をつかさどり所属教職員を統督する。
- 2 副学長は学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

第10章 大学運営会議・教授会及び 各種委員会

大学運営会議

- 第35条** 本学の重要事項を審議するために大学運営会議を置く。

- 2 大学運営会議に関する必要な事項は別に定める。

教授会

- 第36条** 本学各学部の教育研究に関する重要事項を審議するためにそれぞれに教授会を置く。
- 2 教授会は、学長が次に掲げる事項について、決定を行うに当たり意見を述べることができる。
 - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
 - (2) 学位の授与に関する事項
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
 - 3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
 - 4 教授会の組織には、准教授、講師及びその他の教職員を加えることができる。
 - 5 教授会に関する必要な事項は別に定める。

合同教授会

- 第37条** 学長が必要と認めたとき又は各学部長から特に要請があったときは、学長は合同教授会を招集することができる。
- 2 合同教授会は、学長が特に必要と認めた大学の重要事項を審議する。

各種委員会

- 第38条** 学長が必要と認めたとき、各種委員会等を組織し、それぞれの専門分野について審議研究し、その運営を図ることができる。
- 2 各種委員会に関する事項は別に定める。

第11章

科目等履修生及び
外国人留学生等

科目等履修生

- 第39条** 本学において特定の授業科目を履修しようとする者については、教育研究に支障のない範囲内において教授会の議を経て科目等履修生として、学長が入学を許可することができる。
- 2 科目等履修生が履修した授業科目を試験に合格したときは、第25条及び第26条の規定を準用して当該科目の単位を付与することができる。
 - 3 科目等履修生に関する事項は別に定める。

特別聴講生

- 第40条** 他の大学、短期大学との協議に基づき、当該大学又は短期大学の学生を特別聴講生として、学長が入学を許可することができる。
- 2 特別聴講生に関する事項は別に定める。

聴講生

- 第41条** 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、各学部
の教育に支障のない場合に限り、選考の
うえ、学長が聴講を許可することが
できる。
- 2 聴講生に関する事項は別に定める。

外国人留学生

- 第42条** 外国籍を有し第9条第3号に該当する者が、本学に入学を希望した場合は、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。
- 2 外国人留学生については、第45条(育英・奨学)に関する規定を除き、正規の学生についての規定を準用する。
 - 3 外国人留学生に関する事項は別に定める。

委託生

- 第43条** 公共機関その他から委託生としての入学の申し出のある時は本学の教育、研究に支障のない限り、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。
- 2 委託生に関する事項は別に定める。

公開講座

- 第44条** 学術文化の普及のため、本学において公開講座及び課外講座を開講することができる。
- 2 公開講座及び課外講座に関する事項は別に定める。

第12章

育英及び奨学に関する事項

育英・奨学

- 第45条** 本学に育英及び奨学に関する制度を置く。
- 2 育英及び奨学に関する事項は別に定める。

第13章

賞 罰

褒 賞

- 第46条** 品行方正、学術優秀又は善行のあった学生に対しては、賞状又は商品を授与し褒賞することができる。
- 2 褒賞に関する事項は別に定める。

懲 戒

- 第47条** 本学の規定に違反し、又は学生の本分に反する行為があった学生に対しては懲戒する。懲戒は、戒告、停学及び退学とする。
- 2 退学処分は次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
 - (2) 成績不良で学業継続の見込みがないと認められた者

- (3) 正当な理由なくして出席不良の者
 - (4) 大学の秩序を乱し、その他学生の
本分に反した者
- 3 懲戒に関する事項は別に定める。

第14章

附属施設・寄宿舎・厚生施設

附属施設

- 第48条 本学にメディアセンター及び総合地域研究所を置く。
- 2 各附属施設に関する事項は別に定める。

寄宿舎

- 第49条 本学に寄宿舎を置く。
- 2 寄宿舎に関する事項は別に定める。

厚生施設

- 第50条 本学に厚生施設を置く。
- 2 厚生施設に関する事項は別に定める。

第15章

改 正

改 正

- 第51条 本学則の改正は、各学部教授会及び大学運営会議の意見を聴いた後、理事会の承認を得て、学長がこれを行う。

附 則

この学則は、昭和41年4月1日から施行する。

<中 略>

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学金、授業料等の改正は、平成28年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、

平成27年度以前の入学者はなお従前のとおりとする。

附 則

この学則は、平成28年12月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第5条の2の規定は、平成29年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学検定料の改正は、平成31年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず平成31年度から平成34年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度
経済学部	経済学科	471名	467名	465名	465名
	経営学科	451名	447名	445名	445名
国際学部	国際学科	386名	386名	389名	397名
	こども教育学科	286名	288名	291名	293名
合 計		1,594名	1,588名	1,590名	1,600名

- 3 第31条第1項第1号の規定は、平成31年度入学者から適用し、平成30年度以前の入学者の経済学部経済学科における高等学校教諭一種免許状(商業)の取得については、なお従前のとおりとする。
- 4 第32条第1項に定める別表の入学検定料の改正は、平成32年度入学志願者から適用する。
- 5 第42条第2項の規定は、平成31年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学試験項目の改正は、令和3年度入学志願者から適用する。
- 3 第32条第1項に定める別表の学費(入学金、授業料、施設費)の改正は、令和3年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、令和2年度以前の入学者はなお従前のとおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正前の学則に定める国際学部こども教育学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、令和3年3月31日に国際学部こども教育学科に在籍する学生がいなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 第4条の規定にかかわらず令和3年度から令和6年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
経済学部	経済学科	465名	465名	465名	465名
	経営学科	445名	445名	445名	445名
国際学部	国際学科	389名	397名	397名	397名
	こども教育学科	219名	148名	74名	—
教育学部	教育学科	72名	145名	219名	293名
合 計		1,590名	1,600名	1,600名	1,600名

- 4 第31条第1項第3号の規定は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者の国際学部国際学科における中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(地理歴史)及び高等学校教諭一種免許状(公民)の取得については、なお従前のとおりとする。
- 5 第31条第1項第4号の規定は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者の国際学部こども教育学科における小学校教諭一種免許状の取得については、なお従前のとおりとする。

- 6 第32条第1項に定める別表5の入学検定料の改正は、令和3年度入学志願者から適用する。
- 7 第32条第1項に定める別表6の学費(入学金、授業料、施設費)及び別表7の教職課程履修費の改正は、令和3年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、令和2年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

別表 5 (第32条関係)

入学検定料

項目 \ 学部	経済学部	国際学部	教育学部	摘 要
大学入学共通テスト 利用選抜	10,000円	10,000円	10,000円	単願
	18,000円	18,000円	18,000円	併願
	25,000円	25,000円	25,000円	全学併願 (3 併願)
学校推薦型選抜	16,000円	16,000円	16,000円	指定校推薦
	32,000円	32,000円	32,000円	公募推薦
総合型選抜	32,000円	32,000円	32,000円	
一般選抜	32,000円	32,000円	32,000円	2教科方式 単願
	50,000円	50,000円	50,000円	2教科方式 併願
	70,000円	70,000円	70,000円	2教科方式 全学併願 (3 併願)
	30,000円	30,000円	30,000円	英語外部試験利用方式 単願
	48,000円	48,000円	48,000円	英語外部試験利用方式 併願
	68,000円	68,000円	68,000円	英語外部試験利用方式 全学併願 (3 併願)
外国人留学生選抜	16,000円	16,000円	16,000円	指定校推薦
	32,000円	32,000円	32,000円	
帰国生・社会人選抜	32,000円	32,000円	32,000円	
編入学選抜	32,000円	32,000円	32,000円	
特待生選抜	10,000円	10,000円	10,000円	大学入学共通テスト利用選抜者のみ

別表 6 (第32条関係)

学費

項目 \ 学部	経済学部	国際学部	教育学部	摘要
入学金	250,000円	250,000円	250,000円	入学時のみ
授業料	780,000円	780,000円	800,000円	年額（前期・後期に分けて分割納入することができる）
施設費	250,000円	250,000円	250,000円	年額（前期・後期に分けて分割納入することができる）
備考	編入学者、転入学者、再入学者及び科目等履修生の学費については、別に定める。			

別表 7 (第32条関係)

教職課程履修費

項目 \ 学部	経済学部	国際学部	教育学部	摘要
教職課程履修費	60,000円	60,000円	—	中学校教諭一種免許状（英語）、中学校教諭一種免許状（社会）の取得希望者
	50,000円	50,000円	—	高等学校教諭一種免許状（地理歴史）、高等学校教諭一種免許状（公民）、高等学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（商業）の取得希望者
備考	<ol style="list-style-type: none"> 経済学部で取得可能な教育職員免許状 中学校教諭一種免許状（社会）、高等学校教諭一種免許状（地理歴史）、高等学校教諭一種免許状（公民）、高等学校教諭一種免許状（商業） 国際学部で取得可能な教育職員免許状 中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語） 教育学部で取得可能な教育職員免許状 小学校教諭一種免許状 			

敬愛大学入学検定料及び学費等納入に関する規程

目 的

第1条 この規程は、敬愛大学学則（以下「学則」という。）第32条第2項の規定に基づき、入学検定料、学費、教職課程履修費及び委託徴収金の納入に関して必要な事項を定める。

入学検定料

第2条 入学検定料とは、入学試験の出願の際に納入する金額をいう。

- 2 入学検定料の金額は、学則第32条別表のとおりとする。

学 費

第3条 この規程において学費とは、入学金、授業料及び施設費をいう。

学費の金額

第4条 学費の金額は、学則第32条別表のとおりとする。

- 2 特待生等学費減免対象者の学費の金額は別に定める。
- 3 第4年次留年手続者の学費の金額は、「敬愛大学卒業認定による留年者の次年度以降の学費に関する取扱い内規」の定めによる。
- 4 学費は年度の更新に伴い改定することがある。

学費の納入期間

第5条 在学生の学費は、毎年1年分を一括納入、又は2期（前期・後期）に分けて分割納入することができる。ただし、次の納入期間内に大学の指定する方法により納入しなければならない。

- (1) 一括納入の納入期間については、4月1日から4月末日までとする。
- (2) 分割納入の納入期間については、前期分を4月1日から4月末日まで、

後期分を10月1日から10月末日までとする。

- 2 入学者（編入学者・転入学者・再入学者・科目等履修生含む）の入学手続時の学費の納入期間については、入学試験要項による。ただし、2期に分けて納入する場合の後期学費の納入期間は、前項の規定を適用する。

教職課程履修費及び納入期間

第6条 教職課程を履修する者は、学則第32条別表に定める金額を6月末日までに大学の指定する方法により一括納入しなければならない。

委託徴収金

第7条 この規程において委託徴収金とは、学生会費、経済学会費、国際学会費、教育後援会費、学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料及び校友会費をいう。

- 2 委託徴収金の金額は、別表のとおりとする。

委託徴収金の納入期間

第8条 委託徴収金は、前期分の学費の納入に合わせ、4月1日から4月末日まで一括納入しなければならない。

学費の延納

第9条 経済的な事由等により第5条第1項に定める納入期間内に学費の納入が困難な場合は、所定の「延納願」を学長に提出し、許可を得なければならない。

- 2 当該年度入学者で第5条第2項に定める後期学費の納入期間内に学費の納入が困難な場合は、前項に定める手続きを行わなければならない。
- 3 第1項及び第2項により、学費の延納を

許可された者は、第5条第1項に定める納入期限から2カ月以内に納入しなければならない。

学費未納者の除籍

第10条 学費を第5条又は前条第3項に規定する納入期限までに納入しない者は、学則第20条第1項第3号の規定により、当該学部教授会の議を経て学長が除籍する。

休学者の学費

第11条 学則第16条の規定により休学を許可された者は、休学期間の授業料及び施設費の2分の1の額を所定の期間内に納入しなければならない。

- 2 休学者への学費延納及び分納の措置は適用しない。

学費等の返還

第12条 納入した学費等は、原則として返還しない。

- 2 前項の規定にかかわらず、入学手続き完了者が入学試験要項に記載する入学辞退届の申出期間内に入学辞退を申し出た場合は、入学金を除く学費及び委託徴収金を返還する。また、次の各号のいずれかに該当する場合は、当該年度の後期分の授業料及び施設費を返還することができる。
 - (1) 前期中に退学を認められた者が、学費等を既に全納している場合。
 - (2) 前期中に卒業を認定された者が、学費等を既に全納している場合。

規程の改廃

第13条 この規程の改廃は、大学運営会議の意見を聴いた後、常務理事会の承認を得て学長がこれを行う。

附 則

この規程は、平成31年3月1日から施行する。

別表

委託徴収金

項 目	学 部		備 考	
	経済学部	国際学部		
学友会費	15,000円	15,000円	年額	
経済学会費	3,000円		年額	
国際学会費		3,000円	年額	
教育後援会費	15,000円	15,000円	年額	
学生教育研究 災害傷害保険料	3,300円	3,300円	入学時のみ	
	2,600円	2,600円	2年編入学時のみ	
	1,750円	1,750円	3年編入学時のみ	
学研災付帯 賠償責任保険料	1,360円	1,360円	入学時のみ	
	1,020円	1,020円	2年編入学時のみ	
	680円	680円	3年編入学時のみ	
校友会費	入学時	5,000円	5,000円	年額
	2年次 3年次	10,000円	10,000円	年額
	4年次	5,000円	5,000円	年額

敬愛大学学費督促及び除籍取扱い内規

趣 旨

第1条 この内規は、敬愛大学学則第20条第1項第3号に定める授業料等の未納による除籍の手続きについて定める。

学費の督促

第2条 「敬愛大学入学検定料及び学費等納入に関する規程」（以下「納入規程」という。）第5条に定める納入期間内に学費を納入しない者に対し、大学運営室は、学費未納者名簿を作成のうえ次により督促の手続きをとるものとする。

- (1) 納入規程第5条第1項に定める納入期限を過ぎた時は、新たに納入期限を付した第1回目の督促状を送付するものとする。
- (2) 前号により督促してもなお納入しない者に対し、再度納入期限を付した第2回目の督促状を送付するものとする。
- (3) 納入規程第9条により学費の延納を許可された者が、2カ月の延納期限を経過しても納入のない場合は、前第1号並びに第2号の手続きをとるものとする。

除籍の警告

第3条 大学運営室は、第2回目の督促をしてもなお学費を納入しない者の名簿を修学支援室に回付し、修学支援室では、保証人宛に内容証明郵便により、除籍警告書を通知するものとする。

除 籍

第4条 前条の規定により、除籍警告を受けた者が除籍警告に定められた納入期限までに前期分又は後期分の学費の全額を一括納入しないときは、当該学部教授会の議を経て学長が除籍する。

内規の改廃

第5条 この内規の改廃は、大学運営会議の意見を聴いて学長が行う。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から施行する。

2 敬愛大学学生心得

この学生心得は、学則等の諸規定、社会における基本的なルールやマナーとあわせて、学生として心がけておくべき規範です。本学学生としての誇りを持って行動し、自身だけでなく大学の信頼を失墜させることのないよう心がけましょう。

学生証

- 学生証は本学の学生であることを証明するものです。常に携帯し、教職員から請求のあった時にすぐに呈示してください。
- 学生証は毎年4月のガイダンス時に検認を行い、有効期限の更新を行います。有効期限は、裏面のシールに記載されています。
- 学生証は、本学学生としての身分に変更があった場合は、直ちに変更・返還してください。
- 学生証を紛失・破損したときは、直ちに再交付を受ける手続きをしてください。

通学証明書および学生旅客運賃割引証

- 通学証明書は、学生支援室で発行します。
- 学生旅客運賃割引証は、自動証明書発行機で発行します。
- 休学期間中は、通学証明書および学生旅客運賃割引証の発行を受けることはできません。
- 科目等履修生、聴講生は、通学証明書および学生旅客運賃割引証の発行を受けることはできません。

住所変更および身上異動

- 入学の際に届け出た本籍（国籍）、住所、電話番号に変更があったときは、その都度学生支援室に届け出てください。

服装

- 服装は、清潔で学生の品位を保つものの着用を心がけましょう。

保健衛生

- 学校保健安全法の定めにより、毎年4月に定期

健康診断を受けなければなりません。必ず受診しましょう。

- 平素から健康管理に留意するとともに、病気や怪我の予防に努めましょう。

器物保全

- 施設の保全と清潔に努め、安全に生活できるよう留意しましょう。
- キャンパス内は指定された場所を除き、全面禁煙です。

大学公認サークル

- 大学公認サークルを結成しようとするときは、学生部長に願い出て許可を受けてください。
- 大学公認サークルが試合等学外活動を行う際は、事前に学生部長に届け出てください。また活動終了後は、結果報告をしてください。

課外活動

- 学生は、学習・研究活動だけでなく、積極的に学内外での課外活動に参加しましょう。
- 課外活動のために大学施設を使用するときは、その期日の1週間前（佐倉グラウンドは1ヶ月前）までに事務局長に願い出て許可を受けてください。なお署名活動や募金活動、物品販売などを行うときは、学生部長に願い出て許可を受けてください。
- 学生が課外活動の一環として学外活動を行う際は、事前に学生部長に届け出てください。また活動終了後は、結果報告をしてください。

掲示等

- 学内でポスターやチラシ等の掲示・配布を希望するときは、学生支援室に申し出て許可を受けてください。なお掲示をする場合は、A3縦サイズまでとし、原則2週間以内とします。
- 学内で募金活動、署名活動、物品販売等の実施を希望するときは、学生支援室に申し出て許可を受けてください。

盗難・紛失の防止

- 学生は自らの所持品の管理・保管に十分留意し、盗難や紛失によって不利益を被らないように心がけましょう。
- 遺失物を発見したときは、学生支援室に届け出てください。

携帯電話等のマナー遵守

- 学内では携帯電話等はマナーモードに設定しましょう。
- 携帯電話等の充電はモバイルバッテリー等を持参して行いましょう。

禁止事項

以下の行為は決して行ってはいけません。

- 未成年者および指定場所以外での喫煙
- 未成年者および学内での飲酒
- 無許可での自転車、バイク、自動車での通学
- 違法な薬物（大麻、覚醒剤等、いわゆる「危険ドラッグ」等）の入手や使用、譲渡
- 暴力行為
- ハラスメント行為
- 危険を伴う、および違法なアルバイト
- 学内コンセントでの携帯電話等の充電
- その他社会通念上好ましくない行為

【平成30年4月1日現在】

3 試験に関する注意

試験を受ける際には以下の受験心得をよく理解して受験してください。

受験心得

- 1) 試験監督者の指示に従わなければならない。
- 2) 試験時には許可されたもの以外はバック等に収納する。
- 3) 電子機器（スマートフォン・電子辞書等）は電源を切りバック等に収納する。
- 4) 試験中は物品を貸し借りしてはならない。
- 5) 学生証は試験監督者の点検し易いように机上通路側に呈示しておく。
- 6) 学生証不携帯者は原則として受験することができないので、仮学生証の交付を受けること。
手数料は1枚（1日）300円である。
- 7) 答案用紙には学年、学籍番号、氏名を必ずインクで明瞭に記入する。
- 8) 答案用紙は所定の箇所に提出すること。答案

用紙を試験室外に持ち出すことはできない。

- 9) 試験中、私語や不正行為と疑われるような行為はしてはならない。
- 10) 試験中、不正行為を行った者には「試験不正行為取扱についての内規」により処分する。

不正行為を行うと

- 1) 不正行為を行った日から2週間停学となります（自宅謹慎・登校禁止）。
- 2) 停学期間中は、学生証を没収します。
- 3) 不正行為を行なった前期又は後期の履修期間のうち、演習を除く全ての科目の単位は修得できません。
- 4) 留学生について、授業料減免を受けている1～3年生は、次年度は減免対象から外れます。4年生は4年次の減免措置がなくなり、卒業要件としての減免相当分を納入していただきます。

4 授業の公欠に関する取扱い

- 1 本学において、「公欠」とは相当の理由により授業に出席することができない学生に対して、欠席の取扱いをしないことを指す。
- 2 本学の学生が、次に該当する事由により授業に出席することができない場合、別に定める公欠届を提出することにより、公欠扱いとすることができる。

区分	公欠事由	公欠期間	添付書類	届の提出時期
第一号	忌引き（二親等以内）の場合	一親等（父母等）および配偶者：連続7日以内 二親等（祖父母・兄弟姉妹等）：連続した3日間以内	「会葬礼状」等	出席可能となった後1週間以内
第二号	学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症（※）に罹患した場合、又は感染したおそれがある場合	医療機関発行の「治療証明書」に記載されている出席停止期間	・医療機関発行の「治療証明書」 ・保健室発行の証明書等	出席可能となった後1週間以内
第三号	大学内で4月に実施される健康診断を受診した場合	健康診断の当該日	特に必要としない	終了後1週間以内
第四号	大学が定める教育実習・介護等体験、インターンシップ等に参加する場合	教育実習・介護等体験、インターンシップ等に参加する期間	実習（体験）等書類	事前又は出席可能となった後1週間以内
第五号	文化・体育活動において関東大会もしくは全国大会以上の大会、又は体育会に届出のある上部団体の公式戦に出場する場合	大会に出場する期間	実施要領、パンフレット等	事前又は出席可能となった後1週間以内
第六号	その他、学部の長が特に必要と認める場合	学部の長が必要と認める期間	適宜必要とされる書類	その都度定める

※学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症
 第一種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）、特定鳥インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症。
 第二種 インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎
 第三種 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症
 ※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第7項～第9項に規定する新型コロナウイルス等感染症、指定感染症及び新感染症は第一種の感染症とみなす。
 ※第三種感染症として記載のない感染症の出席停止措置は、重大な流行が起った際の緊急措置として学校医の意見を聞いて判断する。出席停止措置の必要性が認められない場合は公欠事由とならない。

- 3 公欠届は、修学支援室事務窓口で確認を受けた後、当該授業の担当教員に提出するものとする。
- 4 公欠届を受領した担当教員は、当該授業について欠席の取扱いをしないものとし、レポート作成その他の方策により可能な限り学習の補充支援を行い、当該学生が履修課程上不利にならないように配慮するものとする。
- 5 公欠期間中の試験に関する追試験等の取扱いについては、当該授業科目を開講する学部の長の定めるところによる。
- 6 前各項の規定は、第2項各号に掲げる事由以外の事由により授業に出席することができない学生に対して、担当教員が自己の裁量により公欠に準ずる扱いをすることを防げるものではない。
- 7 この申合せは、平成22年4月1日から実施する。

【平成30年4月1日現在】

5 学校法人千葉敬愛学園 プライバシーポリシー

個人情報保護に関する方針

千葉敬愛学園は個人情報の重要性を認識し、適正な取扱い及び管理を行います。

学校法人千葉敬愛学園（以下、本学園といいます）は敬愛大学、千葉敬愛短期大学、千葉敬愛高等学校、敬愛学園高等学校、千葉敬愛短期大学附属幼稚園において、学生、生徒、園児及びその保護者または保証人入学志願者、科目等履修生、公開講座受講生、留学生採用応募者など学園に関わる方々の個人情報の重要性を認識し、個人情報保護法の趣旨に則り、個人情報の適正な取扱いと管理を行います。

個人情報の収集、利用、提供を適切に行います。

本学園が収集した個人情報は、その収集した目的以外の目的に利用することはございません。また、同意なしに本学園以外の第三者に提供することや第三者から不正に個人情報を収集することはいたしません。ただし、法令による警察・裁判所等の公共機関からの開示を求められた場合および本人の生命・身体・財産の安全確保のために緊急に提供が必要な場合は本人の同意なしに第三者に提供する場合がございますのでご了承下さい。

個人情報保護のための管理を適切に実施します。

本学園が保管する個人情報の漏洩・流出を防ぐために、本学園教職員に対して個人情報保護の重要性についての啓発に努めるとともに、個人情報の安全管理体制の構築、個人情報保護のための規定等の整備、情報システムにおける不正アクセス及び不正利用を防ぐための安全対策を実施します。

お問い合わせにおける個人情報の保護をいたします。

メールまたは電話によるお問い合わせにおける個人情報に関しては、お問い合わせについての回答及び詳細の確認以外の目的で利用することはありません。また、そのメールが流出したり、他の目的に利用することのないように安全管理対策を実施します。

本学園ホームページに関する方針

アクセスログの不正な使用はいたしません。

本学園ホームページ（敬愛大学・千葉敬愛短期大学ホームページ、千葉敬愛高等学校ホームページ、敬愛学園高等学校ホームページ、千葉敬愛短期大学附属幼稚園ホームページ）において、取得するアクセスログは本学ホームページに関する管理や利用状況の調査に関する以外には使用いたしません。

Cookieの不正な利用はいたしません。

本学園ホームページにおいて、一部cookieを使用するページがありますが、閲覧者がより快適に本学園ホームページを利用するために使用しているだけで、具体的な個人を特定するために利用するわけではございません。また、本学園においては、利用者の動向調査にのみCookieを利用します。

開示・訂正・利用停止等の手続きについて

お預かりした個人情報が不正確である場合には正確なものに変更させていただきます。

個人情報の開示、訂正、利用停止に関しては、下記の相談窓口にお申し出ください。

その際、お申し出の方がご本人もしくは保護者の方であることを確認させていただいた上で速やかに対応させていただきます。

また、ご希望の全部または一部に応じられない場合はその理由をご説明いたします。

学園事務局：法人運営室

敬愛大学：大学運営室

短大・高校・幼稚園：事務局

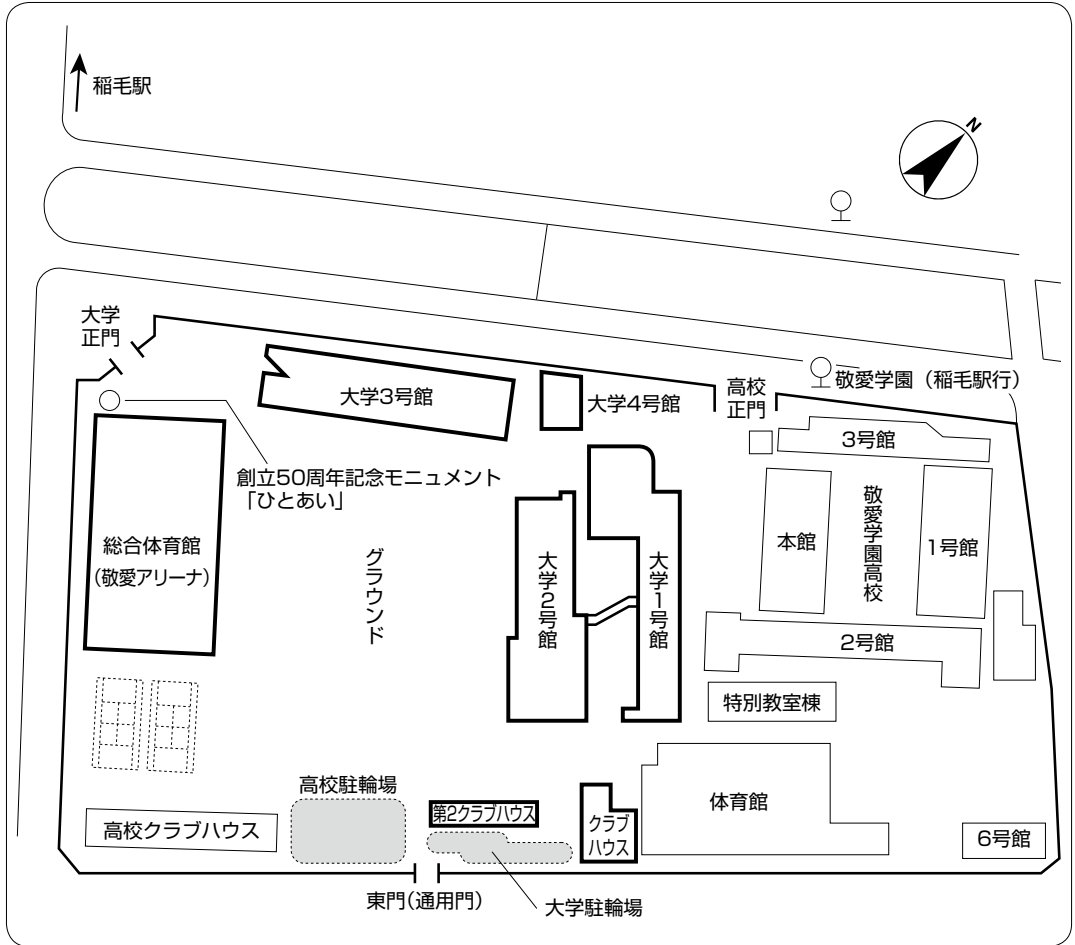
本プライバシーポリシーについて

本プライバシーポリシーは、適宜改正及び訂正いたします。

【平成30年4月1日現在】

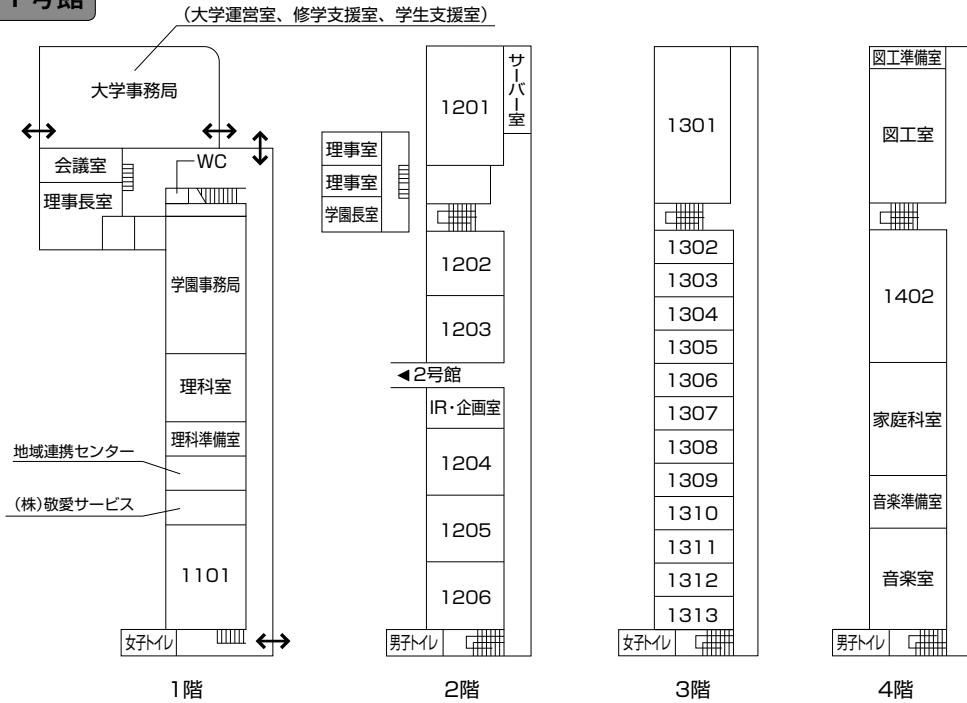
2

キャンパスマップ

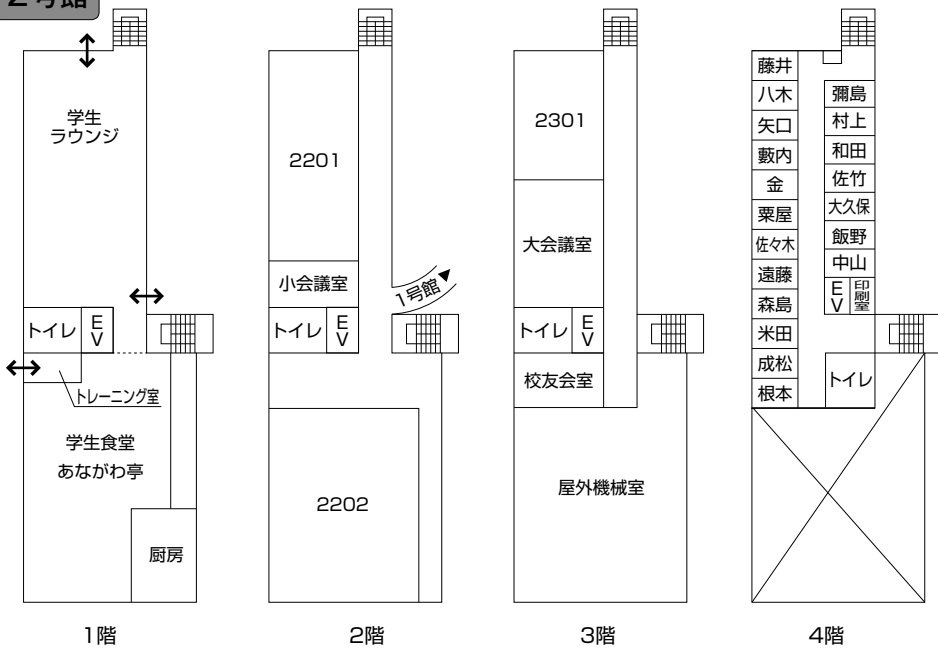


大学1号館・2号館

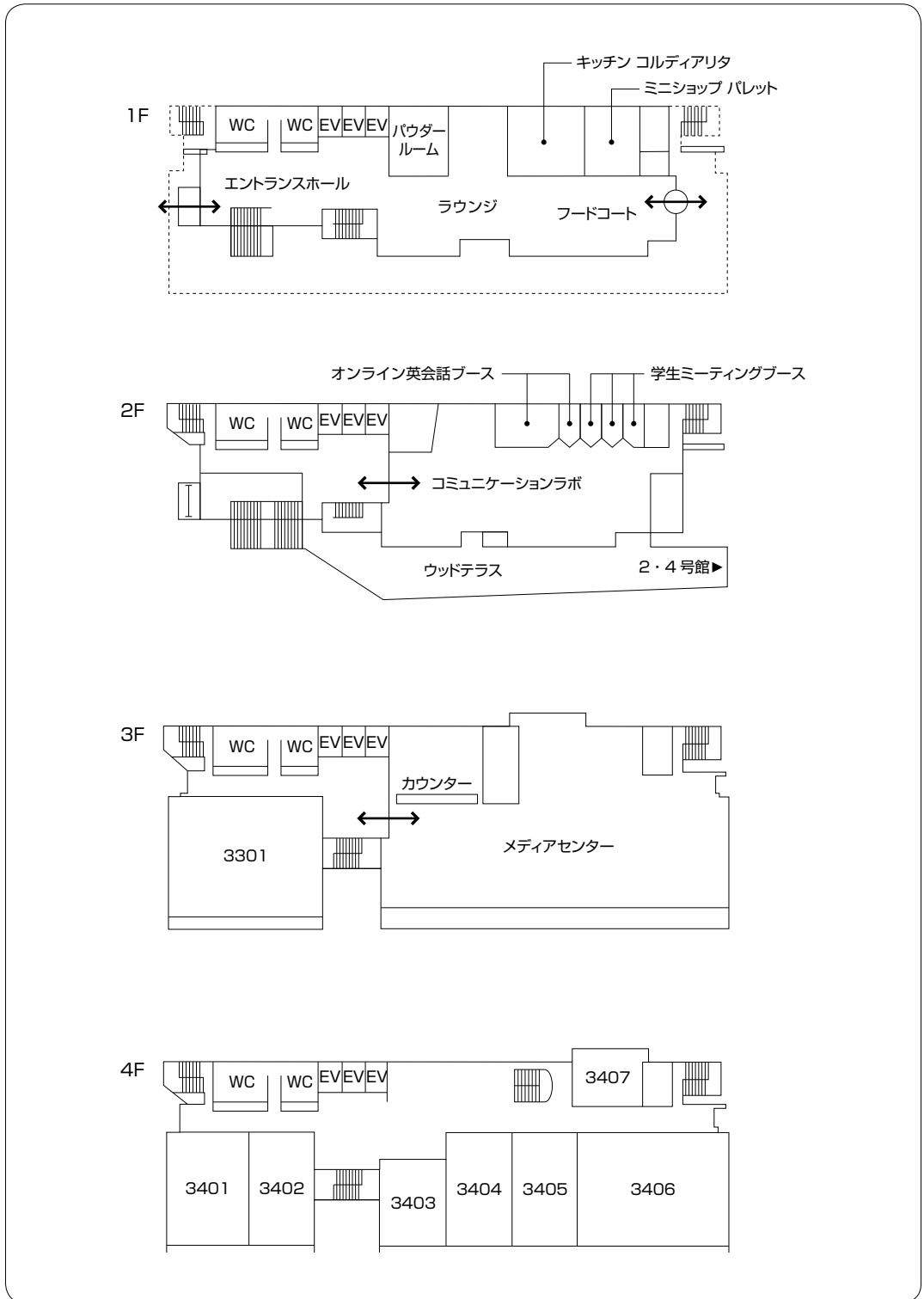
1号館

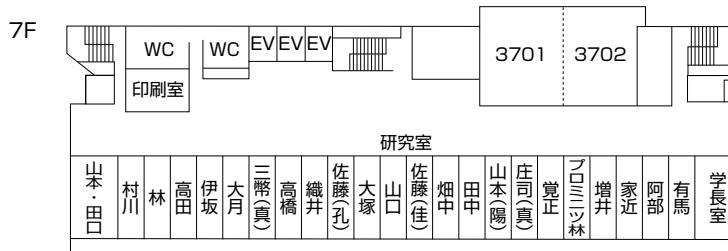
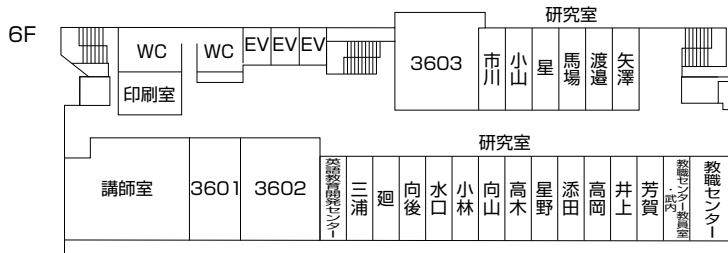
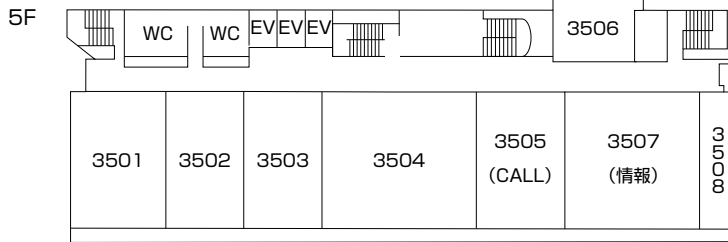


2号館



■大学3号館



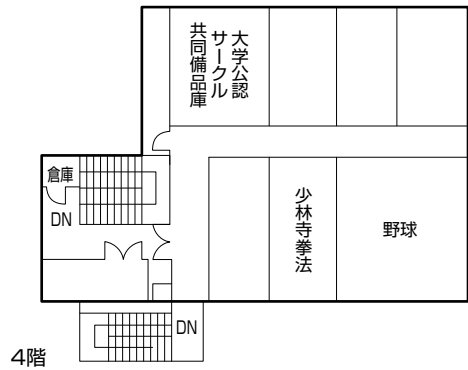
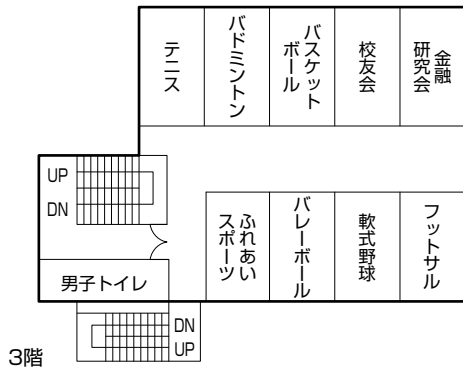
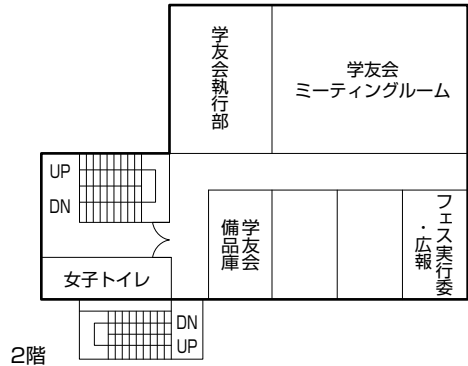
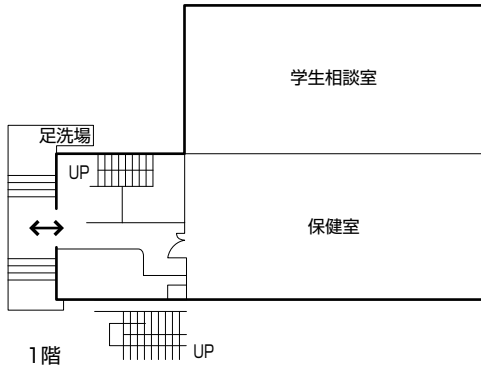


大学4号館

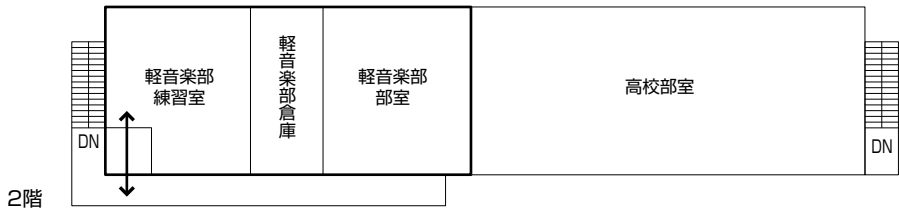
- 1F アドミッションセンター
- 2F キャリアセンター
- 3F ミーティングルーム、地方創生推進室 (COC⁺)

■ クラブハウス (平成29年2月現在)

クラブハウス



第2クラブハウス



3

学園歌

松村清三郎 作詞
鈴木 松竹 作曲

1. てんちを つらぬく まごころを
2. そーでが うらわの あさかぜに

とーわに まもりて うごきなーく
あーおげ ふがくの ゆうしをーば

やーまと だましい おおしくも
あ おぎて うたえ もろとも に

ふ るいーてー た たん わが と も よ
て んにーもー ひ び け お た け び は

天にも響け 雄叫びは
仰ぎて歌へ 諸共に
仰げ富嶽の 雄姿をば
袖が浦曲の 朝風に

(二)

奮ひて立たん 我が友よ
大和魂 雄々しくも
永久に守りて動きなく
天地を貫く 真心を

(一)

V

資料編

3 学園歌

4

2021年度 学事日程

2021年 4月			2021年 5月			2021年 6月		
1	木		1	土		1	火	
2	金	入学式	2	日		2	水	
3	土		3	月	【祝】 憲法記念日 ※授業実施	3	木	敬愛の日 ※授業実施
4	日		4	火	【祝】 みどりの日、創立記念日 ※授業実施	4	金	
5	月		5	水	【祝】 こどもの日	5	土	
6	火		6	木		6	日	
7	水	前期授業開始	7	金		7	月	
8	木		8	土		8	火	
9	金		9	日		9	水	
10	土		10	月		10	木	
11	日		11	火		11	金	
12	月		12	水		12	土	
13	火		13	木		13	日	
14	水		14	金		14	月	
15	木		15	土		15	火	
16	金		16	日		16	水	
17	土		17	月		17	木	
18	日		18	火		18	金	
19	月		19	水		19	土	
20	火		20	木		20	日	
21	水		21	金		21	月	
22	木		22	土		22	火	
23	金		23	日		23	水	
24	土		24	月		24	木	
25	日		25	火		25	金	
26	月		26	水		26	土	
27	火		27	木		27	日	
28	水		28	金		28	月	
29	木	【祝】 昭和の日	29	土		29	火	
30	金	前期学費納入期限	30	日		30	水	
			31	月				

2021年 7月			2021年 8月			2021年 9月		
1	木		1	日		1	水	
2	金		2	月		2	木	
3	土		3	火		3	金	
4	日		4	水		4	土	
5	月		5	木		5	日	
6	火		6	金		6	月	
7	水		7	土		7	火	
8	木		8	日	【祝】山の日	8	水	
9	金		9	月	振替休日	9	木	
10	土		10	火		10	金	
11	日		11	水		11	土	
12	月		12	木		12	日	
13	火		13	金	学園一斉休業	13	月	
14	水		14	土		14	火	
15	木		15	日		15	水	
16	金		16	月		16	木	
17	土		17	火		17	金	
18	日		18	水		18	土	
19	月		19	木		19	日	
20	火		20	金		20	月	【祝】敬老の日
21	水	前期授業終了	21	土		21	火	
22	木	【祝】海の日	22	日		22	水	
23	金	【祝】スポーツの日	23	月		23	木	【祝】秋分の日
24	土		24	火		24	金	後期授業開始
25	日		25	水		25	土	
26	月		26	木		26	日	
27	火		27	金	成績発表	27	月	
28	水		28	土		28	火	
29	木		29	日		29	水	
30	金		30	月		30	木	
31	土		31	火				

※日程の詳細や変更・追加は、その都度掲示等で周知します。

2021年 10月			2021年 11月			2021年 12月		
1	金		1	月		1	水	
2	土		2	火		2	木	
3	日		3	水	【祝】文化の日	3	金	
4	月		4	木		4	土	
5	火		5	金		5	日	
6	水		6	土		6	月	
7	木		7	日		7	火	
8	金		8	月		8	水	
9	土		9	火		9	木	
10	日		10	水		10	金	
11	月		11	木		11	土	
12	火		12	金		12	日	
13	水		13	土		13	月	
14	木		14	日		14	火	
15	金	臨時休講	15	月		15	水	
16	土	敬愛フェスティバル	16	火		16	木	
17	日	敬愛フェスティバル	17	水		17	金	
18	月	臨時休講	18	木		18	土	
19	火		19	金		19	日	
20	水		20	土		20	月	
21	木		21	日		21	火	
22	金		22	月		22	水	
23	土		23	火	【祝】勤労感謝の日	23	木	
24	日		24	水		24	金	年内授業最終日
25	月		25	木		25	土	
26	火		26	金		26	日	
27	水		27	土		27	月	冬季休業 (~1/10)
28	木		28	日		28	火	年末年始一斉休業(1/3)
29	金	後期学費納入期限	29	月		29	水	
30	土		30	火		30	木	
31	日					31	金	

2022年 1月			2022年 2月			2022年 3月		
1	土	【祝】元日 冬季休業	1	火		1	火	
2	日		2	水		2	水	
3	月		3	木		3	木	
4	火		4	金		4	金	
5	水		5	土		5	土	
6	木		6	日		6	日	
7	金		7	月		7	月	
8	土		8	火		8	火	
9	日		9	水		9	水	卒業生発表
10	月	【祝】成人の日	10	木		10	木	
11	火	授業再開	11	金	【祝】建国記念の日	11	金	
12	水		12	土		12	土	
13	木		13	日		13	日	
14	金		14	月		14	月	
15	土	大学入学共通テスト	15	火		15	火	
16	日	大学入学共通テスト	16	水		16	水	
17	月		17	木		17	木	
18	火		18	金		18	金	
19	水		19	土		19	土	
20	木		20	日		20	日	
21	金		21	月		21	月	【祝】春分の日
22	土		22	火	成績発表	22	火	
23	日		23	水	【祝】天皇誕生日	23	水	学位記・卒業証書授与式
24	月		24	木		24	木	
25	火		25	金		25	金	
26	水	後期授業終了	26	土		26	土	
27	木		27	日		27	日	
28	金		28	月		28	月	
29	土		/	29	火			
30	日			30	水			
31	月			31	木			

※日程の詳細や変更・追加は、その都度掲示等で周知します。

CAMPUS LIFE 2021

2021年4月1日 発行

敬愛大学 学生支援室・修学支援室

千葉県千葉市稲毛区穴川1-5-21 〒263-8588

電話 (043) 284-2381 (学生支援室直通)

(043) 284-2253 (修学支援室直通)

(043) 251-6363 (代表)

シンボルマーク・デザインコンセプト



外側の大きな円は、「敬天愛人」の理念の中にある天、或いは、天性 (natural abilities) を表わし、その中の楕 (だ) 円は、そうした天性からほとぼしる子供たちのパーソナリティやエネルギーを表現しています。

全体一色で表わされた赤 (パッションレッド) は、躍動・情熱・積極性・発展性を意図するとともにコミュニケーション上におけるインパクトを狙ったものです。

全体に丸いカタチは、スローガンの“未来へ、君へ”と相乗して、ここにも千葉敬愛学園の建学の精神「敬天愛人」の大いなる愛や暖かさを概念したものです。

敬愛大学 公式SNS

Twitter



Instagram

